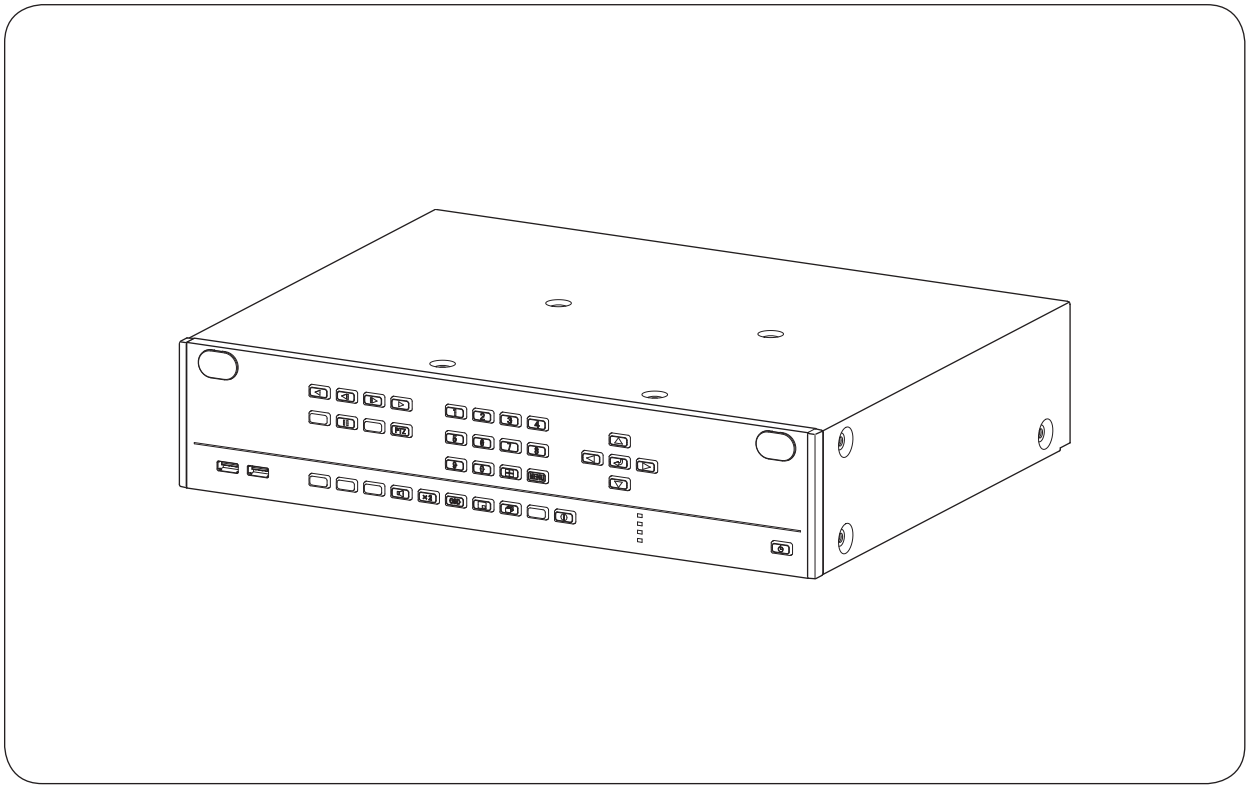
TOA

取扱説明書

CVAHD

AHD レコーダー

AH-R108-4
AH-R116-4



このたびは、TOA AHD レコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
正しくご使用いただくために、必ずこの取扱説明書をお読みになり、末長くご愛用くださいますようお願い申し上げます。

目　次

安全上のご注意 9

使用上のご注意 12

ライセンス情報 13
AVC/H.264 特許ライセンスに関するご注意 13
オープンソースソフトウェアのライセンスについて 13

個人情報について 14

ネットワーク使用時のセキュリティ対策について 14

第 1 章　はじめに

概　要 1-2

特　長 1-2

各部の名称とはたらき 1-4
前面 1-4
前面パネル 1-5
後面 1-6
後面端子 1-7

第 2 章　接続のしかた

接続のしかた 2-2
基本システム 2-2
コンビネーションカメラ制御システム 2-3
リモートコントローラーシステム 2-4
多地点遠隔監視システム 2-5
調時入出力端子の接続 2-6
タイムサーバーで本機の時刻を合わせる場合 2-6
デジタルレコーダー間で時刻を合わせる場合 2-6
無停電電源装置（UPS）の接続 2-7
UPS にデジタルレコーダーを 1 台接続する場合 2-8
UPS にデジタルレコーダーを 2 台接続する場合 2-9

D-Sub プラグの組み立てかた 2-10

電源ケーブル用クランプの使いかた 2-11

ラックマウントのしかた 2-12

第 3 章　起動、終了とシステムの基本設定

起動と終了 3-2

本機の起動 …… 3-2
電源投入時にスタンバイモードにする …… 3-4
スタンバイモードから起動する …… 3-4
本機の終了 …… 3-5
本機を終了する …… 3-5
設定メニューから本機を終了する …… 3-7

基本操作 …… 3-9
前面キーによる基本操作 …… 3-9
マウスによる操作 …… 3-10
モニター出力の画面表示 …… 3-10
設定メニュー項目について …… 3-11

簡易設定 …… 3-14
簡易設定について …… 3-14
システム設定を行う（簡易設定） …… 3-14
文字を入力する …… 3-16
パスワードを設定する …… 3-17
ネットワーク設定を行う（簡易設定） …… 3-18
録画設定を行う（簡易設定） …… 3-20
ハードディスクをフォーマットする（簡易設定） …… 3-21
表示設定を行う（簡易設定） …… 3-23

第４章　ライブと録画

ライブ …… 4-2
ライブ画面の表示 …… 4-2
ライブ画面で表示できること …… 4-2
ライブ画面の OSD 表示 …… 4-4
ライブ画面のステータスバー表示 …… 4-5
使用するカメラとカメラ名称を決める …… 4-6
カメラ映像の明るさを調整する（入力画質設定） …… 4-7
モニター表示設定 …… 4-8
モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク機能） …… 4-8
OSD の表示位置の調整をする …… 4-9
画面の配置を決める（表示レイアウト） …… 4-10
モニター出力の解像度を決める …… 4-11
ライブ操作 …… 4-12
ライブ操作メニューでできること …… 4-12
前面キーでできるライブ操作 …… 4-13
指定したカメラを表示する …… 4-14
複数のカメラ映像を同時に表示する …… 4-14
カメラチャンネルや分割画面表示のページを切り換える …… 4-15
カメラの映像信号方式を確認する …… 4-15
OSD 表示を設定する …… 4-16
ライブ映像を一時的に静止する（フリーズ機能） …… 4-16
シーケンス表示する …… 4-17

映像の一部を拡大する(電子ズーム機能) 4-18
別のカメラ映像を小さい画面で表示する(PIP 機能) 4-19
イベントが発生したカメラ映像を表示する(イベントポップアップ機能) 4-20
スポット出力 4-21
スポット出力(ライブ映像専用)のカメラ表示を設定する 4-21
スポット出力(ライブ映像専用)のイベントポップアップ機能 4-22
スポット出力の表示を切り換える 4-22
ライブ音声 4-24
使用する音声チャンネルを決める 4-24
音声の切り換えを行う 4-25

録　画 4-26
録画の種類 4-26
録画の優先度 4-26
録音する 4-27
録画レートについて 4-27
録画の OSD 表示 4-28
録画モードと設定について 4-28
連続録画の場合 4-28
イベント録画(センサー録画、モーション録画、ビデオロス録画)と
プリ録画の場合 4-28
緊急録画の場合 4-28
録画共通設定をする 4-29
ハードディスクに上書き録画する 4-30
一定期間が過ぎた録画データを自動的に消去する 4-30
録画時間を設定する 4-31
プリ録画を設定する 4-32
緊急録画を行う 4-32
ポスト録画時間について 4-33
スケジュール 4-34
録画スケジュールを設定する 4-34
現在の録画の状態を確認する(録画ステータス) 4-36
記録時間の算出 4-37
イベント機能について 4-38
イベントの種類 4-38
イベントの動作 4-38
センサーイベント 4-38
センサー入力の設定 4-39
センサー録画を行う 4-40
モーションイベント 4-41
モーション設定 4-42
モーション範囲を設定する 4-43
モーション録画を行う 4-45
ビデオロスイベント 4-46
ビデオロス録画を行う 4-46
システムイベント 4-47
記録装置 4-48
録画データが存在する時間を表示する 4-49

第５章　その他の機能

再　生 …… 5-2
再生画面の表示 …… 5-2
再生画面で表示できること …… 5-2
再生画面の OSD 表示 …… 5-4
再生画面のステータスバー表示 …… 5-5
再生操作 …… 5-6
再生画面へ切り換える …… 5-6
再生を終了する …… 5-6
再生操作を行う …… 5-7
マウスによる再生操作 …… 5-8
再生操作メニューによる再生操作 …… 5-8
日時を指定して再生する …… 5-9
音声を再生する …… 5-10
再生音声を出力する …… 5-10
検　索 …… 5-11
カレンダー検索して再生する …… 5-11
イベント検索して再生する …… 5-13

バックアップのしかた …… 5-15
バックアップ中の OSD 表示 …… 5-15
複数のカメラをバックアップする（バックアップ） …… 5-16
AVI 形式でバックアップする（クリップ作成） …… 5-19
再生中にバックアップする（簡易バックアップ） …… 5-21
バックアップのエラーメッセージ …… 5-23

バックアップしたデータを見る …… 5-24
DVR Media Player 形式 …… 5-24
Internet Explorer を使って再生する …… 5-24
Backup Media Player を使って再生する …… 5-29
AVI 形式 …… 5-30
AVI 形式のファイルを再生する …… 5-30
独自形式 …… 5-34
独自形式のファイルを本機で再生する …… 5-34
独自形式のファイルを PC で再生する …… 5-35

コンビネーションカメラ制御 …… 5-36
設定と接続 …… 5-36
コンビネーションカメラ設定（PTZ） …… 5-36
RS-485 設定 …… 5-38
コンビネーションカメラの接続 …… 5-39
コンビネーションカメラの操作 …… 5-39
コンビネーションカメラ制御モードを立ち上げる …… 5-39
コンビネーションカメラをマニュアル操作する …… 5-40
コンビネーションカメラをマウスで操作する …… 5-41
プリセット登録を行う …… 5-42

プリセット移動を行う 5-42
イベントによるプリセット移動 5-43
コンビネーションカメラを制御する 5-45
コンビネーションカメラのカメラメニューを設定する 5-46

AHD カメラ制御 5-47
AHD カメラの操作 5-47
AHD カメラ制御モードを立ち上げる 5-47
AHD カメラメニューを表示する 5-47
AHD カメラメニューを設定する 5-48

リモートコントローラー制御 5-49
リモートコントローラーの接続 5-49
リモートコントローラーからの操作 5-50
1 画面表示する 5-50
4 分割画面表示する 5-50
9 分割画面表示する 5-51
13 分割画面表示する（16 局用のみ） 5-51
16 分割画面表示する（16 局用のみ） 5-51
シーケンス表示する 5-51
4 分割シーケンス表示する 5-51

アラーム 5-52
アラーム設定 5-52
アラームの設定を行う 5-52
アラームを有効にする条件を決める（スケジュール設定） 5-53
イベントによるアラーム 5-55
イベントが発生したときに出力するアラームを設定する 5-55

第 6 章　システムについて

システム設定 6-2
システム情報 6-2
ファームウェアを更新する 6-3
設定データを USB メモリーに保存する 6-5
USB メモリーに保存した設定データを入力する 6-6
日付と時刻の設定 6-7
現在時刻を変更する 6-7
NTP 調時機能を設定する 6-8
休日を設定する 6-9
機器間の時刻を合わせる（調時機能） 6-10

セキュリティ 6-11
ログイン・ログアウト 6-11
ログインする 6-11
ログアウトする 6-12
自動でログイン・ログアウトする 6-13

ユーザー設定 …… 6-14
グループ設定 …… 6-14
グループ設定を登録・変更する …… 6-15
ユーザー設定 …… 6-17
ユーザー設定を登録・変更する …… 6-18
グループ別操作権限一覧 …… 6-19

ロ　グ …… 6-20
システムログ …… 6-20
システムログを表示する …… 6-20
システムログを USB メモリーに保存する …… 6-21
システムログ一覧 …… 6-22
システムログを PC で表示する …… 6-25
イベントログ …… 6-26
イベントログを表示する …… 6-26
イベントログ一覧 …… 6-27

異常動作 …… 6-28
機器異常 …… 6-28
ファン異常 …… 6-28
ハードディスクエラー …… 6-29
S.M.A.R.T. …… 6-30
ハードディスクの異常温度を設定する（S.M.A.R.T. 限界温度） …… 6-31
ハードディスクの現在温度を確認する …… 6-31
ハードディスクフル（残量警告） …… 6-32
ハードディスクの残容量警告を設定する …… 6-33
ビデオロス …… 6-34
ビデオロスが発生したときに出力するアラームを設定する …… 6-35
システムイベントに関する設定を行う …… 6-36
システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する …… 6-36
自動復旧動作について …… 6-37
自動で再起動を行う場合 …… 6-37
自動で工場出荷時の設定に戻る場合 …… 6-37
停電復旧後の動作について …… 6-38
モニター表示 …… 6-38
録　画 …… 6-38
無停電電源装置（UPS） …… 6-38
UPS の設定を行う …… 6-38

第 7 章　ネットワークについて

ネットワーク …… 7-2
ネットワーク設定 …… 7-2
IP アドレスを設定する …… 7-2
ポートを設定する …… 7-3
映像配信 …… 7-4
遠隔通知設定 …… 7-5

コールバック設定を行う 7-6
E メール設定を行う 7-7
イベント発生時に遠隔通知を行う 7-9
E メールの送信内容 7-11

Web ブラウザーを使って監視する 7-12
Remote Monitoring System に接続する 7-12
Internet Explorer を使用する 7-12
Edge の IE モードを使用する 7-15
遠隔監視する（Live） 7-19
コンビネーションカメラを操作する 7-20
ライブ音声を出力する 7-20
遠隔設定する 7-21
遠隔設定メニューの起動と終了 7-21
遠隔設定でカメラ名を設定する 7-22
遠隔再生する（Playback） 7-24
再生する 7-26
カレンダー検索から再生を行う 7-27
直接時刻を指定して再生する 7-28
イベント検索から再生を行う 7-28

第 8 章　補足・仕様

ファイルサイズ一覧表 8-2

記録時間表 8-3

故障かな？と思ったら 8-6

工場出荷時設定一覧表 8-10

仕　様 8-14
パーソナルコンピューター要件 8-16
Web サーバー仕様 8-16
付属品 8-16
別売品 8-16

アフターサービスについて 8-17

安全上のご注意

- ご使用の前に、この欄を必ずお読みになり正しくお使いください。
- ここに示した注意事項は、安全に関する重大な内容を記載していますので、必ず守ってください。
- お読みになったあとは、いつでも見られる所に必ず保管してください。

表示について

ここでは、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

図記号について

行為を禁止する記号			行為を強制する記号			注意を促す記号
分解禁止	禁　止	接触禁止	強　制	電源プラグを抜け	アース線を接続せよ	指のケガに注意

⚠ 警告　誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

水にぬらさない

本機に水が入ったりしないよう、また、ぬらさないようにご注意ください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

指定外の電源電圧で使用しない

表示された電源電圧を超えた電圧で使用しないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

電源コードや配線を傷つけない

電源コードや配線を傷つけたり、配線する際に本機や壁などに線材を挟み込まないようにしてください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。
落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。

禁　止

電源のアースを接続する

アース線を接続しないと、漏電のとき、感電の原因となります。

アース線を接続せよ

LAN 端子に過電圧を加えない

LAN 端子に過電圧が加わるおそれがあるネットワーク機器を接続しないでください。感電、火災の原因になります。

禁　止

⚠ 警告

誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

使用するとき

万一、異常が起きたら

次の場合、電源を切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

- 煙が出ている、変なにおいがするとき
- 内部に水や異物が入ったとき
- 落としたり、ケースを破損したとき
- 電源コードが傷んだとき（心線の露出、断線など）

電源プラグを抜け

内部を開けない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、ケースを開けたり、改造したりすると、火災・感電の原因となります。
内部の点検・調整・修理は販売店にご依頼ください。

分解禁止

液体の入った容器や小さな金属物を上に置かない

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。

禁　止

内部に異物を入れない

本機の通風口などから内部に金属類や燃えやすいものなど、異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

禁　止

雷が鳴ったらさわらない

雷が鳴り出したら、本機にはさわらないでください。
感電の原因となります。

接触禁止

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

ぬれた手で電源プラグをさわらない

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。

禁　止

電源コードを引っ張らない

電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
必ずプラグを持って抜いてください。

禁　止

移動させるときは電源プラグを抜く

差し込んだまま移動させるとコードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

⚠ 注意

誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

設置・据付をするとき

通風口をふさがない

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。
また、通風口にほこりがたまらないよう定期的に掃除をしてください。

禁　止

湿気やほこりの多い場所などに置かない

湿気やほこりの多い場所、直射日光のあたる場所や熱器具の近く、油煙や湯気のあたるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。

禁　止

使用するとき

上に重いものを置かない

本機のバランスがくずれて倒れたり、落下したりして、けがの原因となることがあります。

禁　止

ファンの開口部に指を入れない

ファンの開口部に指を入れないでください。けがの原因となることがあります。

指のケガに注意

定期的に内部の掃除をする

内部の掃除については、販売店にご相談ください。
内部にほこりがたまったまま長い間掃除をしないと、火災の原因となることがあります。

強　制

電源プラグやコンセント部の掃除をする

電源プラグを差してあるコンセント部にほこりがたまると、火災の原因となることがあります。定期的にコンセント部の掃除をしてください。
また、電源プラグは根元まで差し込んでください。

強　制

お手入れの際、長期間使用しない場合の注意

お手入れのときや長期間本機をご使用にならないときは、安全のため電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。
守らないと、感電・火災の原因となることがあります。

電源プラグを抜け

使用上のご注意

- 付属の電源コードは、本機専用部品です。本機以外の機器には使用しないでください。
- 温度が 0℃～ +40℃、湿度が 80% 以下（ただし結露のないこと）の場所で使用してください。
- 本機の移動は電源を切った後、30 秒以上経過してから行ってください。
- 寒いところから暖かいところへの移動やエアコンの吹き出し口付近の設置などは、結露が発生しやすいので避けてください。結露が発生したときは十分に乾くまで電源を入れないでください。また、寒い屋外から暖かい室内に持ち込んだ場合は、半日程放置してから使用してください。
- 通風口にほこりがたまる場合がありますので、電源を切り、電源プラグをコンセントから抜いて、定期的に通風口の掃除をしてください。通風口の掃除は年 1 回程度実施することをお勧めします。
- 本機を掃除するときには、必ず電源を切ってから、乾いた布でふいてください。またひどい汚れは中性洗剤をしみこませた布を使用してください。ベンジン、シンナー、アルコール類、化学ぞうきんなどは絶対に使用しないでください。変形や故障の原因になります。
- 本機を壁などに近づけて設置しないでください。内部の温度が上昇して､故障の原因となることがあります。（100 mm 以上のスペースを空けてください。）
- 本機の下に大量の熱を発生する機器を設置しないでください。内部の温度が上昇し、故障の原因となることがあります。
- 本機には冷却用ファンが内蔵されていますのでモーター音がします。モーター音が共振しない場所に設置してください。
- 冷却用ファンの排気口は絶対にふさがないでください。内部の温度が上昇して、故障の原因となることがあります。
- ファン異常が発生した場合は、すぐに電源の供給を停止してください。ファン異常発生後、電源を入れたままにすると内部の温度が上昇し、機器が故障することがあります。
- 強力な磁界や強い電波のある場所には設置しないでください。映像が乱れたり、故障の原因となることがあります。
- 本機は、電気用品安全法の解釈別表第 12 の規定に基づくクラス A 情報技術装置です。
  住宅環境で使用する場合は、電波障害を発生させるおそれがあります。その際は、本機の利用者は、適切な手段を講ずることが必要とされる場合があります。
- 本機に強い衝撃を与えないでください。
  本機は精密機器です。落としたりして強い衝撃を与えると、故障の原因になります。
  輸送するときは、付属のカートンに梱包し、本機に衝撃を与えないように注意してください。
- 本機を振動のあるところで使用しないでください。
  本機は精密機器です。振動のある場所で使用すると、故障の原因になります。
- 本機を縦置きで使用しないでください。
  本機は水平位置で使用するよう設計されています。垂直にしたり、傾けての使用はできません。
- ハードディスクについて
  - ・万一、ハードディスクが故障した場合、記録したデータの復旧はできません。
  - ・大切な記録の場合は、USB メモリーに保存してください。
  - ・著作権を有する映像や録画（録音）物などから記録したものは、個人として楽しむほかは、著作権上権利者に無断で使用できません。
- 消耗品について

  次の部品は消耗品です。寿命時間を目安にして交換してください。ただし、この時間はあくまでも目安であり、部品の寿命時間を保証するものではありません。
  - ・ハードディスク ：約 3 年（使用環境温度 25℃）
  - ・冷却用ファン　 ：約 3 年（使用環境温度 25℃）
- カメラを電源同期で使用しないでください。カメラを電源同期で使用すると､画面が揺れることがあります。また、電源周波数に大きな変動があると、ビデオロスになることがあります。

- アース接続は、必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグをコンセントから切り離してから行ってください。
- 機器は電源コンセントの近くに設置し、電源プラグ（遮断装置）へ容易に手が届くようにしてください。
- 無停電電源装置（UPS）は、電源出力の波形が正弦波の機器を使用してください。矩形波の機器と接続した場合、本機または無停電電源装置（UPS）が故障することがあります。
- 本機のファームウェアは、リリース時点での環境において動作検証を行っております。リリース後に弊社の責によらず生じた問題についての責任はご容赦ください。
- 本機の故障もしくは不具合により発生した、付随的損害（営業損失などの補償）の責についてはご容赦ください。

ライセンス情報

● AVC/H.264 特許ライセンスに関するご注意

本製品は、画像情報の取り扱いに関して、MPEG 技術（AVC/H.264 STANDARD）を使用しており、同技術の使用に関しては、特許管理団体 MPEG LA,LLC. の許諾を受けております。
以下の場合を除いては、本製品のご利用が禁止されていますので、ご注意下さい。
MPEG 技術利用者の個人的使用及び非営利的な使用であって、（i）AVC/H.264 STANDARD に適合するビデオ（以下、「AVC/H.264」）の符号化、及びまたは、（ii）個人的使用及び非営利活動に従事する MPEG 技術利用者により符号化された AVC/H.264、及びまたは、MPEG LA,LLC. からライセンス許諾されているビデオ・プロバイダーから提供された AVC/H.264 の復号化。

なお、販売促進のための使用、営利目的の使用、並びに、ライセンスに関する追加情報は、MPEG LA,LLC. までお問い合わせ下さい。

HTTP://WWW.MPEGLA.COM をご覧下さい。

● オープンソースソフトウェアのライセンスについて

本製品では、以下のオープンソースソフトウェアライセンスに基づくソフトウェアを使用しています。

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2
GNU GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2 (GCC Runtime Library Exception)
GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE Version 2.1
Apache License, Version 2.0
zlib/libpng License
Original SSLeay License

本製品において、GPL 等の条項に従いオープンソースソフトウェアそのものの動作に関しては保証を行いませんが、弊社は製造物としての動作保証は行います。

［オープンソースソフトウェアの個別情報］
本製品に搭載しているオープンソースソフトウェアの詳細情報、およびソースコードが必要な場合は、TOA 商品データダウンロードサイト（https://www.toa-products.com/download）からダウンロードしてください。
なお、ソースコードの内容に関するお問い合わせはご遠慮ください。

個人情報について

本機または本機を使用したシステムで撮影された本人が判別できる映像情報は、「個人情報の保護に関する法律」で定められた「個人情報」に該当します。*
法律に従って、映像情報を適正にお取り扱いください。

* 個人情報保護委員会の「個人情報の保護に関する法律についてのガイドライン(通則編)」における「個人情報に該当する事例」を参照してください。

● 機器を譲渡・廃棄される場合

本機とともに使用する記憶媒体に記録された情報は「個人情報」に該当する場合があります。
廃棄、譲渡、修理などで本機または記憶媒体が第三者に渡る場合は、その取り扱いに十分注意し、お客様の責任において廃棄、譲渡、修理を行ってください。

ネットワーク使用時のセキュリティ対策について

- お客様ご自身の責任の下、ネットワークのセキュリティ対策を十分に行ってください。
  不正アクセスなどのネットワークのセキュリティ上の問題により発生した被害・損害については、弊社は一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

- 本機への不正アクセスを防ぐために、機器の ID、およびパスワードは、初期設定から変更して運用してください。
  設定方法等、詳細については本書を参照してください。

- パスワードの管理には十分ご注意ください。

第 1 章

はじめに

概　要

ハードディスクドライブ（HDD）を内蔵した H.264（MPEG-4 AVC）方式の AHD レコーダーです。
NTSC カメラと AHD カメラを接続でき、AHD カメラと組み合わせることで画像サイズ 1920 × 1080 による高画質な映像監視および録画が可能です。
8 局用は映像入力 8 系統、音声入力 8 系統を装備し、最大総録画レート 240 ips で録画ができ、16 局用は映像入力 16 系統、音声入力 16 系統を装備し、最大総録画レート 480 ips で録画することができます。
マウスによる操作やコンビネーションカメラの操作、ネットワーク経由による遠隔監視もできます。
別売のラックマウント金具を使用すれば、EIA 規格に適合するラックに取り付けることができます。（2 サイズ）

特　長

● H.264 を採用

画像圧縮方式に H.264（MPEG-4 AVC）を採用し、長時間の記録が可能です。

● 2 つの映像方式に対応

NTSC 信号方式のカメラ（NTSC カメラ）と AHD 信号方式のカメラ（AHD カメラ）を接続することができます。
2 つの方式を自動で判別するため、混在して使用することも可能です。

● AHD コンビネーションカメラの同軸多重制御に対応

AHD 信号方式のコンビネーションカメラを同軸ケーブルで接続するだけで制御することが可能です。RS-485 制御線を接続することで、RS-485 制御も可能です。

● カメラの簡易操作

コンビネーションカメラの簡易操作、メニュー設定ができます。また、AHD カメラのメニュー設定ができます。
前面キーでの操作だけでなく、マウスでも操作できます。

● 8/16 系統の録音を実現

8 局用は 8 系統、16 局用は 16 系統の独立した録音が可能で、各カメラの映像と音声を記録することができます。

● フル HD のライブ映像表示

AHD カメラと組み合わせることで、フル HD のライブ映像を表示することができます。

● さまざまな解像度に対応

録画やネットワーク配信の画像サイズを Full HD（1920 × 1080）*、HD（1280 × 720）*、WD1（944 × 480）、D1（704 × 480）、CIF（352 × 240）から選択することができます。

* Full HD（1920 × 1080）、HD（1280 × 720）は、AHD カメラとの組み合せのみ

● カメラごとの高レート録画

30 ips（image per second）のフルフレーム録画が可能です。

● 録画データのイベント検索

センサー入力や映像に動きを検知した時刻を検索でき、その時刻から再生できます。

● バックアップ機能

USB メモリーへ録画データをバックアップすることができます。

● 簡単な設定操作

マウスを接続することで設定操作などを簡単に行うことができます。

● ネットワーク経由の操作

ネットワークを経由して、付属のネットワークソフトウェア DRNET（以下「DRNET」）で遠隔監視、検索、再生、バックアップ、本機のメニュー設定ができます。
Web ブラウザーまたはスマートフォンアプリケーション DRNET Mobile *（以下「DRNET Mobile」）で操作することもできます。

*スマートフォンアプリケーション DRNET Mobile は、App Store または Google Play ストアから入手できます。

● 多彩なモニター出力

モニター出力は HDMI 出力とアナログ RGB 出力を装備しています。また、スポット出力も装備しています。

● セキュリティ機能

ユーザーのログイン・ログアウトの機能があります。ユーザーごとに操作権限を細かく制限できます。

● メール送信機能

イベントが発生したときや機器異常が発生したときに、あらかじめ設定したメールアドレスにメールを送信することができます。

● 多彩なコントロール出力機能

イベントの発生時や指定時刻にコントロール出力を出力することができます。

● 調時機能

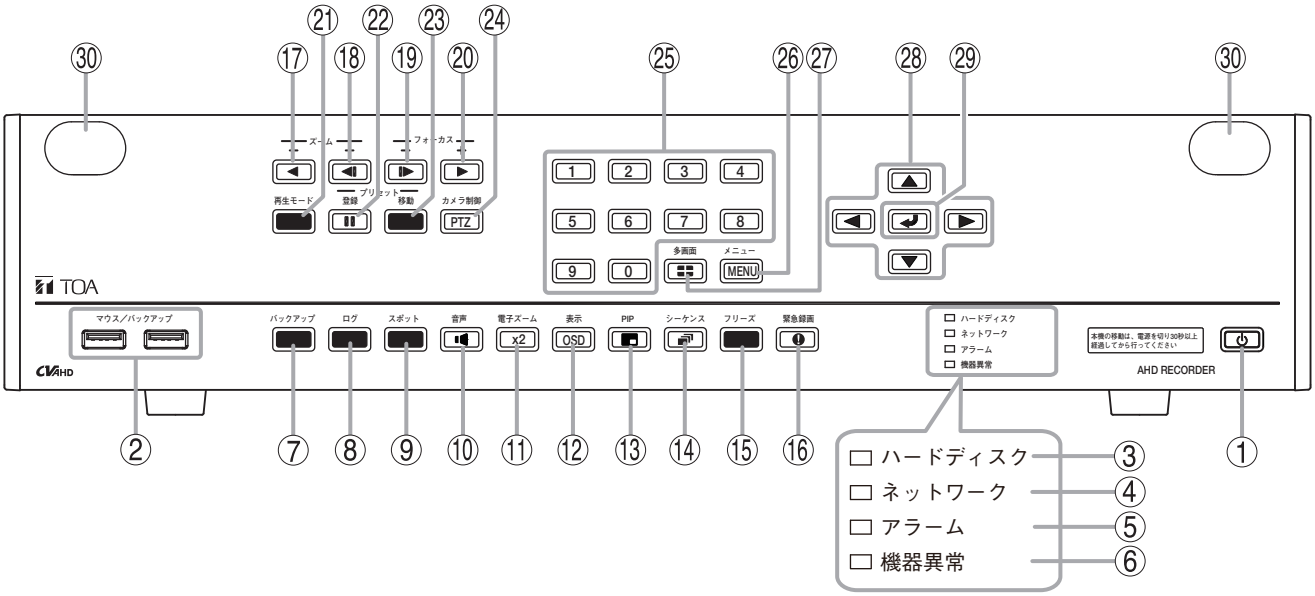
ネットワーク上の NTP サーバーや接点端子を利用して、自動的に時刻を調整することができます。
また、本機を NTP サーバーとして動作させることもできます。

● 無停電電源装置（UPS）との連動

UPS と組み合わせることで停電前後の録画データの消失を防止できます。

各部の名称とはたらき

■ 前面



1. 電源キー ⏻（LED）
2. マウス／バックアップ端子
3. ハードディスク LED
4. ネットワーク LED
5. アラーム LED
6. 機器異常 LED
7. バックアップキー
8. ログキー
9. スポットキー
10. 音声キー
11. 電子ズームキー
12. 表示キー
13. PIP キー
14. シーケンスキー
15. フリーズキー
16. 緊急録画キー
17. 逆再生キー*
18. コマ戻しキー*
19. コマ送りキー*
20. 再生キー*
21. 再生モードキー
22. 一時停止キー*
23. プリセット移動キー
24. カメラ制御キー
25. カメラ選択キー
26. メニューキー*
27. 多画面キー
28. 上下左右キー
29. 決定キー*
30. メンテナンス用ゴムカバー

* ライブ状態と再生状態で機能が異なります。各キーの機能については、以下を参照してください。
- 前面キーによる基本操作　P. 3-9
- 前面キーでできるライブ操作　P. 4-13
- 再生操作を行う　P. 5-7

● 前面パネル

[電源キー ⏻ ①]

- スタンバイモードのときにキーを押すと本機は起動します。（P. 3-4「スタンバイモードから起動する」）
- 本機の動作中にキーを押すと、スタンバイモードになります。（P. 3-5「本機を終了する」）

[LED 表示 ① 、③ ～ ⑥]

	点灯	点滅	消灯
電源キー ⏻ ①	動作中（緑色）	システム起動中（緑色）＊1 スタンバイモード中（緑色）＊2	電源が切れている
ハードディスク ③	ー	ハードディスクアクセス中（緑色）	ハードディスクアクセスなし
ネットワーク ④	ー	ネットワークアクセス中（緑色）	ネットワークアクセスなし
アラーム ⑤	アラーム状態（赤色）	ー	通常状態
機器異常 ⑥	ハードディスク異常中、ファン異常中（赤色）	ー	異常なし

＊1 システム起動直後は、1 秒ごとに点滅します。

＊2 スタンバイモード中は、5 秒ごとに点滅します。

[マウス／バックアップ端子 ②]

- USB メモリーを接続する

  USB メモリーを使用して本機のデータを入出力するときに接続します。

  ・録画されたデータをバックアップする。（P. 5-15「バックアップのしかた」）

  ・設定データを出力する。（P. 6-5「設定データを USB メモリーに保存する」）

  ・設定データを入力する。（P. 6-6「USB メモリーに保存した設定データを入力する」）

  ・システムログ情報を保存する。（P. 6-21「システムログを USB メモリーに保存する」）

  ご注意

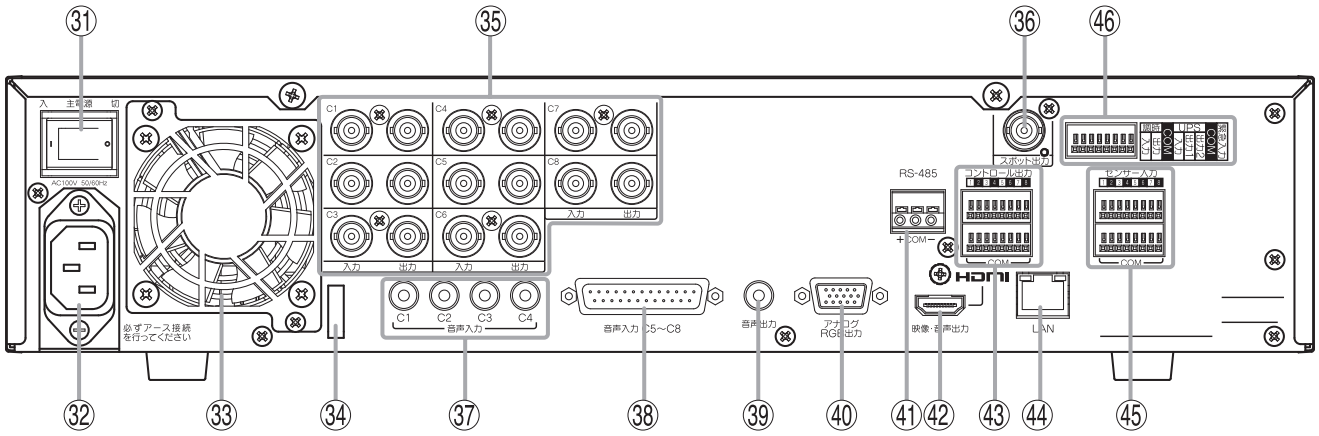
  - FAT32 または NTFS でフォーマットされた USB メモリーを使用してください。
  - 2 GB 以上の USB メモリーを使用してください。
  - 同時に複数の USB メモリーを接続して使用しないでください。

- マウスを使用する

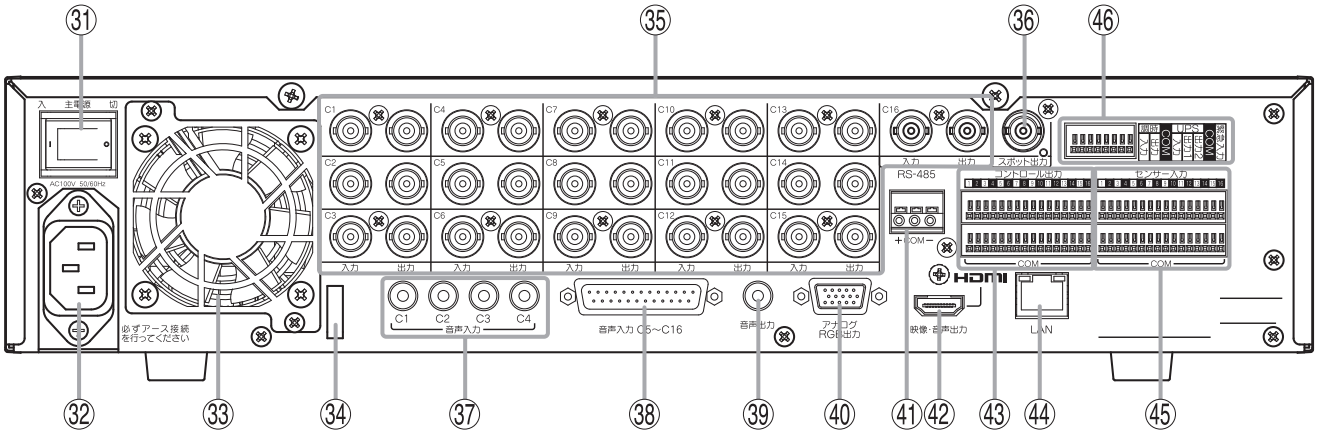
  市販の USB 接続のマウスを使用して本機を操作するときに接続します。（P. 3-10「マウスによる操作」）

■ 後面

［AH-R108-4］



［AH-R116-4］



31. 主電源スイッチ

32. 電源インレット

33. 冷却用ファン排気口

34. 電源ケーブル用クランプ

35. 映像入出力端子（BNC）

36. スポット出力端子（BNC）

37. 音声入力端子 C1 ～ C4（RCA ピンジャック）

38. 音声入力端子 C5 ～ C16（D-Sub 25P メス）
（8 局用：C5 ～ C8）

39. 音声出力端子（RCA ピンジャック）

40. アナログ RGB 出力端子（モニター出力）

41. RS-485 端子

42. HDMI 出力端子（モニター出力）

43. コントロール出力端子

44. LAN 端子

45. センサー入力端子

46. 調時入出力端子、UPS 入出力端子、
緊急録画入力端子

● 後面端子

[主電源スイッチ ㉛]

本機の電源スイッチです。

[電源インレット ㉜]

付属の電源コードを接続してください。本機に電源供給を行います。

[映像入出力端子(BNC) ㉟]

- 映像入力端子
  カメラの映像出力と接続します。
- 映像出力端子
  映像入力端子と同じ映像が出力されます。
  本機の主電源スイッチが「切」のときやスタンバイ状態のときにも映像を出力します。

[スポット出力端子(BNC) ㊱]

スポット出力は、ライブ映像専用の出力で 1 画面、分割画面、シーケンス表示に対応しています。
また、HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を表示することもできます。(P. 4-21「スポット出力」)

[音声入力端子 C1 ～ C4 (RCA ピンジャック) ㊲]

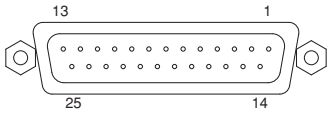
C1 ～ C4 の各チャンネルの音声を入力できます。

[音声入力端子 C5 ～ C16 (D-Sub 25P メス) ㊳]

付属の D-Sub プラグを使用して、16 局用は音声入力 C5 ～ C16、8 局用は音声入力 C5 ～ C8 の各端子を接続し、各チャンネルの音声を入力できます。
D-Sub プラグの組み立て方法については、P. 2-10「D-Sub プラグの組み立てかた」を参照してください。

メ　モ

8 局用は、音声入力 C9 ～ C16 は使用できません。



音声入力 C5～C16

端子記号	名　称
1	音声入力 C16
2	音声入力 C15
3	音声入力 C14
4	音声入力 C13
5	音声入力 C12
6	音声入力 C11
7	音声入力 C10
8	音声入力 C9
9	音声入力 C8

端子記号	名　称
10	音声入力 C7
11	音声入力 C6
12	音声入力 C5
13	COM : 接地
14	COM : 接地
15	COM : 接地
16	COM : 接地
17	COM : 接地
18	COM : 接地

端子記号	名　称
19	COM : 接地
20	COM : 接地
21	COM : 接地
22	COM : 接地
23	COM : 接地
24	COM : 接地
25	COM : 接地

[音声出力端子(RCA ピンジャック) ㊴]

モニターの音声入力端子などに接続します。
各チャンネルの音声入力を選択して出力するほか、記録した音声を出力できます。

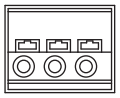
[アナログ RGB 出力端子 ㊵]

アナログ RGB 端子から映像を出力します。アナログ RGB 入力を持ったモニターに接続してください。HDMI 出力と同じ映像を出力します。

［RS-485 端子 ㊶ ］

コンビネーションカメラまたはリモートコントローラー（C-RM700）を接続します。（P. 5-38「RS-485 設定」）
コンビネーションカメラを制御する場合は、RS-485 端子にカメラの制御線（RS-485）を接続してください。
リモートコントローラー（C-RM700）から本機を操作する場合は、RS-485 端子にリモートコントローラーのスイッチャ制御線（RS-485）を接続してください。

RS-485



端子記号	名　称
＋	RS-485（＋）
COM	接　地
－	RS-485（－）

使用可能な電線の線径は、以下のとおりです。

単線　　：ϕ 0.4 mm ～ ϕ 1.2 mm（AWG26 ～ AWG16）
より線　：0.2 mm² ～ 1.25mm²（AWG24 ～ AWG16）
剥き線長：10 ～ 11 mm

メ　モ

AHD コンビネーションカメラを同軸多重制御する場合は、カメラ制御線（RS-485）の接続は不要です。

ご注意

- RS-485 端子の接続には CPEV-S（対よりシールドケーブル）ϕ 0.65 mm 以上を推奨します。また、シールド線は、必ず「COM」端子に接続してください。
- 本機から終端に設定されたカメラまでの制御線（RS-485）の延長距離は最長で 1.2 km です。また、リモートコントローラー（C-RM700）から本機までの制御線の延長距離は最長で 1.2 km です。

［HDMI 出力端子 ㊷ ］

HDMI 出力端子から映像と音声を出力します。HDMI 入力を持ったモニターに接続してください。
ライブ映像（1 画面、4 ／ 6 ／ 8 ／ 9 ／ 13 ／ 16 分割画面、シーケンス表示）、再生映像（1 画面、4 ／ 6 ／ 8 ／ 9 ／ 13 ／ 16 分割画面）、各種メニュー画面を出力します。
出力する解像度は設定によって変更できます。（P. 4-11「モニター出力の解像度を決める」）
各チャンネルの音声入力を選択して出力するほか、記録した音声を出力できます。

メ　モ

8 ／ 13 ／ 16 分割画面は、16 局用のみ表示します。

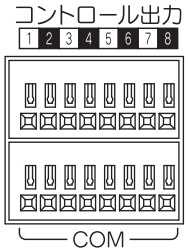
［コントロール出力端子 ㊸］

イベントが発生したときに信号が出力されます。（P. 5-52「アラーム設定」）
本機から外部のブザー機器などほかの機器へ出力する場合は、コントロール出力端子と COM 端子に接続してください。

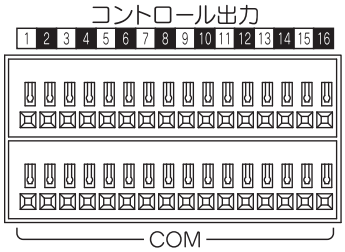
使用できる電線の線形は、以下のとおりです。

単線　　：ϕ 0.32 mm ～ ϕ 0.65 mm（AWG28 ～ AWG22）
より線　：0.08 mm² ～ 0.32 mm²（AWG28 ～ AWG22）
剥き線長：9 ～ 10 mm

［8 局用］



［16 局用］



端子記号	名　称
1	コントロール出力 1
2	コントロール出力 2
3	コントロール出力 3
4	コントロール出力 4
5	コントロール出力 5
6	コントロール出力 6
7	コントロール出力 7
8	コントロール出力 8
9	コントロール出力 9

端子記号	名　称
10	コントロール出力 10
11	コントロール出力 11
12	コントロール出力 12
13	コントロール出力 13
14	コントロール出力 14
15	コントロール出力 15
16	コントロール出力 16
COM	接　地

［LAN 端子 ㊹ ］

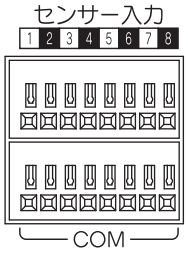
ネットワークを経由して、DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーと接続してライブ映像の表示やコンビネーションカメラの操作、録画の検索、再生を行う場合などに使用します。
コネクターは RJ45、通信速度は 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T に対応しています。
LAN ケーブルは、10BASE-T/100BASE-TX の場合は UTP カテゴリー 5 以上を使用し、1000BASE-T の場合は UTP カテゴリー 5e 以上を使用してください。ストレートケーブル、クロスケーブルどちらも使用できます。（AUTO MDI/MDIX 対応）

［センサー入力端子 ㊺］

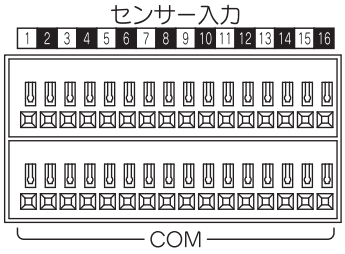
COM 端子と接続すると、センサーイベント動作を開始します。（P. 4-38「センサーイベント」）
外部センサーなどから本機へセンサー入力する場合は、センサー入力端子と COM 端子に接続してください。
使用できる電線の線形は、以下のとおりです。

単線　　：φ 0.32 mm ～ φ 0.65 mm（AWG28 ～ AWG22）
より線　：0.08 mm² ～ 0.32 mm²（AWG28 ～ AWG22）
剥き線長：9 ～ 10 mm

［8 局用］



［16 局用］



端子記号	名　称
1	センサー入力 1
2	センサー入力 2
3	センサー入力 3
4	センサー入力 4
5	センサー入力 5
6	センサー入力 6
7	センサー入力 7
8	センサー入力 8
9	センサー入力 9

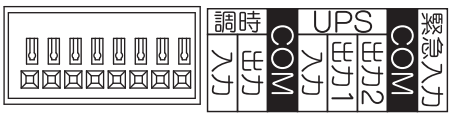
端子記号	名　称
10	センサー入力 10
11	センサー入力 11
12	センサー入力 12
13	センサー入力 13
14	センサー入力 14
15	センサー入力 15
16	センサー入力 16
COM	接　地

［調時入出力端子、UPS 入出力端子、緊急録画入力端子 ㊻］

- 調時入出力端子
  外部機器からの調時入力や外部機器への調時出力を行う場合は、調時入出力端子と COM 端子に接続してください。（P. 2-6「調時入出力端子の接続」）
- UPS 入出力端子
  無停電電源装置（UPS）と接続する場合は、UPS 入出力端子と COM 端子に接続してください。（P. 2-7「無停電電源装置（UPS）の接続」）
- 緊急録画入力端子
  COM 端子と接続すると、緊急録画を開始します。外部スイッチなどから本機へ入力する場合は、緊急録画入力端子と COM 端子に接続してください。

使用できる電線の線形は、以下のとおりです。

単線　　：φ 0.32 mm ～ φ 0.65 mm（AWG28 ～ AWG22）
より線　：0.08 mm² ～ 0.32 mm²（AWG28 ～ AWG22）
剥き線長：9 ～ 10 mm



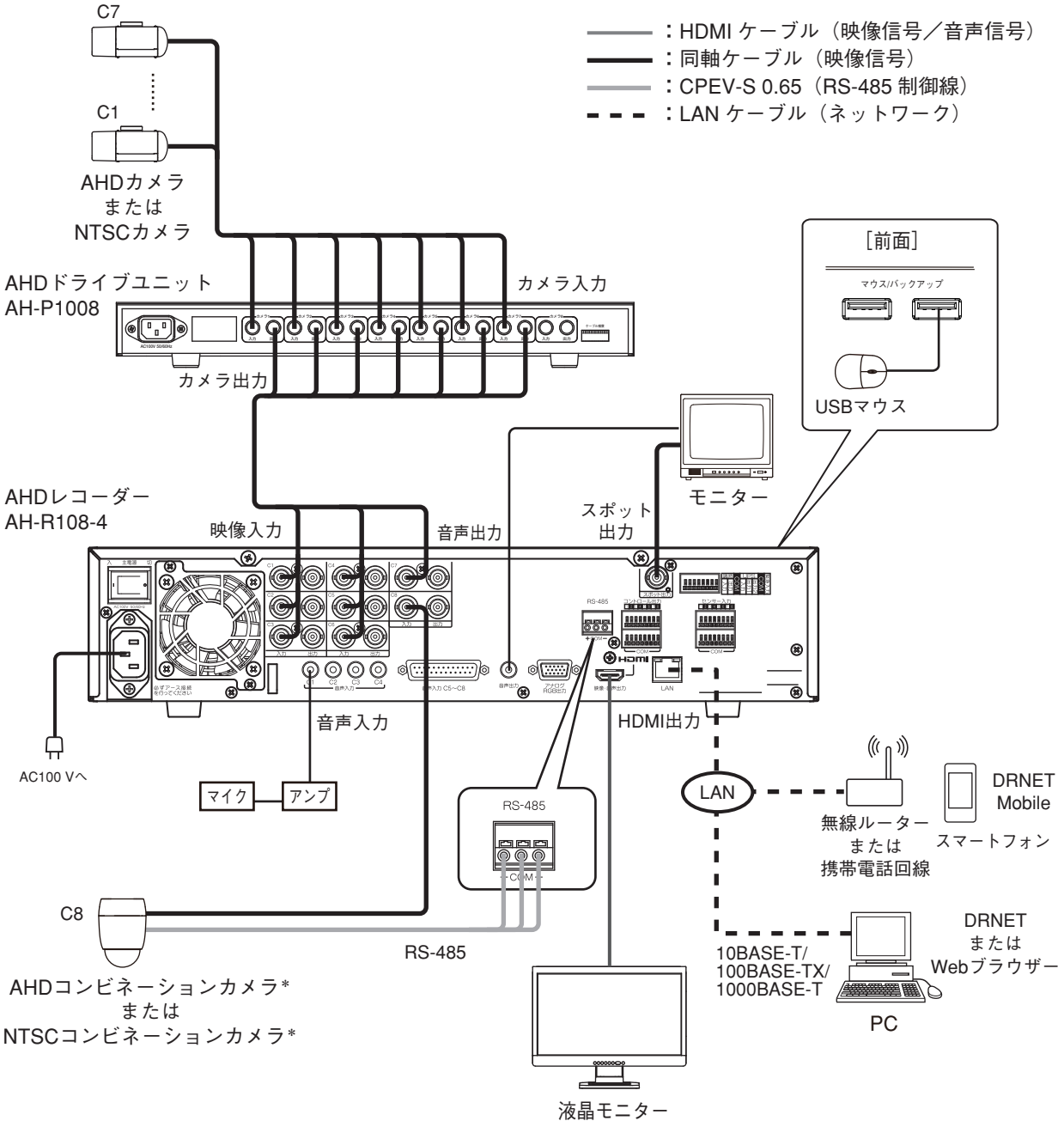
端子記号		名　称
調時	入力	調時入力
	出力	調時出力
COM		接地
UPS	入力	UPS 入力
	出力 1	UPS 出力 1
	出力 2	UPS 出力 2
COM		接地
緊急入力		緊急録画入力
COM		接地

第 2 章

接続のしかた

接続のしかた

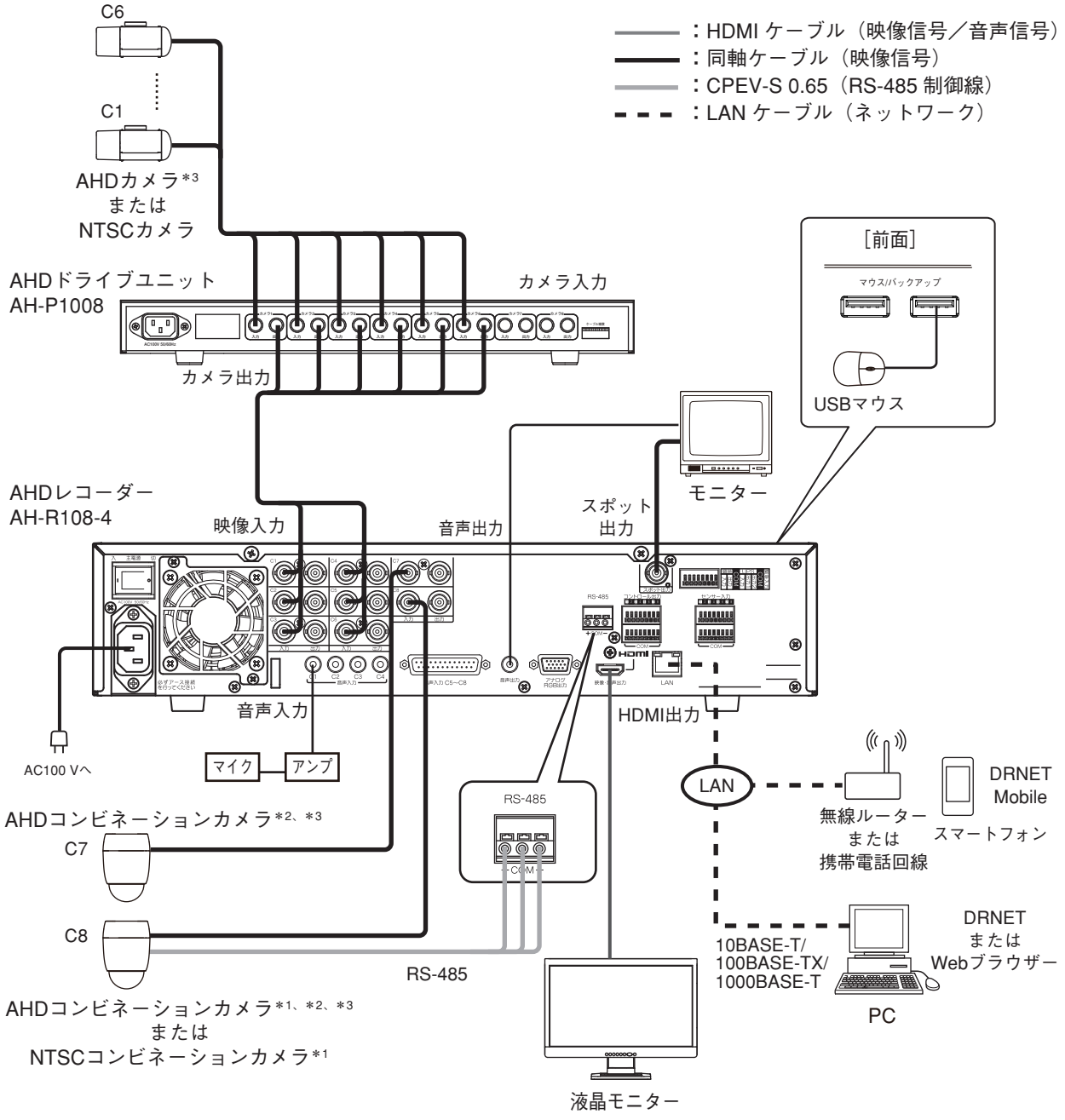
■ 基本システム



* コンビネーションカメラの通信方式（カメラプロトコル）は、タイプ B を使用してください。また、本機のカメラのプロトコルを「TOA-B」に設定してください。（P. 5-36「コンビネーションカメラ設定（PTZ）」）
コンビネーションカメラの通信方式については、コンビネーションカメラの取扱説明書をご覧ください。

■ コンビネーションカメラ制御システム

コンビネーションカメラの同軸多重制御（AHD コンビネーションカメラのみ）、および RS-485 制御するシステムです。



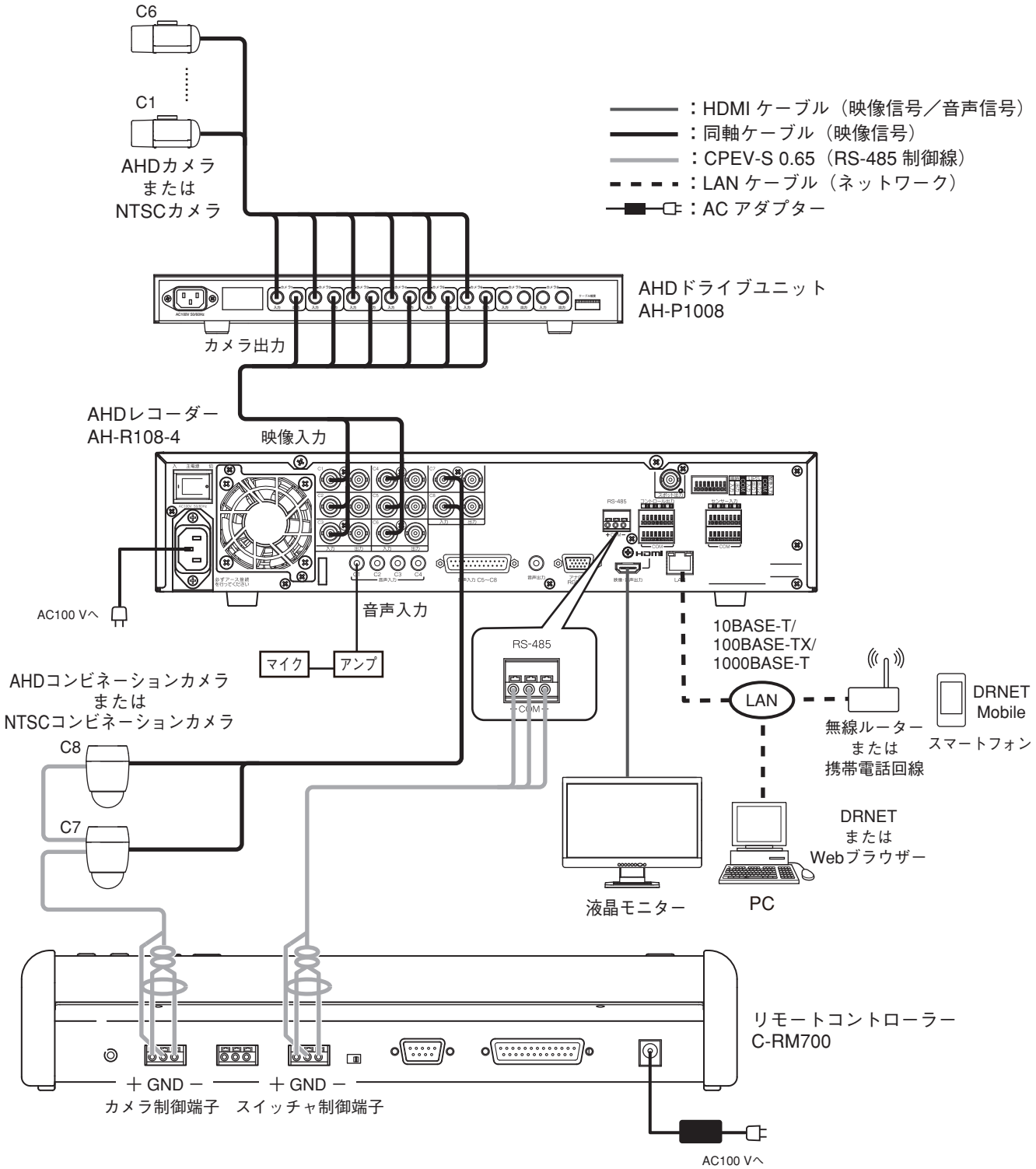
*1 コンビネーションカメラの通信方式（カメラプロトコル）は、タイプ B を使用してください。また、本機のカメラのプロトコルを「TOA-B」に設定してください。（P. 5-36「コンビネーションカメラ設定（PTZ）」）
コンビネーションカメラの通信方式については、コンビネーションカメラの取扱説明書をご覧ください。

*2 AHD コンビネーションカメラは、RS-485 制御および同軸多重制御が可能です。RS-485 制御する場合は、本機のカメラのプロトコルを「TOA-B」にしてください。同軸多重制御する場合は「同軸多重」に設定してください。同軸多重制御する場合、カメラ制御線（RS-485）の接続は不要です。（P. 5-36「コンビネーションカメラ設定（PTZ）」）

*3 AHD カメラと AHD コンビネーションカメラのケーブル延長距離には上限があります。
AHD カメラのメニュー表示／設定、および AHD コンビネーションカメラの操作／メニュー表示／設定を行うケーブルの最大延長距離は 500 m です。500 m を超える場合は RS-485 制御で操作してください。
カメラの延長距離については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

■ リモートコントローラーシステム

リモートコントローラー（C-RM700）を接続し、リモートコントローラーから 1 画面表示、分割画面表示、1 画面シーケンス表示､4 分割シーケンス表示を選択することができます。（P. 5-50「リモートコントローラーからの操作」）

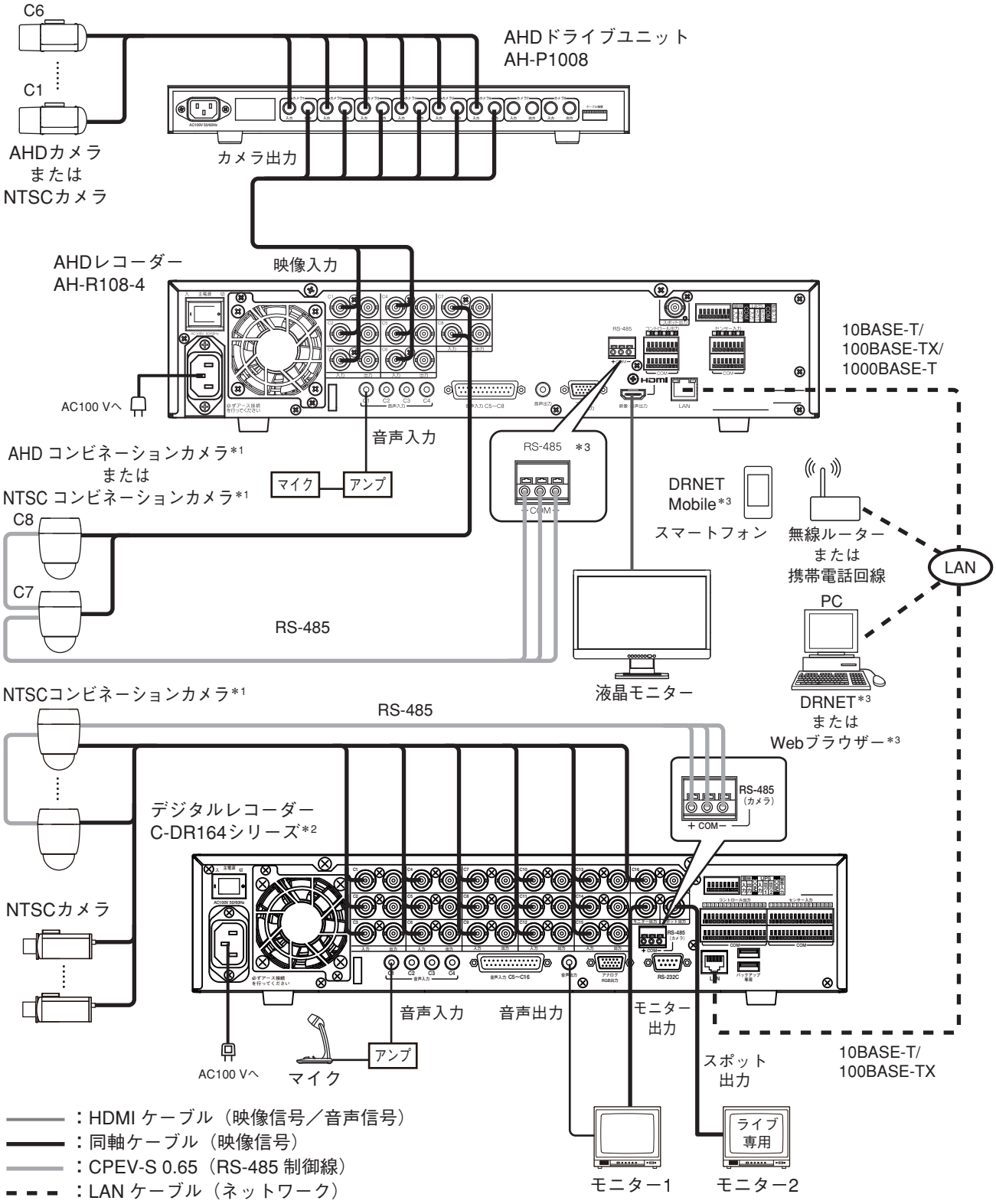


ご注意

本機とリモートコントローラー（C-RM700）のスイッチャ制御端子を接続して本機の画面を操作する場合は、本機の RS-485 の用途を「コントローラー」に設定してください。（P. 5-38「RS-485 設定」）
用途を「コントローラー」に設定すると、本機、DRNET、DRNET Mobile、および Web ブラウザーからコンビネーションカメラを操作することはできません。リモートコントローラー（C-RM700）にコンビネーションカメラの制御線を接続し、リモートコントローラー（C-RM700）から操作してください。

■ 多地点遠隔監視システム

ネットワークを経由して、DRNET、DRNET Mobile、および Web ブラウザーで多地点から遠隔監視することができます。



*1 コンビネーションカメラの通信方式（カメラプロトコル）は、タイプ B を使用してください。また、本機のカメラのプロトコルを「TOA-B」に設定してください。（P. 5-36「コンビネーションカメラ設定（PTZ）」）
コンビネーションカメラの通信方式については、コンビネーションカメラの取扱説明書をご覧ください。

*2 AHD レコーダー AH-R104P、AH-R108、AH-R116 シリーズ、HD-SDI レコーダー H-R021、H-R041、H-R042、H-R081、H-R161 シリーズ、デジタルレコーダー C-DR044、C-DR084、C-DR164、C-DV044、C-DV084、C-DV164 シリーズと組み合わせて使用できます。

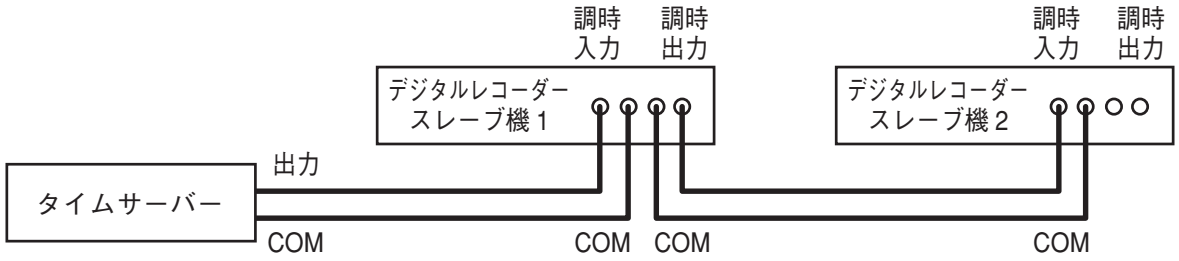
*3 多地点からコンビネーションカメラを操作する場合は、後優先になります。

■ 調時入出力端子の接続

調時入出力端子を接続し、複数台のデジタルレコーダーの時刻をあわせることができます。（P. 6-10「機器間の時刻を合わせる（調時機能）」）

● タイムサーバーで本機の時刻を合わせる場合

接点出力可能なタイムサーバーを使用してデジタルレコーダーを正確な時刻に合わせることができます。
このとき、デジタルレコーダーはスレーブ機に設定してください。
調時の接続は、タイムサーバーの出力とスレーブ機 1 の調時入力、スレーブ機 1 の調時出力とスレーブ機 2 の調時入力 と接続していきます。



メ　モ

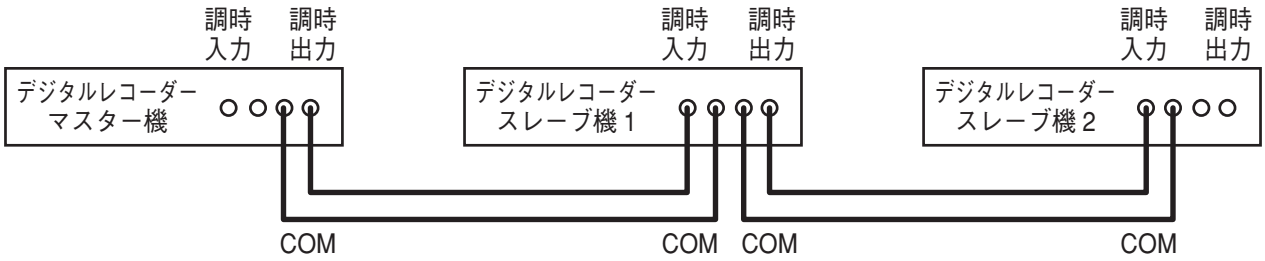
- 機器間の COM 端子を接続してください。
- ネットワーク上の NTP サーバーでデジタルレコーダーを正確な時刻に合わせることもできます。（P. 6-8「NTP 調時機能を設定する」）

● デジタルレコーダー間で時刻を合わせる場合

複数のデジタルレコーダーを調時入出力端子で接続すると、デジタルレコーダー間で時刻を同期させることができます。このとき、合わせたい時刻になっているデジタルレコーダーをマスター機、それ以外をスレーブ機に設定してください。
調時の接続は、マスター機の調時出力とスレーブ機 1 の調時入力、スレーブ機 1 の調時出力とスレーブ機 2 の調時入力 と接続していきます。

ご注意

使用環境により本機の内蔵時計に時刻のずれが生じる場合があります。
より正確な時刻で記録するために、タイムサーバーをご使用ください。



メ　モ

機器間の COM 端子を接続してください。

[デジタルレコーダーをマスター機にした場合の動作]

設定した調時時刻になると調時出力端子から 1 秒間出力します。

ご注意

デジタルレコーダーをマスター機にした場合、マスター機に調時入力端子からの入力があっても現在時刻は調時されません。入力端子には外部機器を接続しないでください。

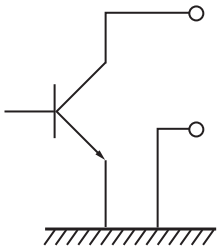
■ 無停電電源装置（UPS）の接続

無停電電源装置（UPS）と接続し、停電前後の録画データの消失を防止できます。

デジタルレコーダーは 2 つの UPS 出力（出力回路は下図）を持っています。UPS の入力端子仕様により、UPS 出力 1 または UPS 出力 2 を接続してください。

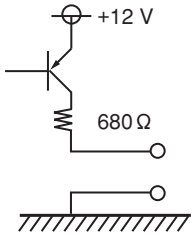
［UPS 出力 1 回路］

Open → Low



［UPS 出力 2 回路］

Open → Hi



停電が発生した場合、本機は UPS からの信号でシャットダウン状態に移行します。
UPS からの信号で本機をシャットダウン状態にするまでの時間は、電源異常待機時間で設定できます。
（P. 6-38「無停電電源装置（UPS）」）
シャットダウン状態では、電源キー ⏻ の LED が 5 秒ごとに点滅し、UPS からの電源供給が停止されるまで UPS 出力 1 と UPS 出力 2 から信号を出力します。

メ　モ

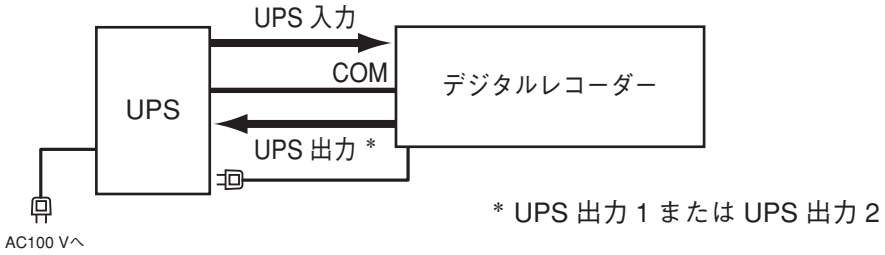
電源異常待機時間が経過する前に、電源の復旧などで UPS からの信号が無効となったときは、シャットダウン状態には移行しません。

ご注意

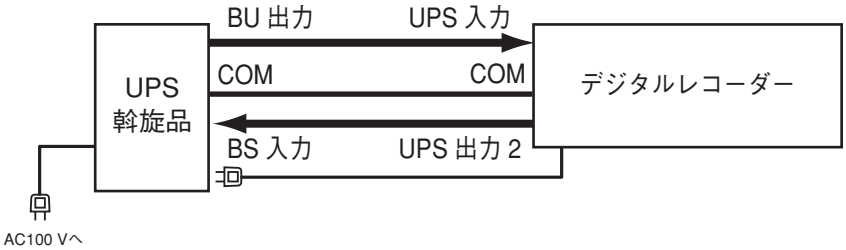
UPS は、電源出力の波形が正弦波の機器を使用してください。
矩形波の機器と接続した場合、本機または無停電電源装置（UPS）が故障することがあります。

● UPS にデジタルレコーダーを 1 台接続する場合

デジタルレコーダーから UPS に接続する UPS 出力端子は、「UPS 出力 1」または「UPS 出力 2」のどちらかを接続します。UPS の入力端子の仕様を確認して、どちらを接続するか選択してください。



斡旋品の UPS（BY50FW、BY75SW、または BW40T）を使用する場合は、以下の接続を行ってください。

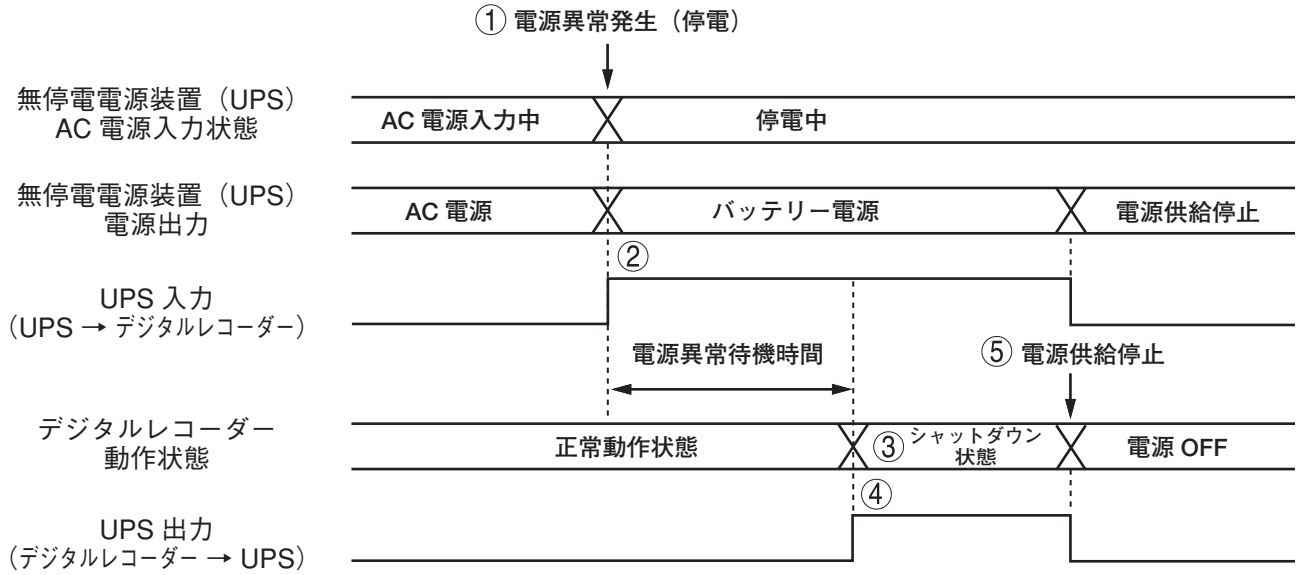


メ　モ

機器間の COM 端子を接続してください。

［電源異常発生時の動作］

UPS の AC 電源（AC100 V）に異常（停電）が発生したとき（下図 ①）、UPS からの信号（下図 ②）で本機は電源異常待機時間経過後にシャットダウン状態（下図 ③）になります。
このとき、本機から UPS に信号（下図 ④）を送り、UPS からの電源供給を停止（下図 ⑤）させることで、本機の電源を切ることができます。電源異常待機時間の設定については、P. 6-38「無停電電源装置（UPS）」を参照してください。

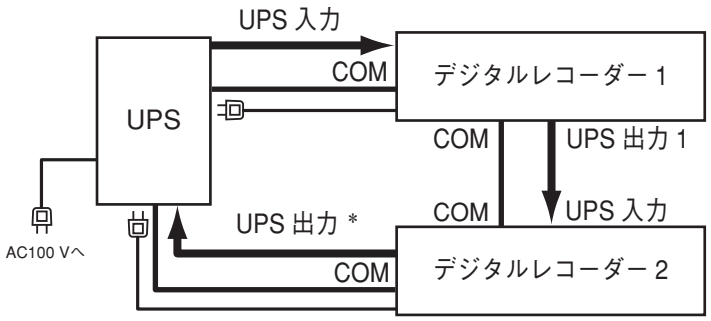


［復電後の動作］

UPS からの電源供給が再開されると自動的にシステムが起動します。（P. 6-38「停電復旧後の動作について」）

● UPS にデジタルレコーダーを 2 台接続する場合

デジタルレコーダー 1 からデジタルレコーダー 2 への UPS 出力は、「UPS 出力 1」を使用します。
デジタルレコーダー 2 から UPS に接続する UPS 出力端子は、「UPS 出力 1」または「UPS 出力 2」のどちらかを接続します。UPS の入力端子の仕様を確認して、どちらを接続するか選択してください。



* UPS 出力 1 または UPS 出力 2

メ　モ
機器間の COM 端子を接続してください。

［電源異常発生時の動作］

UPS の AC 電源（AC100 V）に異常（停電）が発生した場合、UPS からの信号でデジタルレコーダー 1 は電源異常待機時間が経過した後にシャットダウン状態となり、UPS 出力 1 を出力します。
デジタルレコーダー 1 の UPS 出力 1 によりデジタルレコーダー 2 は電源異常待機時間が経過したあとにシャットダウン状態となります。
このとき、デジタルレコーダー 2 から UPS に信号を送り、UPS からデジタルレコーダー 1 と 2 の電源供給を停止させることができます。
電源異常待機時間の設定については、P. 6-38「無停電電源装置（UPS）」を参照してください。

［復電後の動作］

UPS からの電源供給が再開されると自動的にシステムが起動します。（P. 6-38「停電復旧後の動作について」）

D-Sub プラグの組み立てかた

付属の D-Sub プラグを使って音声を入力します。

メ　モ

ピン配置については、P. 1-7「音声入力端子 C5 ～ C16（D-Sub 25P メス）㊳」を参照してください。

D-Sub プラグは、以下の手順で作成します。

1 コネクター本体の使用するピンに、電線をはんだ付けする。

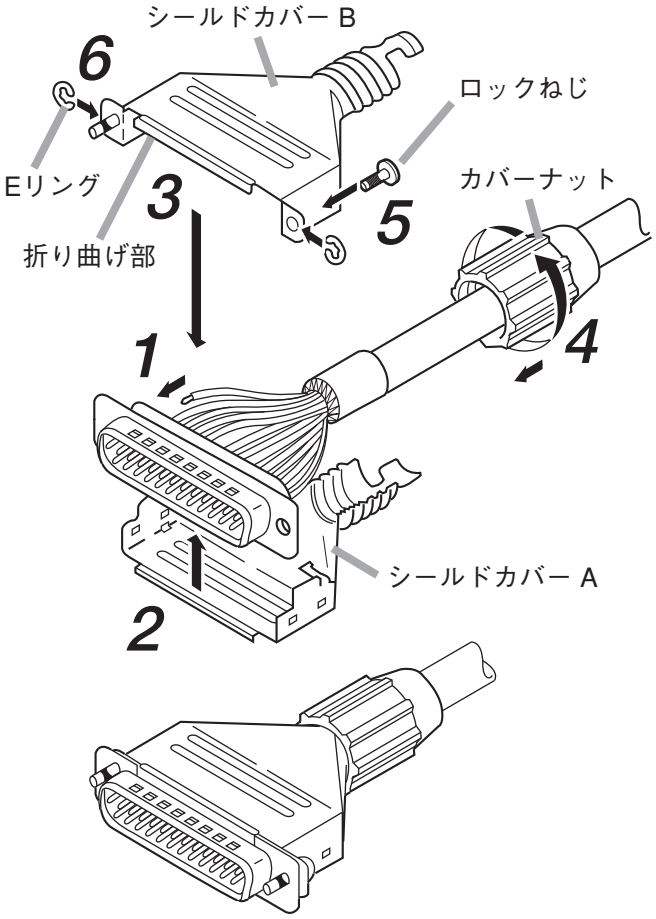
2 コネクター本体にシールドカバー A をかぶせる。

3 シールドカバー B をシールドカバー A に沿って合わせ、カバーの折り曲げ部がかかるまで押し込む。

4 カバーナットを締め付ける。

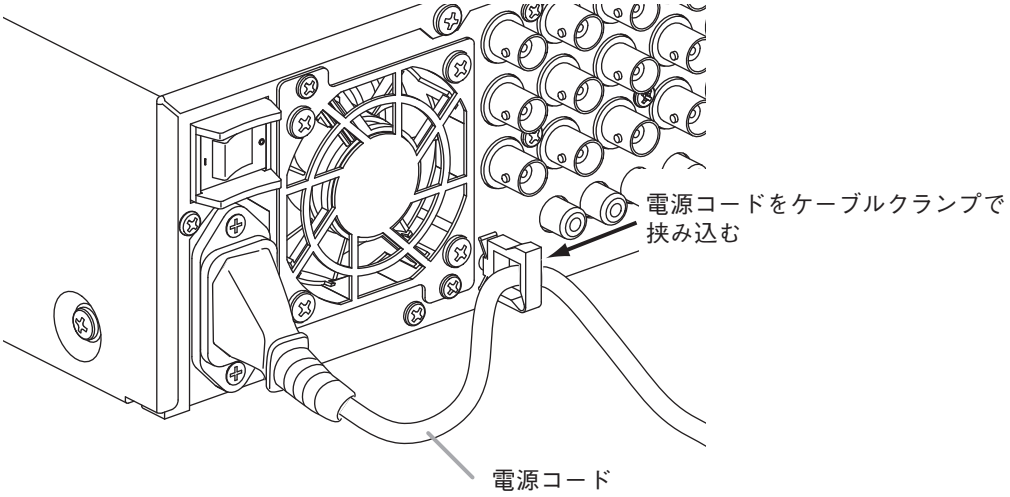
5 ロックねじを取り付ける。

6 E リングをねじに取り付ける。



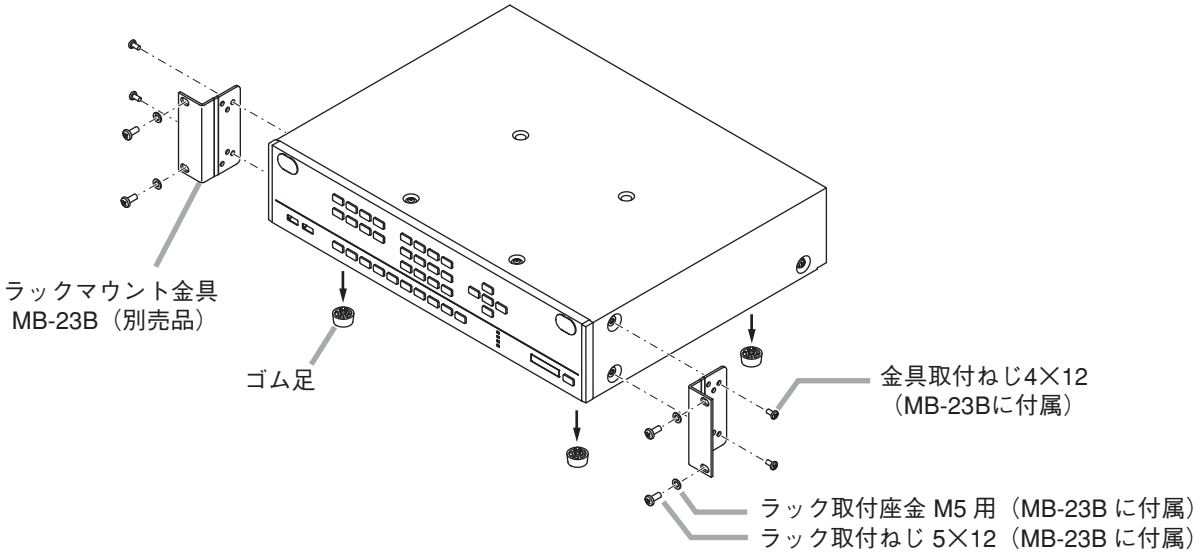
電源ケーブル用クランプの使いかた

電源インレットから電源ケーブルが抜けるのを防止します。
図のように電源コードを固定します。



ラックマウントのしかた

ラックに取り付けるときは別売の金具(MB-23B)を使用します。
底面のゴム足(4 個)を外してください。
ゴム足は固定しているねじをマイナスドライバーで緩めると外れます。

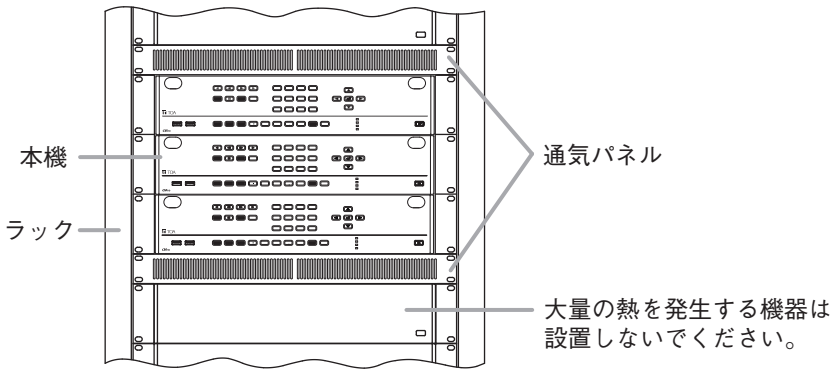


ご注意

- MB-23B に付属のラック取付ねじは、当社のラック専用です。他のラックには使用しないでください。
- 本機の使用温度範囲は 0℃～ +40℃です。ラック内部に外気が十分に通気できるように設置してください。
- 本機には冷却用ファンが内蔵されています。冷却用ファンの排気口は、絶対にふさがないでください。
- 振動の多い場所には設置しないでください。
- 本機への電源供給をパワーディストリビューター（PD-1130、PD-150)から行う場合、非連動の AC コンセントに接続してください。本機のシャットダウンを行わず主電源を切ると、ハードディスク内のデータが破損したりハードディスクが故障することがあります。
- 本機をラックなどに設置し、後面の主電源スイッチが操作できない場合は、スタンバイモードで起動した後で設置してください。ハードディスクが動作中に移動すると、振動によってハードディスクが故障することがあります。(スタンバイモードではハードディスクは動作していません。)
  スタンバイモード：前面の電源キー ⏻ を押しながら、後面の主電源スイッチを入れる。
- 本機の下に大量の熱を発生する機器(パワーアンプなど)は設置しないでください。
- 本機をラックマウントする場合は、本機の上下に 1U サイズ以上の通気パネル(PF-013B（別売品)等)を取り付けてください。

[複数台のラックマウントについて]

本機を 3 台以上ラックマウントする場合は、3 台ごとに通気パネルを上下に取り付けてください。



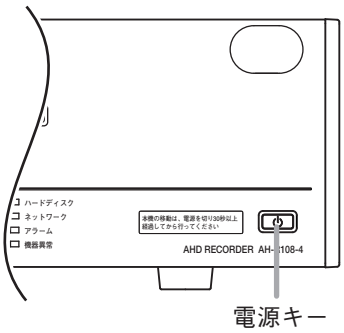
第 3 章

起動、終了と
システムの基本設定

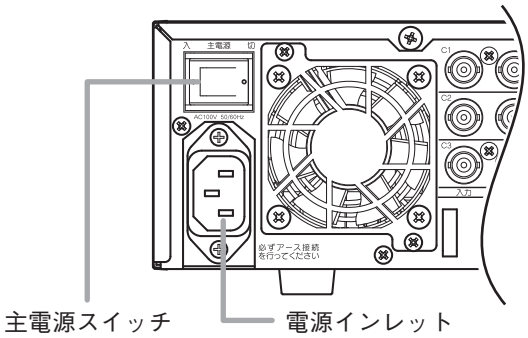
起動と終了

■ 本機の起動

［ 前面 ］



［ 後面 ］



1 各機器を正しく接続する。

2 電源プラグを電源インレットに差し込む。

3 後面の主電源スイッチを「入」にする。

ライブ映像が表示されます。

メ　モ

工場出荷後の初回起動時は、ログイン画面が表示されます。工場出荷後の初回起動時は、ユーザー ID は「Administrator」が選択されているため、変更できません。⇒ 手順 7 へ

［ログイン画面］

4 緊急録画キー以外のいずれかのキーを押す。

ログイン画面が表示されます。

メ　モ

オートログイン機能を有効にしている場合は、ログイン画面は表示されません。（P. 6-13「自動でログイン・ログアウトする」）

5 「ID」を選択し、⏎ キーを押す。

登録されたユーザー ID がすべて表示されます。

6 ログインしたいユーザー ID を選択し、⏎ キーを押す。

選択したユーザー ID が「ID」に表示されます。

7 ... ボタンを選択し、⏎ キーを押す。

「文字入力画面」が表示されます。（P. 3-16「文字を入力する」）

8 「文字入力画面」で、パスワードを入力し「OK」を選択する。

ログイン画面に戻ります。
入力したパスワードは「＊」で表示されます。

メ　モ

ユーザー ID「Administrator」と「Guest」の工場出荷時の初期パスワードは、どちらも「guest」に設定されています。運用前に必ずパスワードを変更してください。

9 「OK」を選択し、 キーを押す。

ログインが完了し、ライブ映像が表示されます。

メ　モ

- パスワードが異なりログインできないときは「パスワードが不正です。」とメッセージが表示されます。
- 工場出荷後の初回起動時は、ログインが完了すると自動的に簡易設定画面が表示されますので、必要な設定を行ってから本機を使用してください。（P. 3-14「簡易設定」）
  2 回目以降の起動時は、前回本機を終了したときの状態（1 画面または分割画面）でライブ映像が表示されます。

ご注意

- 本機の動作中に主電源スイッチを「切」にしないでください。また、電源プラグを抜かないでください。設定メニューのデータ破損やハードディスク内のデータ破損、ハードディスク故障の原因となることがあります。
- 本機の移動は、電源を切り 30 秒以上経過してから行ってください。

● 電源投入時にスタンバイモードにする

本機をスタンバイモードにしておくと、前面の電源キー ⏻ を押して起動させることができます。
スタンバイモードでは、ハードディスクは動作していないため、本機を移動してもハードディスクへの影響がありません。
後面の主電源スイッチの操作がしづらい場合には、スタンバイモードにしたあとで設置してください。

1 **後面の主電源スイッチが「切」になっていることを確認する。**

2 **各機器を正しく接続する。**

3 **電源プラグを電源インレットに差し込む。**

4 **前面の電源キー ⏻ を押しながら、後面の主電源スイッチを「入」にする。**

スタンバイモードになります。
スタンバイモード時は、電源キーの ⏻ LED が 5 秒ごとに点滅し、モニターに映像は出力されません。

● スタンバイモードから起動する

本機がスタンバイモード時は、前面の電源キー ⏻ で起動させることができます。
スタンバイモード時は、電源キーの ⏻ LED が 5 秒ごとに点滅し、モニターに映像は出力されません。

手順 ：前面の電源キー ⏻ を押す。

本機が起動します。

メ　モ

本機の動作中にスタンバイモードにするには、P. 3-5「本機を終了する」を参照してください。

■ 本機の終了

● 本機を終了する

ご注意

シャットダウン権限を持つユーザーだけがシャットダウンを実行できます。（P. 6-14「ユーザー設定」）

1 電源キー ⏻ を押す。

ログイン画面が表示されます。
ログイン中は、ログイン画面は表示されません。
⇒ 手順 6 へ

［ログイン画面］

2 シャットダウン権限を持つユーザーの ID を選択し、⏎ キーを押す。

選択したユーザー ID が「ID」に表示されます。

3 ... ボタンを選択し、⏎ キーを押す。

「文字入力画面」が表示されます。（P. 3-16「文字を入力する」）

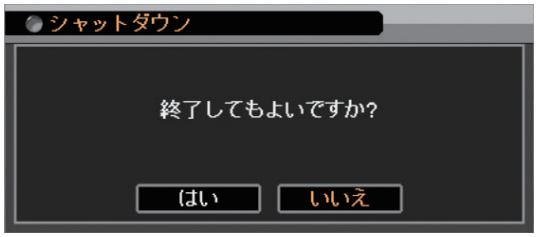
4 「文字入力画面」で、パスワードを入力し「OK」を選択する。

ログイン画面に戻ります。
入力したパスワードは「＊」で表示されます。

メ　モ

ユーザー ID「Administrator」と「Guest」の工場出荷時の初期パスワードは、どちらも「guest」に設定されています。運用前に必ずパスワードを変更してください。

［シャットダウン確認画面］



5 「OK」を選択し、⏎ キーを押す。

シャットダウン確認画面が表示されます。

メ　モ

パスワードが異なりログインできないときは「パスワードが不正です」とメッセージが表示されます。

6 シャットダウン確認画面で「はい」を選択し、⏎ キーを押す。

シャットダウン実行画面が表示され、シャットダウン実行中は「システムを終了しています...」とメッセージが表示されます。
システムが正常に終了するとスタンバイモードになります。

メ　モ

スタンバイモード時は、電源キー ⏻ の LED が 5 秒ごとに点滅します。モニターに映像は出力されません。

［シャットダウン実行画面］

7 **スタンバイモードになっていることを確認し、後面の主電源スイッチを「切」にする。**

電源が切れます。

ご注意

- 本機の動作中に主電源スイッチを「切」にしないでください。また、電源プラグを抜かないでください。設定メニューのデータ破損やハードディスク内のデータ破損、ハードディスク故障の原因となることがあります。必ず上記手順で電源を切るようにしてください。
- 本機の移動は、電源を切り 30 秒以上経過してから行ってください。

● 設定メニューから本機を終了する

ご注意

シャットダウン権限を持つユーザーだけがシャットダウンを実行できます。（P. 6-14「ユーザー設定」）

1 **メニューキーを押す。**

ログイン画面が表示されます。
ログイン中は、ログイン画面は表示されません。
⇒ 手順 6 へ

ログイン画面

2 **シャットダウン権限を持つユーザーの ID を選択し、⏎ キーを押す。**

選択したユーザー ID が「ID」に表示されます。

3 **... ボタンを選択し、⏎ キーを押す。**

「文字入力画面」が表示されます。（P. 3-16「文字を入力する」）

4 **「文字入力画面」で、パスワードを入力し「OK」を選択する。**

ログイン画面に戻ります。
入力したパスワードは「＊」で表示されます。

メ　モ

ユーザー ID「Administrator」と「Guest」の工場出荷時の初期パスワードは、どちらも「guest」に設定されています。運用前に必ずパスワードを変更してください。

設定メニュー画面

5 **「OK」を選択し、⏎ キーを押す。**

設定メニュー画面が表示されます。

メ　モ

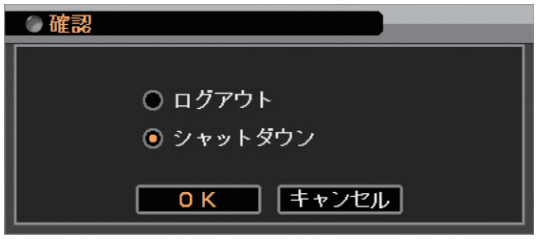
パスワードが異なりログインできないときは「パスワードが不正です」とメッセージが表示されます。

6 **設定メニュー画面で「ログアウト・シャットダウン」を選択し、⏎ キーを押す。**

ログアウト・シャットダウン確認画面が表示されます。

7 **ログアウト・シャットダウンの確認画面で「シャットダウン」を選択し、⏎ キーを押す。**

ログアウト・シャットダウン確認画面



8 **「OK」を選択し、⏎ キーを押す。**

シャットダウン確認画面が表示されます。

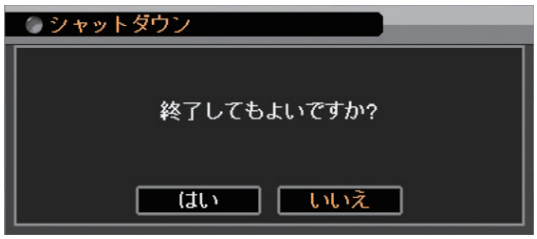
9 シャットダウン確認画面で「はい」を選択し、⏎ キーを押す。

シャットダウン実行画面が表示され、シャットダウン実行中は「システムを終了しています...」とメッセージが表示されます。
システムが正常に終了するとスタンバイモードになります。

メ　モ

スタンバイモード時は、電源キー ⏻ の LED が 5 秒ごとに点滅し、モニターに映像は出力されません。

シャットダウン確認画面



シャットダウン実行画面

10 スタンバイモードになっていることを確認し、後面の主電源スイッチを「切」にする。

電源が切れます。

ご注意

- 本機の動作中に主電源スイッチを「切」にしないでください。また、電源プラグを抜かないでください。設定メニューのデータ破損やハードディスク内のデータ破損、ハードディスク故障の原因となることがあります。必ず上記手順で電源を切るようにしてください。
- 本機の移動は、電源を切り 30 秒以上経過してから行ってください。

基本操作

本機は、前面キーによる操作とマウスによる操作ができます。
マウスでも前面キーと同様の操作を行うことができます。

■ 前面キーによる基本操作

本機の操作は、基本的に機器の設定と機器の操作からなります。

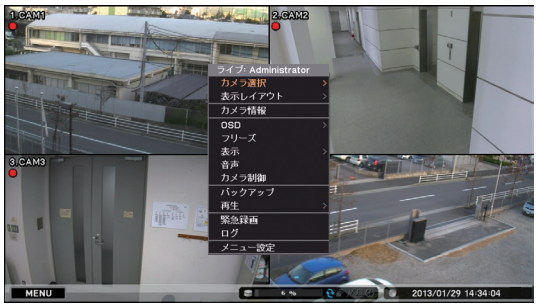
機器の設定：カメラ名の決定や録画設定など、本機を使用するときの設定を行います。
本機の設定は「設定メニュー」から行ってください。

機器の操作：表示カメラの変更や再生操作などを行います。
本機の操作は「操作メニュー」から行ってください。

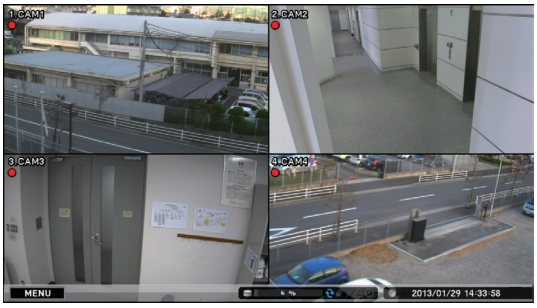
本機の設定と操作は、前面キーのメニューキー、上下左右キー、決定キーで行います。（P. 1-4「各部の名称とはたらき」）
その他の必要なキー操作については、各章で説明します。

［設定メニュー］

［操作メニュー］



［ライブ／再生画面］

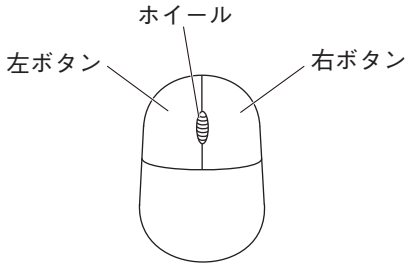


	メニューキー MENU	上下左右キー ▲ ▼ ◀ ▶	決定キー ↵
設定メニュー	設定メニュー画面の階層を戻る	カーソルを移動する、選択している数値を増減させる	選択している項目（オレンジ色）を決定する
ライブ画面	設定メニュー画面を表示させる	1 画面表示中のカメラチャンネルや分割画面表示中のレイアウトのページを送る	操作メニューを表示させる
再生画面	操作メニューを表示させる	1 画面表示中のカメラチャンネルや分割画面表示中のレイアウトのページを送る	—
操作メニュー	操作メニューを終了する	操作メニューのカーソルを移動させる	選択している項目（オレンジ色）を決定する

■ マウスによる操作

市販の USB 接続のマウスを前面のマウス／バックアップ端子に接続すると本機の操作ができます。

メ　モ USB1.1 規格対応のマウスを使用してください。



ダブルクリック　：左ボタンを素早く 2 回押すことです。
クリック　：左ボタンを 1 回押すことです。
右クリック　：右ボタンを 1 回押すことです。
　　：マウスポインター

	ダブルクリック	クリック	右クリック	ホイール
設定メニュー画面	—	ボタンの選択／解除	—	選択している数値を増減させる
ライブ画面／再生画面	1 画面、分割画面の切り換え*	ボタンの選択	操作メニューの表示／非表示	—

* 1 画面表示中は、直前に表示していた分割画面に切り換わります。分割画面表示中は、ダブルクリックしたチャンネルの 1 画面に切り換わります。

■ モニター出力の画面表示

モニター出力は HDMI 出力、アナログ RGB 出力とスポット出力があります。
スポット出力は、ライブ映像専用の出力で 1 画面、分割画面、シーケンス表示に対応しています。
また、HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を出力することもできます。（P. 4-21「スポット出力」）

メ　モ
- HDMI 出力とアナログ RGB 出力は、同じ映像を出力します。
- スポット出力をライブ映像専用の出力に設定しているときは OSD 表示はできません。

○：表示可　×：表示不可

表示画面	ライブ画面							再生画面				設定メニュー画面
	1 画面	分割画面	シーケンス	電子ズーム	PIP	フリーズ	操作メニュー	1 画面	分割画面	電子ズーム	操作メニュー	
HDMI 出力 アナログ RGB 出力 スポット出力*	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
ライブ映像専用	○	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×

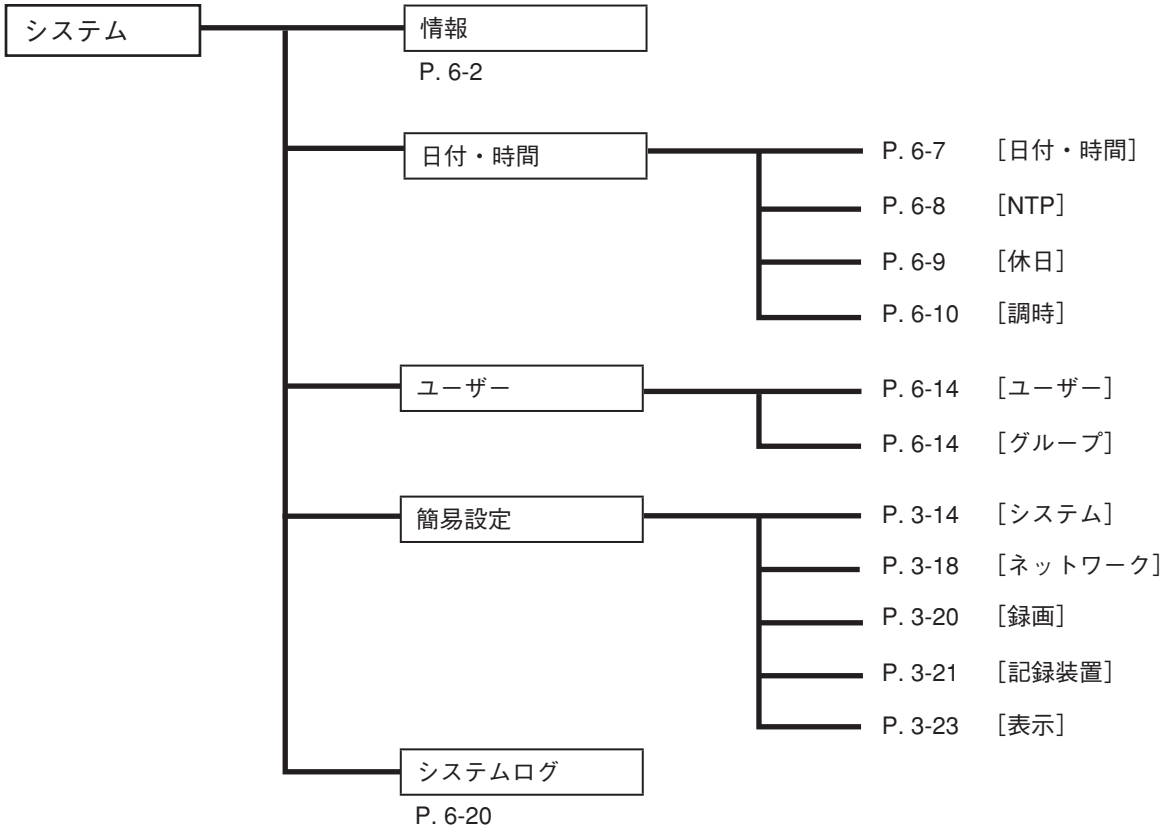
* スポット出力は、工場出荷時は HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を出力します。

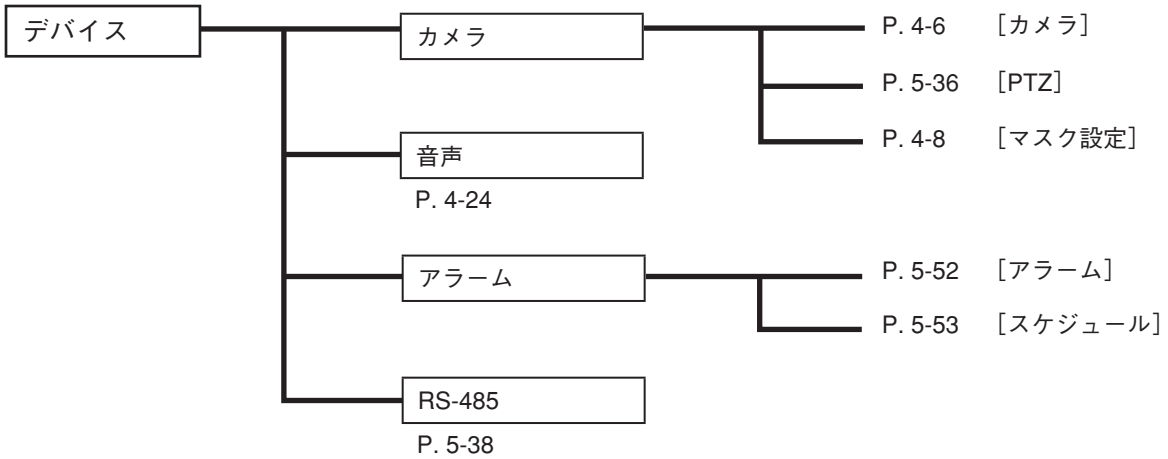
■ 設定メニュー項目について

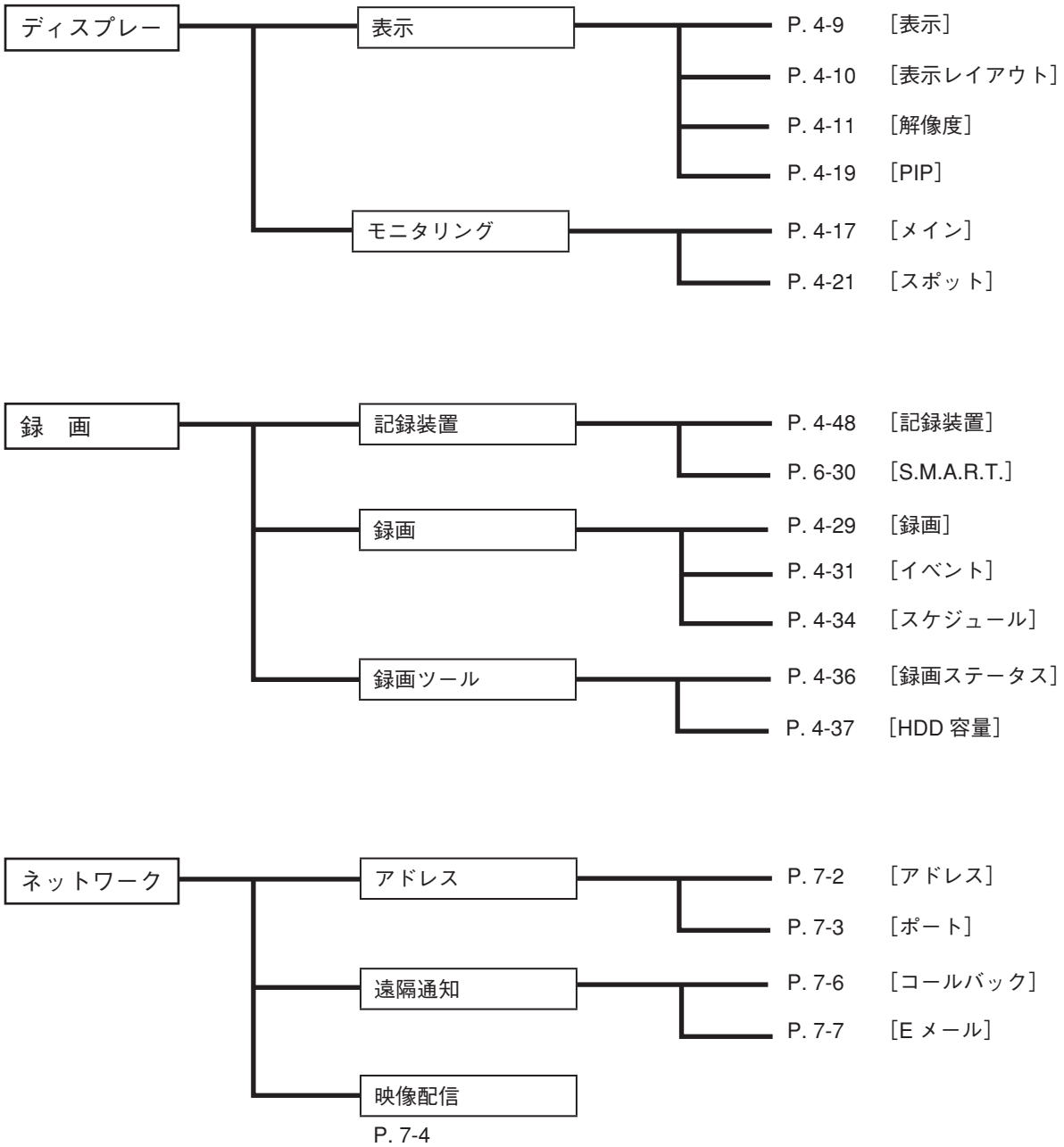
設定メニューの設定項目は、次の７つから構成されています。

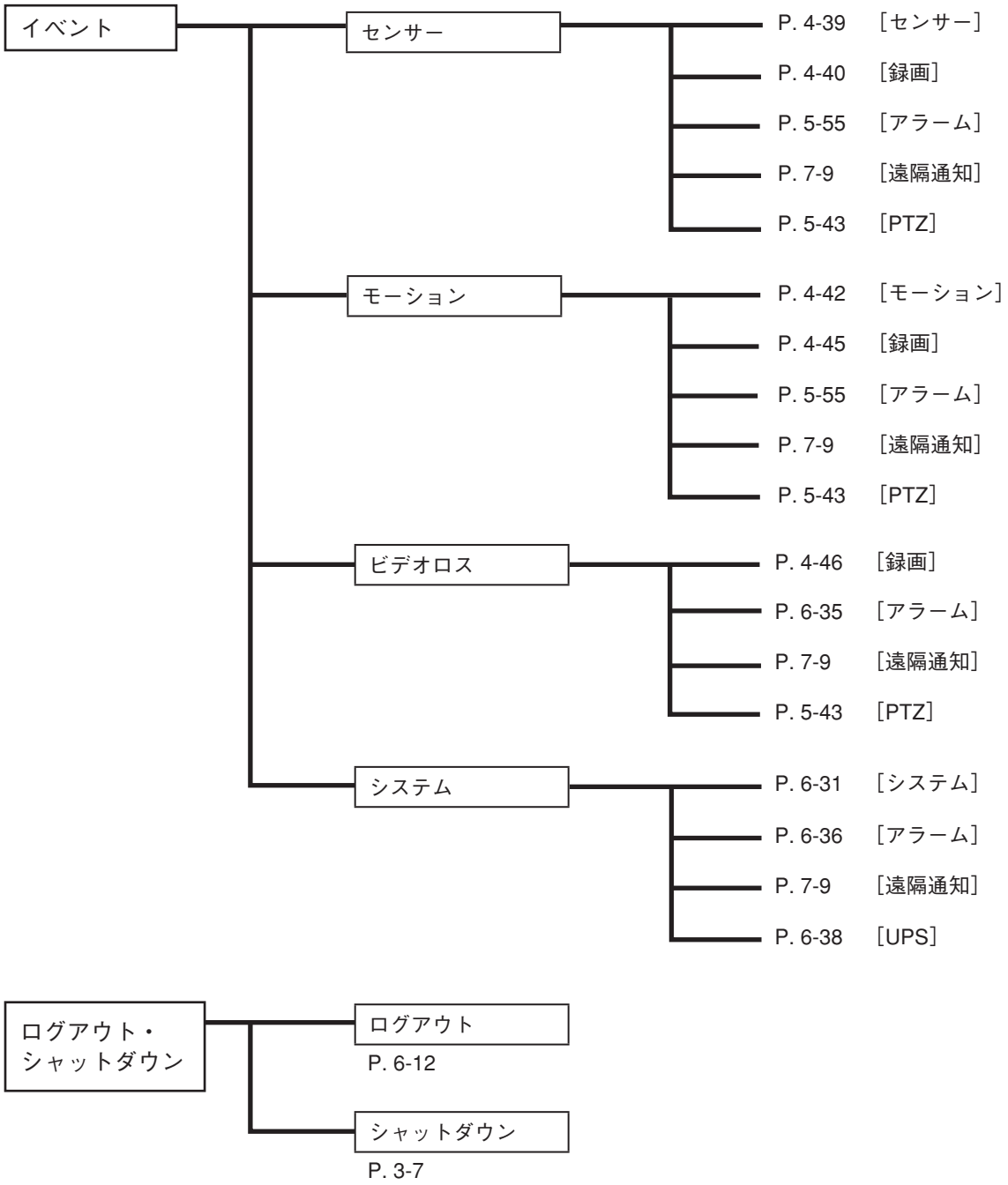
- システム設定
- デバイス設定
- ディスプレー設定
- 録画設定
- ネットワーク設定
- イベント設定
- ログアウト・シャットダウン

設定メニュー画面






ディスプレー
表示
P. 4-9　［表示］
P. 4-10　［表示レイアウト］
P. 4-11　［解像度］
P. 4-19　［PIP］
モニタリング
P. 4-17　［メイン］
P. 4-21　［スポット］
録　画
記録装置
P. 4-48　［記録装置］
P. 6-30　［S.M.A.R.T.］
録画
P. 4-29　［録画］
P. 4-31　［イベント］
P. 4-34　［スケジュール］
録画ツール
P. 4-36　［録画ステータス］
P. 4-37　［HDD 容量］
ネットワーク
アドレス
P. 7-2　［アドレス］
P. 7-3　［ポート］
遠隔通知
P. 7-6　［コールバック］
P. 7-7　［E メール］
映像配信
P. 7-4


イベント
センサー
P. 4-39 ［センサー］
P. 4-40 ［録画］
P. 5-55 ［アラーム］
P. 7-9 ［遠隔通知］
P. 5-43 ［PTZ］
モーション
P. 4-42 ［モーション］
P. 4-45 ［録画］
P. 5-55 ［アラーム］
P. 7-9 ［遠隔通知］
P. 5-43 ［PTZ］
ビデオロス
P. 4-46 ［録画］
P. 6-35 ［アラーム］
P. 7-9 ［遠隔通知］
P. 5-43 ［PTZ］
システム
P. 6-31 ［システム］
P. 6-36 ［アラーム］
P. 7-9 ［遠隔通知］
P. 6-38 ［UPS］
ログアウト・
シャットダウン
ログアウト
P. 6-12
シャットダウン
P. 3-7

簡易設定

■ 簡易設定について

本機の初回起動時に簡易設定画面が表示され、本機の基本的な設定を変更できます。
使用する前に、必要な設定を行ってください。
初回起動以降も設定メニューの「システム」→「簡易設定」で簡易設定画面を表示できます。

簡易設定は、次の 5 つの基本設定によって構成されています。

- システム設定　⇒　P. 3-14「システム設定を行う（簡易設定）」
  ⇒　P. 3-16「文字を入力する」
  ⇒　P. 3-17「パスワードを設定する」
- ネットワーク設定　⇒　P. 3-18「ネットワーク設定を行う（簡易設定）」
- 録画設定　⇒　P. 3-20「録画設定を行う（簡易設定）」
- 記録装置　⇒　P. 3-21「ハードディスクをフォーマットする（簡易設定）」
- 表示設定　⇒　P. 3-23「表示設定を行う（簡易設定）」

● システム設定を行う（簡易設定）

日付、時刻設定、言語設定、Administrator パスワードの設定など、本機の基本的な設定を行います。

ご注意
ユーザー ID「Administrator」と「Guest」の工場出荷時の初期パスワードは、どちらも「guest」に設定されています。運用前に必ずパスワードを変更してください。

［システム設定画面］

① DVR 名　：デジタルレコーダーの名前を設定します。 ↵ キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。英数、記号で最大 32 文字まで入力できます。（P. 3-16「文字を入力する」）
設定した DVR 名は、遠隔通知機能で E メール送信するときの E メールや DRNET の Callback イベントリストに表示されます。

ご注意
「＼」「,」「%」は DVR 名に使用しないでください。
DRNET や DRNET Mobile と接続して使用したときに正しく表示されないことがあります。

② 言語　：表示言語を設定します。
日本語に設定されています。設定は変更しないでください。

③ Administrator パスワード　：「設定」を押すと、パスワード設定画面が表示されます。
Administrator のパスワードを入力します。（P. 3-17「パスワードを設定する」）

④ タイムゾーン　：標準時間に対する時差を設定します。
「（GMT+ 09 : 00）Osaka, Sapporo, Tokyo」に設定されています。設定は変更しないでください。

⑤ 日付　：日付を設定します。
左右キーで年・月・日を選択し、上下キーで数値を変更します。

⑥ 表示形式変更　：日付の表示方法を設定します。
［選択］
年ー月ー日
年／月／日
月ー日ー年
月／日／年
日ー月ー年
日／月／年

⑦ 時間　：時刻を設定します。
左右キーで時・分・秒を選択し、上下キーで数値を変更します。

⑧ 表示形式変更　：時刻の表示方法を設定します。
［選択］
時 : 分 : 秒　AM（PM）　：12 時間表示
時 : 分 : 秒　：24 時間表示

⑨ ≫　：設定を保存してネットワーク設定画面に移ります。

⑩ 閉じる　：設定を保存せずに簡易設定を終了します。

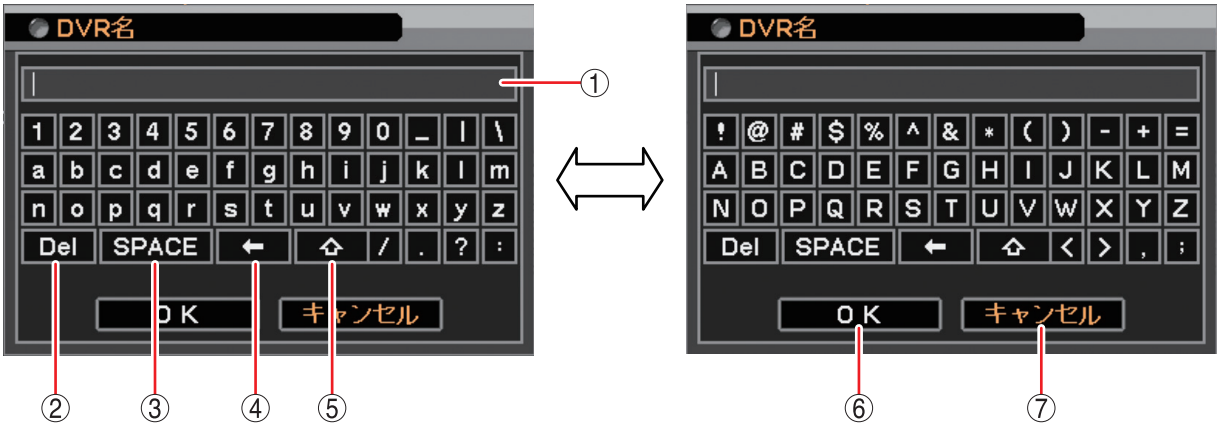
メ　モ

設定メニューの「システム」→「情報」（P. 6-2「システム情報」）、「システム」→「日付・時間」→「日付・時間」タブ（P. 6-7「現在時刻を変更する」）、「システム」→「ユーザー」→「ユーザー」タブ（P. 6-17「ユーザー設定」）で同様の設定ができます。

● 文字を入力する

DVR 名やカメラ名などを英数、記号で入力します。

［文字入力画面］



① 名称表示部　：入力した名称が表示されます。

② Del　：カーソル位置の右側の 1 文字を削除します。

③ SPACE　：1 文字分の空白を入力します。

④ ←　：カーソル位置の左側の 1 文字を削除します。

⑤ ⇧　：大文字入力と小文字入力の 2 つの画面を切り換えます。

⑥ OK　：入力した名称を保存して前画面に戻ります。

⑦ キャンセル　：入力した名称を保存せずに前画面に戻ります。

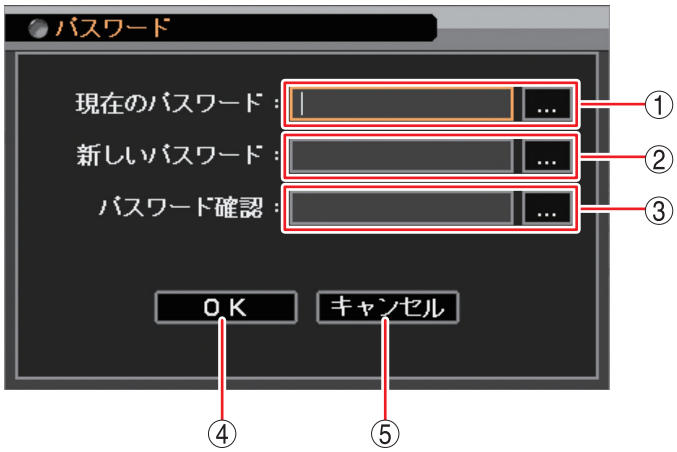
● パスワードを設定する

本機で各種操作や設定変更などを行うためには、それぞれの機能の操作権限を持つユーザー ID で本機にログインする必要があります。本機では、あらかじめ管理者レベルのユーザー「Administrator」が登録されています。（P. 6-14「ユーザー設定」）
ここでは「Administrator」で本機にログインするためのパスワードを設定します。
パスワードは大小英字、数字、記号を使用して、最小 4 文字から最大 16 文字まで入力できます。

ご注意

パスワードは本機を操作するうえで非常に重要な情報です。パスワードを忘れないよう、メモを取るなどして大切に保管してください。

［パスワード設定画面］



① 現在のパスワード　：［...］ボタンを選択し、［↵］キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。
現在のパスワードを入力します。入力した文字は「＊」で表示されます。
ユーザーを新しく追加するときは「現在のパスワード」の入力は不要です。（P. 3-16「文字を入力する」）

② 新しいパスワード　：［...］ボタンを選択し、［↵］キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。
新たに登録したいパスワードを入力します。入力した文字は「＊」で表示されます。（P. 3-16「文字を入力する」）

③ パスワード確認　：［...］ボタンを選択し、［↵］キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。
確認のため、「新しいパスワード」と同じ文字を入力します。入力した文字は「＊」で表示されます。（P. 3-16「文字を入力する」）

④ OK　：新しいパスワードを設定して前画面に戻ります。

⑤ キャンセル　：設定せずに前画面に戻ります。

メ　モ

- 「文字入力画面」で入力した文字数が少ないときは、「パスワードが不正です。パスワードは 4 文字以上です。」とメッセージが表示されます。
- 「パスワード設定画面」で入力したパスワードが異なる場合は、以下のメッセージを表示します。
  - 「現在のパスワード」が異なるとき
    パスワードが不正です。
  - 「新しいパスワード」と「パスワード確認」が異なるとき
    パスワードが違います。

● ネットワーク設定を行う（簡易設定）

ネットワークへ接続するための設定を行います。

［ネットワーク設定画面］

① 形式　：ネットワークへの接続方法を選択します。
［選択］
固定 IP　：固定 IP アドレスを設定して接続します。IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力してください。
DHCP　：DHCP サーバーから自動で割り振られる IP アドレスを使用して接続します。

② IP アドレス　：固定 IP を選択した場合に設定します。左右キーで数値を選択し、上下キーで数値を変更します。

③ サブネットマスク　：固定 IP を選択した場合に設定します。左右キーで数値を選択し、上下キーで数値を変更します。

④ ゲートウェイ　：固定 IP を選択した場合に設定します。左右キーで数値を選択し、上下キーで数値を変更します。

⑤ DNS サーバーアドレス（自動）：DHCP サーバーから自動で割り振られる DNS サーバーアドレスを使用して接続する場合にチェックを入れます。

⑥ DNS サーバー　：「DNS サーバーアドレス（自動）」が選択されていない場合に DNS サーバーの IP アドレスを設定します。左右キーで数値を選択し、上下キーで数値を変更します。

⑦ ポート　：ネットワークへ接続するための「ポート設定画面（P. 3-19）」が表示されます。

⑧ <<　：設定を保存せずにシステム設定画面に戻ります。

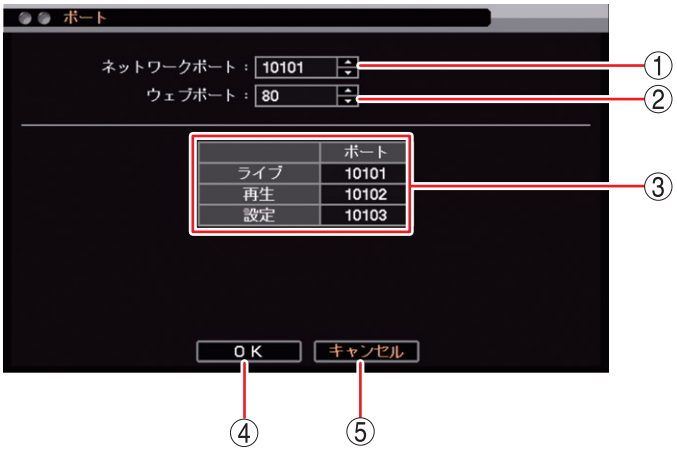
⑨ >>　：設定を保存して録画設定画面に移ります。

⑩ 閉じる　：設定を保存せずに簡易設定を終了します。

メ　モ

- DNS サーバーは、ドメイン名で指定された NTP サーバーやメールサーバーの IP アドレスを取得するために使用します。
- 設定メニューの「ネットワーク」→「アドレス」→「アドレス」タブ（P. 7-2「IP アドレスを設定する」、P. 7-3「ポートを設定する」）で同様の設定ができます。

［ポート設定画面］



① ネットワークポート ：DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーに映像配信するときに使用する本機のポート番号を設定します。上下キーで 1500 ～ 32000 から数値を選択します。

② ウェブポート ：Web ブラウザーと接続するための本機のポート番号を設定します。上下キーで 80 ～ 32000 から数値を選択します。

③ ポート番号 ：本機で使用するポート番号が表示されます。

ライブ ：遠隔監視に使用するポート番号です。①で設定した「ネットワークポート」の番号が割り振られます。

再生 ：遠隔再生に使用するポート番号です。①で設定した「ネットワークポート」に 1 を加えた番号が割り振られます。

設定 ：遠隔設定に使用するポート番号です。①で設定した「ネットワークポート」に 2 を加えた番号が割り振られます。

④ OK ：設定を保存して前画面に戻ります。

⑤ キャンセル ：設定を保存せずに前画面に戻ります。

メ　モ

ネットワークポート（ライブ、再生、設定）とウェブポートに同じ番号は使用できません。同じ番号にすると警告メッセージが表示されますので、異なる番号を設定してください。

● 録画設定を行う（簡易設定）

録画の基本設定を行います。
工場出荷時は連続録画を行うように録画スケジュールが設定されています。接続したすべてのカメラを以下の画面の条件で録画します。

［録画設定画面］

① 上書き　：ハードディスクのすべての領域に録画データが書き込まれたときに、自動的に古い情報を消しながら録画を継続する場合にチェックを入れます。

ご注意

上書きが選択されていない場合は、ハードディスクのすべての領域に録画データが書き込まれた時点で録画を停止します。

② 緊急録画を使用　：緊急録画を使用する場合はチェックを入れます。

ご注意

「緊急録画を使用」が選択されていない場合は、緊急録画キーを押す、ライブ操作メニューや再生操作メニューで緊急録画を選択する、または、緊急録画入力端子に入力があっても、緊急録画は行いません。

③ ips（image per second）　：連続録画、イベント録画、緊急録画のカメラ 1 台あたりの録画レートを設定します。
1 ～ 30 ips で設定します。

④ 画質　：連続録画、イベント録画、緊急録画の画質を設定します。
［選択］最高／高／標準／中／低

⑤ 解像度　：録画データの解像度を選択します。
［選択］
Full HD ：1920 × 1080　HD ：1280 × 720　WD1 ：944 × 480
D1 ：704 × 480　CIF ：352 × 240

ご注意

- NTSC カメラを接続しているチャンネルは、Full HD または HD を選択した場合、WD1 の解像度で録画されます。
- NTSC カメラを接続して Full HD を選択した場合は、総録画レートは 240 ips に制限されます（16 局用のみ）。（P. 4-27「録画レートについて」）

⑥ ≪　：設定を保存せずにネットワーク設定画面に戻ります。

⑦ ≫　：設定を保存して記録装置画面に移ります。

⑧ 閉じる　：設定を保存せずに簡易設定を終了します。

メ　モ

設定メニューの「録画」→「録画」→「録画」タブ（P. 4-29「録画共通設定をする」）で同様の設定ができます。

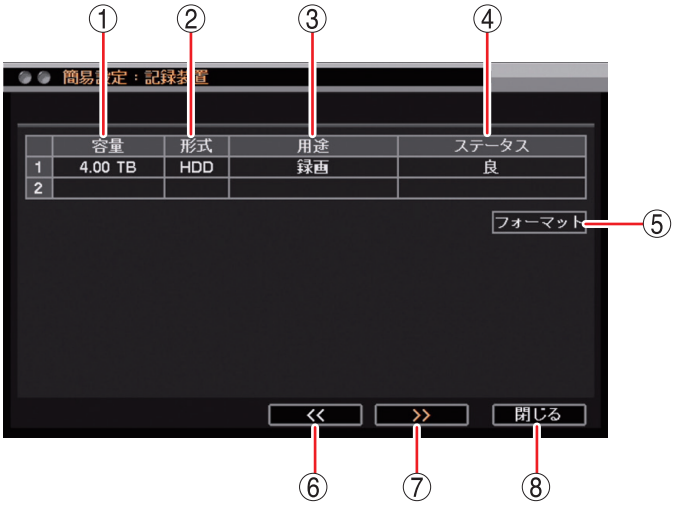
● ハードディスクをフォーマットする（簡易設定）

ハードディスク内の録画データをすべて消去して使用する場合にハードディスクをフォーマットします。

ご注意

- フォーマットすると、ハードディスク内の録画データ、イベントログが消去されます。ハードディスクに必要な録画データがある場合は、あらかじめ USB メモリーに保存してください。ただし、イベントログは保存できません。（P. 5-15「バックアップのしかた」）
- フォーマット中に主電源スイッチを「切」にしないでください。また、電源プラグを抜かないでください。ハードディスク内のデータ破損やハードディスク故障の原因となることがあります。

［記録装置画面］



① 容量　：記録装置の容量を表示します。

② 形式　：「HDD」と表示します。

③ 用途　：「録画」と表示します。

④ ステータス　：記録装置の状態を表示します。

ご注意

「不良」と表示されている場合は、ハードディスクエラーです。フォーマットを行ってください。
フォーマットしても「不良」と表示される場合には、ハードディスクを交換する必要があります。販売店へお問い合わせください。

⑤ フォーマット　：ハードディスクをフォーマットします。

⑥ <<　：録画設定画面に戻ります。

⑦ >>　：表示設定画面に移ります。

⑧ 閉じる　：簡易設定を終了します。

メ　モ

設定メニューの「録画」→「記録装置」→「記録装置」タブ（P. 4-48「記録装置」）で同様の設定ができます。

1 記録装置画面で「フォーマット」を選択し、⏎キーを押す。

フォーマット画面が表示されます。

［記録装置画面］

2 フォーマットするハードディスクを選択し、⏎キーを押す。

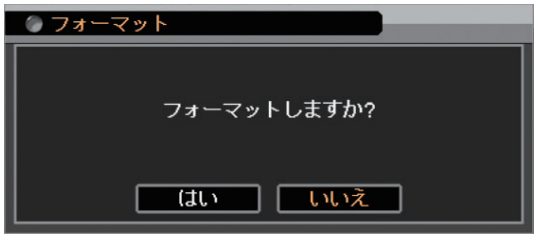
ハードディスク番号のチェックボックスにチェックが入ります。再度押すと、選択を解除できます。

［フォーマット画面］

3 「フォーマット」を選択し、⏎キーを押す。

「フォーマットしますか？」というメッセージが表示されるので、「はい」を選択します。

「はい」を選択すると、フォーマットが開始されます。フォーマットが完了すると、記録装置画面に戻ります。



● 表示設定を行う（簡易設定）

HDMI 出力とアナログ RGB 出力から出力する映像の解像度を、接続するモニターの解像度に合わせて設定できます。工場出荷時は 1280 × 720 に設定されています。

鮮明な映像を表示するためには、本機の解像度を 1920 × 1080 に設定して、Full HD（1920 × 1080　60p）に対応したモニターを使用してください。

ご注意

- 本機で設定する出力解像度に対応していないモニターは使用できません。
- HDMI 出力とアナログ RGB 出力を同時に使用する場合、出力解像度を異なる設定にすることはできません。このとき、HDMI 出力が対応していない 1280 × 1024 の解像度は設定できません。

① 解像度　：出力する解像度を設定します。
項目を選択した時点で解像度が変更されます。

ご注意

HDMI 出力は、1280 × 1024 の解像度を使用できません。
誤って設定しても、しばらく待つと元の解像度に戻ります。

② <<　：記録装置画面へ戻ります。

③ 閉じる　：簡易設定を終了します。

メ　モ

設定メニューの「ディスプレー」→「表示」→「解像度」タブで同様の設定ができます。
また、工場出荷時やモニター交換時に接続するモニターの解像度が本機の解像度に非対応でモニターに映像が表示されない場合は、前面キーで解像度を変更することができます。（P. 4-11「モニター出力の解像度を決める」）

第 4 章

ライブと録画

ライブ

本機では、モニター出力に現在のカメラ映像を表示することを「ライブ表示」と呼びます。
スポット出力のライブ表示は、ライブ映像専用の出力で 1 画面、4 ／ 9 ／ 16 分割画面（16 分割画面は 16 局のみ表示)、シーケンス表示に対応しています。また、HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を出力することもできます。（P. 4-21「スポット出力」）

■ ライブ画面の表示

● ライブ画面で表示できること

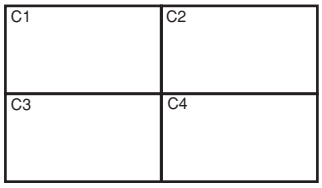
ライブ時の映像は、以下の画面表示をすることができます。

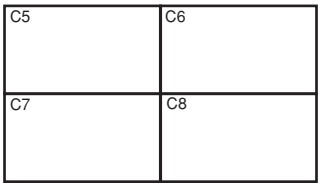
［画面表示］

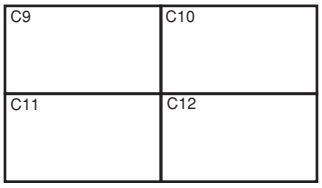
1 画面　　：1 チャンネルの映像を表示します。
4 分割画面　：モニターを 4 分割して 4 チャンネルの映像を表示します。
6 分割画面　：モニターを 6 分割して 6 チャンネルの映像を表示します。
8 分割画面　：モニターを 8 分割して 8 チャンネルの映像を表示します。（16 局用のみ表示）
9 分割画面　：モニターを 9 分割して 9 チャンネルの映像を表示します。
13 分割画面　：モニターを 13 分割して 13 チャンネルの映像を表示します。（16 局用のみ表示）
16 分割画面　：モニターを 16 分割して 16 チャンネルの映像を表示します。（16 局用のみ表示）

［1 画面］

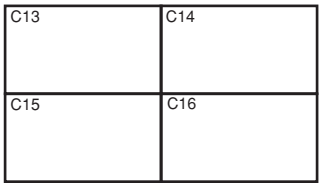
［4 分割画面］





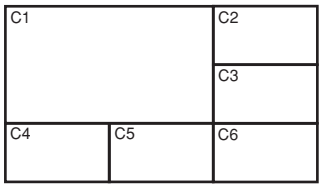


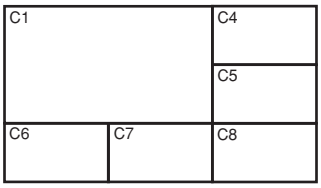
（16 局用のみ）



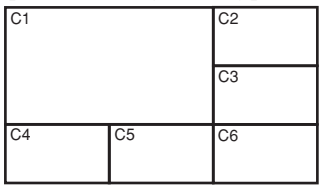
（16 局用のみ）

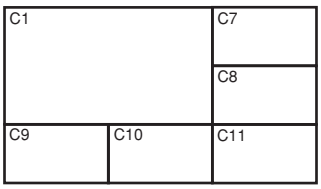
［6 分割画面（8 局用)］

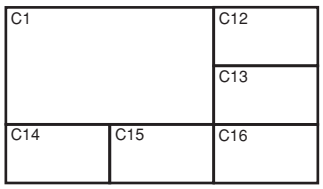




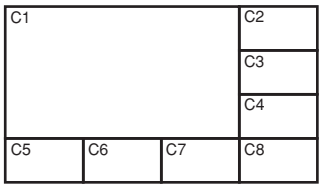
［6 分割画面（16 局用)］

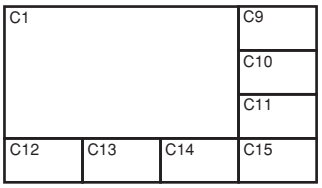


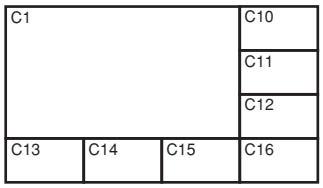




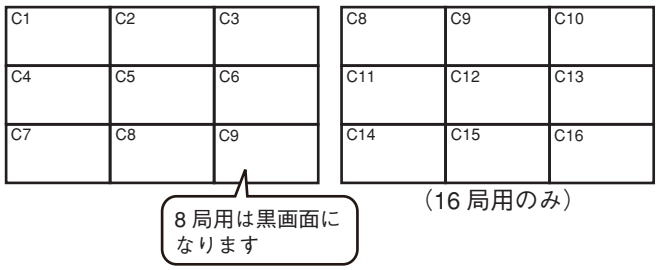
［8 分割画面（16 局用のみ)］



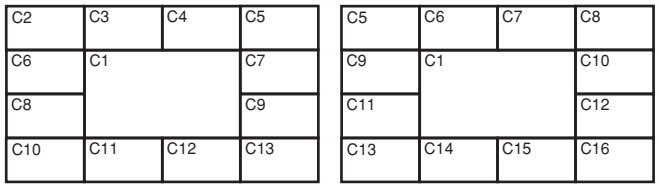




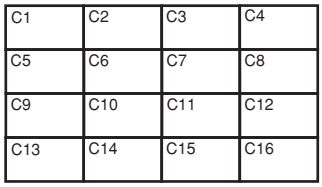
［9 分割画面］



［13 分割画面（16 局用のみ）］



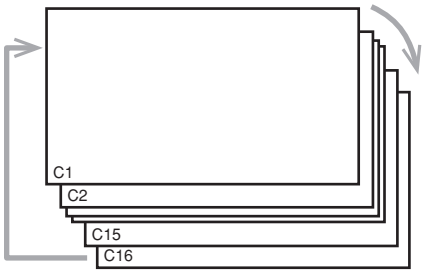
［16 分割画面（16 局用のみ）］



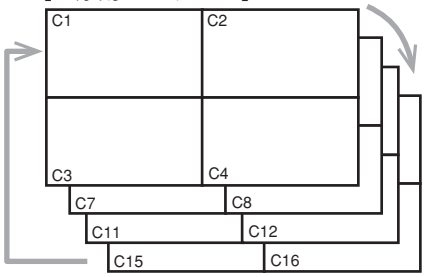
［シーケンス表示］

シーケンス表示は、ライブ表示中の 1 画面または分割画面がディスプレー設定の「シーケンス間隔」で設定した時間で順次画面が切り換わる機能です。（P. 4-17「シーケンス表示する」）

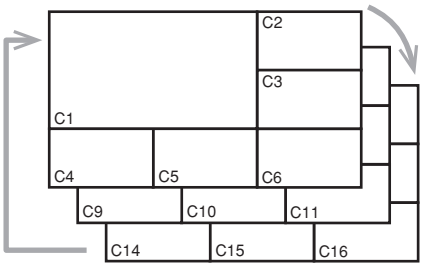
［1 画面シーケンス］



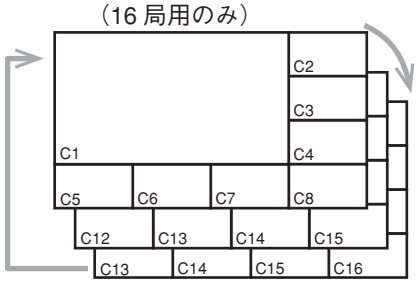
［4 分割シーケンス］



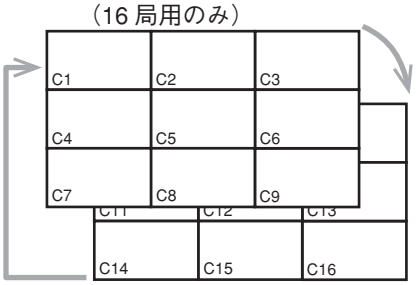
［6 分割シーケンス］



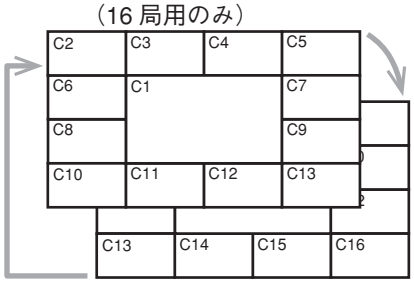
［8 分割シーケンス］
（16 局用のみ）



［9 分割シーケンス］
（16 局用のみ）



［13 分割シーケンス］
（16 局用のみ）

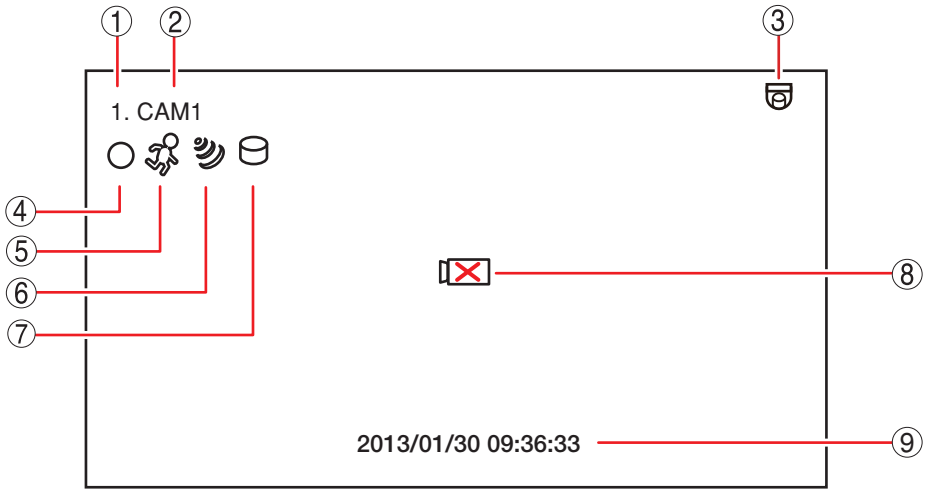


ご注意

- 以下の設定をしているカメラの映像は表示されません。
  - ・「デバイス設定」で使用するカメラとして選択していない（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）
  - ・「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしている（P. 4-8「モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク機能）」）
- シーケンス表示中に画面表示の変更や再生画面表示の操作を行うと、シーケンスを終了します。また、シーケンス表示中にライブ操作メニューの「シーケンス」を選択しても終了します。

● ライブ画面の OSD 表示

HDMI 出力とアナログ RGB 出力にライブ表示中の状態や情報を表示します。



① カメラチャンネル番号　：カメラ入力のチャンネル番号を表示します。

② カメラ名表示　：カメラ名を表示します。（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）

③ カメラタイプ表示　：コンビネーションカメラとして使用する設定にしているときに表示されます。（P. 5-36「コンビネーションカメラ設定（PTZ）」）

④ 録画表示　：録画の状態を表示します。色やアイコンの形で録画状態を表します。（P. 4-28「録画の OSD 表示」）

⑤ モーション検知表示　：モーション検知中に表示されます。

⑥ センサー入力表示　：センサー入力中に表示されます。

⑦ バックアップ中表示　：バックアップ実行中に表示されます。色でバックアップの種類を表示します。（P. 5-15「バックアップ中の OSD 表示」）

⑧ ビデオロス表示　：ビデオロス中に表示されます。

⑨ 日時表示　：現在日時を表示します。表示形式を変更することができます。（P. 6-7「現在時刻を変更する」）

メ　モ

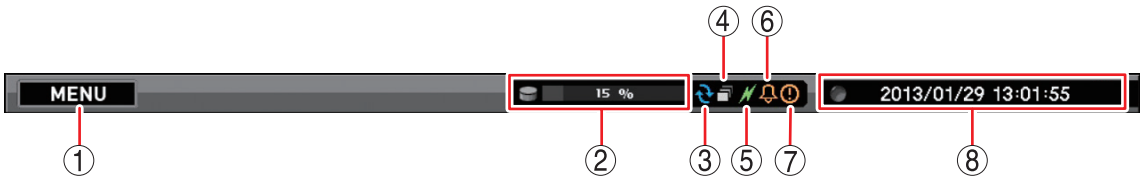
ステータスバーを表示すると現在日時はステータスバーの中に表示されます。（P. 4-5「ライブ画面のステータスバー表示」）

メ　モ

- OSD の表示位置を調整することができます。（P. 4-9「OSD の表示位置の調整をする」）
- ① ～ ⑨ の OSD はライブ画面での操作により、すべて非表示にすることができます。（P. 4-16「OSD 表示を設定する」）
- スポット出力をライブ映像専用の出力に設定しているときは、OSD の表示はできません。

● ライブ画面のステータスバー表示

ライブ画面の日時表示部に以下のように表示されます。



① マウスでクリックすると設定メニュー画面を表示します。

② ハードディスクの使用率を表示します。

③ ハードディスクが上書き設定になると点灯します。（青色）（P. 4-30「ハードディスクに上書き録画する」）

④ シーケンス表示中に点灯します。（白色）（P. 4-17「シーケンス表示する」）

⑤ PC とネットワーク接続をしているときに点灯します。（緑色）（P. 7-2「ネットワーク設定」）

⑥ アラーム状態になると点灯します。（オレンジ色）（P. 5-52「アラームの設定を行う」）

⑦ 緊急録画中に点灯します。（オレンジ色）（P. 4-32「緊急録画を行う」）

⑧ 現在日時を表示します。

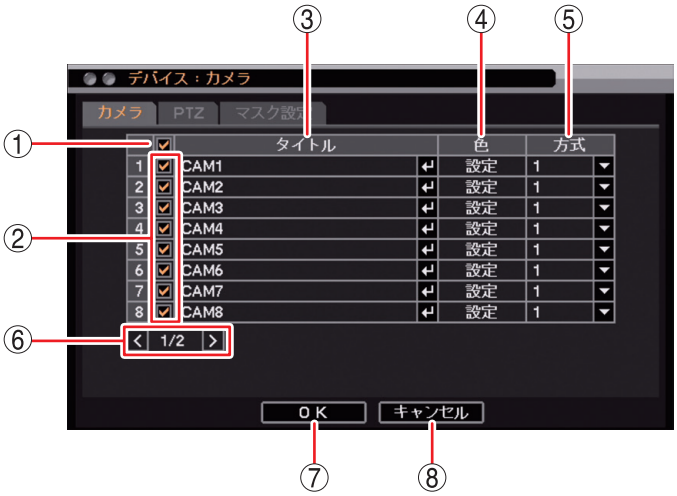
メ　モ

- ステータスバーの表示時間を設定することができます。（P. 4-9「OSD の表示位置の調整をする」）
- ライブ画面の OSD やステータスバー表示の設定は、ライブ操作メニューの「OSD」で行うことができます。（P. 4-16「OSD 表示を設定する」）
- スポット出力をライブ映像専用の出力に設定しているときは、ステータスバーの表示はできません。

● 使用するカメラとカメラ名称を決める

カメラチャンネル番号ごとに使用するカメラやカメラ名、画質を設定できます。

「デバイス」
↓
「カメラ」
↓
「カメラ」タブ



① 一斉チェックボックス　：使用するカメラを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのカメラの映像入力は無効になり、ライブ表示と録画のどちらもできません。

② チェックボックス　：使用するカメラを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、カメラの映像入力は無効になり、ライブ表示と録画のどちらもできません。

③ タイトル　：カメラ名が変更できます。 ↵ キーを押すと「文字入力画面」が表示され、カメラ名の入力ができます。英数、記号で最大 16 文字まで入力できます。（P. 3-16「文字を入力する」）

メ　モ

Web ブラウザーや DRNET の遠隔設定を使用して日本語（漢字、カタカナ、ひらがな）を入力できます。すべて日本語を使用した場合、最大 10 文字まで入力できます。（P. 7-22「遠隔設定でカメラ名を設定する」）DRNET での入力方法については、DRNET の取扱説明書（Rev. 4.0 以降）をご覧ください。

ご注意

- 「＼」「,」「%」はカメラ名には使用しないでください。DRNET や DRNET Mobile と接続して使用したときに正しく表示されないことがあります。
- 分割画面によってはすべての文字を表示できないことがあります。

④ 色　：「設定」をクリックすると「入力画質設定画面」が表示されます。（P. 4-7「カメラ映像の明るさを調整する（入力画質設定）」）

⑤ 方式　：NTSC カメラ映像のノイズ（細い縦縞など）を低減することができます。NTSC カメラを接続しているチャンネルのみ動作します。
通常は「1（標準モード）」を使用してください。ライブ映像または再生映像でノイズが気になるときは「2（ノイズ低減モード）」を使用してください。

［選択］
1：標準モード
2：ノイズ低減モード

メ　モ　標準モードに比べ解像度が低下します。

⑥ ページ切り換え　：＜ ＞でページを切り換えます。（16 局用のみ）

⑦ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑧ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

メ　モ　カメラの映像入力を無効にすると、スポット出力のライブ映像専用出力でもライブ表示できません。

● カメラ映像の明るさを調整する（入力画質設定）

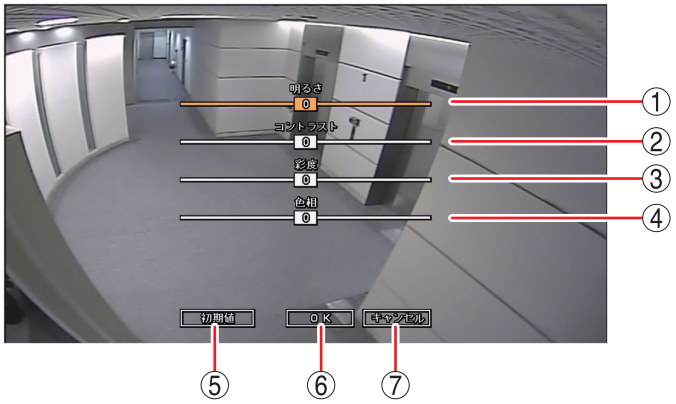
カメラ映像の明るさや色の濃淡、色合いを調整して見やすい映像にできます。設定した画質は、録画映像にも反映されます。

ご注意

- 映像が暗いと、モーション検知の感度が低くなります。
- 設定変更中の画質は、保存前でも録画映像やライブ映像にそのまま反映されます。

［入力画質設定画面］

「デバイス」
↓
「カメラ」
↓
「カメラ」タブ
↓
「設定」を選択



① 明るさ　：画像の明るさを −15 ～ +15 から設定します。

② コントラスト　：コントラストの強さを −15 ～ +15 から設定します。

③ 彩度　：色の濃淡を −15 ～ +15 から設定します。

④ 色相　：色合いを −15 ～ +15 から設定します。

⑤ 初期値　：明るさ、コントラスト、彩度、色相を初期値（工場出荷時）に戻します。

⑥ OK　：設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには、前画面で「OK」を押してください。

⑦ キャンセル　：設定を保持せずに前画面に戻ります。

■ モニター表示設定

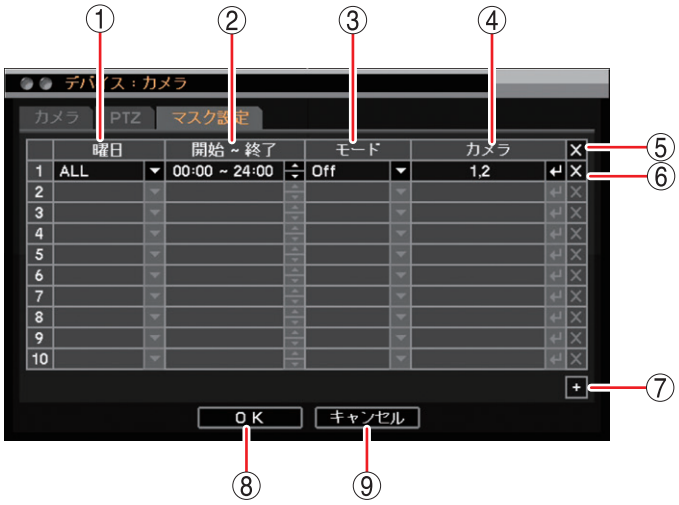
● モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク機能）

HDMI 出力とアナログ RGB 出力のライブ画面と再生画面のカメラ映像を表示しないように設定できます（マスク機能）。マスク設定したカメラ映像は黒画面で表示されますが、録画への影響はありません。
スポット出力のライブ映像専用出力でも、マスク設定したカメラ映像は黒画面で表示されます。

メ　モ

マスク設定カメラの監視を許可する権限を持つユーザー ID は、マスク設定のモードに関係なくカメラ映像が表示されます。マスク設定したカメラ映像を表示するときは、「Administrator」などマスク設定カメラの監視を許可する権限を持つユーザー ID で本機にログインしてください。

「デバイス」
↓
「カメラ」
↓
「マスク設定」タブ



① 曜日　：設定する曜日を選択します。
［選択］ALL ／日／月／火／水／木／金／土／休日／月～金／土日

メ　モ

休日の設定については、P. 6-9「休日を設定する」を参照してください。

② 開始～終了　：開始・終了時刻を設定します。左右キーで開始・終了を選択し、上下キーで数値を変更します。設定間隔は 15 分です。

③ モード　：ライブ画面と再生画面のカメラ映像、OSD 表示のモードを選択します。
［選択］
Off ：カメラ映像と OSD を表示します。通常のカメラ表示形式です。
中 ：OSD 表示をします。カメラ映像は表示しません。
高 ：カメラ映像と OSD 表示のどちらもモニターに表示しません。（カメラチャンネル番号のみ表示します。）

メ　モ

モードの設定はモニター画面の表示を変えるだけで、録画データへの影響はありません。

④ カメラ　：マスク設定するカメラ番号を選択します。複数のカメラを設定できます。

⑤ ☒（全削除）　：すべてのスケジュールをリストから削除することができます。

⑥ ☒（削除）　：選択したスケジュールをリストから削除することができます。

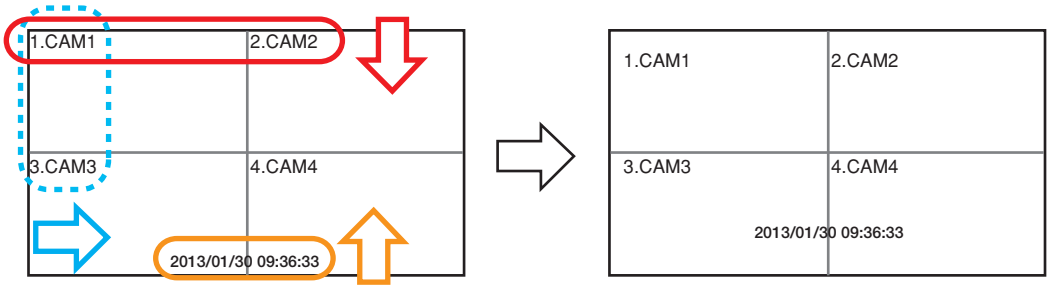
⑦ ＋（追加）　：スケジュールリストが追加されます。

⑧ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑨ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● OSD の表示位置の調整をする

HDMI 出力とアナログ RGB 出力への OSD の表示位置を調整します。
モニターによっては、本機のモニター出力映像のすべての領域を表示できないため、OSD がモニター画面に収まらない場合があります。このようなときに、OSD の位置を画面中央方向に寄せてカメラ名を表示させることができます。本機の OSD は画面の左上に表示されるため、画面の左側に配置されたカメラの OSD を右側に寄せ、上側に配置されたカメラの OSD を下側に移動します。また、ステータスバーを表示していないときの日時表示 OSD を上側に移動します。



ディスプレー表示設定画面では、ステータスバーの表示時間なども設定できます。

「ディスプレー」
↓
「表示」
↓
「表示」タブ

① 言語　：表示言語を設定します。
日本語に設定されています。設定は変更しないでください。

② ステータスバー消去　：デジタルレコーダーを一定時間操作しないときにステータスバーを非表示にすることができます。非表示にするまでの時間を設定します。
［選択］Off ：ステータスバーを表示し続けます。
On ：5 秒／ 10 秒／ 15 秒／ 20 秒／ 25 秒／ 30 秒／ 40 秒／ 50 秒／ 1 分
メ　モ　時間経過により非表示になったステータスバーは、キー操作やマウス操作を行うと表示されます。

③ OSD 垂直方向余白　：OSD の垂直方向の表示位置を設定します。
［選択］1 ～ 48
メ　モ　数値が増えるごとに対象となる文字が画面中央に移動します。

④ OSD 水平方向余白　：OSD の水平方向の表示位置を設定します。
［選択］1 ～ 48
メ　モ　数値が増えるごとに対象となる文字が画面中央に移動します。

⑤ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑥ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● 画面の配置を決める（表示レイアウト）

分割画面でカメラ表示位置を別のカメラと入れ換えることができます。入れ換えたレイアウトは、ライブ、再生画面に反映されます。

ご注意

- 表示レイアウトは 1 画面シーケンスには反映されません。1 画面シーケンスでは、カメラ番号順に表示されます。
- 表示レイアウトは DRNET、DRNET Mobile、および Web ブラウザーのライブ表示には反映されません。それぞれで設定した順に表示されます。

「ディスプレー」
↓
「表示」
↓
「表示レイアウト」タブ

① 表示レイアウト　：カメラ映像のモニター上の表示位置を設定します。
　　↵ キーを押して、表示位置に表示させたいチャンネルを設定します。設定すると、元のチャンネルと表示位置が入れ換わります。

② ページ切り換え　：< > でページを切り換えます。（16 局用のみ）

③ OK　　：設定を保存して前画面に戻ります。

④ キャンセル　　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● モニター出力の解像度を決める

HDMI 出力とアナログ RGB 出力から出力する映像の解像度を、接続するモニターの解像度に合わせて設定できます。工場出荷時は 1280 × 720 に設定されています。

鮮明な映像を表示するためには、本機の解像度を 1920 × 1080 に設定して、Full HD（1920 × 1080　60p）に対応したモニターを使用してください。

ご注意

- 本機で設定する出力解像度に対応していないモニターは使用できません。
- HDMI 出力とアナログ RGB 出力を同時に使用する場合、出力解像度を異なる設定にすることはできません。このとき、HDMI 出力が対応していない 1280 × 1024 の解像度は設定できません。

「ディスプレー」
↓
「表示」
↓
「解像度」タブ

① 解像度　：出力する解像度を設定します。

ご注意

HDMI 出力は、1280 × 1024 の解像度を使用できません。
誤って設定しても、しばらく待つと元の解像度に戻ります。

② OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

③ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

［前面キーによる操作］

電子ズームキーを 3 秒以上押すと、HDMI 出力とアナログ RGB 出力に出力する映像の解像度が変更されます。工場出荷時やモニター交換時に接続するモニターの解像度が本機の解像度に非対応でモニターに映像が表示されない場合に使用してください。
通常は、設定メニューで解像度を設定してください。

■ ライブ操作

ライブの操作は、ライブ操作メニューによる操作と本機前面のキー操作があります。

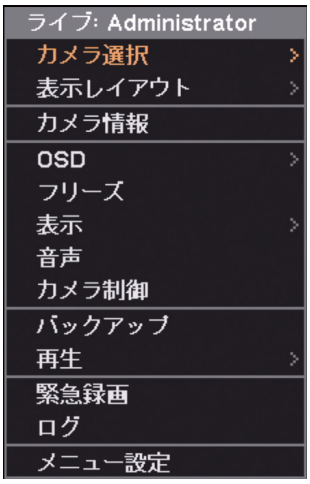
ご注意 スポット出力をライブ映像専用の出力に設定しているときは、ライブ操作メニューは表示できません。

● ライブ操作メニューでできること

ライブ操作メニューは、ライブ画面で ⏎ キーを押すと表示されます。メニューを閉じる場合は、メニューキーを押します。

メ　モ ライブ操作メニューは、マウスの右クリックで表示することも、閉じることもできます。

［ライブ操作メニュー］



カメラ選択　：1 画面表示するカメラチャンネルまたは 9 分割画面表示（8 局用）、16 分割画面表示（16 局用）を選択します。（P. 4-14「指定したカメラを表示する」）

表示レイアウト：分割画面表示を選択します。（P. 4-14「複数のカメラ映像を同時に表示する」）

カメラ情報　：接続されているカメラの映像方式を表示します。（P. 4-15「カメラの映像信号方式を確認する」）

OSD　：OSD とステータスバーの表示状態を選択します。（P. 4-16「OSD 表示を設定する」）

フリーズ　：表示中のライブ画面を静止します。（P. 4-16「ライブ映像を一時的に静止する（フリーズ機能）」）

表示　：ライブ画面をシーケンス、ズーム、PIP 表示します。また、スポット出力に表示する映像を選択します。

［シーケンス］シーケンス表示します。（P. 4-17「シーケンス表示する」）

［ズーム］　1 画面表示中に画面を拡大表示します。拡大表示中に上下左右キーを使って表示領域を移動することができます。（P. 4-18「映像の一部を拡大する（電子ズーム機能）」）

［PIP］　1 画面表示中に PIP（Picture In Picture）機能を使い、小画面で表示するカメラを選択します。（P. 4-19「別のカメラ映像を小さい画面で表示する（PIP 機能）」）

［スポット］　スポット出力に表示する映像を選択します。（P. 4-22「スポット出力の表示を切り換える」）

音声　：音声出力チャンネルを選択します。（P. 4-25「音声の切り換えを行う」）

カメラ制御　：制御するコンビネーションカメラまたは AHD カメラを選択します。（P. 5-39「コンビネーションカメラの操作」、P. 5-47「AHD カメラの操作」）

メ　モ

- コンビネーションカメラに設定したカメラがない場合、または、AHD カメラが接続されていない場合は使用できません。
- カメラ制御権限を持たないユーザーは使用できません。

バックアップ　：バックアップ方法の選択メニューが表示されます。「バックアップ」または「クリップ作成」のどちらかを選択します。（P. 5-15「バックアップのしかた」）

メ　モ バックアップ権限を持たないユーザーは使用できません。

再生　：本機のハードディスクに録画されたデータを再生するか USB メモリーに保存された独自形式のバックアップデータを再生するかを選択します。（P. 5-6「再生画面へ切り換える」）

メ　モ 再生権限を持たないユーザーは使用できません。

緊急録画　：緊急録画を行います。（P. 4-32「緊急録画を行う」）

ログ　：システムログとイベントログを表示します。（P. 6-20「ログ」）

メ　モ

イベントログ表示画面からイベント録画の再生をすることができます。（P. 6-26「イベントログを表示する」）

メニュー設定　：設定メニュー画面が表示されます。（P. 3-11「設定メニュー項目について」）

● 前面キーでできるライブ操作

ライブ状態で本機の前面キーからライブ操作メニューと同様の操作が行えます。

	キー	機　　能
ライブ操作	0 ～ 9	選択したカメラ選択キーと同じチャンネルのライブ画面が 1 画面で表示されます。 メ　モ 16 局用でカメラチャンネル 10 ～ 16 を選択する場合は、以下のように押してください。 （例）カメラチャンネル「10」のとき：「1」、「0」
	多画面	画面表示が切り換わります。押すごとに画面表示が段階的に変化します。 8 局用　：4 段階（1 画面 ⇒ 4 分割 ⇒ 6 分割 ⇒ 9 分割） 16 局用：7 段階（1 画面 ⇒ 4 分割 ⇒ 6 分割 ⇒ 9 分割 ⇒ 8 分割 ⇒ 13 分割 ⇒ 16 分割）
	▲ ◀ ▶ ▼	▲キー、▶キーを押すと、1 画面表示中はカメラチャンネルが次のチャンネルに、分割画面表示中はレイアウトが次のページに切り換わります。 ライブ操作メニュー「表示レイアウト」→「次へ」と同様です。
		▼キー、◀キーを押すと、1 画面表示中はカメラチャンネルが前のチャンネルに、分割画面表示中はレイアウトが前のページに切り換わります。 ライブ操作メニュー「表示レイアウト」→「前へ」と同様です。
	スポット	スポット出力に表示するカメラチャンネルを選択します。 ライブ操作メニュー「表示」→「スポット」と同様です。（P. 4-21「スポット出力」）
	音声	音声出力チャンネルを選択します。 ライブ操作メニュー「音声」と同様です。（P. 4-24「ライブ音声」）
	電子ズーム x2	1 画面表示中にライブ画面を拡大表示（2 倍、4 倍、8 倍）します。 ライブ操作メニュー「表示」→「ズーム」と同様です。（P. 4-18「映像の一部を拡大する（電子ズーム機能）」） キーを 3 秒以上押すと、HDMI 出力とアナログ RGB 出力に出力する映像の解像度が変更されます。通常は、設定メニューで解像度を設定してください。（P. 4-11「モニター出力の解像度を決める」）
	表示 OSD	OSD の表示／非表示を切り換えます。
	PIP	PIP（Picture In Picture）機能を使い、小画面で表示するカメラを選択します。ライブ操作メニュー「表示」→「PIP」と同様です。（P. 4-19「別のカメラ映像を小さい画面で表示する（PIP 機能）」）
	シーケンス	ライブ画面がシーケンス表示になります。 ライブ操作メニュー「表示」→「シーケンス」と同様です。（P. 4-17「シーケンス表示する」）
	フリーズ	表示中のライブ画面を静止します。 ライブ操作メニュー「フリーズ」と同様です。（P. 4-16「ライブ映像を一時的に静止する（フリーズ機能）」）
その他の操作	カメラ制御 PTZ	制御するコンビネーションカメラまたは AHD カメラを選択します。 ライブ操作メニュー「カメラ制御」と同様です。（P. 5-39「コンビネーションカメラの操作」、P. 5-47「AHD カメラの操作」）
	メニュー MENU	設定メニュー画面が表示されます。再度押すと、ライブ画面に戻ります。 （P. 3-11「設定メニュー項目について」）
	↵	ライブ操作メニューが表示されます。（P. 4-12「ライブ操作メニューでできること」）
	再生モード	本機のハードディスクの再生画面に移ります。ライブ操作メニュー「再生」→「HDD」と同様です。（P. 5-2「再生」）
	バックアップ	バックアップ方法の選択メニューが表示されます。ライブ操作メニュー「バックアップ」と同様です。（P. 5-15「バックアップのしかた」）
	ログ	システムログ、イベントログを表示します。 ライブ操作メニュー「ログ」と同様です。（P. 6-20「ログ」）
	緊急録画	緊急録画を行います。ライブ操作メニュー「緊急録画」と同様です。（P. 4-32「緊急録画を行う」）

● 指定したカメラを表示する

1 画面表示するカメラチャンネルまたは 9 分割画面表示（8 局用）、16 分割画面表示（16 局用）を選択します。

1 **ライブ操作メニューの「カメラ選択」を選択し、⏎ キーを押す。**

チャンネル選択メニューが表示されます。
現在表示中のカメラチャンネルにチェックが入っています。

2 **表示したいカメラチャンネルを選択し、⏎ キーを押す。**

1 画面表示になります。
「ALL」を選択し、⏎ キーを押すと 9 分割画面表示（8 局用）、16 分割画面表示（16 局用）になります。

［チャンネル選択メニュー］

［カメラ選択キーを使用する場合］

手順：表示したいカメラチャンネルをカメラ選択キーから選択する。

メ　モ

16 局用でカメラチャンネル 10 ～ 16 を選択する場合は、以下のように押してください。
（例）カメラチャンネル「10」のとき：「1」、「0」

● 複数のカメラ映像を同時に表示する

分割画面表示を選択します。

1 **ライブ操作メニューの「表示レイアウト」を選択し、⏎ キーを押す。**

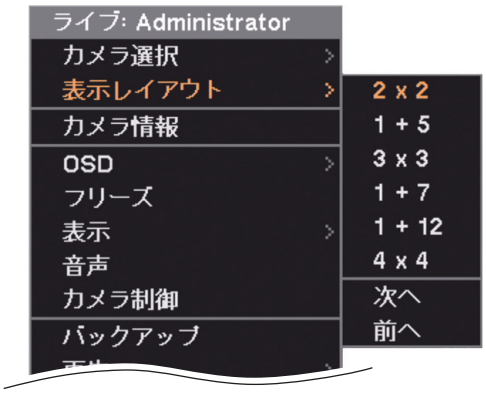
表示レイアウト選択メニューが表示されます。

2 **ライブ表示したいレイアウトを選択し、⏎ キーを押す。**

選択した分割画面表示になります。

2 × 2　：4 分割画面表示
1 + 5　：6 分割画面表示
3 × 3　：9 分割画面表示
1 + 7　：8 分割画面表示（16 局用）
1 + 12　：13 分割画面表示（16 局用）
4 × 4　：16 分割画面表示（16 局用）

［表示レイアウト選択メニュー］



● カメラチャンネルや分割画面表示のページを切り換える

1 **ライブ操作メニューの「表示レイアウト」を選択し、⏎ キーを押す。**

表示レイアウト選択メニューが表示されます。

2 **「次へ」、「前へ」から選択し、⏎ キーを押す。**

1 画面表示中はカメラチャンネルが次のチャンネル、前のチャネルに切り換わります。
分割画面表示中はレイアウトが次のページ、前のページに切り換わります。

メ　モ

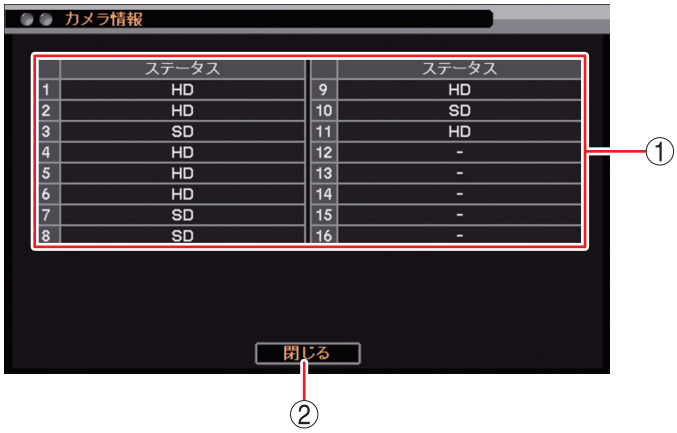
マウスを使用してライブ画面をダブルクリックすると、分割画面と選択された 1 画面の表示を切り換えることができます。

● カメラの映像信号方式を確認する

接続されているカメラの映像信号方式を表示します。

手順：ライブ操作メニューの「カメラ情報」を選択し、⏎ キーを押す。

カメラ情報画面が表示されます。



① ステータス

HD ：AHD 信号方式のカメラが接続されています。
SD ：NTSC 信号方式のカメラが接続されています。
ー ：カメラが接続されていません。

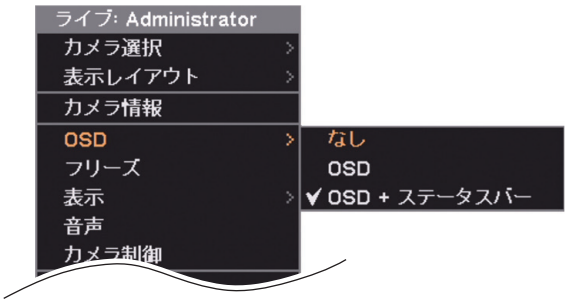
② 閉じる

ライブ画面に戻ります。

● OSD 表示を設定する

OSD とステータスバーの表示状態を選択します。

［OSD 選択メニュー］



1 **ライブ操作メニューの「OSD」を選択し、⏎ キーを押す。**

OSD 選択メニューが表示されます。
現在の表示状態にチェックが入っています。

2 **設定したい OSD 表示項目を選択し、⏎ キーを押す。**

項目にチェックが入り、選択した表示状態になります。

なし	：ライブ画面に OSD とステータスバーを表示しません。
OSD	：ライブ画面に OSD だけを表示します。ステータスバーは表示しません。
OSD + ステータスバー	：ライブ画面に OSD とステータスバーを表示します。

メ　モ

本機前面の表示キーを押すごとに OSD 表示が切り換わります。
再生画面の OSD やステータスバー表示の設定は、再生操作メニューの「OSD」で同様の設定ができます。

● ライブ映像を一時的に静止する（フリーズ機能）

表示中のライブ画面を静止します。

手順：ライブ操作メニューの「フリーズ」を選択し、⏎ キーを押す。

ライブ映像が静止します。

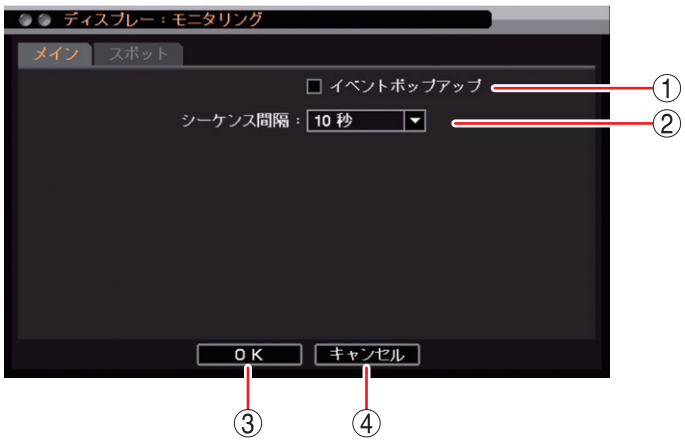
メ　モ

- フリーズ解除する場合は、電源キー ⏻ 以外の前面キーを押してください。元のライブ状態に戻ります。
- 本機前面のフリーズキーでも同様の操作が行えます。

● シーケンス表示する

シーケンス操作を行う前に、設定メニューでシーケンス間隔を設定します。シーケンス中はステータスバーのシーケンスアイコンが点灯します。（P. 4-5「ライブ画面のステータスバー表示」）

「ディスプレー」
↓
「モニタリング」
↓
「メイン」タブ



① イベントポップアップ　：チェックするとイベントポップアップ機能が有効になります。（P. 4-20「イベントが発生したカメラ映像を表示する（イベントポップアップ機能）」）

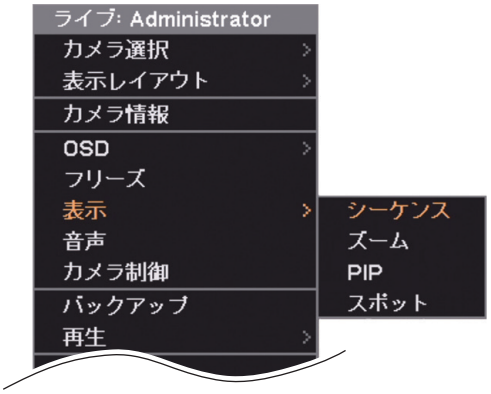
ご注意
シーケンス中にイベントポップアップが起こるとシーケンスを停止します。
再度シーケンスを行うには手動でシーケンスを開始してください。

② シーケンス間隔　：シーケンス表示間隔を設定します。
［選択］1 秒／ 2 秒／ 3 秒／ 4 秒／ 5 秒／ 10 秒／ 15 秒／ 20 秒／ 25 秒／ 30 秒／ 40 秒／ 50 秒／ 1 分

③ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

④ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

［表示選択メニュー］



1 **ライブ操作メニューの「表示」を選択し、⏎ キーを押す。**

表示選択メニューが表示されます。シーケンス表示中は「シーケンス」にチェックが入っています。

2 **表示選択メニューの「シーケンス」を選択し、⏎ キーを押す。**

設定したシーケンス間隔でシーケンスを開始します。

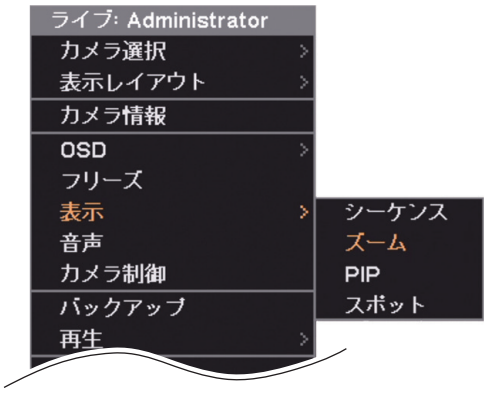
メ　モ

- シーケンスを停止する場合は、再度「シーケンス」を選択し、⏎ キーを押してください。
- カメラチャンネルや分割画面を手動で切り換えると、シーケンス表示は停止します。
- 1 画面シーケンス中でカメラチャンネルが以下の条件の場合は、そのカメラチャンネルは表示しません。
  また、分割画面シーケンス中は、すべてのカメラチャンネルが以下の条件の場合、その画面は自動的に飛び越して次の画面を表示します。
  - 「デバイス設定」で使用するカメラとして選択していない（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）
  - 「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしている（P. 4-8「モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク機能）」）
  - ビデオロスしている（P. 6-34「ビデオロス」）
- 本機前面のシーケンスキーでも同様の操作が行えます。

● 映像の一部を拡大する（電子ズーム機能）

カメラ映像の一部を電子ズームします。

［表示選択メニュー］



1 ズームするカメラを 1 画面表示する。

2 ライブ操作メニューの「表示」を選択し、⏎ キーを押す。

表示選択メニューが表示されます。

3 表示選択メニューの「ズーム」を選択し、⏎ キーを押す。

ズーム倍率選択メニューが表示されます。
現在表示中のズーム倍率にチェックに入っています。

［ズーム倍率選択メニュー］

メ　モ　1 画面表示中は、「x1」にチェックが入っています。

ご注意

NTSC カメラを接続しているチャンネルは、ディスプレー設定の解像度が「1920 × 1080」または「1280 × 1024」に設定されている場合は、「x8」は選択できません。（P. 4-11「モニター出力の解像度を決める」）

4 ズーム倍率を選択し、⏎ キーを押す。

選択した倍率にチェックが入り、ライブ映像が拡大表示されます。また、画面上に △▽▷◁ アイコンが表示されます。

［通常のライブ画面］

［拡大（ズーム）時のライブ画面］

5 上下左右キーを押して、表示範囲を移動する。

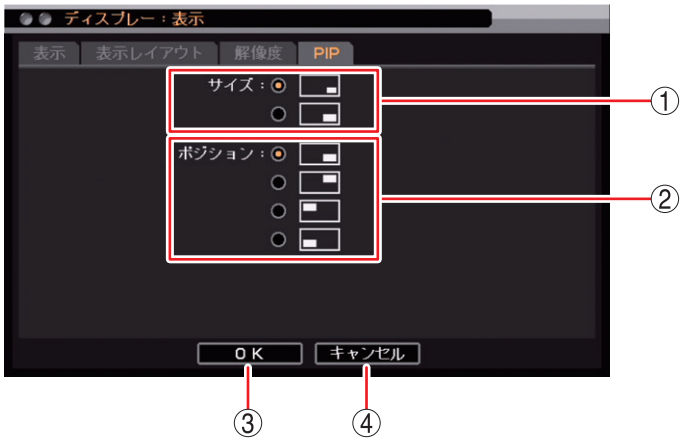
メ　モ

- ズーム解除する場合は、再度「ズーム」を選択して、ズーム倍率の「x1」を選択し、⏎ キーを押してください。
- 別のカメラチャンネルや分割画面表示に切り換えるとズームは解除されます。
- 本機前面の電子ズームキーを押してズーム倍率選択メニューを表示することもできます。

● 別のカメラ映像を小さい画面で表示する（PIP 機能）

1 画面表示している画面の一部に、別のカメラ映像を重ねて表示します。（PIP：Picture In Picture）

「ディスプレー」
↓
「表示」
↓
「PIP」タブ



① サイズ　　：重ねて表示する映像の大きさを設定します。

② ポジション　：重ねて表示する映像の表示位置を設定します。

③ OK　　：設定を保存して前画面に戻ります。

④ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

1 カメラ映像を 1 画面表示する。

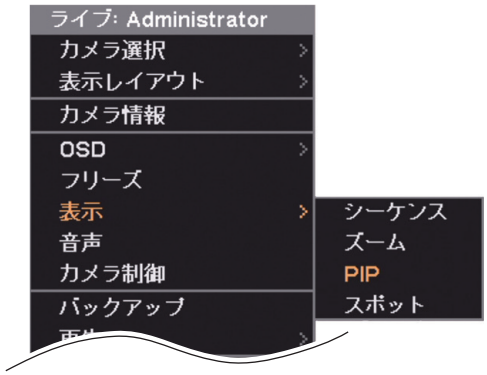
2 ライブ操作メニューの「表示」を選択し、⏎ キーを押す。

表示選択メニューが表示されます。

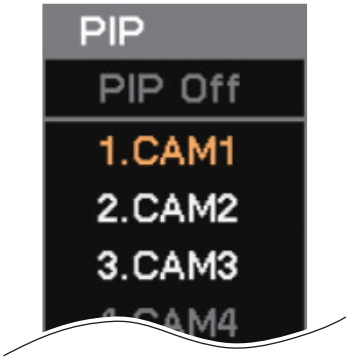
3 表示選択メニューの「PIP」を選択し、⏎ キーを押す。

チャンネル選択メニューが表示されます。
PIP 表示中は PIP 表示チャンネルにチェックが入っています。

［表示選択メニュー］



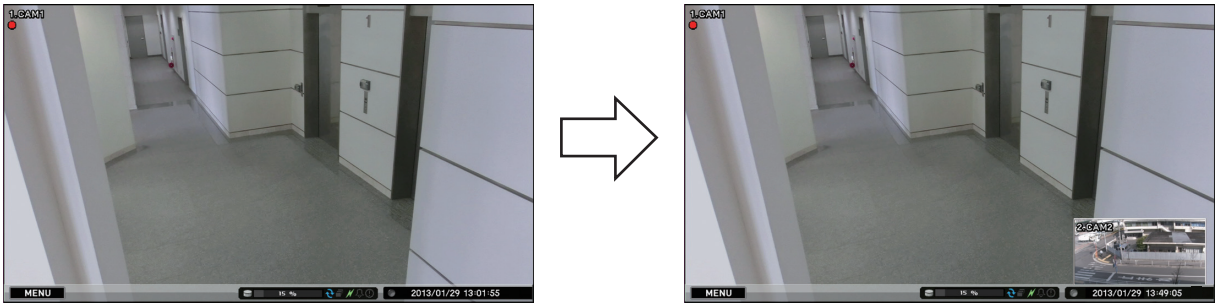
［チャンネル選択メニュー］



4 PIP 表示するカメラチャンネルを選択し、⏎ キーを押す。

ディスプレー設定の「PIP」で設定したライブ画面表示になります。

［通常のライブ画面］　　［PIP 表示のライブ画面］



メ　モ

- PIP を解除する場合は、選択メニューの「PIP Off」を選択し、⏎ キーを押してください。
- 別のカメラチャンネルや分割画面に切り換えると、PIP は解除されます。
- 本機前面の PIP キーを押して PIP のチャンネル選択メニューを表示することもできます。

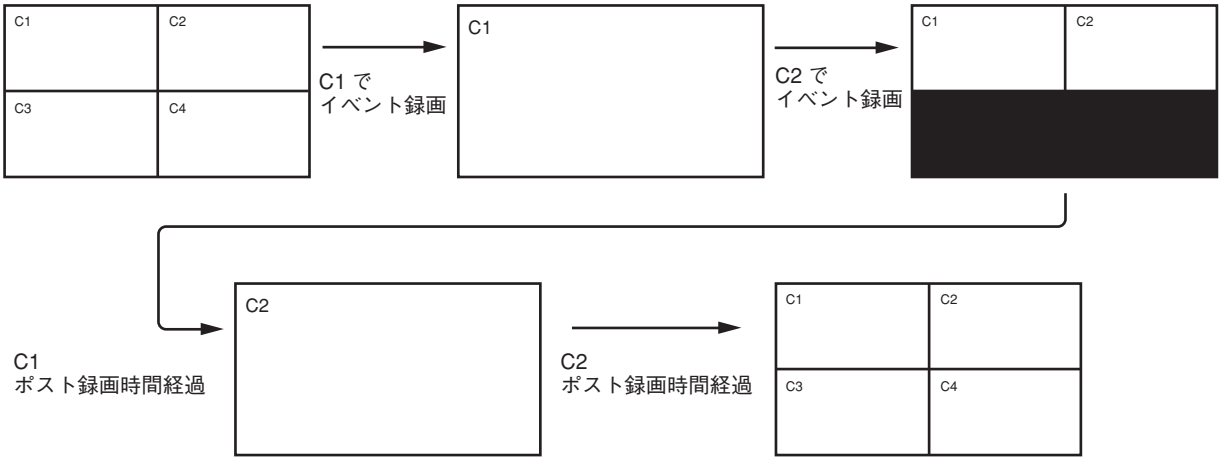
ご注意

モニターとレコーダーを HDMI ケーブルで接続している場合、PIP 中に HDMI ケーブルを抜き差しすると PIP が解除されます。

● イベントが発生したカメラ映像を表示する（イベントポップアップ機能）

イベント発生時に、イベント録画しているカメラの映像を表示させることができます。複数のカメラで同時にイベントが発生した場合は、イベントが発生したすべてのカメラチャンネルを表示する分割画面に切り換わります。ただし、ビデオロスイベントの場合は、ビデオロスしたカメラの代わりに録画するカメラ映像を表示します。
ポスト録画時間が経過するとイベントポップアップ表示前の画面に戻ります。
イベントポップアップ表示するカメラは、イベントポップアップ機能（P. 4-17「シーケンス表示する」）が有効で、イベント録画（P. 4-38「イベント機能について」）しているカメラです。

例：C1 と C2 にイベント録画が発生した場合



メ　モ

- イベントポップアップ表示中でも、画面の切り換えを行うことができます。この場合、イベントポップアップ表示は解除されます。
- イベントポップアップ表示前にシーケンスを行っていた場合、イベントポップアップ表示が発生するとシーケンスが解除されます。
- 緊急録画を行ってもイベントポップアップ表示します。イベントポップアップ表示するカメラは、緊急録画しているカメラです。
- 分割画面のイベントポップアップ表示は、カメラチャンネル番号の小さい順に表示されます。イベントの発生順ではありません。

■ スポット出力

本機は、HDMI 出力とアナログ RGB 出力とは別にスポット出力があります。
スポット出力は、ライブ映像専用の出力で 1 画面、4 ／ 9 ／ 16 分割画面（16 分割画面は 16 局のみ表示)、シーケンス表示に対応しています。また、HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を表示することもできます。（P. 4-22「スポット出力の表示を切り換える」）

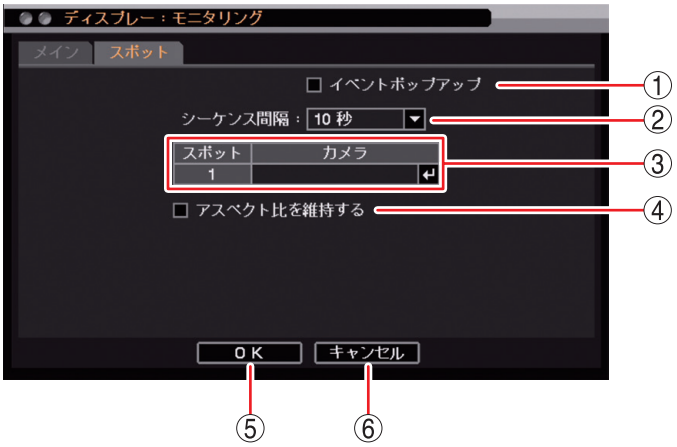
メ　モ
工場出荷時は、HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を出力します。

ご注意
- ライブ映像専用の出力では OSD 表示はできません。
- 9 分割画面（ライブ映像専用）のカメラチャンネルごとの表示は、1 秒あたり 13 ～ 30 枚になります。また、16 分割画面（ライブ映像専用）のカメラチャンネルごとの表示は、1 秒あたり 8 ～ 30 枚になります。映像を表示するカメラチャンネル数によって異なります。

● スポット出力（ライブ映像専用）のカメラ表示を設定する

シーケンス表示やイベント発生時にイベントポップアップ表示するカメラを選択します。
また、シーケンス表示間隔やイベントポップアップ機能を使用するときの設定を行います。

「ディスプレー」
↓
「モニタリング」
↓
「スポット」タブ



① イベントポップアップ　：　チェックを入れるとスポット出力のイベントポップアップ機能が有効になります。

ご注意
シーケンス中にイベントポップアップが起こるとシーケンスを停止します。再度シーケンスを行うには、手動でシーケンスを開始してください。（P. 4-22「スポット出力の表示を切り換える」）

② シーケンス間隔　：　スポット出力のシーケンス表示間隔を設定します。
［選択］1 秒／ 2 秒／ 3 秒／ 4 秒／ 5 秒／ 10 秒／ 15 秒／ 20 秒／ 25 秒／ 30 秒／ 40 秒／ 50 秒／ 1 分

③ カメラ　：　スポット出力のシーケンス表示やイベントポップアップ表示するカメラを選択します。 ↵ キーを押すと選択画面に移ります。

④ アスペクト比を維持する：　AHD カメラ映像のアスペクト比を維持して表示します。
チェック有：画面の上下に黒い帯を表示し、映像のアスペクト比 16：9 を維持して表示します。
チェック無：アスペクト比 4：3 の映像に変換して画面全体に表示します。

メ　モ
NTSC カメラの映像は、チェック有／無に関係なく画面全体に表示します。

⑤ OK　：　設定を保存して前画面に戻ります。

⑥ キャンセル　：　設定を保存せずに前画面に戻ります。

● スポット出力(ライブ映像専用)のイベントポップアップ機能

イベント発生時に、イベント録画(P. 4-38「イベント機能について」)しているカメラの映像を 1 画面表示させることができます。ビデオロスイベントの場合は、ビデオロスしたカメラの代わりに録画するカメラ映像を表示します。
イベントポップアップ表示を行う場合は、あらかじめイベントポップアップ表示するカメラとイベントポップアップ機能を有効に設定する必要があります。(P. 4-21「スポット出力(ライブ映像専用)のカメラ表示を設定する」)
複数のイベントが発生した場合は、後優先でチャンネル番号が小さいカメラ映像を 1 画面表示します。
イベント録画中のカメラに再度イベントが発生した場合は、表示しているカメラ映像がそのまま表示され続けます。
すべてのポスト録画時間が経過したあとは、最後に表示したカメラ映像を表示します。

メ　モ

- 緊急録画を行ってもイベントポップアップ表示します。イベントポップアップ表示するカメラは、緊急録画しているチャンネル番号が小さいカメラです。
- イベントポップアップ表示前にシーケンスを行っていた場合、イベントポップアップ表示が発生するとシーケンスが解除されます。

● スポット出力の表示を切り換える

スポット出力に表示する映像を変更します。
シーケンス表示を行う場合は、あらかじめシーケンス表示するカメラとシーケンス間隔を設定する必要があります。(P. 4-21「スポット出力(ライブ映像専用)のカメラ表示を設定する」)
また、HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を表示することもできます。

1 **ライブ操作メニューの「表示」を選択し、⏎ キーを押す。**

表示選択メニューが表示されます。

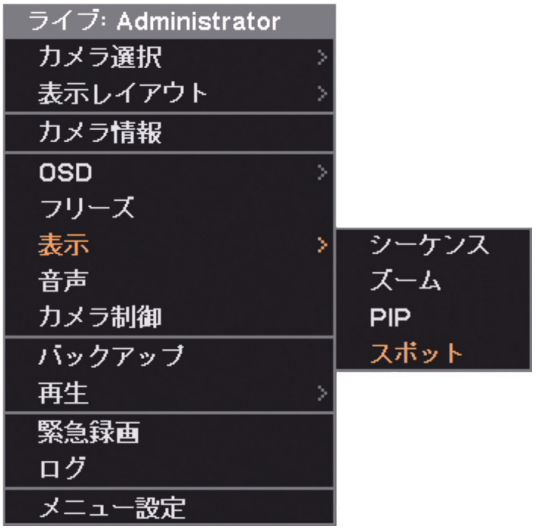
2 **表示選択メニューの「スポット」を選択し、⏎ キーを押す。**

スポット表示選択メニューが表示されます。
表示中の映像にチェックが入っています。

[メイン]
HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を表示します。

[シーケンス]
「シーケンス」を選択し、⏎ キーを押してシーケンス表示選択メニューを表示します(ライブ映像専用)。
1 × 1：1 画面シーケンス表示
2 × 2：4 分割シーケンス表示
3 × 3：9 分割シーケンス表示(16 局用のみ)

[表示選択メニュー]



［マルチ］
「マルチ」を選択し、⏎ キーを押して分割画面表示選択メニューを表示します（ライブ映像専用）。

2×2（1～4）　：4 分割画面表示（カメラチャンネル 1～4）
2×2（5～8）　：4 分割画面表示（カメラチャンネル 5～8）
2×2（9～12）　：4 分割画面表示（カメラチャンネル 9～12）（16 局用のみ）
2×2（13～16）：4 分割画面表示（カメラチャンネル 13～16）（16 局用のみ）
3×3（1～8）　：9 分割画面表示（カメラチャンネル 1～8）（8 局用のみ）
3×3（1～9）　：9 分割画面表示（カメラチャンネル 1～9）（16 局用のみ）
3×3（8～16）　：9 分割画面表示（カメラチャンネル 8～16）（16 局用のみ）
4×4（1～16）　：16 分割画面表示（カメラチャンネル 1～16）（16 局用のみ）

［CAM1～CAM8（8 局用）、CAM1～CAM16（16 局用）］
選択したカメラチャンネルを 1 画面表示します（ライブ映像専用）。

［スポット表示選択メニュー］

3 表示したい映像を選択し、⏎ キーを押す。

選択した映像を表示します。

メ　モ

- フリーズ機能、電子ズーム機能、および PIP 機能は使用できません。
- 「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしているカメラの映像は表示されません。（P. 4-8「モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク機能）」）
- 1 画面シーケンス中でカメラチャンネルが以下の条件の場合は、そのカメラチャンネルは表示しません。
  - ・「デバイス設定」で使用するカメラとして選択していない（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）
  - ・「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしている（P. 4-8「モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク機能）」）
  - ・ビデオロスしている（P. 6-34「ビデオロス」）
- 本機前面のスポットキーでも同様の操作が行えます。

ご注意

スポット表示切替時にスポット出力の映像が乱れることがあります。

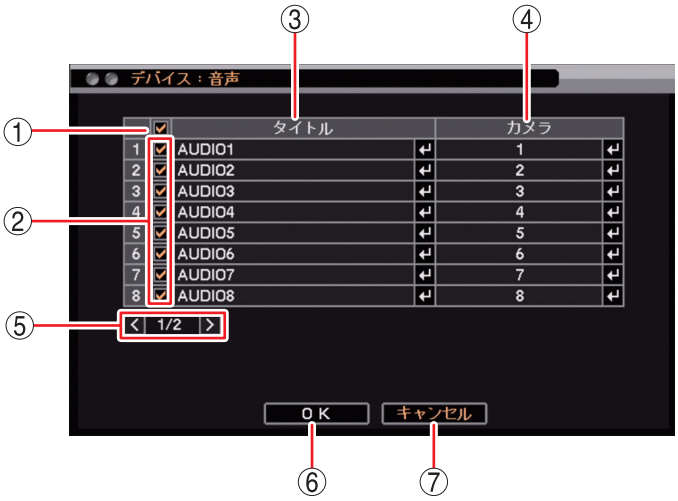
■ ライブ音声

ライブ画面表示中に本機に入力された音声信号を切り換えて音声を出力することができます。（P. 4-25「音声の切り換えを行う」）音声はカメラ映像と連動しません。
また、DRNET の音声送信機能を使用すると DRNET からの音声を本機で出力することができます。この場合、DRNET からの音声送信機能が優先して出力されるため、本機の入力音声を出力することはできません。

● 使用する音声チャンネルを決める

本機に入力された音声信号と同時に録画するカメラ映像のチャンネルを設定することができます。
入力する音声のチャンネルごとに使用する音声チャンネルや名称を設定できます。選択した音声チャンネルはライブ音声として出力できます。ここで選択した音声チャンネルが録音されます。（P. 4-27「録音する」）

「デバイス」
↓
「音声」



① 一斉チェックボックス　：使用する音声チャンネルを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべての音声チャンネルのライブ音声の出力と録音は無効になります。

② チェックボックス　：使用する音声チャンネルを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、音声チャンネルのライブ音声の出力と録音は無効になります。

③ タイトル　：音声チャンネルの名称を変更します。 ↵ キーを押すと「文字入力画面」が表示され音声チャンネル名の入力ができます。英数、記号で最大 16 文字まで入力できます。（P. 3-16「文字を入力する」）
ライブ操作メニューの音声を選択したときに表示されます。

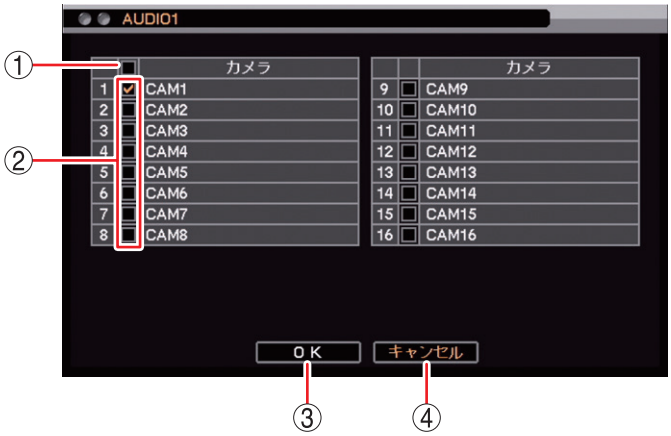
④ カメラ　：音声チャンネルごとに音声信号と同時に録画するカメラ映像のチャンネルを選択します。 ↵ キーを押すと「録音カメラ選択画面（P. 4-25）」が表示されます。
ご注意　カメラチャンネルは重複して設定できません。

⑤ ページ切り換え　：＜ ＞でページを切り換えます。（16 局用のみ）

⑥ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑦ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

［録音カメラ選択画面］



① 一斉チェックボックス　：音声信号と同時に録画するカメラ映像のチャンネルを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのカメラチャンネルの録音は無効になります。

② チェックボックス　：音声信号と同時に録画するカメラ映像のチャンネルを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、カメラチャンネルの録音は無効になります。

③ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

④ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● 音声の切り換えを行う

音声出力する音声チャンネルを切り換えます。

1 **ライブ操作メニューの「音声」を選択し、⏎ キーを押す。**

音声選択メニューが表示されます。
現在選択中の音声チャンネルにチェックが入っています。

2 **音声出力したい音声チャンネルを選択し、⏎ キーを押す。**

音声を出力します。

［音声選択メニュー］

メ　モ

- 音声を出さない場合は、音声選択メニューの「音声消去」を選択し、⏎ キーを押してください。
- 本機前面の音声キーを押して音声選択メニューを表示することもできます。

ご注意

工場出荷時設定では音声は出力されません。使用する音声チャンネルを選択してください。（P. 4-24「使用する音声チャンネルを決める」）

録　画

本機の録画は、連続録画とイベント録画(センサー録画、モーション録画、ビデオロス録画)、緊急録画があります。連続録画とイベント録画は、スケジュールの設定に従って録画を行います。(P. 4-34「録画スケジュールを設定する」)

ご注意

- 録画中に録画設定を変更すると、設定切換中の録画や録音は途切れます。
- 温度が低い設置環境で本機を起動したときは、ハードディスクの動作が安定するまでまれに録画や録音が途切れることがあります。
- ネットワーク接続を行っている場合や画面全体に激しいノイズのある映像を録画している場合など、本機の負荷が高くなると、設定通りに録画や録音ができないことがあります。その場合は、録画条件を変更する必要があります。

● 録画の種類

本機の録画は、連続録画、イベント録画、緊急録画に分かれます。イベント録画にはセンサー録画、モーション録画、ビデオロス録画があります。また、イベント録画と緊急録画には、イベント発生直前を録画するプリ録画機能があります。イベント録画を行うためにはあらかじめ設定が必要です。(P. 4-38「イベント機能について」)

連続録画　：スケジュールに連続録画が設定されている場合に、連続して録画します。

センサー録画　：スケジュールにイベント録画が設定されている場合に、センサー入力端子に信号が入力されると録画を行います。

モーション録画：スケジュールにイベント録画が設定されている場合に、設定されたエリアにモーションを検知すると録画を行います。

ビデオロス録画：スケジュールにイベント録画が設定されている場合に、映像信号が途切れると別のカメラの録画を行います。

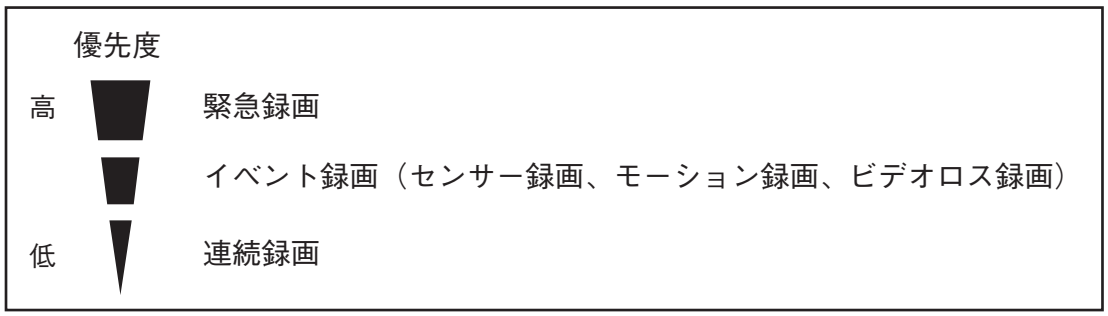
緊急録画　：緊急録画キーを押す、ライブ操作メニューや再生操作メニューから緊急録画を選択する、または、緊急録画入力端子に入力があると、スケジュールに関係なく緊急録画を開始します。緊急録画は、すべてのカメラチャンネルを録画します。

プリ録画　：スケジュールにイベント録画が設定されている場合に、センサー録画、モーション録画、ビデオロス録画、緊急録画が発生すると、最大 30 秒前の映像から録画することができます。録画中はプリ録画は行いません。

● 録画の優先度

複数のスケジュールを設定した場合は、番号の大きいスケジュールが優先されます。(P. 4-34「録画スケジュールを設定する」)

同じスケジュール内での録画の優先順位は以下のようになります。複数の録画が発生した場合は、優先度の高い録画を行います。スケジュール内での録画の優先順位は以下のようになります。



メ　モ　センサー録画、モーション録画とビデオロス録画に優先順位はありません。

● 録音する

本機はチャンネルごとに音声録音を行うことができます。
工場出荷時は音声録音しない設定になっていますので、録音するときは設定を変更してください。

1 音声入力を接続する。

音声入力をピンジャック（4 系統）と D-Sub コネクターから入力します。（P. 2-10「D-Sub プラグの組み立てかた」）

2 音声設定を行う。

- ライブ音声の設定で選択した音声チャンネルを録音できます。（P. 4-24「ライブ音声」）
- 録音した音声は、「録音カメラ選択画面（P. 4-25）」で選択したカメラチャンネルの 1 画面再生中に出力されます。

ご注意

音声を録音するには、必ずカメラ映像の録画を同時に行う必要があります。そのため、以下の場合は録音できません。

- 使用するカメラとして選択していない場合（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）
- 映像入力がない場合（ライブ画面で [✕]（ビデオロス）が表示される場合）
- 録画スケジュールが設定されていない、など録画を行わない場合
- 音声が入力されていない場合

● 録画レートについて

録画レートとは、1 秒間に録画する画像枚数を表します。録画レートの単位は、ips（image per second）で表します。

設定できる総録画レートは以下のとおりです。
8 局用は解像度の設定にかかわらず 240 ips です。16 局用は解像度によって異なります。

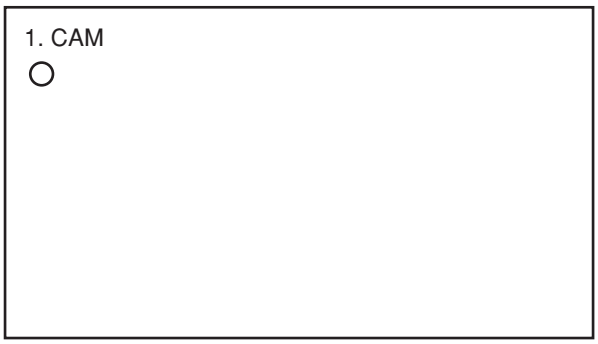
［8 局用］
240 ips

［16 局用］
480 ips：HD（1280 × 720）、WD1（944 × 480）、D1（704 × 480）、CIF（352 × 240）
240 ips：Full HD（1920 × 1080）

カメラ 1 台あたりの録画レートは、最大 30 ips まで設定できます。

■ 録画の OSD 表示

録画状態表示：録画状態と録画モードをアイコンの色と形で表示します。（P. 4-4「ライブ画面の OSD 表示」）



○（灰色）　：録画停止（録画スケジュールの時間外）
○（赤色）　：連続録画中
（赤色）　：緊急録画中
（赤色）　：イベント録画中
（青色）　：プリ録画中
（マークなし）：録画停止（イベント待機中、ビデオロス中、ハードディスクフルなど）

■ 録画モードと設定について

● 連続録画の場合

スケジュールの開始時刻になると録画を開始します。

・録画共通設定をする（P. 4-29）
・録画スケジュールを設定する（P. 4-34）

● イベント録画（センサー録画、モーション録画、ビデオロス録画）とプリ録画の場合

スケジュール時間中にイベントが発生すると録画を開始します。

・録画共通設定をする（P. 4-29）
・録画スケジュールを設定する（P. 4-34）
・録画時間を設定する（P. 4-31）
・イベントの設定をする（P. 4-38「イベント機能について」）

● 緊急録画の場合

緊急録画キーを押す、ライブ操作メニューや再生操作メニューから緊急録画を選択する、または、緊急録画入力端子に入力があると、録画を開始します。（P. 4-32「緊急録画を行う」）
プリ録画の設定をしているときはプリ録画も行います。（P. 4-32「プリ録画を設定する」）

・録画共通設定をする（P. 4-29）
・録画時間を設定する（P. 4-31）

メ　モ

緊急録画時にプリ録画を行うカメラは、録画スケジュールを「イベント録画」に設定しているカメラだけです。
また、プリ録画の画質と録画レートは、イベント録画の設定になります。

■ 録画共通設定をする

本機では、各録画設定を行う前に、録画の共通設定を行う必要があります。

メ　モ

録画共通設定では、すべてのカメラに対して同じ録画設定を行います。
連続録画やイベント録画の場合は、録画スケジュールを設定することで、曜日、時間、カメラごとに録画レートと画質、解像度が設定できます。（P. 4-34「録画スケジュールを設定する」）

「録画」
↓
「録画」
↓
「録画」タブ

［録画共通設定画面］

① 上書き　：ハードディスクのすべての領域に録画データが書き込まれたとき、上書きして録画を継続する場合にチェックを入れて有効にします。（P. 4-30「ハードディスクに上書き録画する」）

② 緊急録画を使用　：緊急録画を使用する場合はチェックを入れます。

ご注意

「緊急録画を使用」が選択されていないときは、緊急録画キーを押す、ライブ操作メニューや再生操作メニューから緊急録画を選択する、または、緊急録画入力端子に入力があっても、緊急録画は行いません。

③ 自動消去　：設定した期間が経過した録画データを自動的に消去します。（P. 4-30「一定期間が過ぎた録画データを自動的に消去する」）
［選択］On ／ Off

④ 自動消去（日）　：自動消去が On のときに設定する期間の日数を選択します。
［選択］1 ～ 180［日］（1 日ごと）

⑤ ips　：連続録画、イベント録画、緊急録画のカメラ 1 台あたりの録画レートを設定します。
［選択］1 ～ 30［ips］

⑥ 画質　：連続録画、イベント録画、緊急録画の画質を設定します。
［選択］最高／高／標準／中／低

⑦ 解像度　：録画データの解像度を選択します。
［選択］
Full HD ：1920 × 1080　HD ：1280 × 720　WD1 ：944 × 480
D1 ：704 × 480　CIF ：352 × 240

ご注意

- NTSC カメラを接続しているチャンネルは、Full HD または HD を選択した場合、WD1 の解像度で録画されます。
- NTSC カメラを接続して Full HD を選択した場合は、総録画レートは 240 ips に制限されます（16 局用のみ）。（P. 4-27「録画レートについて」）

⑧ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑨ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● ハードディスクに上書き録画する

ハードディスクのすべての領域に録画データが書き込まれたときに、自動的に古い情報を消しながら、録画を継続すること（上書き）ができます。上書き録画をする場合は、録画共通設定画面（P. 4-29「録画共通設定をする」）の「上書き」を有効にします。上書きに設定すると、ステータスバーの上書きアイコンが点灯します。（P. 4-5「ライブ画面のステータスバー表示」）
上書きが選択されていない場合は、ハードディスクのすべての領域に録画データが書き込まれた時点で録画を停止します。ハードディスクの使用容量が残容量警告しきい値に達したときにブザーの鳴動やメッセージの表示で知らせることができます。（P. 6-36「システムイベントに関する設定を行う」）

ご注意

上書きに設定している場合は、必要な録画データが上書きされる前にバックアップを取るようにしてください。

● 一定期間が過ぎた録画データを自動的に消去する

設定した期間を過ぎると録画データを消去することができます。

ご注意

録画データの消去は、録画データをハードディスクに書き込むときに行われます。
イベント録画の場合、イベントが発生したときだけ録画をするため、録画していないときに消去日を過ぎたときは録画データが残ります。そのため、この機能を使用する場合は連続録画を行ってください。

1 自動消去（日）を「On」にする。

On にすると自動消去（日）が設定可能になります。

2 日数を設定する。

［選択］1 ～ 180［日］（1 日ごと）

■ 録画時間を設定する

イベント録画と緊急録画は、録画を開始してから停止するまでの時間を設定する必要があります。

「録画」
↓
「録画」
↓
「イベント」タブ

① プリ録画時間　：緊急録画とイベント録画が発生した時刻より前の時間を録画します。
［選択］
On　：5 秒／ 10 秒／ 15 秒／ 20 秒／ 25 秒／ 30 秒
Off　：イベント発生前は録画しません。

② 緊急録画時間　：緊急録画の録画継続時間を設定します。
［選択］
制限　：5 秒／ 10 秒／ 15 秒／ 20 秒／ 25 秒／ 30 秒／ 40 秒／ 50 秒
1 分／ 2 分／ 3 分／ 4 分／ 5 分／ 10 分／ 15 分／ 20 分／ 30 分

メ　モ
緊急録画入力端子の入力で録画を開始した場合は、緊急録画入力端子の入力が終了してからの録画継続時間です。

無制限：本機前面の緊急録画キーを再度押す、または、ライブ操作メニューや再生操作メニューで緊急録画を再度選択するまで、緊急録画を続けます。
緊急録画入力端子に入力があると、入力が終了するまで緊急録画を続けます。

③ ポスト録画時間：イベント発生後の録画継続時間を設定します。センサー録画、モーション録画、ビデオロス録画に適用されます。
［選択］
1 秒／ 5 秒／ 10 秒／ 15 秒／ 20 秒／ 25 秒／ 30 秒／ 40 秒／ 50 秒
1 分／ 2 分／ 3 分／ 4 分／ 5 分／ 10 分／ 15 分／ 20 分／ 30 分

④ センサーイベントでポスト録画を行わない
：センサーを入力している間だけセンサー録画を行う場合は、チェックを入れて有効にします。このとき、ポスト録画は行われません。

⑤ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑥ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

ご注意

緊急録画時間、ポスト録画時間の設定が短い場合、何度もイベントログが残ることがあります。
（P. 4-32「緊急録画を行う」、P. 4-33「ポスト録画時間について」、P. 6-26「イベントログ」）

● プリ録画を設定する

緊急録画、センサー録画、モーション録画、ビデオロス録画の発生直前の映像を最大 30 秒前から録画できます。（P. 4-31「録画時間を設定する」）

ご注意

- 他の録画が行われている場合、その録画が優先されるため、プリ録画は行えません。
- プリ録画を使用するには、録画スケジュールの「モード」の設定を「E（イベント録画）」に設定する必要があります。（P. 4-34「録画スケジュールを設定する」）
  「- - -（録画しない）」、「T（連続録画）」、「TE（連続・イベント録画）」に設定されている場合には、プリ録画は行えません。
- プリ録画の録画レート、画質、および解像度は、プリ録画が行われる期間のイベント録画の設定に従います。

● 緊急録画を行う

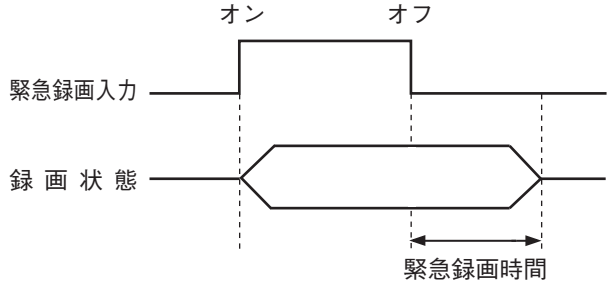
本機前面の緊急録画キーを押す、ライブ操作メニューや再生操作メニューで緊急録画を選択する、または、緊急録画入力端子に入力があると、緊急録画を開始します。
緊急録画が行われると、録画スケジュールに関係なくすべてのカメラの録画を開始します。録画レートと画質は P. 4-29「録画共通設定をする」で設定します。カメラごとに録画レート、画質、および解像度を設定することはできません。
緊急録画中はステータスバーの緊急録画アイコンが点灯します。（P. 4-5「ライブ画面のステータスバー表示」）
緊急録画の継続録画時間を設定できます。（P. 4-31「録画時間を設定する」）

［緊急録画時間 : 制限］

緊急録画キーを押す、または、ライブ操作メニューや再生操作メニューで緊急録画を選択して録画を開始した場合は、設定時間が過ぎると自動的に終了します。
緊急録画入力端子の入力で録画を開始した場合は、入力が終了してから設定時間が過ぎると、自動的に終了します。
また、緊急録画時間内に緊急録画キーを押す、ライブ操作メニューや再生操作メニューで緊急録画を選択する、または、緊急録画入力端子に入力があると、その時点から緊急録画は延長されて録画を行います。

メ　モ

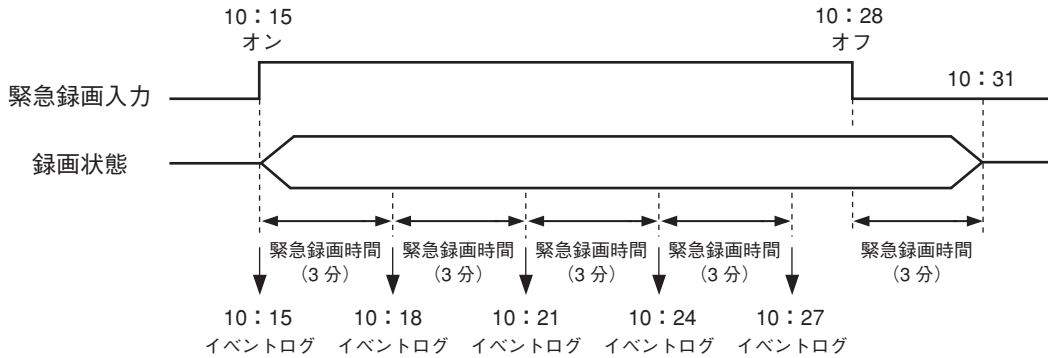
緊急録画入力はレベル入力として受け付けます。レベル入力中は緊急録画状態を継続します。



ご注意

レベル入力期間が緊急録画時間よりも長い場合、レベル入力が終了するまで緊急録画時間の間隔でイベントログが残ります。（P. 4-31「録画時間を設定する」、P. 6-26「イベントログ」）

（例）緊急録画時間：3 分
　　緊急録画入力端子へ入力：10 時 15 分、終了：10 時 28 分



［緊急録画時間 : 無制限］

緊急録画中に緊急録画キーを再度押す、ライブ操作メニューや再生操作メニューで緊急録画を再度選択すると停止します。
緊急録画入力は、入力が終了すると緊急録画を停止します。

緊急録画入力の名称、入力形式、緊急録画を開始したときの動作（アラーム、遠隔通知、PTZ）を設定できます。

1. 緊急録画入力の名称や入力形式を設定する。（P. 4-39「センサー入力の設定」）
2. 緊急録画を開始したときの動作を設定する。
   - コントロール出力やブザー鳴動する（P. 5-55「イベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）
   - 遠隔 PC への通知や E メール送信を行う（P. 7-5「遠隔通知設定」）
   - コンビネーションカメラをあらかじめ設定した方向に向ける（P. 5-43「イベントによるプリセット移動」）
   - ライブ画面にイベントポップアップさせる。（P. 4-20「イベントが発生したカメラ映像を表示する（イベントポップアップ機能）」）

ご注意

- 緊急録画とイベント録画の録画レート、画質、または解像度の設定が異なる場合は、プリ録画はイベント録画設定で設定した内容で録画されます。
- 録画共通設定画面（P. 4-29）で「緊急録画を使用」を必ず選択してください。選択されていないときは、緊急録画は行いません。

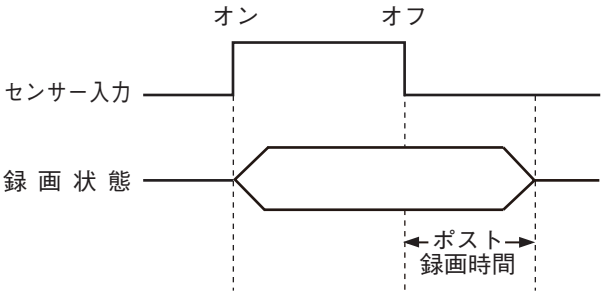
● ポスト録画時間について

ポスト録画時間は、以下のイベントが終了してからの録画継続時間です。最大 30 分間録画を継続できます。イベントが発生してからポスト録画時間が終了するまでは録画が行われます。センサーイベントは、ポスト録画を行わずにセンサーを入力している間だけセンサー録画を行うこともできます。
（P. 4-31「録画時間を設定する」）

センサーイベント　：センサーを入力している間

モーションイベント：動きを検知している間

ビデオロスイベント：ビデオロスを検知している間



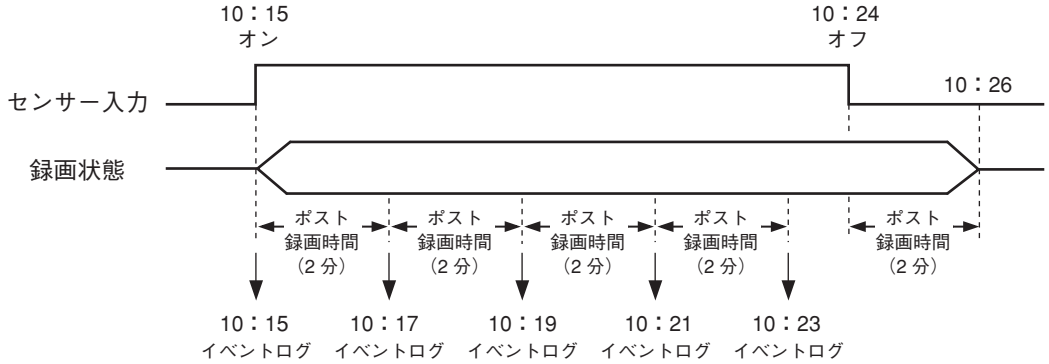
メ　モ

本機は、センサー入力をすべてレベル入力として受けます。レベル入力中はイベント状態を継続します。

ご注意

- ビデオロスイベントは、ビデオロスを検知している間にいずれかのキーを押すか、マウスの左右どちらかをクリックすると終了し、ポスト録画時間後にビデオロス録画は終了します。
- イベントの期間がポスト録画時間より長い場合、イベント録画開始時刻からイベントが終了するまで、ポスト録画時間の間隔でイベントログが残ります。センサーイベントでポスト録画を行わない場合も同様です。（P. 4-31「録画時間を設定する」、P. 6-26「イベントログ」）

（例）ポスト録画時間：2 分
　　センサー入力端子へ入力：10 時 15 分、終了：10 時 24 分



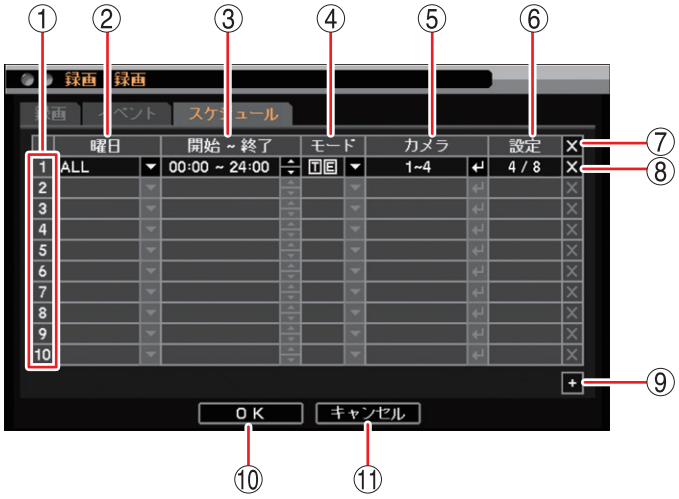
■ スケジュール

● 録画スケジュールを設定する

録画スケジュールは、曜日、時間、カメラごとの録画レートと画質、解像度を設定できます。
工場出荷時はすべてのカメラで連続録画とイベント録画（センサー録画、モーション録画、ビデオロス録画）を行うようにスケジュールされています。
必要に応じてスケジュールの追加・変更を行ってください。最大 10 件まで設定できます。
設定したスケジュールの時間帯が重複しているカメラは、番号の大きいスケジュールが優先されます。

メ　モ　スケジュールの終了時刻と別のスケジュールの開始時刻が同じ場合、録画は途切れません。

「録画」
↓
「録画」
↓
「スケジュール」
タブ



① スケジュール番号 ： スケジュールの優先度を表します。番号が大きいほど優先度が高くなります。

② 曜日 ： 設定する曜日を選択します。
［選択］ALL ／日／月／火／水／木／金／土／休日／月～金／土日
メ　モ　休日の設定については、P. 6-9「休日を設定する」を参照してください。

③ 開始～終了 ： 開始・終了時刻を設定します。左右キーで開始・終了を選択し、上下キーで数値を変更します。設定間隔は 15 分です。

④ モード ： 録画モードを選択します。
［選択］
録画しない ： 連続録画とイベント録画を行いません。選択すると「- - -」で表示されます。
連続録画 ： 連続録画を行います。選択すると「T」で表示されます。
イベント録画 ： イベント録画を行います。選択すると「E」で表示されます。
連続・イベント録画 ： 連続録画とイベント録画を行います。連続録画中にイベントが発生すると、イベント録画を行います。その後、連続録画を行います。選択すると「T」「E」で表示されます。

メ　モ
- モードを「E（イベント録画）」に設定した場合はプリ録画が有効になります。
- モードを「- - -（録画しない）」、「T（連続録画）」、「TE（連続・イベント録画）」に設定するとプリ録画は行いません。

⑤ カメラ ： 録画するカメラ番号を選択します。複数のカメラ番号を設定できます。
ご注意　カメラ番号を選択しないと録画されません。

⑥ 設定　：録画レート、画質、および解像度の設定を行います。 ↵ キーを押すと、「録画設定画面（下図参照）」が表示されます。

⑦ ☒（全削除）　：すべてのスケジュールを削除します。

⑧ ☒（削除）　：選択したスケジュールを削除します。

⑨ ＋（追加）　：新しいスケジュールを追加します。

⑩ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑪ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

［録画設定画面］

本機は、スケジュールごとに連続録画とイベント録画それぞれの録画レート（ips）と画質を設定できます。
共通設定（P. 4-29「録画共通設定をする」）で設定した録画レート、画質、および解像度を使用する場合は“初期設定値に戻す”にチェックを入れます。

メ　モ
モードに「連続録画」を選択した場合、イベント録画は設定できません。また、モードに「イベント録画」を選択した場合、連続録画は設定できません。

① ips　：連続録画、イベント録画のカメラ 1 台あたりの録画レートを設定します。
［選択］1 ～ 30［ips］

② 画質　：連続録画、イベント録画の画質を設定します。
［選択］最高／高／標準／中／低

③ 解像度　：録画データの解像度を選択します。
［選択］Full HD　：1920 × 1080　HD　：1280 × 720　WD1　：944 × 480
D1　：704 × 480　CIF　：352 × 240

ご注意
- NTSC カメラを接続しているチャンネルは、Full HD または HD を選択した場合、WD1 の解像度で録画されます。
- NTSC カメラを接続して Full HD を選択した場合は、総録画レートは 240 ips に制限されます（16 局用のみ）。（P. 4-27「録画レートについて」）

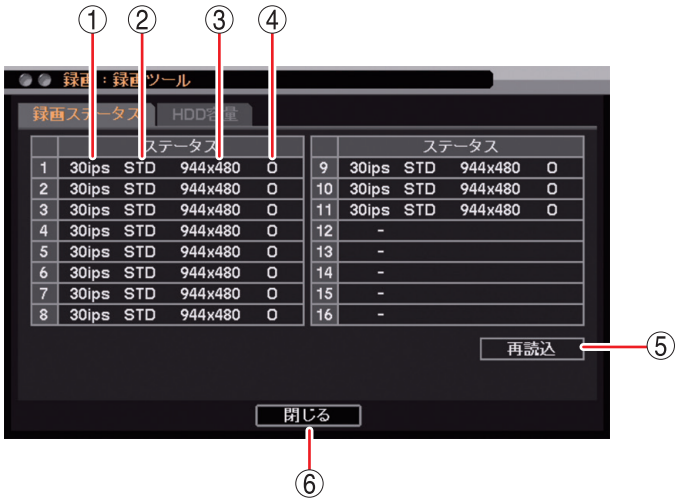
④ 初期設定値に戻す　：チェックを入れると、連続録画とイベント録画の ① ips、② 画質、および ③ 解像度を共通設定の値にします。（P. 4-29「録画共通設定をする」）
①、②、③ の設定を変更するとチェックが外れます。

⑤ OK　：設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには前画面で「OK」を押してください。

⑥ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

■ 現在の録画の状態を確認する（録画ステータス）

「録画」
↓
「録画ツール」
↓
「録画ステータス」
タブ



① ips　：現在の各カメラの録画レートを表示します。

② 画質　：現在の録画画質を表示します。

表示	HI+	HI	STD	LOW	LO-
画質	最高	高	標準	中	低

③ 解像度　：現在の録画データの解像度を表示します。

④ 音声　：現在の録音の有無を表示します。
○ ：音声録音中
× ：音声録音なし

⑤ 再読込　：現在の状態を更新します。

⑥ 閉じる　：前画面に戻ります。

ご注意

イベント録画中や緊急録画中の録画レートは、録画ステータス画面を表示しているときにイベント録画や緊急録画が行われていなければ確認できません。

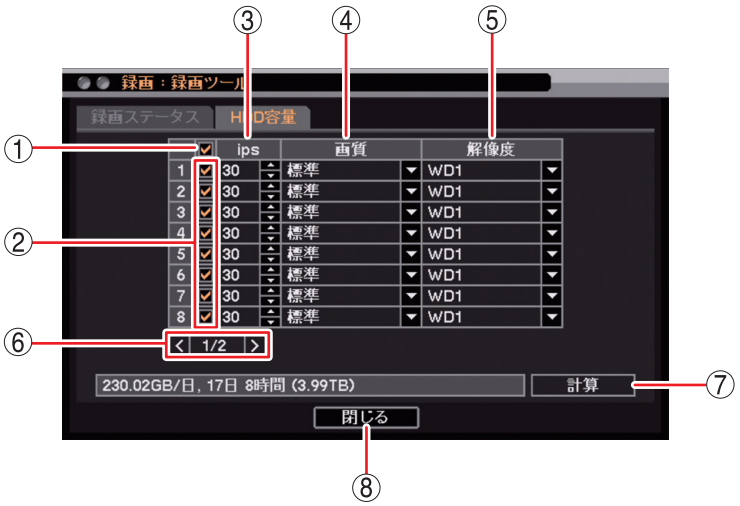
■ 記録時間の算出

録画レート・画質・解像度の録画条件を設定し、録画できる記録時間とハードディスクの使用容量を計算して表示することができます。
音声は、録音しない条件で計算されます。
各録画条件で算出した記録時間の目安は、P. 8-3「記録時間表」を参考にしてください。

ご注意

算出した記録時間や使用容量は参考値であり、保証するものではありません。録画する画像により変動することがあります。

「録画」
↓
「録画ツール」
↓
「HDD 容量」タブ



① 一斉チェックボックス　：録画するカメラチャンネルを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。

② チェックボックス　：録画するカメラチャンネルを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。

③ ips　：カメラ 1 台あたりの録画レートを設定します。
［選択］1 ～ 30［ips］

④ 画質　：録画の画質を設定します。
［選択］最高／高／標準／中／低

⑤ 解像度　：録画データの解像度を選択します。
［選択］
Full HD：1920 × 1080　HD ：1280 × 720　WD1 ：944 × 480
D1 ：704 × 480　CIF ：352 × 240

⑥ ページ切り換え　：〈 〉でページを切り換えます。（16 局用のみ）

⑦ 計算　：設定した録画条件で録画できる記録時間とハードディスクの 1 日当たりの使用容量を計算して表示します。

⑧ 閉じる　：前画面に戻ります。

■ イベント機能について

本機は、各種の「イベント」が発生することでさまざまな機能を活用できます。

ご注意 イベント発生時の機能を使用するためには、あらかじめ設定を行う必要があります。

● イベントの種類

本機では、以下の動作を「イベント」としています。

センサーイベント　：外部センサーからセンサー入力端子に信号が入力されたとき
モーションイベント　：カメラ映像の中に動きを検知したとき（P. 4-41「モーションイベント」）
ビデオロスイベント　：映像信号が途切れたとき（P. 4-46「ビデオロスイベント」）
システムイベント　：システムが異常を検出したとき（P. 4-47「システムイベント」）

● イベントの動作

イベントの発生を検知すると、以下の動作を行うように設定できます。

録画　：イベント録画を開始する。

アラーム　：コントロール出力から信号を出力する。ブザーを鳴動する。警告メッセージを表示する。（P. 5-55「イベントによるアラーム」）

メ　モ

アラーム状態になると、ステータスバーのアラームアイコン（P. 4-5「ライブ画面のステータスバー表示」）とアラーム LED が点灯します。

遠隔通知　：遠隔監視している PC にイベント発生を知らせる。E メールを送信する。（P. 7-5「遠隔通知設定」）

PTZ　：コンビネーションカメラをあらかじめ設定した方向に向ける。（P. 5-43「イベントによるプリセット移動」）

イベントポップアップ　：イベントが発生したカメラ映像をライブ画面に表示させる。（P. 4-20「イベントが発生したカメラ映像を表示する（イベントポップアップ機能）」、P. 4-22「スポット出力（ライブ映像専用）のイベントポップアップ機能」）

メ　モ システムイベントでは、録画、PTZ、イベントポップアップの動作は行いません。

■ センサーイベント

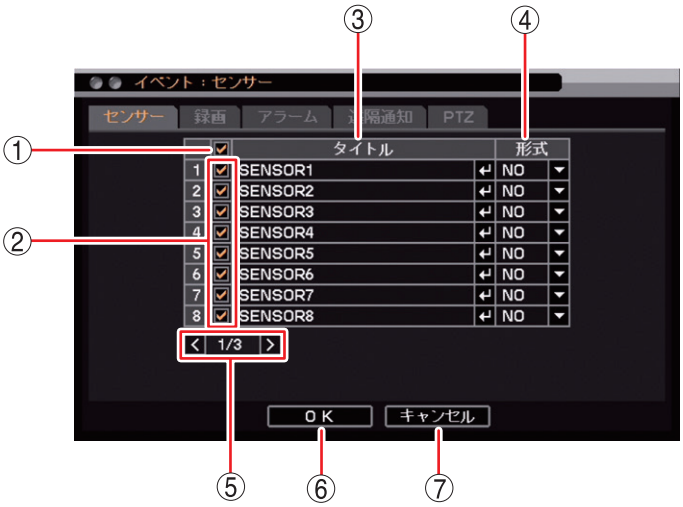
センサーイベントを使用するには、必ずセンサー入力の設定で使用するセンサー番号を選択してください。
選択されたセンサー番号の動作（録画、アラーム、遠隔通知、PTZ）が設定できます。
また、イベントポップアップの設定を行うとセンサー録画中にイベントポップアップさせることができます。
センサーイベント時の動作は、以下の手順で設定します。

1. 使用するセンサーを選択する。（P. 4-39「センサー入力の設定」）
2. センサーを受け付けたときの動作を設定する。
   - センサー録画を開始する（P. 4-40「センサー録画を行う」）
   - コントロール出力やブザー鳴動する（P. 5-55「イベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）
   - 遠隔 PC への通知や E メール送信を行う（P. 7-5「遠隔通知設定」）
   - コンビネーションカメラをあらかじめ設定した方向に向ける。（P. 5-43「イベントによるプリセット移動」）
   - ライブ画面にイベントポップアップさせる（P. 4-20「イベントが発生したカメラ映像を表示する（イベントポップアップ機能）」）

● センサー入力の設定

センサー入力、緊急録画入力の名称、および入力形式を設定できます。
センサーを使用するときは設定を有効にします。

「イベント」
↓
「センサー」
↓
「センサー」タブ



① 一斉チェックボックス　：使用するセンサー入力を一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのセンサー入力は無効になります。

② チェックボックス　：使用するセンサー入力を選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、センサー入力は無効になります。

③ タイトル　：センサー入力と緊急録画入力の名称を入力します。 ↵ キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。英数、記号で最大 16 文字まで入力できます。（P. 3-16「文字を入力する」）
設定したタイトルは、遠隔通知機能で E メール送信するときの E メールや DR NET の Callback イベントリストに表示されます。

ご注意
「＼」「,」「%」はタイトルに使用しないでください。
DRNET や DRNET Mobile と接続して使用したときに正しく表示されないことがあります。

④ 形式　：センサー入力信号と緊急録画入力信号の形式を NO、NC から設定します。
NO（Normally Open）：接点をメイクするとイベント発生、ブレイクするとイベント終了になります。
NC（Normally Close）：接点をブレイクするとイベント発生、メイクするとイベント終了になります。

⑤ ページ切り換え　：＜ ＞でページを切り換えます。

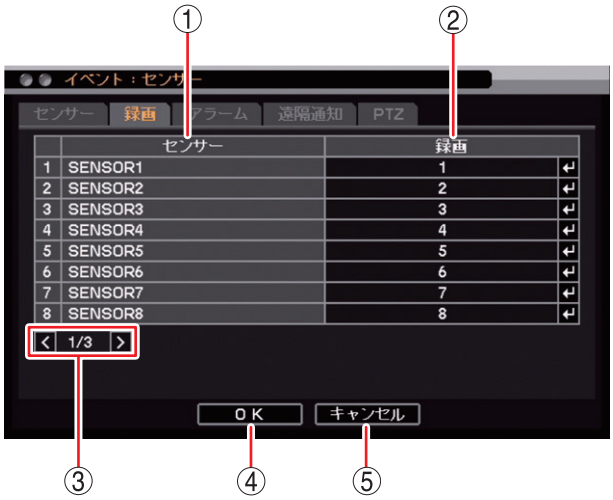
⑥ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑦ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● センサー録画を行う

センサー入力によりセンサー録画を行うカメラチャンネルを設定します。
1 つのセンサー入力で複数のチャンネルのカメラ映像を録画するように設定できます。
センサー録画を行うには、使用するセンサー入力を選択してください。（P. 4-39「センサー入力の設定」）

「イベント」
↓
「センサー」
↓
「録画」タブ



① センサー　：センサー入力端子番号と緊急録画入力の名称を表示します。

② 録画　：センサー入力が入ったときに録画するカメラチャンネルを選択します。 ⏎ キーを押すと「録画カメラ選択画面（P. 4-41）」が表示されます。複数のカメラチャンネルを設定することができます。

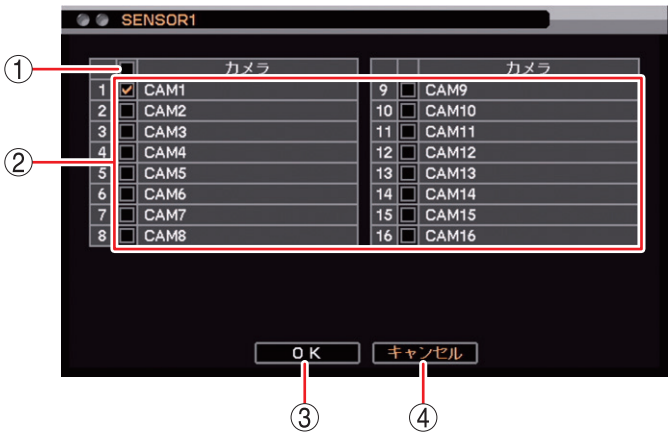
メ　モ　緊急録画を開始したときは、すべてのカメラチャンネルを録画します。

③ ページ切り換え　：＜ ＞でページを切り換えます。

④ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑤ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

［録画カメラ選択画面］



① 一斉チェックボックス　：録画するカメラチャンネルを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのカメラチャンネルの録画は無効になります。

② チェックボックス　：録画するカメラチャンネルを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、カメラチャンネルの録画は無効になります。

③ OK　：設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには前画面で「OK」を押してください。

④ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

ご注意

センサー録画カメラとして設定したカメラチャンネルは、録画スケジュールで「イベント録画」を含む録画スケジュールを設定してください。「イベント録画」を含まない録画モードではイベント録画を行いません。（P. 4-34「録画スケジュールを設定する」）

■ モーションイベント

モーションイベントを使用するには、必ずモーションイベントの設定で使用するカメラ番号を選択してください。選択されたカメラ番号の動作（録画、アラーム、遠隔通知、PTZ）が設定できます。
また、イベントポップアップの設定を行うとモーション録画中にイベントポップアップさせることができます。

ご注意

モーション感度や画像により、動きを検知できない場合や誤検知する場合があります。この機能は、盗難や火災などを防止するための確実な動作を保証するものではありません。万一発生した事故や損害に関して一切の責任を負いかねます。

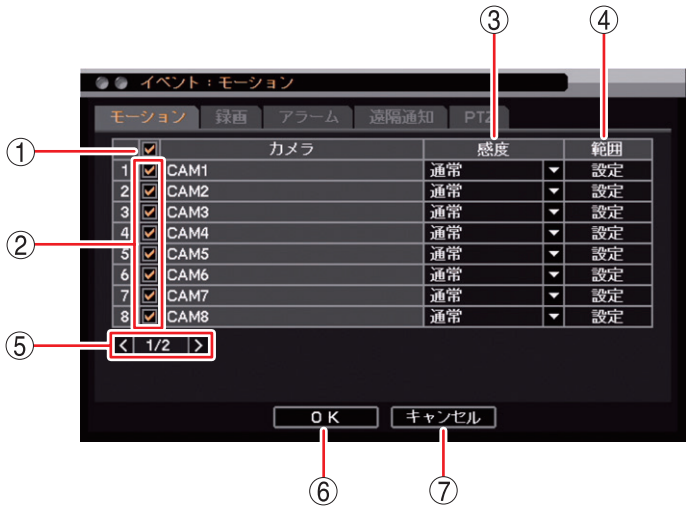
モーションイベント時の動作は、以下の手順で設定します。

1. モーションイベントに使用するカメラを選択する。（P. 4-42「モーション設定」、P. 4-43「モーション範囲を設定する」）
2. モーションを検知したときの動作を設定する。
   - モーション録画を開始する（P. 4-45「モーション録画を行う」）
   - コントロール出力やブザー鳴動する（P. 5-55「イベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）
   - 遠隔 PC への通知や E メール送信を行う（P. 7-5「遠隔通知設定」）
   - コンビネーションカメラをあらかじめ設定した方向に向ける。（P. 5-43「イベントによるプリセット移動」）
   - ライブ画面にイベントポップアップさせる（P. 4-20「イベントが発生したカメラ映像を表示する（イベントポップアップ機能）」）

● モーション設定

モーションを検知する感度、表示、範囲の設定ができます。
モーションを検知するときは設定を有効にしてください。

「イベント」
↓
「モーション」
↓
「モーション」タブ



① 一斉チェックボックス　：モーションを設定するカメラを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのカメラのモーションの設定は無効になります。

② チェックボックス　：モーションを設定するカメラを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、カメラのモーションの設定は無効になります。

③ 感度　：モーション感度を以下の 5 段階から設定します。
［選択］最高／高／通常／中／低

ご注意

モーション検知感度は、カメラの種類や設置状況による映像の違い、モーション範囲の大きさなどで異なり、動きを検知できない場合や誤検知する場合があります。設置場所に応じて感度を設定してください。

④ 範囲　：モーション範囲を設定します。（P. 4-43「モーション範囲を設定する」）

⑤ ページ切り換え　：〈 〉でページを切り換えます。（16 局用のみ）

⑥ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑦ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

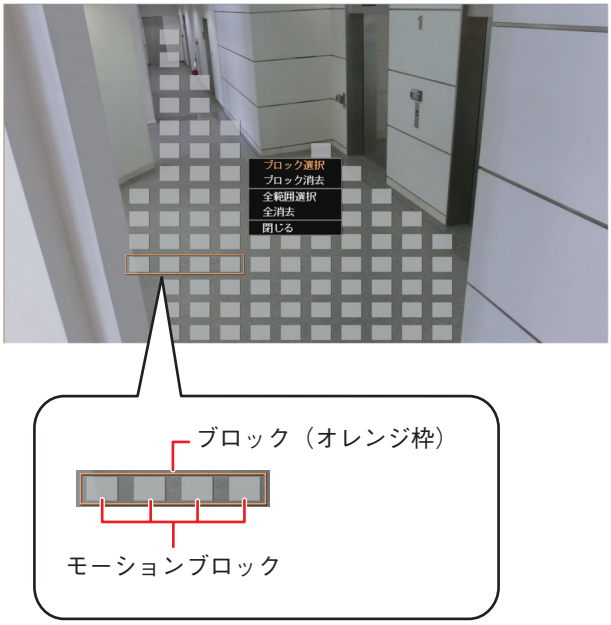
● モーション範囲を設定する

モーション範囲を設定します。

モーションブロックの数：300 モーションブロック（横×縦：20 × 15）

［モーション範囲設定］

「イベント」
↓
「モーション」
↓
「モーション」タブ
↓
「設定」を選択



1 メニューキーを押す。

ブロック選択　：オレンジ色の枠で囲まれたところをモーションブロックに設定します。
ブロック消去　：オレンジ色の枠で囲まれたところのモーションブロックを消去します。
全範囲選択　　：全画面をモーションブロックに設定します。
全消去　　：全画面のモーションブロックを消去します。
閉じる　　：設定したモーション範囲を一時的に保存して前画面に戻ります。

2 「全消去」を選択する。

メ　モ　工場出荷時は「全範囲選択」に設定されています。

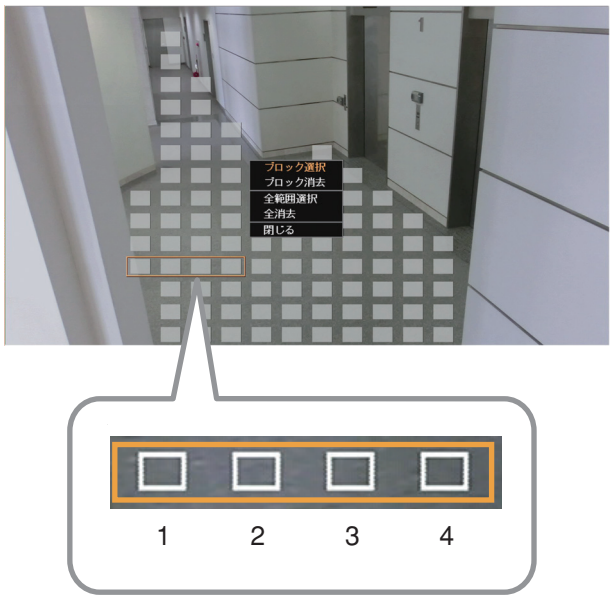
3 上下左右キーを押し、ブロック(オレンジ色の枠)を設定したいモーションブロックの位置に移動する。

4 カメラ選択キーを押してモーションブロックを選択する。

ブロックの左から順にカメラチャンネル番号(1 ～ 4)が割り振られています。
同じモーションブロックのカメラ選択キーを再度押すと選択が解除されます。

メ　モ

キーを押すごとに、オレンジ色の枠内すべてのモーションブロックの選択と消去を交互に行います。



5 メニューキーを押して「閉じる」を選択し終了する。

ご注意

モーション範囲はこの時点では保存されていません。モーション範囲を保存するにはモーション設定画面で「OK」を押して終了してください。

メ　モ

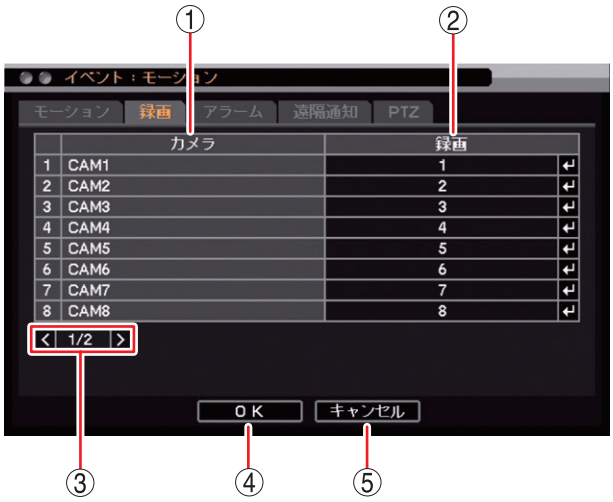
マウスを使用すると設定が容易にできます。
マウスの左ボタンをクリックするとモーションブロックごとに選択(解除)ができます。また、マウスの左ボタンを押しながらモーション範囲の選択(解除)ができます。

左ボタンを押す　：選択範囲の始点を決める
左ボタンを離す　：選択範囲の終点を決める

● モーション録画を行う

カメラがモーションを検知したときにモーション録画を行うカメラチャンネルを設定します。
1 台のカメラでモーションを検知したときに複数のチャンネルを録画するように設定できます。
モーション録画を行うには、モーションを検知するカメラを選択してください。（P. 4-42「モーション設定」）

「イベント」
↓
「モーション」
↓
「録画」タブ



① カメラ　：モーションを設定するカメラ番号とカメラ名称を表示します。

② 録画　：モーションエリアを設定したカメラがモーションを検知したときに録画するカメラを選択します。 ⏎ キーを押すと、「録画カメラ選択画面（P. 4-41）」が表示されます。複数のカメラを選択できます。

③ ページ切り換え　：〈 〉でページを切り換えます。（16 局用のみ）

④ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑤ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

ご注意

モーションを検知したときに録画するように設定したカメラチャンネルは、録画スケジュールで「イベント録画」を含む録画スケジュールを設定してください。「イベント録画」を含まない録画モードではイベント録画を行いません。（P. 4-34「録画スケジュールを設定する」）

■ ビデオロスイベント

ビデオロスイベントはカメラからの映像信号が途切れた場合に発生します。（P. 6-34「ビデオロス」）
ビデオロスが発生したときの動作（録画、アラーム、遠隔通知、PTZ）が設定できます。
また、イベントポップアップの設定を行うとビデオロス録画中にイベントポップアップさせることができます。

ビデオロスイベント時の動作は、以下の手順で設定します。

- ビデオロスしていないカメラ映像を録画する（P. 4-46「ビデオロス録画を行う」）
- コントロール出力やブザー鳴動する（P. 6-35「ビデオロスが発生したときに出力するアラームを設定する」）
- 遠隔 PC への通知や E メール送信を行う（P. 7-5「遠隔通知設定」）
- コンビネーションカメラをあらかじめ設定した方向に向ける。（P. 5-43「イベントによるプリセット移動」）
- ライブ画面にビデオロスしたカメラの代わりに録画するカメラの映像をイベントポップアップさせる（P. 4-20「イベントが発生したカメラ映像を表示する（イベントポップアップ機能）」）

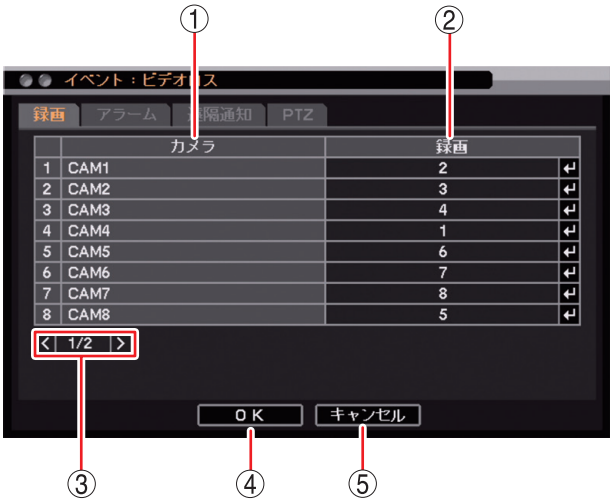
ご注意

AHD カメラのメニュー設定を終了したときや、AHD カメラの調整モードの表示・終了をしたときにビデオロスが発生することがあります。

● ビデオロス録画を行う

ビデオロスを検知したときに、録画を行うカメラチャンネルを設定します。

「イベント」
↓
「ビデオロス」
↓
「録画」タブ



① カメラ　：カメラ名称を表示します。

② 録画　：① のカメラがビデオロスしたときに録画するカメラを選択します。複数のカメラを選択できます。 ⏎ キーを押すと「録画カメラ選択画面（P. 4-41）」が表示されます。

メ　モ　ビデオロスしたカメラは録画できません。

③ ページ切り換え　：< > でページを切り換えます。（16 局用のみ）

④ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑤ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

ご注意

録画中のカメラでビデオロスが発生したときに、代わりに録画するように設定したカメラチャンネルは、録画スケジュールで「イベント録画」を含む録画スケジュールを設定してください。「イベント録画」を含まない録画モードではイベント録画を行いません。（P. 4-34「録画スケジュールを設定する」）

■ システムイベント

システムイベントは、システムがハードディスクの異常やファンの異常を検出した場合に発生します。
アラームや遠隔通知が設定できます。

メ　モ　システムイベントによるイベント録画を行うことはできません。

システムイベントには以下の種類があります。

HDD エラー	：ハードディスクに異常が発生したとき（P. 6-29「ハードディスクエラー」）
残容量警告	：録画設定で上書き禁止に設定して、ハードディスクの使用容量が残容量警告しきい値に達したとき（P. 4-29「録画共通設定をする」）
S.M.A.R.T.	：ハードディスクの持つ S.M.A.R.T. 情報によりエラーを検出したとき（P. 6-30「S.M.A.R.T.」）
録画異常	：ハードディスクが認識できず、録画ができない状態になったとき（P. 6-29「ハードディスクエラー」）
ファン異常検出	：ファン異常が発生したとき（P. 6-28「ファン異常」）

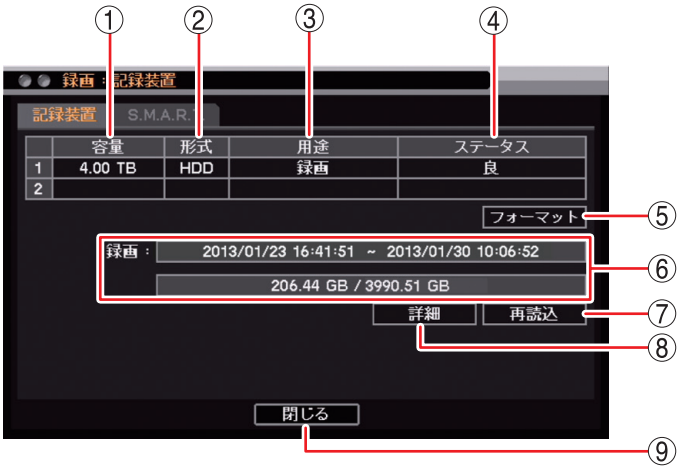
システムイベント時の動作は、以下の手順で設定します。

1. システムイベントに関する設定を行う。（P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）
2. システムイベントを検知したときの動作を設定する。
   - コントロール出力やブザー鳴動、警告メッセージを表示する（P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）
   - 遠隔 PC への通知や E メール送信を行う（P. 7-5「遠隔通知設定」）

■ 記録装置

ハードディスクの状態や録画情報の確認、フォーマットを行うことができます。

「録画」
↓
「記録装置」
↓
「記録装置」タブ



① 容量　　：記録装置の容量を表示します。

② 形式　　：「HDD」と表示します。

③ 用途　　：「録画」と表示します。

④ ステータス　：記録装置の状態を表示します。

ご注意

「不良」と表示されている場合は、ハードディスクエラーです。フォーマットを行ってください。フォーマットしても「不良」と表示される場合には、ハードディスクを交換する必要があります。販売店へお問い合わせください。

⑤ フォーマット　：ハードディスクをフォーマットします。（P. 3-21「ハードディスクをフォーマットする（簡易設定）」）

⑥ 録画　　：ハードディスクに録画しているデータの時刻とハードディスクの使用量を表示します。

⑦ 再読込　　：情報を更新します。

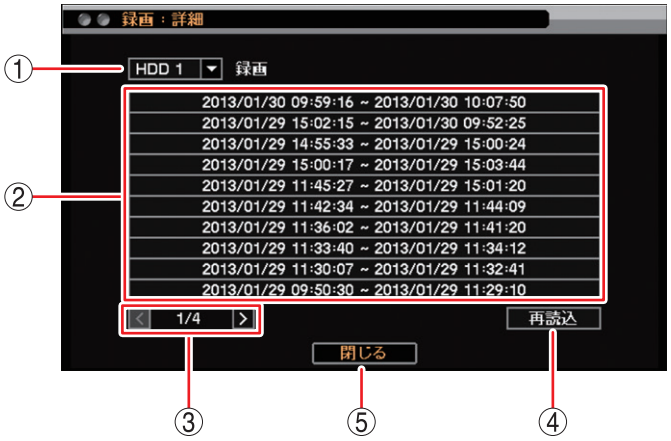
⑧ 詳細　　：ハードディスクに録画しているデータの詳細時刻を表示します。（P. 4-49「録画データが存在する時間を表示する」）

⑨ 閉じる　　：前画面に戻ります。

■ 録画データが存在する時間を表示する

ハードディスクに録画しているデータの時間を確認できます。

「録画」
↓
「記録装置」
↓
「記録装置」タブ
↓
「詳細」ボタンを押す



① HDD　：ハードディスク番号を表示します。

② 録画時間　：録画データのある時間帯を表示します。

③ ページ切り換え　：< > でページを切り換えます。

④ 再読込　：情報を更新します。

⑤ 閉じる　：前画面に戻ります。

第 5 章

その他の機能

再　生

本機に録画されたデータを再生することができます。

ご注意

- 再生操作は再生権限を持つユーザーだけが操作できます。
- 13 分割画面、16 分割画面の再生は、録画データの録画レートにかかわらず、カメラチャンネルごとに 1 秒あたり 1 枚程度の再生になります。すべてのフレームを再生するときは、別の画面表示に切り換えて再生を行ってください。
- 本機再生中のネットワークライブ配信レートは、カメラチャンネルごとに 1 秒あたり 1 枚程度になります。
- 本機再生中は、録画データの録画レートや配信するカメラチャンネル数によっては、ネットワーク再生配信の再生速度が遅くなることがあります。
- 本機の負荷が高くなると、音声が途切れることがあります。

■ 再生画面の表示

● 再生画面で表示できること

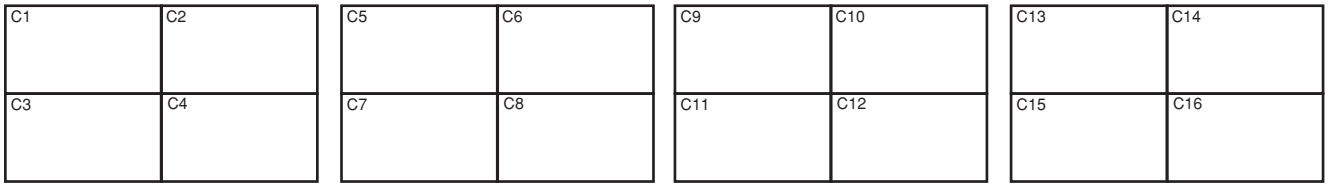
再生時の映像は、以下の画面表示をすることができます。

［画面表示］

1 画面　　：1 チャンネルの映像を表示します。
4 分割画面　：モニターを 4 分割して 4 チャンネルの録画映像を表示します。
6 分割画面　：モニターを 6 分割して 6 チャンネルの録画映像を表示します。
8 分割画面　：モニターを 8 分割して 8 チャンネルの録画映像を表示します。（16 局用のみ表示）
9 分割画面　：モニターを 9 分割して 9 チャンネルの録画映像を表示します。
13 分割画面：モニターを 13 分割して 13 チャンネルの録画映像を表示します。（16 局用のみ表示）
16 分割画面：モニターを 16 分割して 16 チャンネルの録画映像を表示します。（16 局用のみ表示）

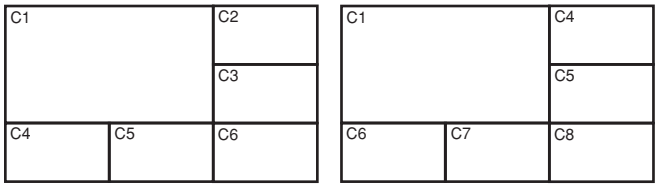
［1 画面］

［4 分割画面］

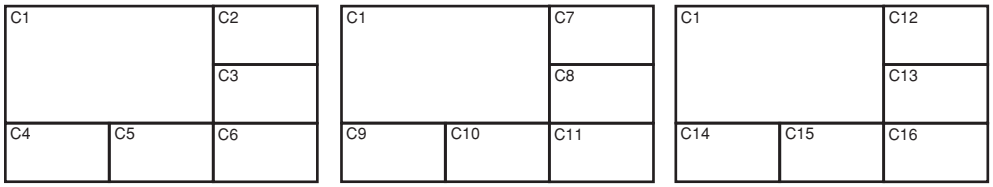


（16 局用のみ）　（16 局用のみ）

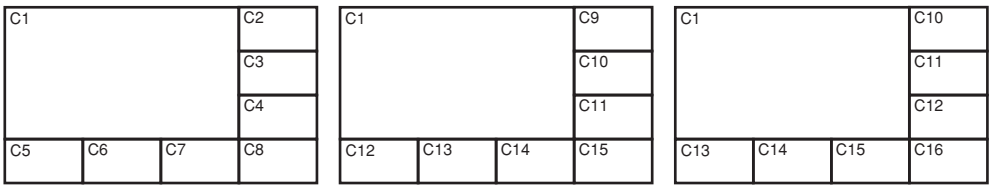
［6 分割画面（8 局用）］



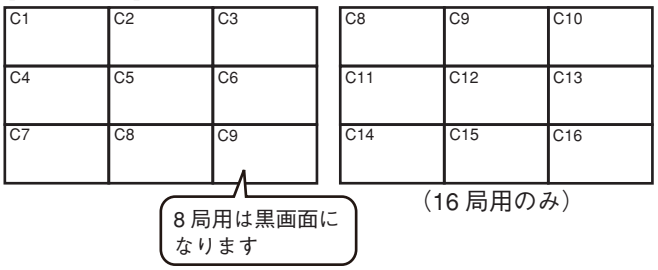
［6 分割画面（16 局用）］



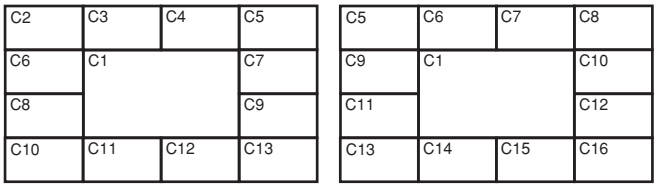
［8 分割画面（16 局用のみ）］



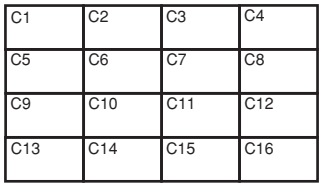
［9 分割画面］



［13 分割画面（16 局用のみ）］



［16 分割画面（16 局用のみ）］



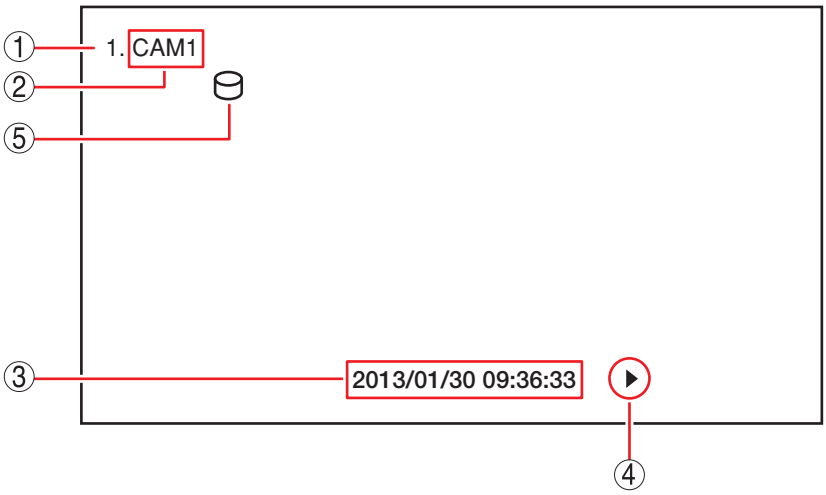
画面表示の変更操作は、P. 5-8「再生操作メニューによる再生操作」、P. 5-7「再生操作を行う」を参照してください。

ご注意

- 以下のカメラチャンネルは黒画面を表示します。
  - ・録画データがないチャンネル
  - ・「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしているチャンネル（P. 4-8「モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク機能）」）
- 分割画面で再生中に、再生が終わったチャンネルは、最後の画面を表示し続けます。

● 再生画面の OSD 表示

再生画面の状態や情報を OSD 表示します。



① 再生チャンネル　：再生しているカメラチャンネル番号を表示します。

② カメラ名　：再生しているカメラ名称を表示します。（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）

③ 再生日時　：再生映像の日時を表示します。

メ　モ

再生日時は画面下部に表示されます。分割画面再生の場合、チャンネルごとには表示されません。

④ 再生状態表示　：再生している状態を表示します。表示内容は以下のとおりです。

II	：一時停止		
▶	：再生（速度 1 倍）	◀	：逆再生（速度 1 倍）
▶▶×2	：再生（速度 2 倍）	◀◀×2	：逆再生（速度 2 倍）
▶▶×4	：再生（速度 4 倍）	◀◀×4	：逆再生（速度 4 倍）
▶▶×8	：再生（速度 8 倍）	◀◀×8	：逆再生（速度 8 倍）
▶▶×16	：再生（速度 16 倍）	◀◀×16	：逆再生（速度 16 倍）
▶▶×32	：再生（速度 32 倍）	◀◀×32	：逆再生（速度 32 倍）

⑤ バックアップ中表示　：バックアップ実行中に表示されます。色でバックアップの種類を表示します。（P. 5-15「バックアップ中の OSD 表示」）

メ　モ

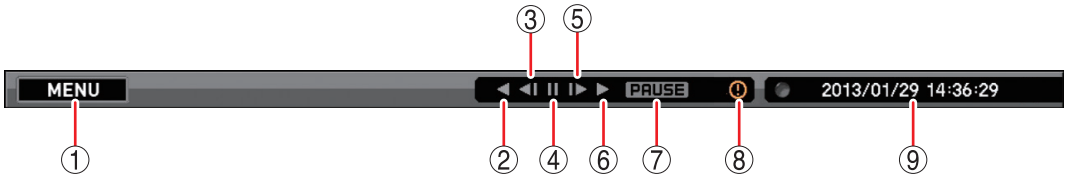
① ～ ⑤ の OSD は再生画面での操作により、すべて非表示にすることができます。（P. 4-16「OSD 表示を設定する」）

● 再生画面のステータスバー表示

再生画面の再生日時表示・再生状態表示部分に以下のように表示されます。

メ　モ

- 再生画面のステータスバーは、マウスによる再生操作で使用します。（P. 5-8「マウスによる再生操作」）
- 再生画面の OSD やステータスバー表示の設定は、再生操作メニューの「OSD」で行うことができます。（P. 5-8「再生操作メニューによる再生操作」）



① 再生操作メニューを表示します。

② 逆再生を行います。クリックするごとに再生速度が 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍と段階的に変化します。

③ コマ戻し再生を行います。

④ 再生または逆再生を一時停止します。

⑤ コマ送り再生を行います。

⑥ 再生を行います。クリックするごとに、再生速度が 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍と段階的に変化します。

⑦ 現在の再生状態を表示します。

PAUSE ： 一時停止

PLAY	： 再生（速度 1 倍）	R.PLAY	： 逆再生（速度 1 倍）
FF × 2	： 再生（速度 2 倍）	RW × 2	： 逆再生（速度 2 倍）
FF × 4	： 再生（速度 4 倍）	RW × 4	： 逆再生（速度 4 倍）
FF × 8	： 再生（速度 8 倍）	RW × 8	： 逆再生（速度 8 倍）
FF × 16	： 再生（速度 16 倍）	RW × 16	： 逆再生（速度 16 倍）
FF × 32	： 再生（速度 32 倍）	RW × 32	： 逆再生（速度 32 倍）

⑧ 緊急録画中に点灯します。（P. 4-32「緊急録画を行う」）

⑨ 再生映像の日時を表示します。

■ 再生操作

ライブ画面から再生画面に切り換えることで録画データを再生できます。

ご注意

- 録画中に再生を行う場合、現在時刻から 1 分以内の録画データは再生できない場合があります。しばらく待ってから再生してください。
- 逆再生、早戻し再生、および早送り再生は、フレームをスキップしながら再生します。すべてのフレームを再生していません。
- 一定の速度で再生、逆再生できないことがあります。
- 13 分割画面、16 分割画面の再生は、録画データの録画レートにかかわらず、カメラチャンネルごとに 1 秒あたり 1 枚程度の再生になります。すべてのフレームを再生するときは、別の画面表示に切り換えて再生を行ってください。

● 再生画面へ切り換える

1 ライブ画面で ⏎ キーを押す。

ライブ操作メニューが表示されます。

2 ライブ操作メニューから「再生」を選択し、⏎ キーを押す。

再生選択メニューが表示されます。

メ　モ

USB メモリーに独自形式のバックアップデータがある場合は「バックアップデータ」を選択し、本機で再生できます。（P. 5-34「独自形式のファイルを本機で再生する」）

［ライブ操作メニュー］

3 「HDD」を選択し、⏎ キーを押す。

ライブ画面から再生画面に切り換わります。

再生操作については、P. 5-7「再生操作を行う」を参照してください。

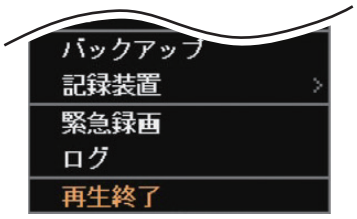
メ　モ　本機前面の再生モードキーでも同様の操作が行えます。

● 再生を終了する

1 再生画面でメニューキーを押す。

再生操作メニューが表示されます。

［再生操作メニュー］



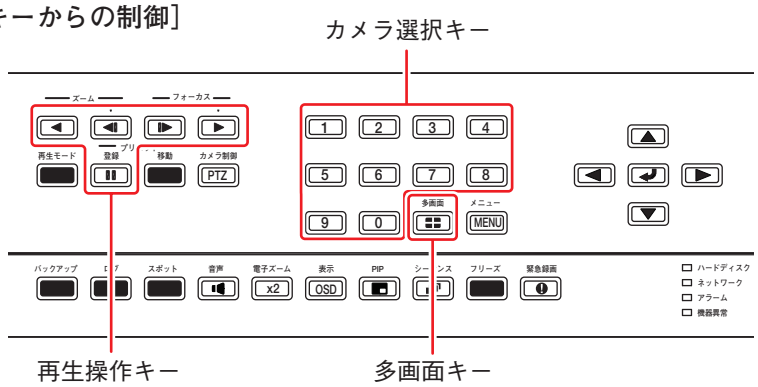
2 「再生終了」を選択し、⏎ キーを押す。

再生画面からライブ画面に切り換わります。

● 再生操作を行う

再生状態で前面キーから以下の操作ができます。

［前面キーからの制御］



	キー	機　　能
再生操作	▶	再生を行います。 再生中は押すごとに再生速度が 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍と段階的に変化します。
	◀	逆再生を行います。 逆再生中は押すごとに逆再生速度が 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍と段階的に変化します。
	❚❚	再生または逆再生を一時停止します。
	❚▶	コマ送り再生を行います。
	◀❚	コマ戻し再生を行います。
画面表示	0 ～ 9	選択したカメラ選択キーと同じチャンネルの再生画面が 1 画面で表示されます。 メ　モ 16 局用でカメラチャンネル 10 ～ 16 を選択する場合は、以下のように押してください。 （例）カメラチャンネル「10」のとき：「1」、「0」
	多画面	画面表示が切り換わります。押すごとに画面表示が段階的に変化します。 8 局用　：4 段階（1 画面 ⇒ 4 分割 ⇒ 6 分割 ⇒ 9 分割） 16 局用：7 段階（1 画面 ⇒ 4 分割 ⇒ 6 分割 ⇒ 9 分割 ⇒ 8 分割 ⇒ 13 分割 ⇒ 16 分割）
	▲ ◀ ▶ ▼	▲キー、▶キーを押すと、1 画面表示中はカメラチャンネルが次のチャンネルに、分割画面表示中はレイアウトが次のページに切り換わります。 再生操作メニュー「表示レイアウト」→「次へ」と同様です。
		▼キー、◀キーを押すと、1 画面表示中はカメラチャンネルが前のチャンネルに、分割画面表示中はレイアウトが前のページに切り換わります。 再生操作メニュー「表示レイアウト」→「前へ」と同様です。
	電子ズーム x2	1 画面表示中に再生画面を拡大表示（2 倍、4 倍、8 倍）します。再生操作メニュー「ズーム」と同様です。（P. 4-18「映像の一部を拡大する（電子ズーム機能）」） キーを 3 秒以上押すと、HDMI 出力とアナログ RGB 出力に出力する映像の解像度が変更されます。通常は、設定メニューで解像度を設定してください。（P. 4-11「モニター出力の解像度を決める」）
	スポット	スポット出力に表示するカメラチャンネルを選択します。（P. 4-21「スポット出力」）
その他の操作	音声	音声出力チャンネルのオン／オフを切り換えます。 再生操作メニュー「音声」と同様です。（P. 5-10「再生音声を出力する」）
	表示 OSD	OSD の表示／非表示を切り換えます。
	メニュー MENU	再生操作メニューが表示されます。（P. 5-8「再生操作メニューによる再生操作」）
	バックアップ	バックアップ方法の選択メニューが表示されます。再生操作メニュー「バックアップ」と同様です。（P. 5-15「バックアップのしかた」）
	ログ	システムログ、イベントログを表示します。 再生操作メニュー「ログ」と同様です。（P. 6-20「ログ」）
	緊急録画	緊急録画を行います。再生操作メニュー「緊急録画」と同様です。（P. 4-32「緊急録画を行う」）

● マウスによる再生操作

マウスによる再生操作は、再生ステータスバーから行います。（P. 5-5「再生画面のステータスバー表示」）
操作を行うためにはステータスバーを表示してください。（P. 5-8「再生操作メニューによる再生操作」）

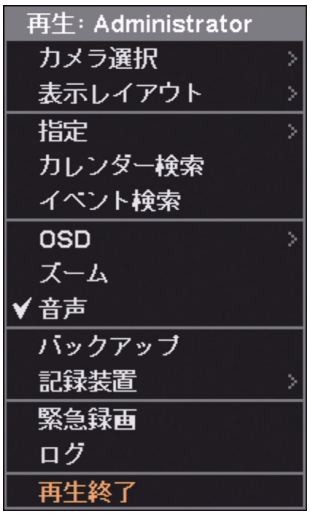
メ　モ　再生画面をダブルクリックすると、分割画面と選択された 1 画面を切り換えることができます。

● 再生操作メニューによる再生操作

再生操作メニューによる再生操作を行います。再生操作メニューは、再生画面でメニューキーを押すと表示されます。メニューを閉じる場合は、再度メニューキーを押します。

メ　モ　再生操作メニューは、マウスの右クリックで表示することも、閉じることもできます。

［再生操作メニュー］



カメラ選択　：1 画面表示するカメラチャンネルまたは 9 分割画面表示（8 局用）、16 分割画面表示（16 局用）を選択します。（P. 4-14「指定したカメラを表示する」）

表示レイアウト　：分割表示状態を選択します。（P. 4-14「複数のカメラ映像を同時に表示する」）

指定　：日時指定再生を行います。（P. 5-9「日時を指定して再生する」）

カレンダー検索　：カレンダー上で録画日時を指定して再生します。（P. 5-11「カレンダー検索して再生する」）

イベント検索　：イベントリストから再生します。（P. 5-13「イベント検索して再生する」）

OSD　：OSD とステータスバーの表示状態を選択します。（P. 4-16「OSD 表示を設定する」）

ズーム　：1 画面表示中の再生画面を拡大表示します。
拡大表示中に上下左右キーを使って表示領域を移動することができます。（P. 4-18「映像の一部を拡大する（電子ズーム機能）」）

音声　：再生時の音声出力の切り換えを行います。（P. 5-10「再生音声を出力する」）

バックアップ　：バックアップ方法の選択メニューが表示されます。「バックアップ」と「クリップ作成」のどちらかを選択することができます。（P. 5-15「バックアップのしかた」）
再生中は簡易バックアップになります。（P. 5-21「再生中にバックアップする（簡易バックアップ）」）

メ　モ
バックアップ権限を持たないユーザーは使用できません。

記録装置　：再生するデータの保存元を変更します。「HDD」と「バックアップデータ」のどちらかを選択することができます。USB メモリーに独自形式のバックアップデータがある場合は「バックアップデータ」を選択し、本機で再生できます。（P. 5-34「独自形式のファイルを本機で再生する」）

緊急録画　：緊急録画を行います。（P. 4-32「緊急録画を行う」）

ログ　：システムログとイベントログを表示します。（P. 6-20「ログ」）

メ　モ
イベントログ表示画面からイベント録画の再生ができます。（P. 6-26「イベントログを表示する」）

再生終了　：再生画面を終了してライブ画面に戻ります。

● 日時を指定して再生する

1 再生操作メニューの「指定」を選択し、⏎ キーを押す。

指定選択メニューが表示されます。

時間指定　：時間指定画面が表示されます。
⇒ 手順 2 へ

最初に移動：再生画面に録画の最古データを表示します。

最後に移動：再生画面に録画の最新データを表示します。

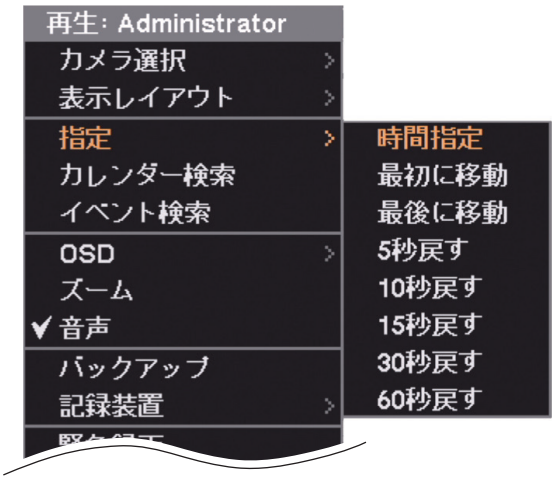
5 秒戻す　：再生画面に 5 秒前の録画データを表示します。

10 秒戻す　：再生画面に 10 秒前の録画データを表示します。

15 秒戻す　：再生画面に 15 秒前の録画データを表示します。

30 秒戻す　：再生画面に 30 秒前の録画データを表示します。

60 秒戻す　：再生画面に 60 秒前の録画データを表示します。



2 「時間指定」を選択し、⏎ キーを押す。

時間指定画面が表示されます。

3 日付／時間を設定してから「OK」を選択し、⏎ キーを押す。

設定した日付／時間の録画データが再生画面に表示されます。

［時間指定画面］

① 日付／時間　：再生を開始する日時を設定します。左右キーで年・月・日または時・分・秒を選択し、上下キーで数値を変更します。

② 最初に移動　：チェックを入れると録画した最も古い日時を ① に表示します。

③ 最後に移動　：チェックを入れると録画した最も新しい日時を ① に表示します。

④ OK　：設定した日時の録画データが表示されます。

⑤ キャンセル　：設定した日時を保存せずに前画面に戻ります。

■ 音声を再生する

本機に録画されたデータに音声が含まれているときは、録音した音声を出力することができます。音声は、「録音カメラ選択画面（P. 4-25）」で選択したカメラチャンネルの 1 画面再生中に出力されます。

ご注意

- 再生速度を変更したとき、分割画面表示中、および逆再生中は音声は出力されません。
- ごくまれに音声が途切れることがあります。

● 再生音声を出力する

再生操作メニューで再生音声の出力（オン／オフ）を切り換えることができます。

手順：再生操作メニューの「音声」を選択し、 ⏎ キーを押す。

再生画面にアイコンが約 1 秒表示され、音声出力が切り換わります。

［音声を出力するとき］

［音声を出力しないとき］

メ　モ

- 音声出力時には、再生操作メニューの「音声」にチェックが入ります。
- 本機前面の音声キーでも同様の操作が行えます。

■ 検　索

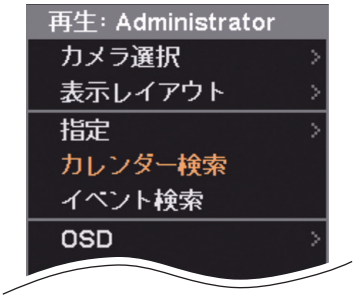
検索には、カレンダーから検索する「カレンダー検索」とイベントリストから絞込みを行う「イベント検索」があります。

● カレンダー検索して再生する

再生画面に表示しているカメラチャンネルの録画データを検索できます。
分割画面再生時に検索した場合は、いずれかのカメラに録画データがあるとタイムテーブルに表示されます。

1 **再生操作メニューの「カレンダー検索」を選択し、⏎ キーを押す。**

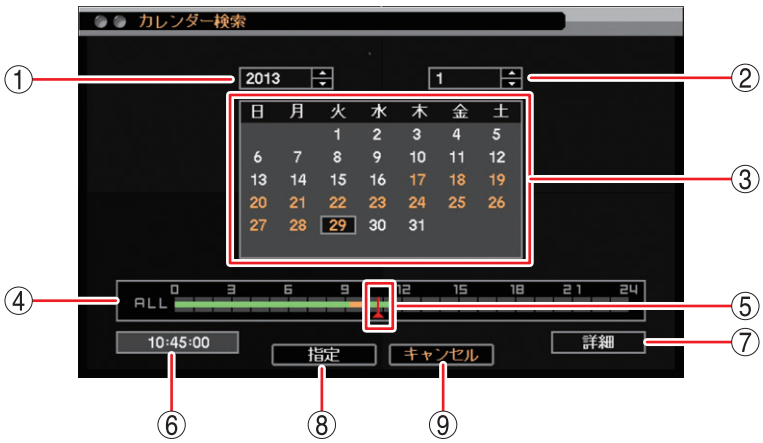
カレンダー検索画面が表示されます。



2 **日時を設定したあとに「指定」を選択し、⏎ キーを押す。**

再生画面に設定した日時の録画データが表示されます。

［カレンダー検索画面］



① 年　：再生を開始する年を設定します。上下キーで数値を変更します。

② 月　：再生を開始する月を設定します。上下キーで数値を変更します。

③ カレンダー　：カレンダーの日付を選択します。上下左右キーでカーソルを移動し、再生を開始したい日を ⏎ キーで選択します。録画データの存在する日付はオレンジ色で表示されます。

④ タイムテーブル　：録画データは 15 分ごとのカラーバーで表示します。再生画面に表示しているカメラチャンネルの録画データがある時間は、緑色またはオレンジ色で表示されます。

緑色　：録画データがある。
オレンジ色　：同一時刻に重複した録画データがある（P. 5-13）。
灰色　：再生画面に表示されていないカメラのみに録画データがある。

⑤ 時刻カーソル　：再生したい時刻に合わせます。タイムテーブルを選択し、左右キーで 15 分ずつ移動させることができます。

⑥ 時刻表示　：時刻カーソル位置の時刻を表示します。

⑦ 詳細　：カメラごとの録画データをカラーバーで表示する「詳細画面(下図参照)」が表示されます。

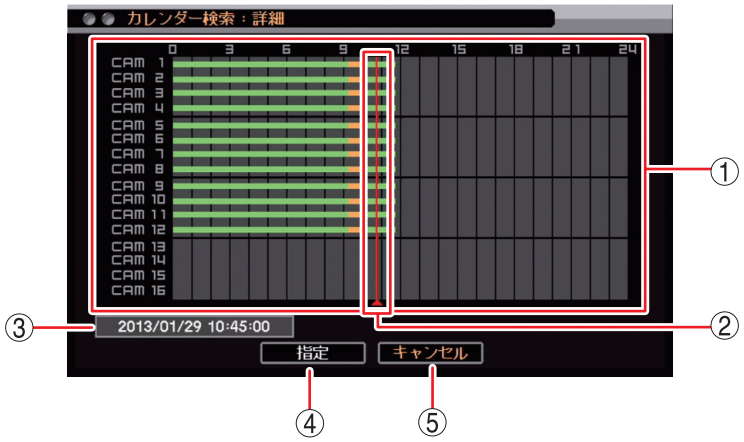
⑧ 指定　：設定した日時の録画データが表示されます。

メ　モ

時刻カーソルが再生画面に表示されているカメラに録画データがない時刻を指定している場合は、他のカメラに録画データがあっても指定ボタンを選択できません。

⑨ キャンセル　：前画面に戻ります。

［詳細画面］



① タイムテーブル　：カメラごとに録画したデータを 15 分単位のカラーバーで表示します。

② 時刻カーソル　：再生したい時刻に合わせます。タイムテーブルを選択し、左右キーで 15 分ずつ移動させることができます。

③ 時刻表示　：時刻カーソル位置の時刻を表示します。

④ 指定　：設定した日時の録画データが表示されます。

メ　モ

時刻カーソルが再生画面に表示されているカメラに録画データがない時刻を指定している場合は、他のカメラに録画データがあっても指定ボタンを選択できません。

⑤ キャンセル　：前画面に戻ります。

［同一時刻に録画データが重なっている場合の再生］

時刻調整や NTP 調時（P. 6-8「NTP 調時機能を設定する」）によって本機の時刻が変更されたときに、同一時刻に録画データが重複することがあります。重複した時刻の録画データは録画した順に再生されます。

この時刻でカレンダー検索を行うと、重複した時刻はカラーバーの色がオレンジ色になります。

重複した時刻を選択すると、再生選択画面が表示されます。

「1」を選択：先に録画したデータの時刻から再生を行います。あとに録画したデータも再生します。
「2」を選択：あとに録画したデータの時刻から再生を行います。先に録画したデータは再生しません。

● イベント検索して再生する

1 **再生操作メニューの「イベント検索」を選択し、⏎ キーを押す。**

イベント検索画面（次ページ）が表示されます。

2 **検索する日付を選択する。**

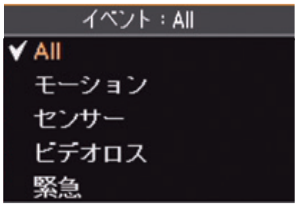
イベントのリストは、1 日ごとに表示されます。
イベント検索画面の「時間」にカーソルを合わせて ⏎ キーを押してください。検索する日付を選択できます。

3 **検索するイベントを選択する。**

特定のイベントを検索する場合は、イベント検索画面の「イベント」にカーソルを合わせて ⏎ キーを押してください。検索するイベントを選択できます。

4 **イベントリストを表示する。**

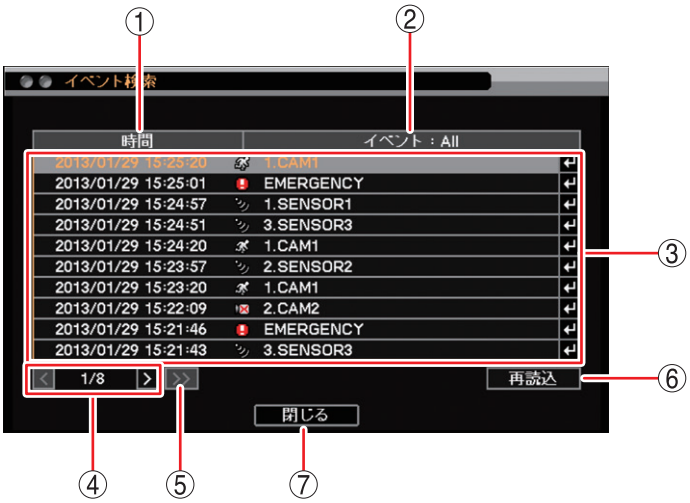
再生画面に選択したリストの録画データが表示されます。
1 ページで表示できない場合は、 ＜ 、 ＞ 、 ≫ を押してページを切り換えて選択してください。



5 **イベントリストからイベントを選択し、⏎ キーを押す。**

再生画面にイベント発生時刻の録画データが表示されます。

［イベント検索画面］



① 時間　：「時間」を選択して ↵ キーを押すとイベント発生日の選択肢が表示され、選択した日付のイベント情報がリストに表示されます。

② イベント　：「イベント」を選択して ↵ キーを押すと以下の選択肢が表示され、選択したイベントの情報がリストに表示されます。
［選択］ALL、モーション、センサー、ビデオロス、緊急

③ イベントリスト　：イベント検索結果をリスト表示します。

④ ページ切り換え　：＜ ＞でページを切り換えてイベントリストを表示します。100 ページ内での移動ができます。

⑤ ≫　：イベントリストを 100 ページ先に送ります。

ご注意

100 ページ送りを行うと、前の 100 ページには戻れません。「閉じる」を押して前画面に戻してから再度検索を行ってください。

⑥ 再読込　：最新イベント情報に更新して、1 ページ目を表示します。

⑦ 閉じる　：イベント検索画面を閉じて前画面に戻ります。

ご注意

緊急録画時間、ポスト録画時間の設定が短い場合、何度もイベントログが残ることがあります。（P. 4-32「緊急録画を行う」、P. 4-33「ポスト録画時間について」、P. 6-26「イベントログ」）

バックアップのしかた

録画されたデータを USB メモリーに保存することができます。本機前面のマウス／バックアップ端子に USB メモリーを接続し、バックアップ操作を行ってください。バックアップ後は、指定した時間がバックアップできていることを確認してください。

データ保存形式は以下の 3 種類から選択できます。

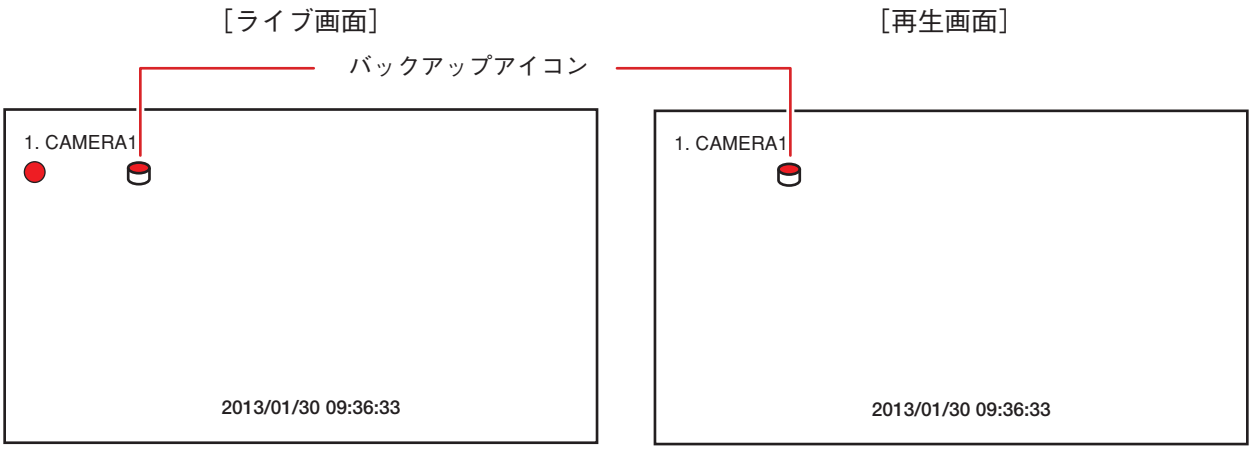
データ形式	バックアップデータ			再生方法	参照ページ
	映像	音声	カメラ台数		
DVR Media Player 形式	○	○	複数台	PC で再生できます。 （「Internet Explorer」またはバックアップデータ閲覧ソフトウェア「Backup Media Player」が必要です）	P. 5-16
独自形式	○	○	複数台	・本機で再生できます。 ・DRNET がインストールされている PC で再生できます。	P. 5-16
AVI 形式	○	○	1 台	PC で再生できます。 （「Windows Media Player」が必要です）	P. 5-19

ご注意

- USB メモリーは FAT32 または NTFS でフォーマットされたものを使用してください。
- USB メモリーは 2 GB 以上を使用してください。
- 同時に複数の USB メモリーを接続して使用しないでください。
- バックアップ中は USB メモリーを取り外さないでください。システムに異常が発生するおそれがあります。
- 録画上書きによりバックアップ中の録画データが消去されると、その時点でバックアップは終了されます。
- バックアップ中に DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーと接続しているときは、バックアップ時間が長くなることがあります。
- バックアップデータに対するイベント検索はできません。

■ バックアップ中の OSD 表示

ライブ画面や再生画面のバックアップ中の OSD は下図のように表示されます。



バックアップアイコン　：バックアップの形式によって色別のアイコンを表示します。
赤色：バックアップ中
青色：クリップ作成中
白色：簡易バックアップ中（再生画面のみ）

メ　モ　バックアップ中は、すべてのカメラチャンネルにバックアップアイコンが表示されます。

■ 複数のカメラをバックアップする(バックアップ)

同じ時間に録画された複数のカメラチャンネルの映像データと音声データを 1 つのファイルにして USB メモリーにバックアップします。バックアップを行うと、バックアップアイコンが表示されます。(P. 5-15「バックアップ中の OSD 表示」)バックアップによって、Internet Explorer やバックアップデータ閲覧ソフトウェア Backup Media Player で再生できる DVR Media Player 形式(実行ファイル形式)と本機や DRNET で再生できる独自形式のファイルを作成できます。

ご注意

- DVR Media Player 形式のバックアップは、ファイルサイズが 4 GB を超えるとファイルが分割されます。また、独自形式のバックアップは、USB メモリーが FAT32 でフォーマットされている場合、ファイルサイズが 4 GB を超えるとファイルが分割されます。分割されたファイルのファイル名には、自動で通し番号が付加されます。
- バックアップの完了メッセージが表示されるまで USB メモリーを取り外さないでください。
- バックアップ権限を持つユーザーだけが使用できます。

1 ライブ画面で ⏎ キーを押す。

ライブ操作メニューが表示されます。

2 ライブ操作メニューから「バックアップ」を選択し、⏎ キーを押す。

バックアップ選択メニューが表示されます。

3 バックアップ選択メニューから「バックアップ」を選択し、⏎ キーを押す。

バックアップ設定画面が表示されます。

4 各項目を決定して、バックアップを開始する。

[バックアップ設定画面]

① ソース　：「録画」と表示されます。

② デバイス　：「USB Storage」と表示されます。

③ ファイル名　：ファイル名を変更できます。⏎ キーを押すと「文字入力画面」が表示され、ファイル名の入力ができます。最大59文字まで入力できます。(P. 3-16「文字を入力する」)

メ　モ　アルファベットと数字以外に、使用できる記号は、「_」「-」「.」「;」です。

④ 開始　：開始日時を設定します。左右キーで年・月・日または時・分・秒を選択し、上下キーで数値を変更します。

⑤ 終了　：終了日時を設定します。左右キーで年・月・日または時・分・秒を選択し、上下キーで数値を変更します。

⑥ カメラ　：バックアップするカメラ番号を選択します。バックアップの形式が独自形式や DVR Media Player 形式の場合は、複数のカメラチャンネルを選択できます。

⑦ DVR Media Player　：DVR Media Player 形式でバックアップを行う場合にチェックを入れます。チェックなしの場合、独自形式でバックアップを行います。

⑧ パスワード　：チェックを入れるとバックアップデータにパスワードを設定できます。

⑨ ステータス　：設定中は接続されているデバイスの容量を表示します。バックアップを開始するとバックアップの進捗状態を表示します。進捗状態表示が 100% になると終了処理を行い、完了画面が表示されてバックアップが終了します。

ご注意

バックアップするデータサイズや本機の状態により、完了画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。完了画面が表示されるまで USB メモリーを取り外さないでください。

⑩ アップデート　：外部デバイスの接続状態を更新します。

⑪ スタート　：マウス／バックアップ端子に USB メモリーを接続し、 ⏎ キーを押してください。バックアップを開始します。
パスワードにチェックが入っている場合は、バックアップパスワード設定画面が表示されます。パスワードを保存するとバックアップを開始します。（P. 5-18「バックアップパスワードを設定する」）

⑫ 閉じる　：元の画面に戻ります。

メ　モ

- バックアップを開始すると ⑪ の「スタート」ボタンは「キャンセル」ボタンに変わります。
「キャンセル」を選択して ⏎ キーを押すと、「中止しますか？」というメッセージが表示されます。
バックアップを停止する場合は、「はい」を選択してください。
- 本機前面のバックアップキーでも同様の操作が行えます。

[同一時刻に録画データが重なっている場合のバックアップ]

時刻調整や NTP 調時によって本機の時刻が変更されたとき、同一時刻に録画データが重複することがあります。重複した時間がバックアップ開始時刻と終了時刻の中に含まれている場合、スタートボタンを押したときにバックアップ選択画面が表示されます。

「1」を選択　：開始時刻から終了時刻まで重複したデータもすべてバックアップを行います。
「2」を選択　：あとに録画したデータの時刻から終了時刻までバックアップを行います。先に録画したデータはバックアップされません。

ご注意

開始時刻または終了時刻が重複した時間の中に含まれる場合は、データの一部をバックアップできません。
重複した時間より長くなるように、開始時刻か終了時刻を調整してください。

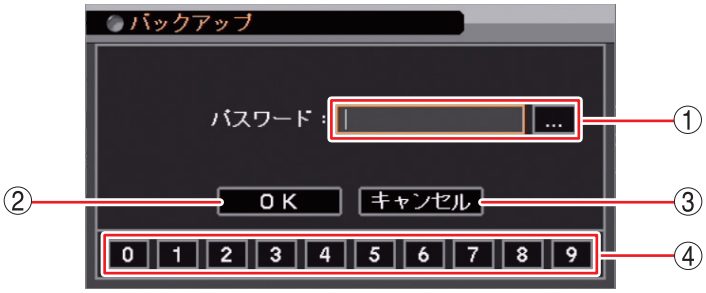
［バックアップパスワードを設定する］

DVR Media Player 形式、または、独自形式のバックアップデータにパスワードを設定できます。バックアップ設定画面で「パスワード」にチェックが入っている場合に、スタートボタンを押すと表示されます。
（P. 5-16「複数のカメラをバックアップする（バックアップ）」、P. 5-21「再生中にバックアップする（簡易バックアップ）」）
パスワードは最大 8 文字まで入力できます。

ご注意

パスワードはバックアップしたデータを再生するために必要な情報です。パスワードを忘れないよう、メモを取るなどして大切に保管してください。

［バックアップパスワード設定画面］



① パスワード　：... ボタンを選択し、↵キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。
登録したいパスワードを入力します。入力した文字は「＊」で表示されます。（P. 3-16「文字を入力する」）

② OK　：パスワードを保存してバックアップを開始します。

③ キャンセル　：設定を保存せずに「バックアップ設定画面」に戻ります。

④ 数字ボタン　：0 ～ 9 の数字を入力します。

■ AVI 形式でバックアップする（クリップ作成）

1 つのカメラチャンネルの映像データと音声データを 1 つのファイルにして USB メモリーにバックアップします。
バックアップを行うとバックアップアイコンが表示されます。（P. 5-15「バックアップ中の OSD 表示」）
バックアップしたデータは AVI 形式で作成され、Windows Media Player で再生できます。

ご注意

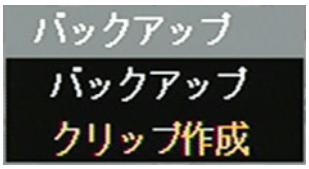
- バックアップデータのファイルサイズが 4 GB を超えるとファイルが分割されます。分割されたファイルのファイル名には、自動で通し番号が付加されます。
- バックアップの完了メッセージが表示されるまで USB メモリーを取り外さないでください。
- バックアップ権限を持つユーザーだけが使用できます。
- カメラ名に日本語（漢字、ひらがな、カタカナ）を入力した場合は、カメラ名が正しく表示されません。（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）

1 ライブ画面で ⏎ キーを押す。

ライブ操作メニューが表示されます。

2 ライブ操作メニューから「バックアップ」を選択し、⏎ キーを押す。

バックアップ選択メニューが表示されます。

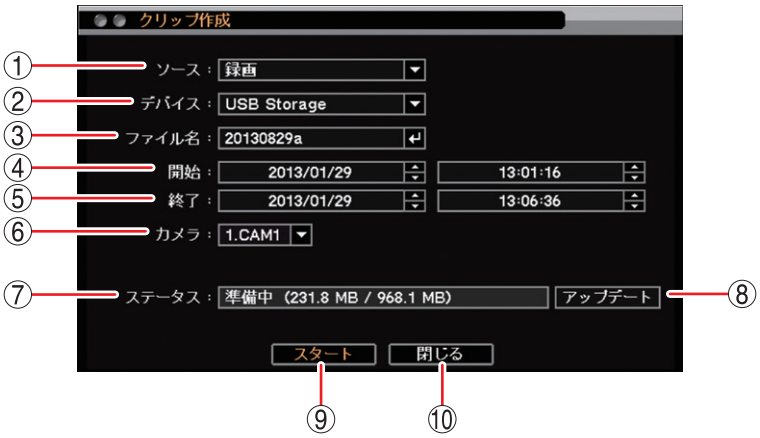


3 バックアップ選択メニューから「クリップ作成」を選択し、⏎ キーを押す。

クリップ作成画面が表示されます。

4 各項目を決定して、バックアップを開始する。

［クリップ作成画面］



① ソース　：「録画」と表示されます。

② デバイス　：「USB Storage」と表示されます。

③ ファイル名　：ファイル名を変更できます。⏎ キーを押すと「文字入力画面」が表示され、ファイル名の入力ができます。最大 59 文字まで入力できます。（P. 3-16「文字を入力する」）

メ　モ　アルファベットと数字以外に、使用できる記号は、「_」「-」「.」「;」です。

④ 開始　：開始日時を設定します。左右キーで年・月・日または時・分・秒を選択し、上下キーで数値を変更します。

⑤ 終了　：終了日時を設定します。左右キーで年・月・日または時・分・秒を選択し、上下キーで数値を変更します。

⑥ カメラ　：バックアップするカメラ番号を選択します。クリップ作成では、1 チャンネルのみ選択できます。

⑦ ステータス　：設定中は接続されているデバイスの容量を表示します。バックアップを開始するとバックアップの進捗状態を表示します。進捗状態表示が 100% になると終了処理を行い、完了画面が表示されてバックアップが終了します。

ご注意

バックアップするデータサイズや本機の状態により、完了画面が表示されるまでに時間がかかる場合があります。完了画面が表示されるまで USB メモリーを取り外さないでください。

⑧ アップデート：外部デバイスの接続状態を更新します。

⑨ スタート　：マウス／バックアップ端子に USB メモリーを接続し、 キーを押してください。バックアップを開始します。

⑩ 閉じる　：元の画面に戻ります。

メ　モ

- バックアップを開始すると ⑨ の「スタート」ボタンは「キャンセル」ボタンに変わります。
  「キャンセル」を選択して キーを押すと、「中止しますか？」というメッセージが表示されます。
  バックアップを停止する場合は、「はい」を選択してください。
- 本機前面のバックアップキーでも同様の操作が行えます。

[同一時刻に録画データが重なっている場合のバックアップ]

時刻調整や NTP 調時によって本機の時刻が変更されたとき、同一時刻に録画データが重複することがあります。重複した時間がバックアップ開始時刻と終了時刻の中に含まれている場合、スタートボタンを押したときにバックアップ選択画面が表示されます。

「1」を選択 ：開始時刻から終了時刻まで重複したデータもすべてバックアップを行います。
「2」を選択 ：あとに録画したデータの時刻から終了時刻までバックアップを行います。先に録画したデータはバックアップされません。

ご注意

開始時刻または終了時刻が重複した時間の中に含まれる場合は、データの一部をバックアップできません。
重複した時間より長くなるように、開始時刻か終了時刻を調整してください。

■ 再生中にバックアップする（簡易バックアップ）

再生表示しているカメラチャンネルの映像データと音声データをバックアップできます。バックアップを行うと、再生画面にバックアップアイコンが表示されます。（P. 5-15「バックアップ中の OSD 表示」）
簡易バックアップによって、Internet Explorer やバックアップデータ閲覧ソフトウェア Backup Media Player で再生できる DVR Media Player 形式（実行ファイル形式）と本機や DRNET で再生できる独自形式のファイルを作成できます。

ご注意

- DVR Media Player 形式のバックアップは、ファイルサイズが 4 GB を超えるとファイルが分割されます。また、独自形式のバックアップは、USB メモリーが FAT32 でフォーマットされている場合、ファイルサイズが 4 GB を超えるとファイルが分割されます。分割されたファイルのファイル名には、自動で通し番号が付加されます。
- バックアップの完了メッセージが表示されるまで USB メモリーを取り外さないでください。
- バックアップ権限を持つユーザーだけが使用できます。
- 逆再生や早送り、早戻し、一時停止中は、簡易バックアップを使用できません。

メ　モ

- 分割画面で再生している場合は、表示しているカメラチャンネルをバックアップします。
- 簡易バックアップ中は再生速度が通常より遅くなります。

1 **再生中（速度 1 倍時）にバックアップキーを押す。**

簡易バックアップ画面（次ページ）が表示されます。

2 **簡易バックアップを設定して「スタート」を選択し、 ⏎ キーを押す。**

簡易バックアップを開始し、再生画面に戻ります。

メ　モ　簡易バックアップ中は、バックアップキーまたは一時停止キー以外の操作はできません。

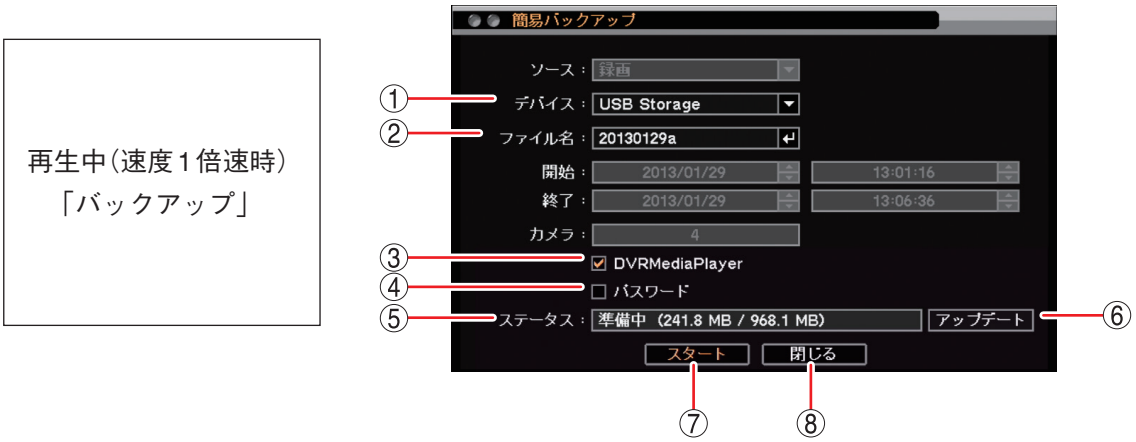
3 **簡易バックアップを終了するときは、一時停止キーを押す。**

「中止しますか？」というメッセージが表示されます。

メ　モ　バックアップキーを押しても簡易バックアップを終了できます。

4 **「はい」を選択し、 ⏎ キーを押す。**

「簡易バックアップ完了」のメッセージが表示されます。



① デバイス　：「USB Storage」と表示されます。

② ファイル名　：ファイル名を変更できます。 キーを押すと「文字入力画面」が表示され、ファイル名の入力ができます。最大 59 文字まで入力できます。（P. 3-16「文字を入力する」）

メ　モ
アルファベットと数字以外に、使用できる記号は「_」「-」「.」「;」です。

③ DVR Media Player　：DVR Media Player 形式でバックアップを行う場合にチェックを入れます。チェックなしの場合、独自形式でバックアップを行います。

④ パスワード　：チェックを入れるとバックアップデータにパスワードを設定できます。

⑤ ステータス　：設定中は接続されているデバイスの容量を表示します。

⑥ アップデート　：外部デバイスの接続状態を更新します。

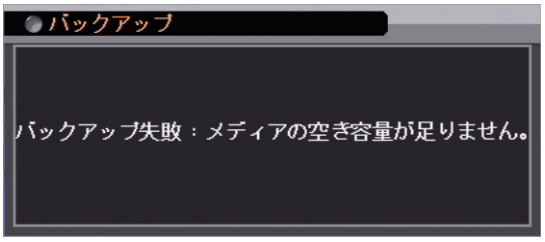
⑦ スタート　：マウス／バックアップ端子に USB メモリーを接続し、 キーを押してください。簡易バックアップを開始し、再生画面に戻ります。
パスワードにチェックが入っている場合は「バックアップパスワード設定画面」が表示されます。パスワードを保存すると簡易バックアップを開始します。（P. 5-18「バックアップパスワードを設定する」）

⑧ 閉じる　：元の画面に戻ります。

■ バックアップのエラーメッセージ

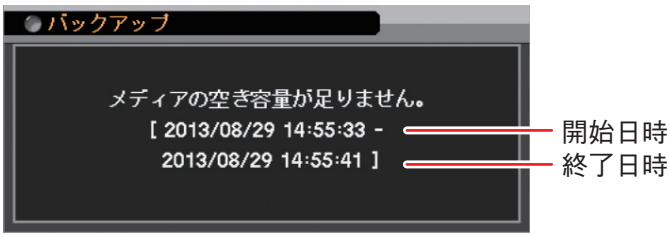
① USB メモリーの空き容量が不足している場合、右のエラーメッセージを表示します。

- メニューキーまたは ⏎ キーを押してエラーメッセージを消去します。
- USB メモリーを交換し、バックアップを開始してください。

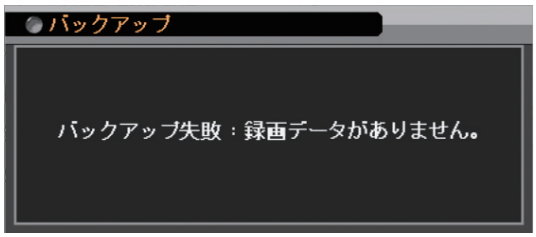


② バックアップ中に USB メモリーの空き容量が不足した場合、右のエラーメッセージを表示します。表示された期間まではバックアップが完了しています。

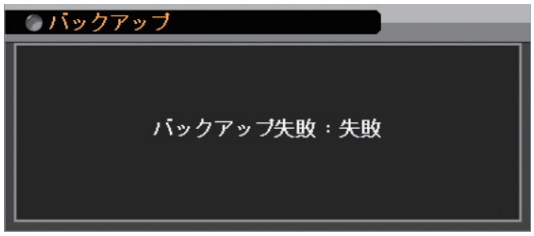
- バックアップを続けて行う場合は、エラーメッセージの終了日時を記録してください。
- メニューキーまたは ⏎ キーを押してエラーメッセージを消去します。
- USB メモリーを交換し、再びバックアップ画面を表示してください。
- バックアップの開始日時を記録した終了日時に変更して、バックアップを再開してください。



③ 指定した範囲に録画データがない場合は、右のエラーメッセージが表示されます。
メニューキーまたは ⏎ キーを押してエラーメッセージを消去します。



④ バックアップ中に USB メモリーを取り外すと、右のエラーメッセージが表示されます。
メニューキーまたは ⏎ キーを押してエラーメッセージを消去します。



バックアップしたデータを見る

本機は、録画したデータを USB メモリーにバックアップすることができます。バックアップした録画データは、バックアップの形式によって、PC や本機で再生できます。バックアップの形式には、DVR Media Player 形式（実行ファイル形式）、AVI 形式、独自形式の 3 種類があります。（P. 5-15「バックアップのしかた」）

■ DVR Media Player 形式

バックアップ、もしくは簡易バックアップによって DVR Media Player 形式に保存された映像データと音声データを PC で再生できます。DVR Media Player ファイルは USB メモリーの直下に保存されます。DVR Media Player ファイルはビューアーを含む実行ファイル形式（exe 形式）で Internet Explorer を使って再生します。

2022 年 6 月 15 日に Windows 10 の Internet Explorer のサポートが終了し、後継の Microsoft Edge を使用することが推奨されています。DVR Media Player ファイルは、サポート終了後も Internet Explorer を使わないバックアップデータ閲覧ソフトウェア「Backup Media Player」を使用して再生することができます。

［DVR Media Player 形式のファイル］
（例）untitled.exe

● Internet Explorer を使って再生する

Internet Explorer を使って DVR Media Player 形式のファイルを再生します。

メ　モ　Internet Explorer の対応バージョンは、Web ブラウザーと同じです。（P. 8-16「Web サーバー仕様」）

ご注意

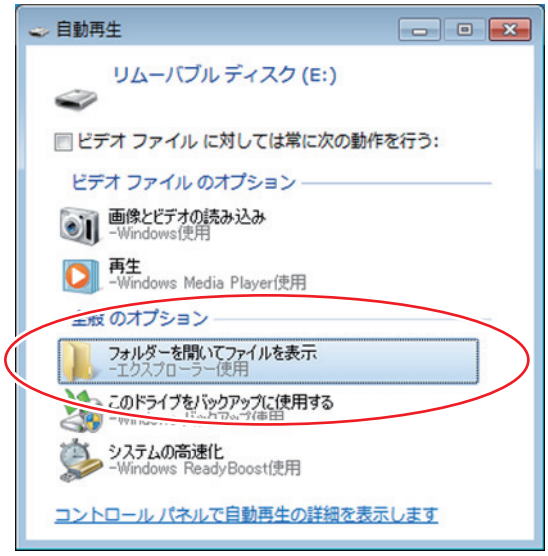
- DVR Media Player 形式のデータを再生するために PC にログインするときは、管理者（Administrator）権限を持つユーザーアカウントを使用してください。
- 再生する PC によっては、再生音声が出ないことや映像の速度が遅くなる場合があります。
- ファイルサイズが大きくなると、PC の性能によっては再生までに時間がかかることがあります。

以下の手順で、バックアップデータを再生できます。

1 バックアップデータが保存されている USB メモリーを PC に挿入する。

自動再生画面が表示されます。

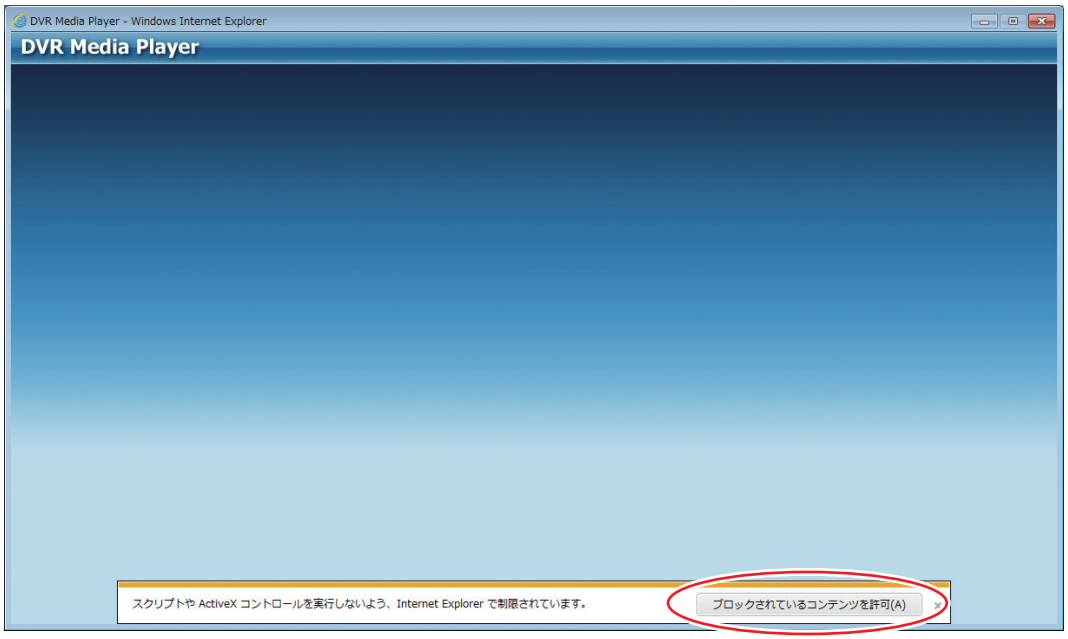
2「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択し、クリックする。



フォルダー内のファイルが表示されます。

3 フォルダー内の再生したいバックアップファイルを選択し、ダブルクリックする。

Internet Explorer で DVR Media Player が起動し、セキュリティ保護に関するメッセージが表示されます。



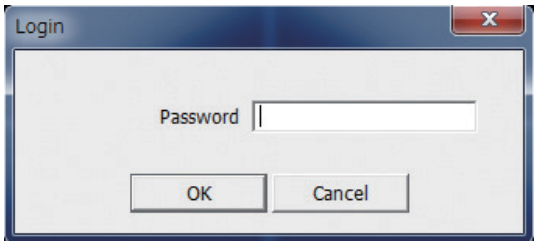
メ　モ

「ユーザーアカウント制御」ダイアログが表示された場合は、「はい」を選択すると、セキュリティ保護に関するメッセージが表示されます。

4 「ブロックされているコンテンツを許可(A)」をクリックする。

DVR Media Player 画面が表示されます。

バックアップデータにパスワードが設定されている場合は、パスワード入力画面が表示されます。パスワードを入力し「OK」をクリックすると、DVR Media Player 画面が表示されます。

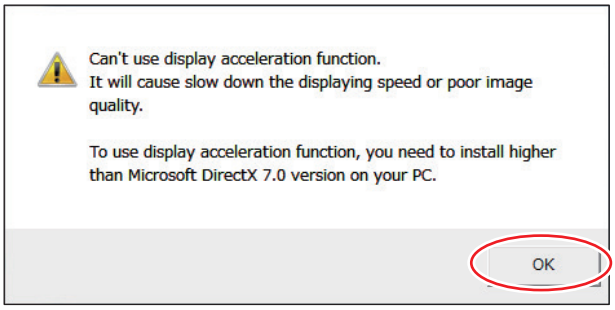


メ　モ

パスワードを間違えて入力した場合は「Invalid Password」と表示されます。
DVR Media Player を再起動し、正しいパスワードを入力してください。

ご注意

- DVR Media Player を起動する際、以下の警告メッセージが表示される場合があります。「OK」をクリックしてください。



DVR Media Player 画面が正しく表示されない、または、警告メッセージを表示しないようにする場合は、以下の手順で設定を変更してください。

1. Internet Explorer を起動する。
2. 「ツール」→「インターネットオプション」をクリックする。
3. 詳細設定タブを開く。
4. 「GPU レンダリングでなく、ソフトウェアレンダリングを使用する」にチェックを入れる。
5. 「OK」をクリックし、Internet Explorer を終了する。
6. DVR Media Player を再起動する。

- Windows 7（64 bit 版）または Windows 8.1（64 bit 版）を使用して DVR Media Player を起動する場合、Internet Explorer の拡張保護モードが有効になっていると動作しません。
以下の手順で設定を確認し、変更してください。

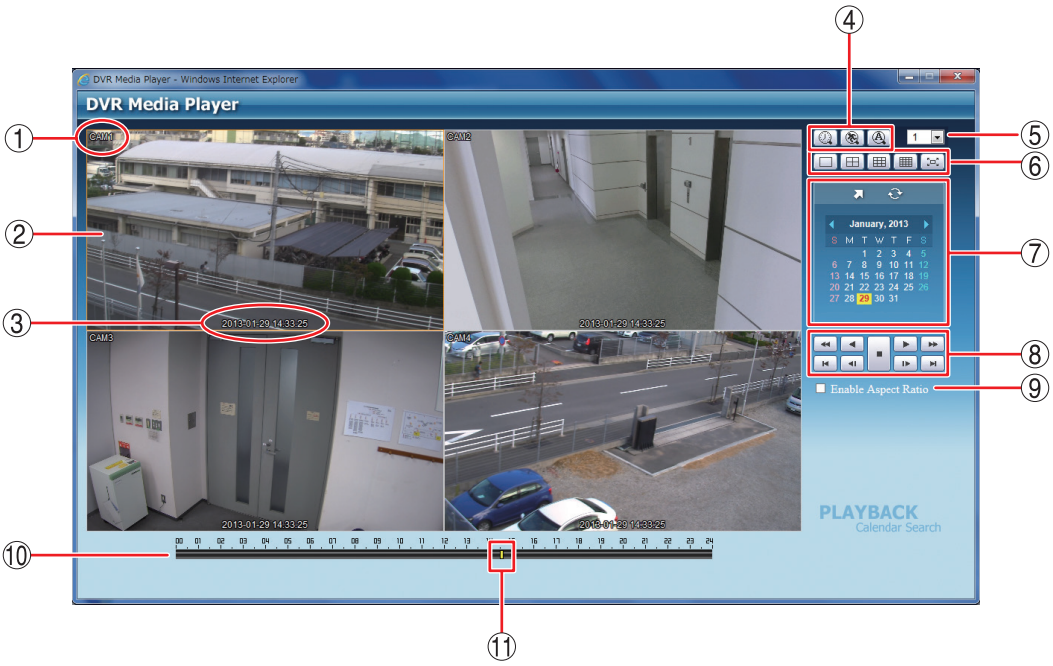
1. Internet Explorer を起動する。
2. 「ツール」→「インターネットオプション」をクリックする。
3. 詳細設定タブを開く。
4. 「拡張保護モードを有効にする」にチェックが入っている場合は、チェックを外す。（初期設定では、チェックは入っていません。）
5. 「OK」をクリックし、Internet Explorer を終了する。
6. DVR Media Player を再起動する。

［DVR Media Player 画面表示について］

DVR Media Player は再生開始日時の指定、複数カメラチャンネルの分割表示、再生などの操作ができます。

ご注意

Internet Explorer の画面表示の拡大率を 100% 以外に設定しているときは、正しく画面を表示できません。



① カメラ名　：再生中のカメラ名を表示します。（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）

② 映像表示画面　：バックアップデータの再生映像を表示します。1 画面表示や分割画面表示ができます。再生映像をダブルクリックすると、1 画面表示と分割画面表示を切り換えます。

③ 再生日時　：再生中の日時を表示します。

④ 検索アイコン部

カレンダー検索ボタン　：カレンダー検索モードに切り換わります。映像表示画面下にタイムテーブルが表示されます。

イベント検索ボタン　：使用できません。

　：使用できません。

⑤ カメラ選択　：1 画面表示中は、選択したカメラ番号の映像を表示します。
分割画面表示中は、選択したカメラ番号を含む分割画面を表示します。

⑥ 画面分割表示アイコン部

：1 画面表示します。

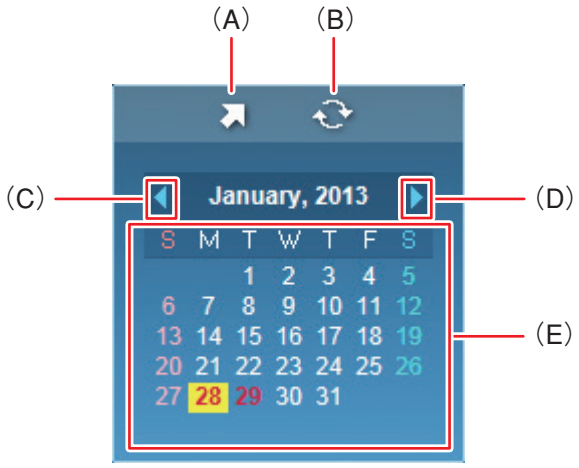
：4 分割画面表示します。

：9 分割画面表示します。

：16 分割画面表示します。（16 局用のみ）

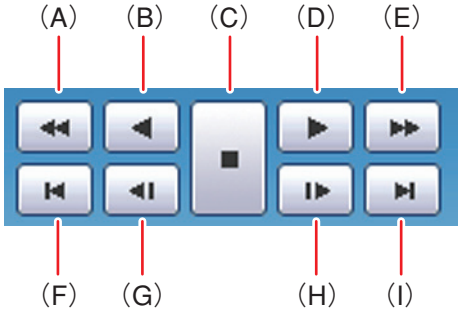
：全画面表示します。画面をクリックすると全画面表示を解除します。

⑦ 検索表示部　　：カレンダー検索画面が表示されます。



(A) 時刻指定ボタン　：再生する時刻を入力します。
(B) 更新ボタン　：使用できません。
(C) 前月ボタン　：カレンダーを 1 月分戻します。
(D) 翌月ボタン　：カレンダーを 1 月分送ります。
(E) カレンダー表示部　：再生する日をクリックすると、その日の録画データをカラーバーとしてタイムテーブルに表示します。
文字が赤色 ：バックアップデータのある日
背景が黄色 ：タイムテーブルに表示中の日

⑧ 再生操作部　　：再生操作を行います。



(A) 早戻し再生　：早戻し再生を行います。
クリックごとに逆再生速度が 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍と段階的に変化します。
(B) 逆再生　：逆再生します。
(C) 停止　：再生を停止します。
(D) 再生　：再生します。
(E) 早送り再生　：早送り再生を行います。
クリックごとに再生速度が 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍と段階的に変化します。
(F) 最古　：バックアップデータの最古の映像を頭出しします。
(G) コマ戻し　：コマ戻し再生を行います。
(H) コマ送り　：コマ送り再生を行います。
(I) 最新　：バックアップデータの最新の映像に移動します。

⑨ アスペクト比を維持する（Enable Aspect Ratio）：NTSC カメラ映像のアスペクト比を維持して表示します。
チェック有：画面の左右に黒い帯を表示し、映像のアスペクト比 4：3 を維持して表示します。
チェック無：アスペクト比 16：9 の映像に変換して、画面全体に表示します。

メ　モ
AHD カメラの映像は、チェック有／無に関係なく画面全体に表示します。

⑩ タイムテーブル：録画データは 10 分ごとのカラーバーで表示します。カラーバーはすべてのカメラの録画データを合わせて表示します。

⑪ 時刻カーソル：再生を開始する位置を指定するためのカーソルです。タイムテーブルをクリックするとバックアップデータの時間範囲内でカーソルが移動します。
また、カレンダー検索モード時の時刻指定ボタンで「時、分、秒」を変更して指定することもできます。

メ　モ
時刻カーソルの移動は 10 分単位になります。

［音声を再生する］

DVR Media Player 形式のバックアップデータに音声が含まれているときは、音声を出力することができます。音声は 1 画面再生中に出力されます。

ご注意

- 再生速度を変更したとき、分割画面表示中、および逆再生中は音声は出力されません。
- 再生する PC によっては、再生音声が出ないことがあります。

● Backup Media Player を使って再生する

バックアップデータ閲覧ソフトウェア Backup Media Player を使って DVR Media Player 形式のファイルを再生します。
Backup Media Player は付属の CD に収録されています。

1 付属の CD を PC の CD ドライブに入れる。

PC の CD ドライブに「DRNET_CD_Vx.xx」と表示されます。

メ　モ
- 「x.xx」には付属 CD のバージョン番号が入ります。
- 自動再生ウィンドウが表示された場合は、「フォルダーを開いてファイルを表示」をクリックすると CD 内のフォルダーが表示されます。

2 PC の CD ドライブをダブルクリックする。

CD 内のフォルダーが表示されます。
Backup Media Player は、「Backup Media Player 」フォルダーに収録されています。
Backup Media Player を使用したバックアップデータの詳しい再生方法については、Backup Media Player の取扱説明書をお読みください。

メ　モ
Backup Media Player は、TOA 商品データダウンロードサイト（https://www.toa-products.com/download）で本機の品番を検索してダウンロードすることもできます。

■ AVI 形式

クリップ作成を行い AVI 形式で保存された映像データと音声データを PC で再生できます。
AVI 形式を再生するには H.264 形式のファイルを再生できるプレーヤー（Windows Media Player）がインストールされている必要があります。
Windows Media Player は、バージョン 12 以降を使用してください。

AVI 形式のファイルは USB メモリーの直下に保存されます。
また、同時に AVI 形式のファイルと同じ名前の字幕ファイル（SMI 形式）が保存されます。

［AVI 形式のファイル］
（例）untitled.avi
　　untitled.smi

● AVI 形式のファイルを再生する

ご注意

- 録画解像度が WD1（944 × 480）で録画した NTSC カメラ映像のデータを再生した場合、横長の映像としてワイド表示されます。
- 録画解像度が D1（704 × 480）または CIF（352 × 240）で録画した AHD カメラ映像のデータを再生した場合、アスペクト比 4：3 の映像に変換されて、縦長の映像として表示されます。
- 再生する PC によっては、再生音声が出ないことや映像の速度が遅くなる場合があります。
- ファイルサイズが大きくなると、PC の性能によっては再生までに時間がかかることがあります。

以下の手順で AVI 形式ファイルを再生できます。

1 バックアップデータが保存されている USB メモリーを PC に挿入する。

自動再生画面が表示されます。

2「フォルダーを開いてファイルを表示」を選択し、クリックする。

フォルダー内のファイルが表示されます。

3 再生したい AVI 形式のファイルをダブルクリックする。

Windows Media Player 画面が表示されます。

メ　モ

AVI 形式のファイルが Windows Media Player に関連付けされていない場合は、Windows Media Player 以外のアプリケーションが起動します。
この場合は、起動したアプリケーションを終了して以下の手順で Windows Media Player を起動し再生してください。

1. 再生したい AVI 形式のファイルを右クリックする。
   コマンドメニューが表示されます。

2.「プログラムから開く」→「Windows Media Player」をクリックする。
   Windows Media Player 画面が表示されます。

［Windows Media Player 画面表示について］

以下では、AVI 形式の再生プレーヤーとして Windows Media Player の基本動作を説明します。
詳しくは、Windows Media Player 画面上で右クリックし、コマンドメニューの「再生についてのヘルプ」をご覧ください。

① ファイル名　：バックアップデータのファイル名を表示します。

② 映像表示画面　：バックアップデータの再生映像を表示します。

③ 再生バー　：再生中の位置を表示します。再生中に再生バーをクリックするとその位置まで再生バーと映像が移動します。

④ 再生時間　：バックアップデータの先頭からの経過時間を表示します。

⑤ ランダム再生ボタン　：ランダム再生のオン／オフを切り換えます。
Windows Media Player の再生リストに複数のファイルを保存している場合は、ランダム再生をオンにすると、ランダムな順番でファイルを再生します。

⑥ 連続再生ボタン　：連続再生のオン／オフを切り換えます。
連続再生をオンにすると、再生が終了したときに再び先頭から再生が始まります。

⑦ 停止ボタン　：再生を停止します。

⑧ 前へボタン　：押し続けている間、早戻し再生を行います。

⑨ 一時停止／再生ボタン：再生中は一時停止ボタンとなり、クリックすると再生中の映像を一時停止します。
一時停止中は再生ボタンとなり、クリックすると再生バーのカーソル位置から再生を行います。

⑩ 次へボタン　：押し続けている間、早送り再生を行います。

⑪ 音量ボタン　：音量を調整します。
スピーカーマークをクリックすると、ミュートのオン／オフを切り換えます。

［音声を出力するとき］　［音声を出力しないとき］

⑫ 全画面表示ボタン ：全画面表示のオン／オフを切り換えます。

⑬ ライブラリに切り換えボタン
：プレイビューモードから Player ライブラリモードに切り換えます。バックアップデータの再生映像はプレイビューモード画面で表示します。

メ　モ

Player ライブラリモードからプレイビューモードに切り換えるには、Windows Media Player の右下隅にある「プレイビューに切り換え 」ボタンをクリックします。

［Player ライブラリモード画面例］

［カメラ名や日時を表示する］

AVI 形式のファイルを保存した場合、同時に AVI 形式のファイルと同じ名前の字幕ファイル（SMI 形式）が保存されます。
字幕ファイル（SMI 形式）を再生する AVI 形式のファイルと同じフォルダーに入れて、Windows Media Player の以下の設定を行うことで、再生映像のカメラ名や再生日時を表示できます。

ご注意

- カメラ名に日本語（漢字、ひらがな、カタカナ）を入力した場合は、カメラ名が正しく表示されません。（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）
- 再生する PC によっては、カメラ名や日時を表示できないことがあります。

1 AVI 形式のファイルを再生する。

2 Windows Media Player 画面上で右クリックする。
コマンドメニューが表示されます。

3「歌詞、キャプション、および字幕」→「利用できる場合はオン」をクリックし、選択する。

メ　モ Windows Media Player のバージョンによっては、表示が異なる場合があります。

4 再度、Windows Media Player 画面上で右クリックする。
コマンドメニューが表示されます。

5「その他のオプション」をクリックする。
オプション画面が表示されます。

6 オプション画面の「セキュリティ」タブをクリックする。

7 「ローカルキャプションがある場合は表示する」にチェックを入れる。

メ　モ

Windows Media Player のバージョンによっては、表示が異なる場合があります。

8 「OK」をクリックする。

9 Windows Media Player を再起動する。

再生映像のカメラ名や再生日時が表示されます。

［音声を再生する］

AVI 形式のバックアップデータに音声が含まれているときは、音声を出力することができます。

ご注意

再生する PC によっては、再生音声が出ないことがあります。

■ 独自形式

バックアップまたは簡易バックアップによって独自形式に保存された映像データと音声データを本機や PC で再生できます。PC で再生する場合は DRNET を使用します。
DRNET での再生方法については、DRNET の取扱説明書をご覧ください。

独自形式のファイルは USB メモリーの直下に保存されます。
［独自形式のファイル］
（例）untitled.strg

● 独自形式のファイルを本機で再生する

以下の手順で、本機にて独自形式のファイルを再生できます。

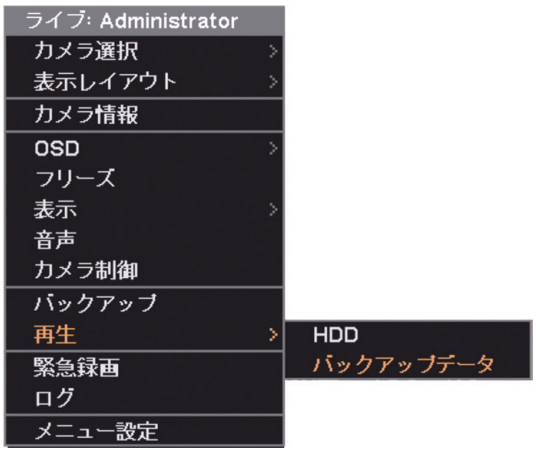
1 **独自形式のファイルが保存されている USB メモリーを本機のマウス／バックアップ端子に接続する。**

2 **ライブ表示中に ⏎ キーを押してライブ操作メニューを表示する。**

3 **ライブ操作メニューの「再生」を選択し、⏎ キーを押す。**
再生データ選択メニューが表示されます。

4 **「バックアップデータ」を選択し、⏎ キーを押す。**
バックアップデータ選択画面（次ページ）が表示されます。

［再生データ選択メニュー］



5 **「デバイス」で「USB Storage」を選択し、⏎ キーを押す。**
USB メモリーに保存された独自形式のファイルがリスト表示されます。

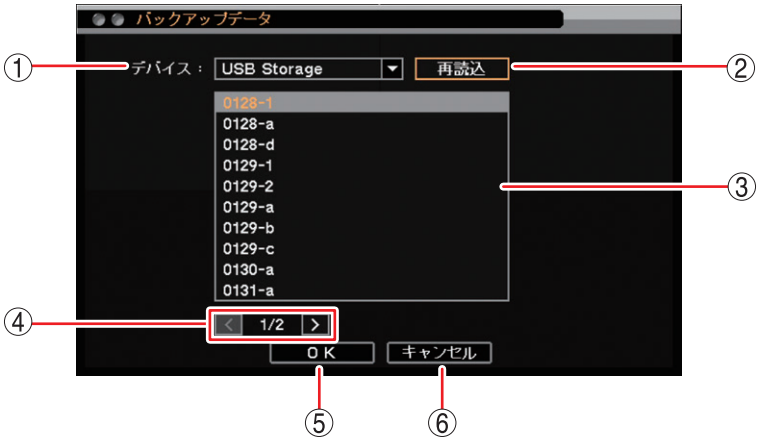
6 **再生したいバックアップデータ（ファイル名）を選択し、⏎ キーを押す。**
再生画面に選択したバックアップデータの最新時刻の映像が表示されます。

7 **再生操作を行う。**
再生方法については、P. 5-7「再生操作を行う」を参照してください。

メ　モ

再生画面の表示中は、再生操作メニューの「記録装置」→「バックアップデータ」を選択すると、「再生を停止し、他のバックアップデータファイルを開きますか？」とメッセージが表示されます。
「はい」を選択すると、バックアップデータ選択画面（次ページ）が表示されます。

［バックアップデータ選択画面］



① デバイス　：バックアップデータの保存メディアを選択します。

② 再読込　：デバイスの再読み込みを行います。

③ リスト　：保存メディア内にある独自形式ファイルをリスト表示します。上下キーで再生したいファイルを選択します。

④ ページ切り換え　：〈 〉でページを切り換えてリスト表示します。

⑤ OK　：バックアップデータの読み込みを行い、再生映像を一時停止して表示します。

⑥ キャンセル　：バックアップデータの読み込みを行わず、元の画面に戻ります。

● 独自形式のファイルを PC で再生する

DRNET がインストールされている PC に USB メモリーを接続します。
再生したい独自形式のファイルをダブルクリックすると、DRNET が起動して再生可能な状態となります。

メ　モ
DRNET のインストールおよび再生方法については、DRNET の取扱説明書をご覧ください。

コンビネーションカメラ制御

本機に TOA 製コンビネーションカメラを接続すると簡易操作やカメラ設定を行うことができます。

ご注意

- コンビネーションカメラ制御はカメラ制御権限を持つユーザーだけが操作できます。
- NTSC コンビネーションカメラの制御方式は RS-485 制御です。AHD コンビネーションカメラは同軸多重方式または RS-485 制御方式のどちらかをメニューで選択できます。RS-485 制御をする場合は RS-485 制御線を接続してください。

■ 設定と接続

コンビネーションカメラを本機に接続するときは、コンビネーションカメラで以下の設定を行ってから接続してください。

- カメラアドレス　　：他のカメラのアドレスと重複しないように 1 ～ 255 から設定してください。
- 通信速度　　：38400 bps
- 通信方式（カメラプロトコル）：タイプ B
- 終端　　：ON（RS-485 制御線の末端のカメラのみ）

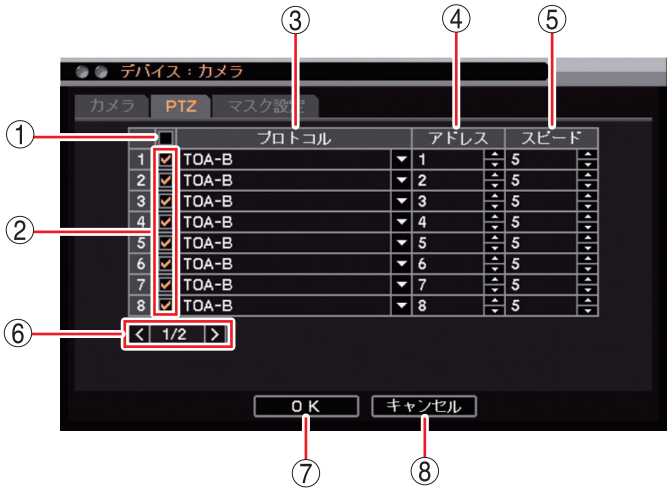
メ　モ

AHD コンビネーションカメラを同軸多重制御する場合、設定は不要です。

● コンビネーションカメラ設定（PTZ）

コンビネーションカメラを接続するカメラチャンネルを選択し、カメラのプロトコルとアドレス、パン・チルトの旋回速度を設定することができます。

［デバイス］
↓
［カメラ］
↓
「PTZ」タブ



① 一斉チェックボックス：コンビネーションカメラとして使用するカメラチャンネルを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。

② チェックボックス　　：コンビネーションカメラとして使用するカメラチャンネルを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。

③ プロトコル　：カメラのプロトコルを選択します。

［選択］

TOA-B　：NTSC コンビネーションカメラまたは AHD コンビネーションカメラを RS-485 制御します。

同軸多重 ：AHD コンビネーションカメラを同軸多重制御します。

④ アドレス　：カメラアドレスを設定します。制御するコンビネーションカメラと同じアドレスに設定してください。

ご注意

- アドレス「0」はコンビネーションカメラを RS-485 制御する場合の一斉通信用のアドレスです。② でチェックを入れたカメラのアドレスに「0」を使用しないでください。
- カメラのプロトコルで「同軸多重」を選択した場合、アドレスはグレーアウトされ無効になります。

⑤ スピード　：コンビネーションカメラのパン、チルトの旋回速度を選択します。

［選択］1（遅い）～ 10（速い）

メ　モ

ズーム、フォーカスのレンズ速度は一定です。

⑥ ページ切り換え　：〈 〉でページを切り換えます。（16 局用のみ）

⑦ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑧ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● RS-485 設定

本機からコンビネーションカメラを操作するため、またはリモートコントローラー（C-RM700）から本機を操作するための RS-485 の設定ができます。
工場出荷時は、コンビネーションカメラを操作できる設定になっています。

「デバイス」
↓
「RS-485」

① bps　：通信速度を設定します。
コンビネーションカメラを接続するときは、「38400」を使用してください。

ご注意
用途を「コントローラー」に設定すると、通信速度は「19200」に固定され変更はできません。

② データ長　：データビットを表示します。

③ ストップビット　：ストップビットを表示します。

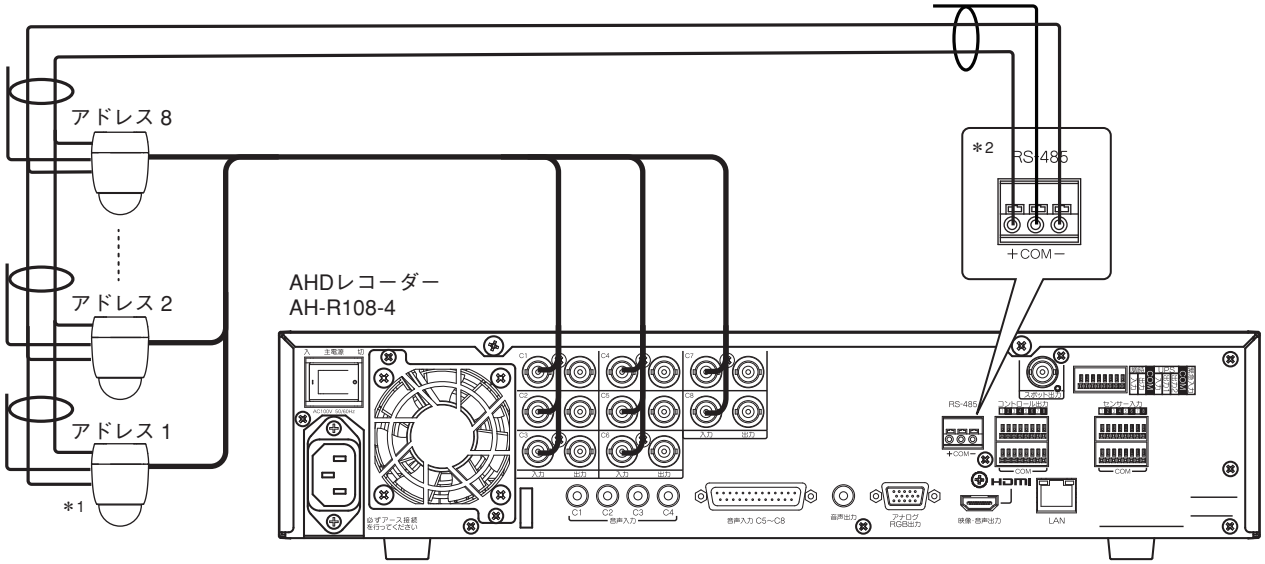
④ パリティ　：パリティを表示します。

⑤ 用途　：RS-485 の用途を設定します。
［選択］
PTZ　：本機からコンビネーションカメラを操作します。
コントローラー　：リモートコントローラー（C-RM700）から本機を操作します。

⑥ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑦ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● コンビネーションカメラの接続



＊1　コンビネーションカメラの終端スイッチは、正しく設定してください。詳しくは、コンビネーションカメラの取扱説明書をご覧ください。
＊2　AHD コンビネーションカメラを同軸多重制御する場合は、カメラ制御線（RS-485）の接続は不要です。

メ　モ

別売のインターフェースユニット（C-IF500）を使用すると、コンビネーションカメラとデジタルレコーダー間の制御線（RS-485）をスター型配線にできます。
デジタルレコーダーをマスター側、コンビネーションカメラをスレーブ側に接続してください。

■ コンビネーションカメラの操作

● コンビネーションカメラ制御モードを立ち上げる

1　ライブ操作メニューの「カメラ制御」を選択し、 ⏎ キーを押す。

カメラ制御選択画面が表示されます。

：操作可能なコンビネーションカメラチャンネル
マークなし：AHD カメラチャンネル

［カメラ制御選択］

メ　モ

- 操作可能なコンビネーションカメラや AHD カメラ以外のチャンネルは、カメラ制御選択画面に表示されません。
- AHD コンビネーションカメラを接続した状態でカメラのプロトコルが設定されていない場合は、AHD カメラとして扱われます。（P. 5-36「コンビネーションカメラ設定（PTZ）」）
- 操作可能なコンビネーションカメラが 1 画面表示されている場合は、すぐにコンビネーションカメラ制御モードに切り換わります。カメラ制御選択画面は表示されません。

ご注意

操作可能なコンビネーションカメラや AHD カメラが存在しない場合は、ライブ操作メニューの「カメラ制御」は選択できません。（P. 4-12「ライブ操作メニューでできること」）

2　操作したいコンビネーションカメラチャンネルを選択し、 ⏎ キーを押す。

選択したカメラチャンネルが 1 画面表示され、コンビネーションカメラ制御モードに切り換わります。

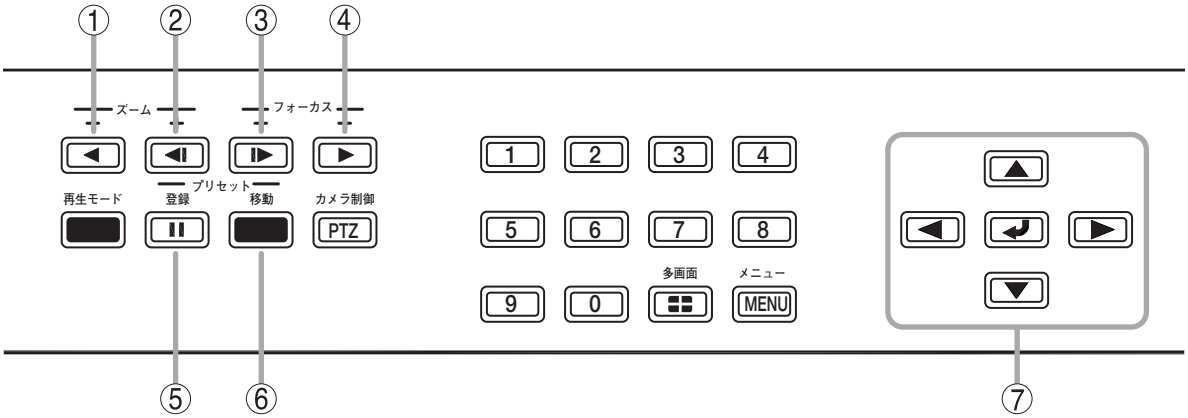
メ　モ

本機前面のカメラ制御キーを押してカメラ制御選択画面を表示することもできます。

● コンビネーションカメラをマニュアル操作する

コンビネーションカメラ制御モードでは、以下の制御が行えます。

［前面キーからの制御］



① ズーム「－」キー　　：ズーム操作（広角）を行います。

② ズーム「＋」キー　　：ズーム操作（望遠）を行います。

③ フォーカス「－」キー：焦点を近くにあわせます。

④ フォーカス「＋」キー：焦点を遠くにあわせます。

⑤ プリセット登録キー　：プリセットの登録を行います。（P. 5-42「プリセット登録を行う」）

⑥ プリセット移動キー　：あらかじめ登録したプリセットに移動します。（P. 5-42「プリセット移動を行う」）

⑦ 上下左右キー　　：パン操作（左右）、チルト操作（上下）を行います。

メ　モ

パン／チルトの旋回速度は、PTZ 設定の「スピード」で変更できます。（P. 5-36「コンビネーションカメラ設定（PTZ）」）

● コンビネーションカメラをマウスで操作する

マウスによるカメラの操作は、コンビネーションカメラ制御モードに表示されるアイコンから行います。

［コンビネーションカメラ制御モード］

① ズーム（－）　：ズーム操作（広角）を行います。

② ズーム（＋）　：ズーム操作（望遠）を行います。

③ フォーカス（－）　：焦点を近くにあわせます。

④ フォーカス（＋）　：焦点を遠くにあわせます。

⑤ プリセット登録　：プリセットの登録を行います。（P. 5-42「プリセット登録を行う」）

メ　モ　プリセットの登録は、1 ～ 16 まで可能です。

⑥ プリセット移動　：あらかじめ登録したプリセットに移動します。（P. 5-42「プリセット移動を行う」）

⑦ 上下左右　：パン操作（左右）、チルト操作（上下）を行います。斜め方向の移動もできます。

メ　モ

パン／チルトの旋回速度は、PTZ 設定の「スピード」で変更できます。（P. 5-36「コンビネーションカメラ設定（PTZ）」）

● プリセット登録を行う

1 コンビネーションカメラを制御して、あらかじめプリセット登録をしたい画角にカメラ映像を合わせておく。

2 「プリセット登録」キーを押す。

プリセット登録メニューが表示されます。
プリセットは、1 ～ 16 まで登録できます。

［プリセット登録メニュー］

3 プリセット番号に指定したい番号を選択して ⏎ キーを押す。

文字入力画面が表示されます。プリセット名を入力してください。
（P. 3-16「文字を入力する」）

メ　モ
プリセット登録メニューを閉じるときは、メニューキーを押します。

4 「OK」を選択して ⏎ キーを押す。

表示中の画面がプリセットとして登録されます。

ご注意
- プリセット 17 以降はカメラメニューで登録してください。（P. 5-46「コンビネーションカメラのカメラメニューを設定する」）
- カメラによってプリセット最大登録数が異なります。詳しくは、カメラの取扱説明書をご覧ください。

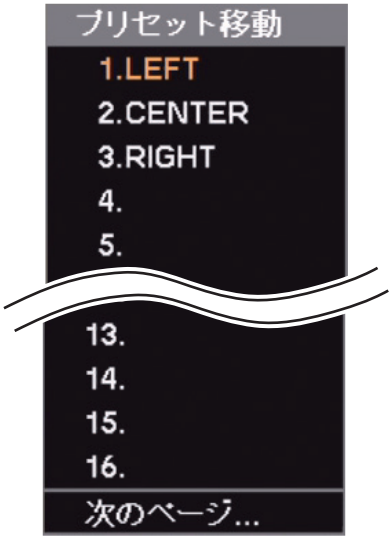
● プリセット移動を行う

あらかじめ登録したプリセット名を選択または、プリセット番号を入力して表示させることができます。

1 「プリセット移動」キーを押す。

プリセット移動メニューが表示されます。

［プリセット移動メニュー］

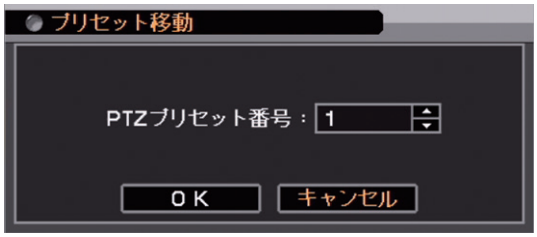


2 プリセット移動させたい番号 1 ～ 16（プリセット名）を選択して ⏎ キーを押す。

選択したプリセットの映像が表示されます。

メ　モ
「次のページ ...」を選択すると、プリセット番号指定画面表示されます。プリセット移動させたいプリセット番号（1 ～ 255）を指定することもできます。
プリセット移動メニューを閉じるときは、メニューキーを押します。

［プリセット番号指定画面］



● イベントによるプリセット移動

緊急録画やセンサーイベント、モーションイベント、ビデオロスイベントのイベント発生時に指定したコンビネーションカメラをあらかじめ設定したプリセット位置に移動させることができます。

ご注意

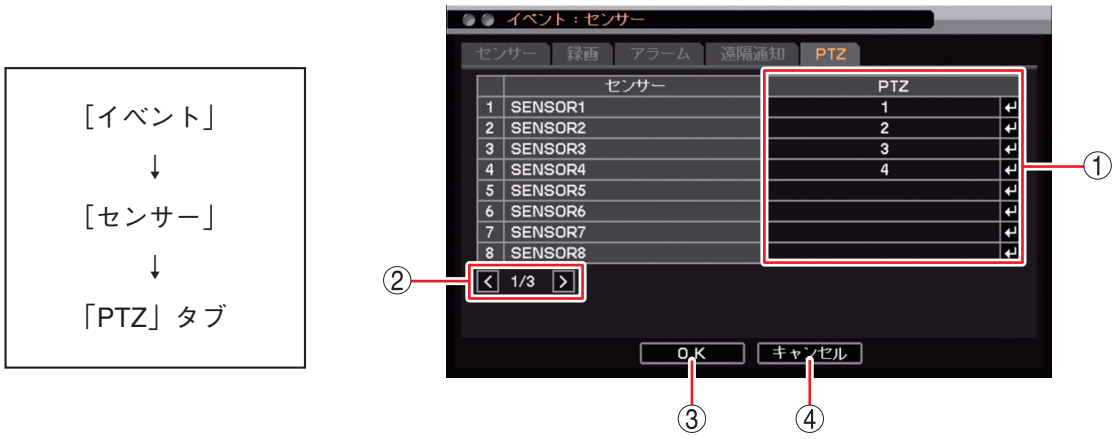
複数のコンビネーションカメラを設定すると、すべてのカメラが移動するのに数秒かかることがあります。

［緊急録画、センサーイベントの場合］

イベント発生時に動作するコンビネーションカメラとプリセット移動番号を設定します。

メ　モ

モーション、ビデオロスのイベントによる PTZ 設定も同じように設定できます。



① PTZ　：イベント発生時に動作するコンビネーションカメラの番号を表示します。 ↵ キーを押すと「プリセット移動設定画面」が表示され、動作させたいコンビネーションカメラのプリセット番号を設定できます。（P. 5-44「プリセット移動設定画面」）

② ページ切り換え　：＜ ＞ でページを切り換えます。

③ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

④ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

［プリセット移動設定画面］

① プリセット移動　：1 ～ 16 までのプリセット移動番号が表示されます。 ↵ キーを押すとプリセット番号の選択肢が表示されます。プリセット番号を設定してください。

メ　モ
プリセット移動がグレーになっているカメラは、コンビネーションカメラとして設定していないカメラです。（P. 5-36「コンビネーションカメラ設定（PTZ）」）

② ページ切り換え　：＜ ＞ でページを切り換えます。（16 局用のみ）

③ OK　：設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには、前画面で「OK」を押してください。

④ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

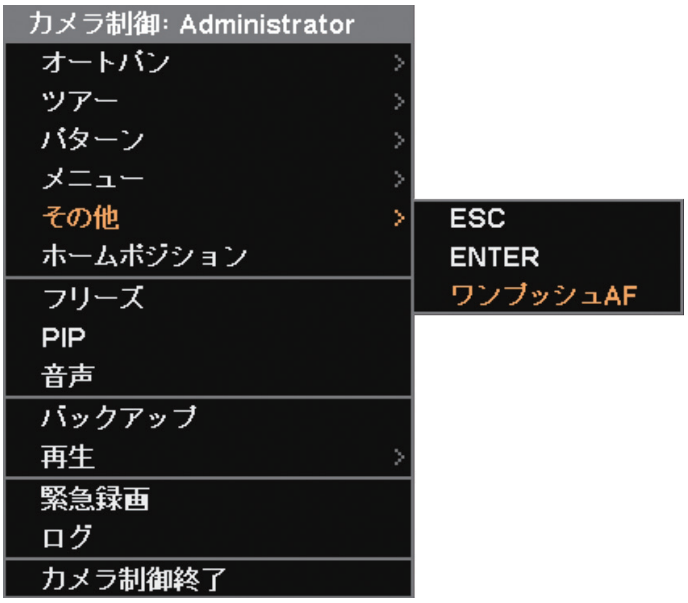
メ　モ
モーション、ビデオロスのイベントによるプリセット移動設定も同じように設定してください。

● コンビネーションカメラを制御する

コンビネーションカメラの制御を行うにはカメラ制御メニューを使います。
カメラ制御メニューは、コンビネーションカメラ制御モードでメニューキーを押すと表示されます。メニューを閉じる場合は、再度メニューキーを押してください。

メ　モ
カメラ制御メニューは、マウスの右クリックで表示することも、閉じることもできます。

［カメラ制御メニュー］



オートパン
ON にすると、オートパン動作を開始します。OFF にすると、オートパン動作を停止します。

ツアー
ON にすると、コンビネーションカメラにあらかじめ設定した動作を行う「ツアー」機能を開始します。OFF にすると、ツアーを停止します。

パターン
ON にすると、コンビネーションカメラにあらかじめ登録したプリセットポジションを巡回するパターン動作（プリセットシーケンス）を開始します。OFF にすると、パターン動作を停止します。

ご注意
パターン動作（プリセットシーケンス）に対応していないコンビネーションカメラは動作しません。

メニュー
ON にすると、コンビネーションカメラのカメラメニューを表示します。OFF にすると、カメラメニューを閉じます。

その他
［ESC］　カメラメニューの設定内容を保存せずに前画面に戻ります。（Clear 機能）
［ENTER］　カメラメニューの設定項目や内容を確定し画面を切り換えます。（Set 機能）
［ワンプッシュ AF］
オートフォーカス動作を 1 度行います。

ホームポジション
コンビネーションカメラにホームポジションとしてあらかじめ設定した位置にコンビネーションカメラを移動します。

カメラ制御終了
コンビネーションカメラ制御モードを終了し、ライブモードに切り換わります。

● コンビネーションカメラのカメラメニューを設定する

カメラ制御メニューの「メニュー」を ON にすると、画面上にコンビネーションカメラのカメラメニューが表示されます。カメラメニューは、本機前面のキーまたはマウスで操作できます。
詳しい設定方法や設定項目については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

アイコン	本機前面キー	機能説明
—	メニューキー	カメラ制御メニューを表示します。プリセット登録中のワンプッシュ AF やカメラメニューの終了を行います。
	上下左右キー	上下で設定項目の選択、左右で設定内容の選択をします。プリセット登録などではパン操作(左右)とチルト操作(上下)を行います。
	ズーム(−)キー	プリセット登録などでズーム操作(広角)を行います。
	ズーム(＋)キー	プリセット登録などでズーム操作(望遠)を行います。
	フォーカス(−)キー	カメラメニューの設定項目や内容を確定し、画面を切り換えます。(Set 機能)
	フォーカス(＋)キー	カメラメニューの設定内容を保存せずに前画面に戻ります。(Clear 機能)
	プリセット登録キー	カメラメニュー表示中は使用できません。
	プリセット移動キー	カメラメニュー表示中は使用できません。

AHD カメラ制御

■ AHD カメラの操作

本機に TOA 製 AHD カメラを接続するとカメラメニューの設定を行うことができます。

ご注意

AHD カメラ設定はカメラ制御権限を持つユーザーだけが操作できます。

● AHD カメラ制御モードを立ち上げる

［カメラ制御選択］

1 **ライブ操作メニューの「カメラ制御」を選択し、 キーを押す。**

カメラ制御選択画面が表示されます。

：操作可能なコンビネーションカメラチャンネル

マークなし：AHD カメラチャンネル

メ　モ

- 操作可能なコンビネーションカメラや AHD カメラ以外のチャンネルは、カメラ制御選択画面に表示されません。
- AHD カメラが 1 画面表示されている場合は、すぐに AHD カメラ制御モードに切り換わります。カメラ制御選択画面は表示されません。

ご注意

操作可能なコンビネーションカメラや AHD カメラが存在しない場合は、ライブ操作メニューの「カメラ制御」は選択できません。（P. 4-12「ライブ操作メニューでできること」）

2 **操作したい AHD カメラチャンネルを選択し、 キーを押す。**

選択したカメラチャンネルが 1 画面表示され、AHD カメラ制御モードに切り換わります。

メ　モ

本機前面のカメラ制御キーを押してカメラ制御選択画面を表示することもできます。

● AHD カメラメニューを表示する

AHD カメラ制御モードでメニューキーを押すとカメラ制御メニューが表示されます。メニューを閉じる場合は、再度メニューキーを押してください。

メ　モ

カメラ制御メニューは、マウスの右クリックで表示することも、閉じることもできます。

メニュー

On　：AHD カメラのカメラメニューを表示します。
カメラメニューを閉じるには、カメラメニュー内の項目を選択し終了してください。

Off　：選択できません。

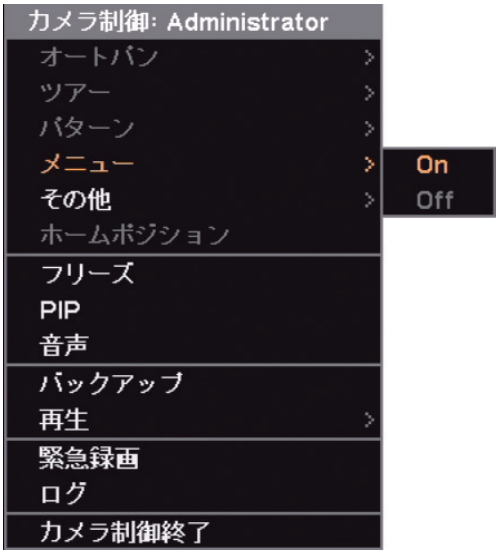
その他

ENTER：AHD カメラのカメラメニューを表示します。
カメラメニュー表示中は、設定項目や内容を確定し、画面を切り換えます。

メ　モ

前面の キー、AHD カメラ制御モードの アイコンでも同じ操作が可能です。

［カメラ制御メニュー］



● AHD カメラメニューを設定する

カメラメニューの設定を行います。
詳しい設定方法や設定項目については、カメラの取扱説明書をご覧ください。

[前面キーからの制御]
上下左右キー ：上下で設定項目の選択、左右で設定内容の選択をします。
キー　　：カメラメニューの設定項目や内容を確定し、画面を切り換えます。

[マウスからの制御]
マウスによる操作は、AHD カメラ制御モードに表示されるアイコンから行います。

[AHD カメラ制御モード]

① 上下左右 ：上下で設定項目の選択、左右で設定内容の選択ををします。

② ：カメラメニューの設定項目や内容を確定し、画面を切り換えます。

リモートコントローラー制御

本機にリモートコントローラー（C-RM700）を接続し、リモートコントローラーから 1 画面表示、4 ／ 9 ／ 13 ／ 16 分割画面表示、シーケンス表示を選択することができます。

リモートコントローラー（C-RM700）から操作する場合は、RS-485 の設定で用途を「コントローラー」に設定します。（P. 5-38「RS-485 設定」）

メ　モ

- 用途を「コントローラー」に設定すると、通信速度、データビット、ストップビット、パリティはリモートコントローラー（C-RM700）から操作可能な設定に自動で変更されます。
- 本機を操作するために必要なリモートコントローラー（C-RM700）側の設定はありません。

■ リモートコントローラーの接続

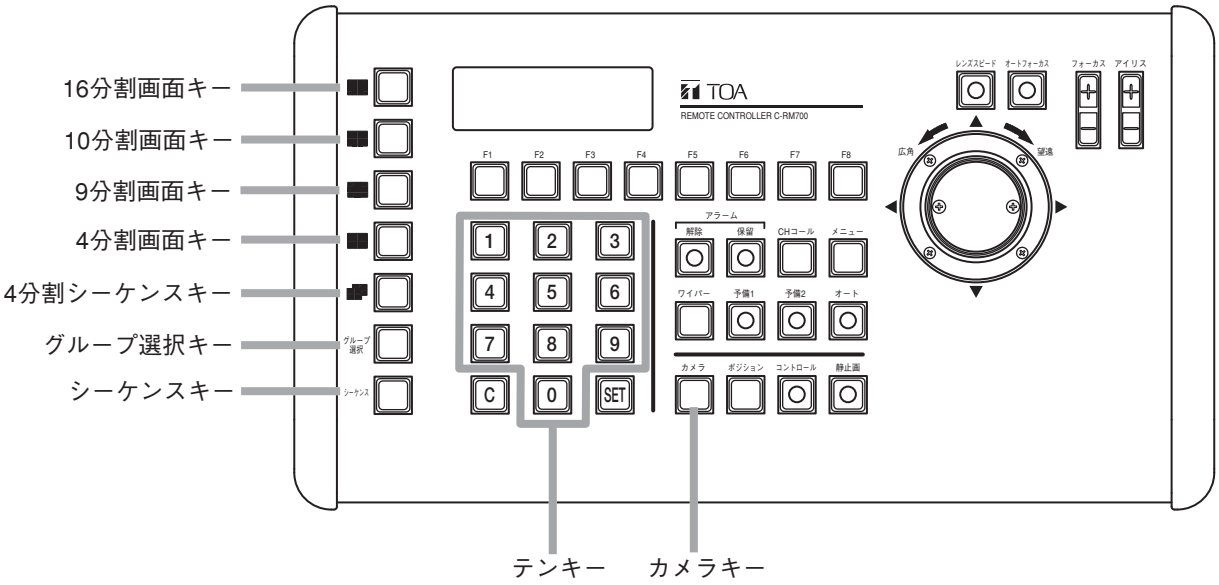
本機の RS-485 端子とリモートコントローラー（C-RM700）のスイッチャ制御端子を接続します。
（P. 2-4「リモートコントローラーシステム」）

ご注意

本機とリモートコントローラー（C-RM700）のスイッチャ制御端子を接続した場合は、本機、DRNET、DRNET Mobile、および Web ブラウザーから RS-485 制御のコンビネーションカメラを操作することはできません。
コンビネーションカメラを操作したい場合は、リモートコントローラー（C-RM700）にカメラの制御線を接続し、リモートコントローラー（C-RM700）から操作してください。

■ リモートコントローラーからの操作

［操作に使用するキー］



● 1 画面表示する

1 テンキーで 1 画面表示したいチャンネルの番号を押す。

2 カメラキーを押す。

指定されたチャンネルの映像が 1 画面表示されます。

ご注意

コントロールキーは使用しないでください。

● 4 分割画面表示する

1 4 分割画面キーを押す。

4 分割画面（カメラチャンネル 1 ～ 4）が表示されます。

2 4 分割画面キーまたはグループ選択キーを押す。

4 分割画面（カメラチャンネル 5 ～ 8）が表示されます。
キーを押すごとに、カメラチャンネル 9 ～ 12、カメラチャンネル 13 ～ 16 が表示されます。

メ　モ

4 分割画面（カメラチャンネル 9 ～ 12）、4 分割画面（カメラチャンネル 13 ～ 16）は、16 局用のみ表示されます。

● 9 分割画面表示する

1 **9 分割画面キーを押す。**

9 分割画面（カメラチャンネル 1 ～ 9）が表示されます。

2 **9 分割画面キーまたはグループ選択キーを押す。**

9 分割画面（カメラチャンネル 8 ～ 16）が表示されます。

メ　モ

9 分割画面（カメラチャンネル 8 ～ 16）は、16 局用のみ表示されます。

● 13 分割画面表示する（16 局用のみ）

1 **10 分割画面キーを押す。**

13 分割画面（カメラチャンネル 1 ～ 13）が表示されます。

2 **10 分割画面キーまたはグループ選択キーを押す。**

13 分割画面（カメラチャンネル 1、5 ～ 16）が表示されます。

● 16 分割画面表示する（16 局用のみ）

手順：16 分割画面キーを押す。

16 分割画面（カメラチャンネル 1 ～ 16）が表示されます。

● シーケンス表示する

手順： ライブ表示中にシーケンスキーを押す。

本機で設定したシーケンス間隔で、ライブ表示中の 1 画面または分割画面のシーケンスを開始します。
（P. 4-17「シーケンス表示する」）

● 4 分割シーケンス表示する

手順： ライブ 4 分割画面表示中に 4 分割シーケンスキーを押す。

本機で設定したシーケンス間隔で、4 分割画面のシーケンスを開始します。

アラーム

本機後面のコントロール出力端子へ信号を出力する、ブザー音を鳴らす、または、システムの警告メッセージを表示することを本機では「アラーム」と呼びます。
イベントの発生やアラームスケジュールを組むことでアラーム状態になります。アラーム中は、本機前面のアラーム LED が点灯し、同時にステータスバーのアラームアイコンが点灯します。（P. 1-4「各部の名称とはたらき」、P. 4-5「ライブ画面のステータスバー表示」）
イベントによるアラーム状態は、緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すかマウスの左右どちらかをクリックすると終了します。

ご注意　アラーム解除権限を持つユーザーでログインしている場合のみ、アラーム状態を終了できます。

■ アラーム設定

● アラームの設定を行う

アラーム設定画面では、アラーム継続時間、コントロール出力の名称、出力形式を設定することができます。

「デバイス」
↓
「アラーム」
↓
「アラーム」タブ

① アラーム継続時間　：センサーイベント、モーションイベントが終了したあとに、コントロール出力とブザー鳴動を継続して出力する時間を設定します。
［選択］
5 秒／ 10 秒／ 15 秒／ 20 秒／ 25 秒／ 30 秒／ 40 秒／ 50 秒
1 分／ 2 分／ 3 分／ 4 分／ 5 分／ 10 分

② タイトル　：コントロール出力端子の名前を設定します。 ⏎ キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。英数、記号で最大 16 文字まで入力できます。（P. 3-16「文字を入力する」）
設定メニューで、コントロール出力端子を選択する項目が表示されるときに各コントロール出力端子の名称として表示されます。

③ 形式　：コントロール出力端子の出力形式を設定します。
NO（Normally Open）：コントロール出力 On 時にメイク、Off 時にブレイクします。
NC（Normally Close）：コントロール出力 On 時にブレイク、Off 時にメイクします。

④ ページ切り換え　：〈 〉でページを切り換えます。（16 局用のみ）

⑤ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

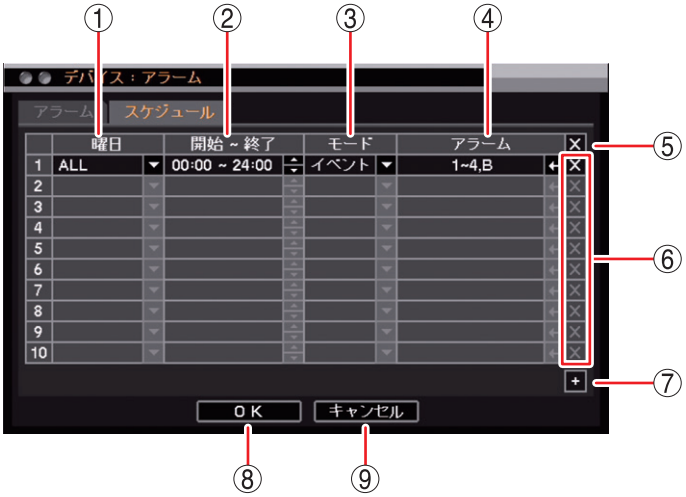
⑥ キャンセル　：設定を保存せず前画面に戻ります。

● アラームを有効にする条件を決める（スケジュール設定）

アラームのスケジュールを設定します。曜日、開始〜終了、モード、出力内容の設定をすることができます。最大 10 件まで設定できます。
設定したスケジュールの時間帯が重複しているアラームは、番号の大きいスケジュールが優先されます。

メ　モ　スケジュールの終了時刻と別のスケジュールの開始時刻が同じ場合、アラーム状態は途切れません。

「デバイス」
↓
「アラーム」
↓
「スケジュール」
タブ



① 曜日　：設定する曜日を選択します。
［選択］ALL ／日／月／火／水／木／金／土／休日／月〜金／土日

メ　モ
休日の設定については、P. 6-9「休日を設定する」を参照してください。

② 開始〜終了　：開始・終了時刻を設定します。左右キーで開始・終了を選択し、上下キーで数値を変更します。設定間隔は 15 分です。

③ モード　：アラームのモードを選択します。
［選択］
イベント　：イベント発生時にアラームを出力します。
On　：設定した出力内容のアラームを出力します。
Off　：設定した出力内容のアラームを出力しません。

メ　モ
- イベントを選択した場合は、イベント設定メニューのアラーム動作を設定する必要があります。（P. 5-55「イベントによるアラーム」）
- On または Off に設定した場合は、イベントの発生に関係なくスケジュールの設定時間で On または Off されます。

④ アラーム　：アラームの出力内容を設定します。コントロール出力端子番号やブザー鳴動の選択をしてください。 ↵ キーを押すと「アラーム設定画面（P. 5-54）」が表示され、動作させたいアラームを設定できます。

ご注意
出力内容を設定しないとアラームは出力されません。

⑤ ☒（全削除）　：すべてのスケジュールをリストから削除することができます。

⑥ ☒（削除）　：選択したスケジュールをリストから削除することができます。

⑦ ＋（追加）　：新しいスケジュールがリストに追加されます。

⑧ OK　　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑨ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

［アラーム設定画面］

① 一斉チェックボックス：すべてのコントロール出力端子番号とブザー鳴動（ブザー）を選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのコントロール出力とブザー鳴動は無効になります。

② チェックボックス　：コントロール出力端子番号とブザー鳴動（ブザー）を選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、コントロール出力とブザー鳴動は無効になります。

③ OK　　：設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには、前画面で「OK」を押してください。

④ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

メ　モ

例えば、夜間（00:00 － 06:00 とする）のみブザー鳴動を止めたい場合は、アラームのスケジュール設定に以下のスケジュールを追加します。

曜日：ALL、開始－終了：00:00 － 06:00、モード：Off、アラーム：B（ブザー）

ただし、この場合は、夜間に機器異常を含むすべてのイベントが発生しても 06:00 になるまでブザーが鳴動しません。

■ イベントによるアラーム

イベント発生時または緊急録画開始時に、アラームを出力させることができます。
イベントには、センサーイベント、モーションイベント、ビデオロスイベント、システムイベントがあります。
あらかじめ各イベント設定で、イベント発生時にどのアラームを出力させるか設定しておく必要があります。

ご注意

各イベントでアラームの設定が行われていても、アラーム設定のスケジュール（P. 5-53「アラームを有効にする条件を決める（スケジュール設定）」）でイベントモード時のアラームが設定されていない場合には、アラームは出力されません。

● イベントが発生したときに出力するアラームを設定する

緊急録画やセンサーイベント、モーションイベントの発生時、または緊急録画開始時に出力させるコントロール出力端子やブザー鳴動を設定します。
ビデオロスイベントは、P. 6-35「ビデオロスが発生したときに出力するアラームを設定する」、システムイベントは、P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」を参照してください。

［緊急録画、センサーイベントの場合］

イベントが発生したときに出力するアラームを設定する場合は、あらかじめセンサーの設定を有効にしておいてください。（P. 4-39「センサー入力の設定」）

「イベント」
↓
「センサー」
↓
「アラーム」タブ

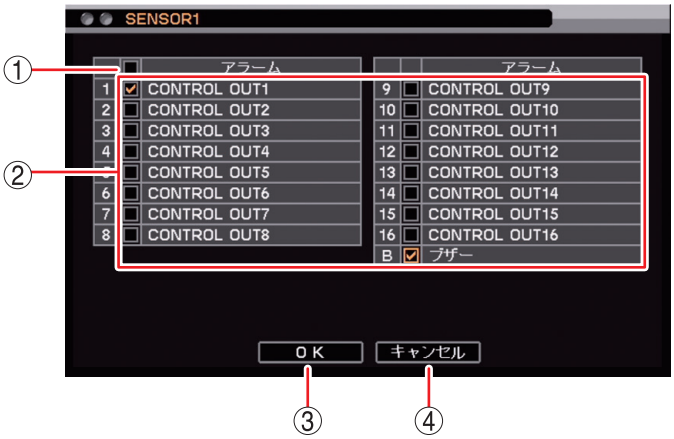
① アラーム　：イベント発生時または緊急録画開始時に動作するアラームを表示します。
［↵］キーを押すと「イベントアラーム設定画面（P. 5-56）」が表示されます。動作させたいアラームを設定してください。

② ページ切り換え　：［<］［>］でページを切り換えます。

③ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

④ キャンセル　：設定を保存せず前画面に戻ります。

［イベントアラーム設定画面］



① 一斉チェックボックス ： すべてのコントロール出力端子番号とブザー鳴動（ブザー）を選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのコントロール出力とブザー鳴動は無効になります。

② チェックボックス ： コントロール出力端子番号とブザー鳴動（ブザー）を選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、コントロール出力とブザー鳴動は無効になります。

③ OK ： 設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには、前画面で「OK」を押してください。

④ キャンセル ： 設定を保存せずに前画面に戻ります。

第 6 章

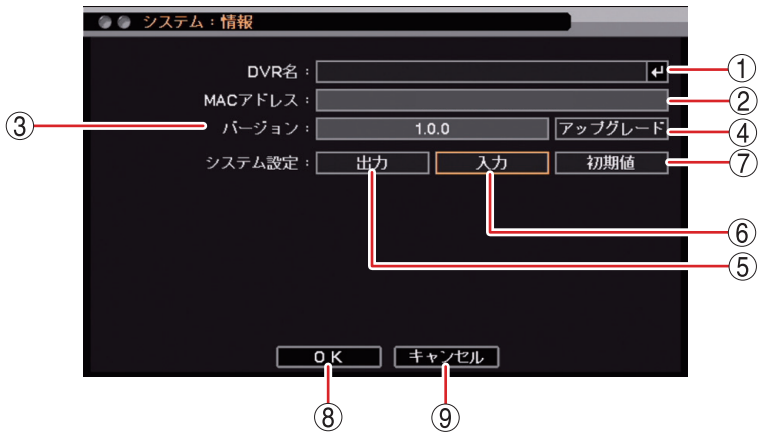
システムについて

システム設定

■ システム情報

本機の設定データを工場出荷時に戻したり、USB メモリーに出力したりすることができます。
また、USB メモリーから本機へ設定データを入力することができます。

「システム」
↓
「情報」



① DVR 名　：デジタルレコーダーの名前を設定します。 ↵ キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。英数、記号で最大 32 文字まで入力できます。（P. 3-16「文字を入力する」）
設定した DVR 名は、遠隔通知機能で E メール送信するときの E メールや DRNET の Callback イベントリストに表示されます。

ご注意

「＼」「,」「%」は DVR 名に使用しないでください。
DRNET や DRNET Mobile と接続して使用したときに正しく表示されないことがあります。

② MAC アドレス　：本機の MAC アドレスが表示されます。

③ バージョン　：本機のファームウェアのバージョンが表示されます。

④ アップグレード　：本機のファームウェアを更新します。（P. 6-3「ファームウェアを更新する」）

⑤ 出力　：本機で設定しているデータを USB メモリーに保存します。（P. 6-5「設定データを USB メモリーに保存する」）

メ　モ

システム設定やネットワーク設定は出力できません。詳細は、P. 8-10「工場出荷時設定一覧表」を参照してください。

⑥ 入力　：USB メモリーに保存してある設定データを入力し、本機の設定を置き換えます。
（P. 6-6「USB メモリーに保存した設定データを入力する」）

⑦ 初期値　：↵ キーを押すと、工場出荷時の設定に戻ります。

メ　モ

ユーザー設定や IP アドレスは初期化されません。詳細は、P. 8-10「工場出荷時設定一覧表」を参照してください。

⑧ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑨ キャンセル　：設定を保存せず前画面に戻ります。

● ファームウェアを更新する

ファームウェアデータの入った USB メモリーを使って、本機のファームウェアを更新することができます。使用する USB メモリーにファームウェアデータが入っていることを確認してください。

最新のファームウェアデータは、TOA 商品データダウンロードサイト（https://www.toa-products.com/）から入手できます。本機の品番を検索してダウンロードし、USB メモリーに保存してください。

ファームウェアデータのファイル名：
AH-R108-4 用　：　AH-R108-4-vx.x.x.pkg
AH-R116-4 用　：　AH-R116-4-vx.x.x.pkg
(x.x.x 部分にはバージョン番号が入ります。)

ご注意

- USB メモリーは FAT32 または NTFS でフォーマットされたものを使用してください。
- USB メモリーは 2 GB 以上を使用してください。
- USB メモリーはマウス／バックアップ端子に 1 つだけ接続してください。
- ファームウェアデータは USB メモリーの直下に保存してください。他の場所に保存するとデータを認識できません。
- ファームウェアの更新中は、主電源スイッチを「切」にしたり、電源プラグを抜いたりしないでください。また、USB メモリーを取り外さないでください。システムに異常が発生するおそれがあります。

1 ファームウェアデータの入った USB メモリーをマウス／バックアップ端子に挿入する。

2 設定メニューの「システム」から「情報」を選択する。
本機のファームウェアバージョンが表示されます。

3 バージョンの「アップグレード」を選択し、↵ キーを押す。
ファイル名確認画面が表示されます。

メ　モ
USB メモリーが認識できないときは「USB メモリーエラー。[No such device.]」と表示されます。

4 ファイル名確認画面の「ファイル名」を選択し、↵ キーを押す。
USB メモリー内に保存されているファームウェアデータのファイルがすべて表示されます。

5 更新したいファームウェアデータのファイルを選択し、↵ キーを押す。
選択したファイルが「ファイル名」に表示されます。

6 「OK」を選択して ⏎ キーを押す。

ファームウェアの更新を開始します。ファームウェアの更新には約 1 分程度かかります。
ファームウェアの更新が完了すると、自動的に再起動します。

メ　モ

- 本機に対応していないファームウェアデータを選択した場合には、以下のエラーメッセージが表示されます。
  『システムアップグレード失敗。エラー：無効なパッケージ』
- ファームウェアの更新中は、録画やネットワーク配信等すべての機能は停止します。

7 再起動完了後、設定メニューの「システム」から「情報」を選択する。

更新されたファームウェアのバージョンが表示されます。

8 USB メモリーを取り外す。

● 設定データを USB メモリーに保存する

本機の設定データを USB メモリーへ出力することができます。出力されたファイルは、USB メモリーの直下に保存されます。

ご注意

- USB メモリーは FAT32 または NTFS でフォーマットされたものを使用してください。
- USB メモリーは 2 GB 以上を使用してください。
- データを保存する場合は、USB メモリーをマウス／バックアップ端子に 1 つだけ接続してください。
- データの保存中は、USB メモリーを取り外さないでください。システムに異常が発生するおそれがあります。

1 USB メモリーをマウス／バックアップ端子に挿入する。

2 設定メニューの「システム」から「情報」を選択する。

3 システム設定の「出力」を選択し、 キーを押す。

ファイル名確認画面が表示されます。

メ　モ

USB メモリーが認識できないときは「USB メモリーエラー。[No such device.]」と表示されます。

4 ファイル名確認画面の「ファイル名」を選択し、 キーを押す。

文字入力画面が表示され、ファイル名の入力ができます。最大 16 文字まで入力できます。（P. 3-16「文字を入力する」）

メ　モ

ファイル名の初期値は untitled.cfg です。

ご注意

- 「｜」「＼」「／」「,」「？」「＊」「＜」「＞」「：」はファイル名に使用できません。
- USB メモリーに同じ名称のファイルが存在すると、自動的に上書きされます。

5 「OK」を選択し、 キーを押す。

「設定値出力中...」とメッセージが表示され、出力が完了するとメッセージは消えます。

メ　モ

USB メモリーが認識できなくなったときや、USB メモリーの容量がいっぱいで出力できないときは「設定値出力失敗」と表示されます。

6 USB メモリーを取り外す。

● USB メモリーに保存した設定データを入力する

出力した設定データを本機へ入力することができます。
USB メモリーにデータファイルが入っていることを確認してください。USB メモリーの直下に保存されていないと設定データが認識できません。

ご注意

- USB メモリーは FAT32 または NTFS でフォーマットされたものを使用してください。
- USB メモリーは 2 GB 以上を使用してください。
- データを読み込みする場合は、USB メモリーをマウス／バックアップ端子に 1 つだけ接続してください。
- データの読み込み中、または保存中は USB メモリーを取り外さないでください。システムに異常が発生するおそれがあります。
- システム設定の「入力」を実行すると、キャンセルはできません。

1 **設定データの入った USB メモリーをマウス／バックアップ端子に挿入する。**

2 **設定メニューの「システム」から「情報」を選択する。**

3 **システム設定の「入力」を選択し、 ⏎ キーを押す。**

ファイル名確認画面が表示されます。

メ　モ

USB メモリーが認識できないときは「USB メモリーエラー。[No such device.]」と表示されます。

4 **ファイル名確認画面の「ファイル名」を選択し、 ⏎ キーを押す。**

USB メモリー内に保存されている設定ファイルがすべて表示されます。

5 **入力したいファイルを選択し、 ⏎ キーを押す。**

選択したファイルが「ファイル名」に表示されます。

6 **「OK」を選択して ⏎ キーを押す。**

「設定値入力中...」とメッセージが表示され、完了するとメッセージは消えます。

メ　モ

USB メモリーが認識できなくなったときや、別の機種で作成された設定データを選択したときは「設定値入力失敗」と表示されます。

7 **USB メモリーを取り外す。**

■ 日付と時刻の設定

● 現在時刻を変更する

日付、時刻を設定できます。

ご注意

- 時刻を戻す変更を行った場合、すでに録画データがあれば同時刻の録画データが重複します。
- 使用環境により本機の内蔵時計に時刻のずれが生じる場合があります。
  より正確な時刻で記録するために、タイムサーバー（NTP サーバー）をご使用ください。

「システム」
↓
「日付・時間」
↓
「日付・時間」タブ

① タイムゾーン　：標準時間に対する時差を設定します。
日本に設定されていますので、設定は変更しないでください。

② 日付　：日付を設定します。左右キーで年･月･日を選択し、上下キーで数値を変更します。

③ 表示形式変更（日付）　：日付表示形式を設定します。
［選択］
年ー月ー日　　月／日／年
年／月／日　　日ー月ー年
月ー日ー年　　日／月／年

④ 時間　：時刻を設定します。
左右キーで時・分・秒を選択し、上下キーで数値を変更します。

ご注意

NTP 設定を有効にしている場合は、現在時刻の設定ができません。現在時刻変更後に自動的に NTP 調時が行われます。（P. 6-8「NTP 調時機能を設定する」）

⑤ 表示形式変更（時間）　：時刻の表示方法を設定します。
［選択］
時 : 分 : 秒 AM（PM）：12 時間表示
時 : 分 : 秒　　：24 時間表示

⑥ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

メ　モ

NTP 設定で“NTP を使用する”にチェックが入っていると、同時に NTP 調時が動作します。（P. 6-8「NTP 調時機能を設定する」）

⑦ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● NTP 調時機能を設定する

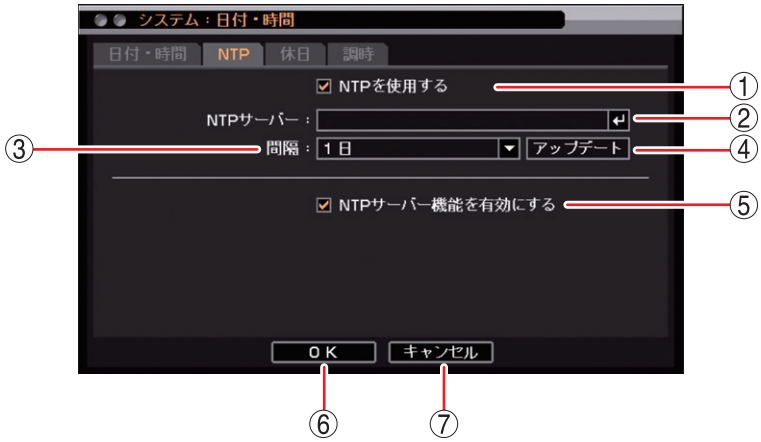
ネットワーク上にある NTP サーバーに接続し、本機の現在時刻を調時します。
本機を起動したときや NTP サーバーによる調時機能を有効にしたときに調時を行い、その後は設定した間隔に従って NTP サーバーへ自動で接続して調時を行います。NTP サーバーと本機のずれが±10 秒未満の場合、録画データが重複しないように少しずつ時刻を合わせます。
また、本機を NTP サーバーとして使用することができます。ネットワークを使用して、NTP サーバーによる調時機能を持つ機器の内蔵時計をすべて同じ時刻に調時することができます。

接続にネットワークを使うため、ネットワークの設定を行う必要があります。（P. 7-2「ネットワーク設定」）

ご注意

現在時刻の設定が正確な時刻に対して 10 秒以上未来に設定されている場合、NTP サーバーに接続して調時を行うと、すでに録画データがあれば同時刻の録画データが重複します。

「システム」
↓
「日付・時間」
↓
「NTP」タブ



① NTP を使用する　：チェックするとネットワーク上にある NTP サーバーによる調時機能が有効になります。

② NTP サーバー　：NTP サーバーのサーバー名または IP アドレスを設定します。⏎ キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。最大 32 文字まで入力できます。（P. 3-16「文字を入力する」）

③ 間隔　：NTP サーバーに接続する間隔を設定します。
［選択］30 分／ 1 時間／ 2 時間／ 3 時間／ 6 時間／ 12 時間／ 1 日

④ アップデート　：⏎ キーを押すと NTP サーバーに接続し、NTP 調時が動作します。
正しく調時が行われた場合、画面に「時間調整完了」のメッセージが表示されます。

メ　モ

NTP サーバーに接続できない場合、画面に「時間調整失敗」のメッセージが表示されます。

⑤ NTP サーバー機能を有効にする　：チェックすると本機は NTP サーバーとして動作します。
本機の時刻をネットワーク経由で取得する機器は、本機の IP アドレスを NTP サーバーに設定してください。

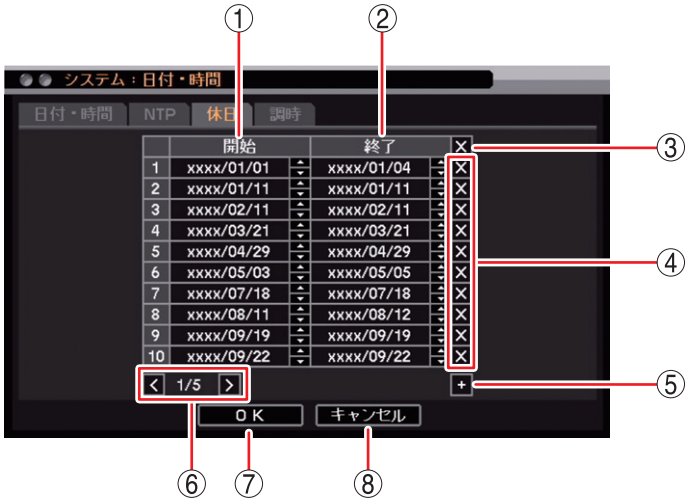
⑥ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。“NTP を使用する” にチェックが入っていると、同時に NTP 調時が動作します。

⑦ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● 休日を設定する

休日の設定ができます。
休日は、録画スケジュール（P. 4-34「録画スケジュールを設定する」）、アラームスケジュール（P. 5-53「アラームを有効にする条件を決める（スケジュール設定）」）、マスク機能（P. 4-8「モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク機能）」）に使用できます。
開始日と終了日を含む日を休日とします。設定は翌年以降も有効になります。最大 50 件まで設定できます。

「システム」
↓
「日付・時間」
↓
「休日」タブ



① 開始　：休日の開始日を設定します。左右キーで月・日を選択し、上下キーで数値を変更します。

② 終了　：休日の終了日を設定します。左右キーで月・日を選択し、上下キーで数値を変更します。

③ ☒（全削除）　：すべての休日設定を削除します。

④ ☒（削除）　：選択した休日設定を削除します。

⑤ ＋（追加）　：休日の開始・終了日を追加します。

⑥ ページ切り換え　：11 件以上作成した場合、＜ ＞ でページを切り換えます。

⑦ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑧ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

ご注意　祝日は年ごとに日付が異なるため、祝日の休日設定は毎年行ってください。

メ　モ　うるう年には 2 月 29 日を設定できます。

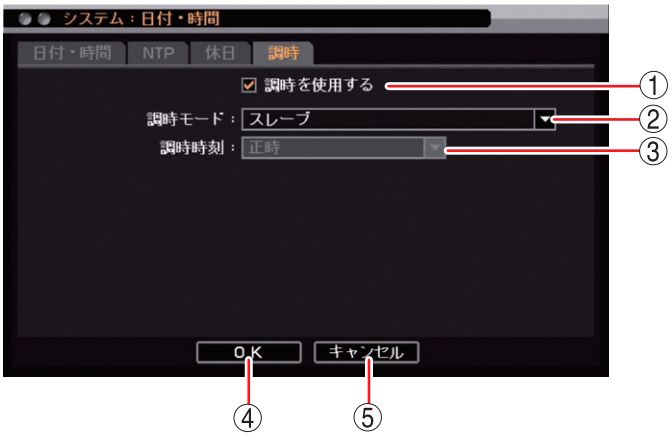
● 機器間の時刻を合わせる（調時機能）

本機以外の機器の時刻を本機に合わせることができます。
また、電波時計や本機以外のデジタルレコーダーなどに、本機の時刻を合わせることができます。本機の時刻が正時±10 秒未満のときは、録画データが重複しないように少しずつ時刻を合わせます。

ご注意

- 外部機器からの調時によって 10 秒以上時刻を戻す変更を行った場合、すでに録画データがあれば同時刻の録画データが重複します。
- 接点調時を使用して本機の時刻を合わせる場合は、マスター機の調時出力端子と本機の調時入力端子を正しく接続してください。間違った接続を行うと、本機の時刻がずれることがあります。
  調時入力端子からの入力で調時を行った場合は、システムログを保存します。

「システム」
↓
「日付・時間」
↓
「調時」タブ



① 調時を使用する　：接点調時を使用する場合は、チェックを入れて有効にします。

② 調時モード　：本機を調時のマスター機として使用するか、スレーブ機として使用するかを選択します。

マスター　：本機の時刻が調時時刻で設定した時刻になると調時出力端子から信号を出力します。

メ　モ

調時モードがマスターのとき、本機は調時入力信号は受け付けません。

スレーブ　：本機の時刻が正時±20 分以内のときに、調時入力端子から信号を受け付けると本機の時刻を正時に合わせます。また、調時入力端子から入力を受けると同時に調時出力端子から信号が出力されます。

メ　モ

正時とはある時間の分と秒が 0 分 0 秒である時刻です。
本機の時刻が 40 分 00 秒から 59 分 59 秒にあるとき、時刻が正時まで進み、00 分 00 秒から 20 分 00 秒にあるとき、時刻が正時まで戻ります。これら以外の時刻では調時されません。

③ 調時時刻　：調時モードがマスターの場合に調時出力端子から信号を出力する時刻を設定します。

正時　：毎正時に出力します。

00:00 ～ 23:00　：1 日 1 回、設定した時間の正時に出力します。

メ　モ

調時モードがスレーブのときは、設定する必要はありません。

④ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑤ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

セキュリティ

ユーザーごとに本機の操作を行う権限を設定できます。

■ ログイン・ログアウト

● ログインする

本機を起動して最初に操作を行う場合、または、ログアウト後に再度操作を行う場合は、ログイン画面が表示されます。

メ　モ

オートログイン機能を有効にしている場合は、ログイン画面は表示されません。（P. 6-13「自動でログイン・ログアウトする」）

以下は、メニューを設定するときの操作例です。

1 **メニューキーを押す。**

ログイン画面が表示されます。

2 **「ID」を選択し、 キーを押す。**

登録されたユーザー ID がすべて表示されます。

3 **ログインしたいユーザー ID を選択し、 キーを押す。**

選択したユーザー ID が「ID」に表示されます。

4 **... ボタンを選択し、 キーを押す。**

「文字入力画面」が表示されます。（P. 3-16「文字を入力する」）

5 **「文字入力画面」で、パスワードを入力し「OK」を選択する。**

ログイン画面に戻ります。
入力したパスワードは「＊」で表示されます。

メ　モ

ユーザー ID「Administrator」と「Guest」の工場出荷時の初期パスワードは、どちらも「guest」に設定されています。運用前に必ずパスワードを変更してください。

6 **「OK」を選択し、 キーを押す。**

ログインが完了し、設定メニュー画面が表示されます。

メ　モ

パスワードが異なりログインできないときは「パスワードが不正です。」とメッセージが表示されます。

［ログイン画面］

● ログアウトする

権限を持たないユーザーの操作や誤ってキーを押すことによる誤操作を防止するために、操作後はログアウトを行ってください。

1 ライブ画面表示中にメニューキーを押す。

設定メニュー画面が表示されます。

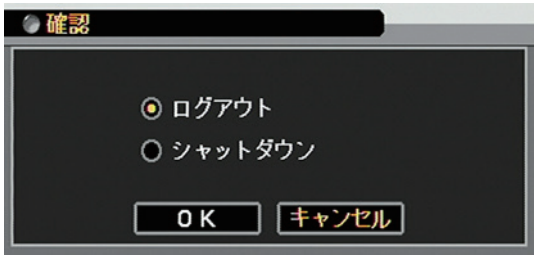
［設定メニュー画面］

2 「ログアウト・シャットダウン」を選択し、⏎ キーを押す。

ログアウト・シャットダウン確認画面が表示されます。

3 「ログアウト」を選択する。

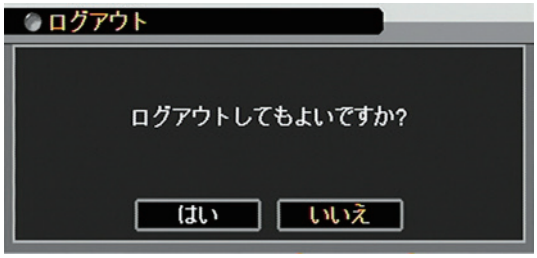
［ログアウト・シャットダウン確認画面］



4 「OK」を選択し、⏎ キーを押す。

「ログアウトしてもよいですか？」と確認画面が表示されます。

［ログアウト確認画面］



5 ログアウト確認画面で「はい」を選択し、⏎ キーを押す。

ライブ画面に戻ります。

メ　モ

前面キーでログアウトすることもできます。
メニューキーを 3 秒以上押すと、「ピッ」というブザー音が鳴りログアウトします。

● 自動でログイン・ログアウトする

オートログインを設定すると、本機を起動後、設定したユーザーで自動的にログインできます。
自動ログアウトを設定すると、ユーザーが一定時間操作しないとき自動的にログアウトできます。
また、自動ログアウトを設定しているときも手動でログアウトすることができます。（P. 6-12「ログアウトする」）

「システム」
↓
「ユーザー」
↓
「ユーザー」タブ

① オートログイン　：[↵] キーを押すと On ／ Off の切り換えができます。

② ログインユーザー　：自動的にログインするユーザーを設定します。オートログインが On のとき有効になります。

③ 自動ログアウト　：[↵] キーを押すと On ／ Off の切り換えができます。

④ 自動ログアウト時間　：自動ログアウトが On のとき有効になります。
［選択］
10 秒／ 20 秒／ 30 秒／ 1 分／ 2 分／ 3 分／ 4 分／ 5 分／ 10 分／ 20 分／ 30 分／ 1 時間

⑤ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑥ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

■ ユーザー設定

本機で各種操作や設定変更などを行うためには、それぞれの機能の操作権限を持つユーザー ID で本機にログインする必要があります。
本機では、あらかじめ管理者レベルのユーザー「Administrator」と基本的な操作だけができるユーザー「Guest」が登録されています。ユーザーは「Administrator」と「Guest」以外に 16 名追加できます。

ご注意
- 操作権限のない機能を操作すると「アクセス拒否されました。権限を確認してください。」とメッセージが表示されます。
- ユーザー設定はグループ「Administrator」のユーザー ID だけがすべての操作ができます。
  「設定」権限を持つほかのユーザー ID は、自分のパスワードと自動ログアウト設定だけが変更できます。

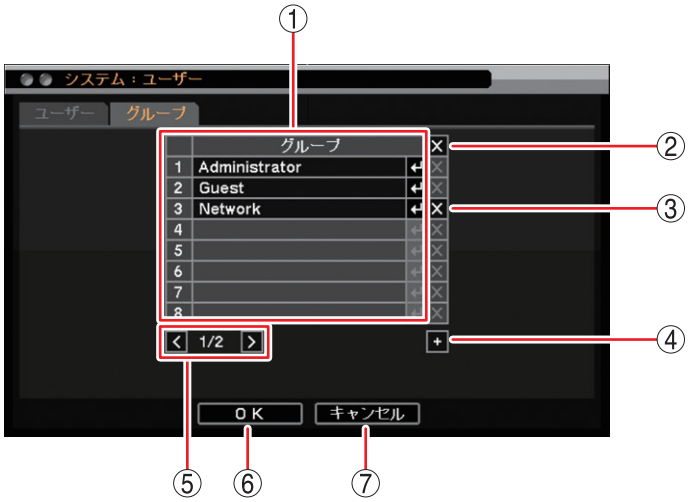
● グループ設定

本機では、あらかじめ管理者レベルのグループ「Administrator」と基本的な操作だけができるグループ「Guest」が設定されています。「Administrator」と「Guest」以外に 14 のグループを設定できます。

ご注意
グループ設定はグループ「Administrator」のユーザー ID だけが操作できます。ほかのユーザー ID は登録、変更できません。

「システム」
↓
「ユーザー」
↓
「グループ」タブ

［グループ設定画面］



① グループ　：操作権限を変更するグループを選択します。
ご注意「Administrator」と「Guest」のグループ設定は変更できません。

② ☒（全削除）　：グループリストに登録されたすべてのグループを削除します。
⏎ キーを押すと確認画面が表示されます。「はい」を選択し、⏎ キーを押すと「Administrator」と「Guest」を除くすべてのグループを削除します。
ご注意 削除したグループに設定されているユーザー（使用者名）も削除されます。

③ ☒（削除）　：選択したグループを削除します。
⏎ キーを押すと確認画面が表示されます。「はい」を選択し、⏎ キーを押すと選択したグループを削除します。
ご注意
- 「Administrator」と「Guest」は削除できません。
- 削除したグループに設定されているユーザー（使用者名）も削除されます。

④ ＋（追加）　：新しいグループを登録します。
↵ キーを押すと「グループ登録画面」が表示されます。（P. 6-15「グループ設定を登録・変更する」）

⑤ ページ切り換え　：9 グループ以上作成した場合、＜ ＞ でページを切り換えます。

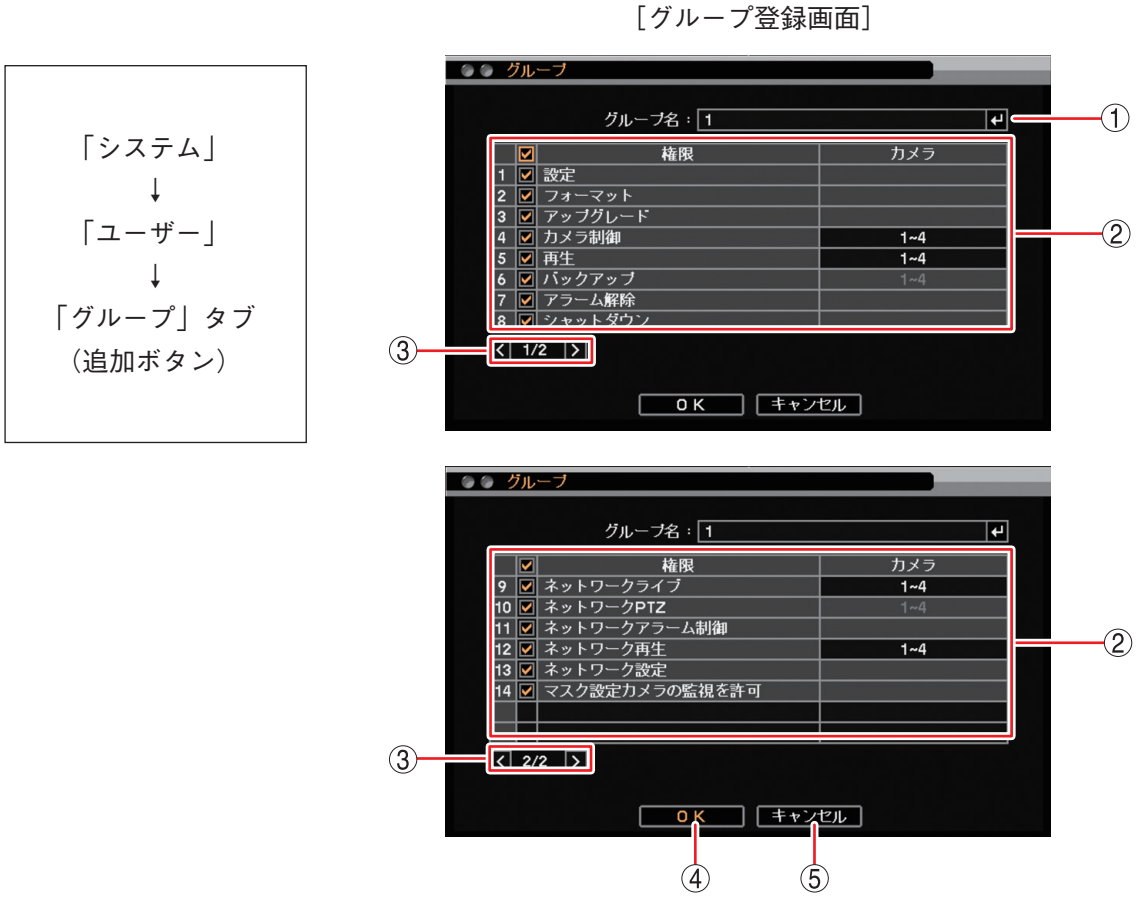
⑥ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑦ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● グループ設定を登録・変更する

グループを追加する場合は、グループ名を決めて、権限を与える設定にチェックを入れて有効にします。
あらかじめ設定されているグループ「Administrator」はすべての権限が有効になっています。
また、グループ「Guest」はすべての権限が無効になっています。

メ　モ　グループ「Administrator」と「Guest」の権限は変更できません。



① グループ名　：グループ名を登録します。↵ キーを押すと「文字入力画面」が表示されます。最大 16 文字を入力できます。（P. 3-16「文字を入力する」）

ご注意
「＼」「,」「%」はグループ名に使用しないでください。

② 操作権限項目　：権限を有効にするには、チェックボックスを選択し、[↵] キーを押します。

設定　：設定メニューの操作権限を有効／無効にします。

ご注意

ユーザー設定はグループ「Administrator」のユーザー ID だけがすべての操作ができます。「設定」権限が有効なほかのユーザー ID は、自分のパスワードと自動ログアウト設定だけを変更できます。

フォーマット　：ハードディスク初期化の操作権限を有効／無効にします。

メ　モ

ハードディスクのフォーマットを実行するためには、「設定」の権限を有効にしてください。

アップグレード　：ファームウェアを更新する権限を有効／無効にします。

メ　モ

ファームウェアの更新を実行するためには、「設定」の権限を有効にしてください。

カメラ制御　：コンビネーションカメラの操作・設定変更または AHD カメラの設定変更の権限を有効／無効にします。

再生　：時間指定、検索を含む再生の操作権限を有効／無効にします。

バックアップ　：バックアップの操作権限を有効／無効にします。

メ　モ

バックアップを実行するためには、「再生」の権限を有効にしてください。

アラーム解除　：アラーム状態を解除する権限を有効／無効にします。（P. 5-52「アラーム」）

シャットダウン　：シャットダウンの操作権限を有効／無効にします。

ネットワークライブ *　：コンビネーションカメラ制御を除くライブ映像の操作権限を有効／無効にします。

ネットワーク PTZ *　：コンビネーションカメラの操作・設定変更の権限を有効／無効にします。

ご注意

ネットワークライブ権限が無効になっていると変更できません。

ネットワークアラーム制御 *　：アラームの発生と解除の操作権限を有効／無効にします。

メ　モ

ネットワークアラーム制御を実行するためには、「ネットワークライブ」の権限を有効にしてください。

ネットワーク再生 *　：時間指定、検索を含む再生の操作権限を有効／無効にします。

ネットワーク設定 *　：遠隔設定の操作権限を有効／無効にします。

マスク設定カメラの監視を許可：「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしているカメラの映像を表示する権限を有効／無効にします。（P. 4-8「モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク機能）」）

③ ページ切り換え　：[<] [>] でページを切り換えます。

④ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

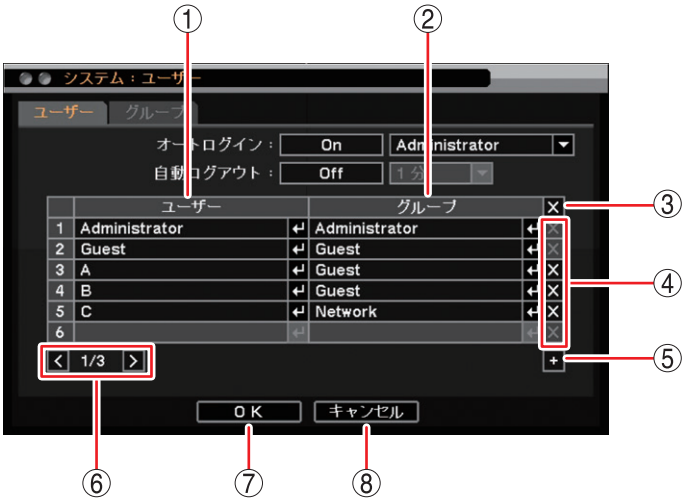
⑤ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

* ネットワークを経由して、DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーのログインユーザーが本機にアクセスしたときに操作できる項目です。

● ユーザー設定

「システム」
↓
「ユーザー」
↓
「ユーザー」タブ

［ユーザー設定画面］



① ユーザー　：選択したユーザーの設定を変更します。 キーを押すと「ユーザー登録画面」が表示されます。（P. 6-18「ユーザー設定を登録・変更する」）

② グループ　：選択したユーザーの所属するグループの操作権限を確認します。

メ　モ

この画面ではグループの操作権限を変更できません。変更はグループ設定画面で行ってください。（P. 6-14「グループ設定」）

③ ☒（全削除）　：ユーザーリストに登録されたすべてのユーザーを削除します。
キーを押すと確認画面が表示されます。「はい」を選択し、 キーを押すと「Administrator」と「Guest」を除くすべてのユーザーを削除します。

④ ☒（削除）　：選択したユーザーを削除します。
キーを押すと確認画面が表示されます。「はい」を選択し、 キーを押すと選択したユーザーを削除します。

ご注意　「Administrator」と「Guest」は削除できません。

⑤ ＋（追加）　：新しいユーザーを登録します。
キーを押すと「ユーザー登録画面」が表示されます。（P. 6-18「ユーザー設定を登録・変更する」）

⑥ ページ切り換え　：ユーザーを 7 名以上作成した場合、 < > でページを切り換えます。

⑦ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑧ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● ユーザー設定を登録・変更する

新しいユーザー ID の登録や、登録したユーザーのユーザー ID、グループ、およびパスワードを変更できます。

「システム」
↓
「ユーザー」
↓
「ユーザー」タブ
（追加ボタン）

［ユーザー登録画面］

① 使用者名　：新しく追加するユーザーの ID を入力します。 ↵ キーを押すと「文字入力画面」が表示され、使用者名の入力ができます。最大 16 文字を入力できます。（P. 3-16「文字を入力する」）

ご注意

「＼」「,」「%」は使用者名に使用しないでください。

② グループ　：ユーザーの所属するグループを選択します。「Administrator」、「Guest」またはグループ設定（P. 6-14）で操作権限を設定した Group 3 ～ 16 のグループ ID から選択します。

メ　モ

使用者名が「Administrator」または「Guest」の場合はグループの変更はできません。使用者名が「Administrator」のときはグループは「Administrator」であり、使用者名が「Guest」のときはグループは「Guest」です。

③ パスワード　：パスワード設定画面を開きます。（P. 3-17「パスワードを設定する」）

ご注意

- 必ずパスワードを設定してください。パスワードを設定すると「OK」が有効になります。
- 登録しているユーザーのパスワードを忘れた場合は、グループ「Administrator」のユーザー ID でメニューにログインし、ユーザー設定でパスワードを忘れたユーザーを削除して、再度新しいユーザーとして追加してください。
  「Administrator」または「Guest」のパスワードを忘れた場合は、販売店にご相談ください。

④ OK　：設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには、前画面で「OK」を押してください。

⑤ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

■ グループ別操作権限一覧

あらかじめ設定されているグループ「Administrator」と「Guest」、新規に作成するグループで操作できる項目は以下のとおりです。

○：操作権限あり　×：操作権限なし

操作項目	ログイン	Administrator	Guest	新規グループ
ログイン・ログアウト	必要	○	○	○
設定メニューの表示	必要	○	○	○
設定メニューの設定変更	必要	○	×	×＊1
ハードディスクフォーマット	必要	○	×	×＊2
ファームウェアの更新	必要	○	×	×＊3
操作メニューの表示	必要	○	○	○
ライブ画面の操作	必要	○	○	○
再生画面の操作	必要	○	×	×＊4
バックアップ・クリップ作成	必要	○	×	×＊5
アラーム解除 （コントロール出力の停止、ブザー鳴動の停止、アラーム LED の消灯）	必要	○	×	×＊6
コンビネーションカメラの操作（マニュアル）	必要	○	×	×＊7
AHD カメラのメニュー設定	必要	○	×	×＊7
シャットダウン	必要	○	×	×＊8
ネットワークライブ	—	○	×	×＊9
ネットワークアラーム制御	—	○	×	×＊10
ネットワーク再生	—	○	×	×＊11
ネットワークからのコンビネーションカメラの操作（マニュアル）	—	○	×	×＊12
ネットワーク設定	—	○	×	×＊13
マスク設定カメラの監視	必要	○	×	×＊14
緊急録画開始／停止	—	○	○	○
ログの表示・出力	必要	○	○	○

＊1「グループ設定」の「設定」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

＊2「グループ設定」の「フォーマット」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

＊3「グループ設定」の「アップグレード」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

＊4「グループ設定」の「再生」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

＊5「グループ設定」の「バックアップ」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

＊6「グループ設定」の「アラーム解除」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

＊7「グループ設定」の「カメラ制御」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

＊8「グループ設定」の「シャットダウン」にチェックが入っているグループのユーザーは操作できます。

＊9「グループ設定」の「ネットワークライブ」にチェックが入っているグループのユーザーは、DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーから本機にアクセスして操作できます。

＊10「グループ設定」の「ネットワークアラーム制御」にチェックが入っているグループのユーザーは、DRNET から本機にアクセスして操作できます。

＊11「グループ設定」の「ネットワーク再生」にチェックが入っているグループのユーザーは、DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーから本機にアクセスして操作できます。

＊12「グループ設定」の「ネットワーク PTZ」にチェックが入っているグループのユーザーは、DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーから本機にアクセスして操作できます。

＊13「グループ設定」の「ネットワーク設定」にチェックが入っているグループのユーザーは、DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーから本機にアクセスして操作できます。

＊14「グループ設定」の「マスク設定カメラの監視を許可」にチェックが入っているグループのユーザーはカメラの映像を表示します。

ロ　グ

本機の動作をログで確認することができます。システムログとイベントログの 2 種類があります。
システムログは USB メモリーに出力でき、最大 10,000 件のログが保存されます。10,000 件を超えると古いログから順に削除します。
イベントログは日付とイベント種類を指定して表示することができます。録画データが削除されると同時刻のイベントログも削除されます。

■ システムログ

● システムログを表示する

ライブ操作メニュー
または
再生操作メニュー
↓
「ログ」
↓
「システム」タブ

① 内容　：ログの内容は、発生した日付、時刻とログの内容から構成されています。新しい順に上から表示します。各ログの詳細は、P. 6-22「システムログ一覧」を参照してください。

② ページ切り換え　：11 件以上のログがあるときに ❮ ❯ でページを切り換えます。

③ 出力　：本機のシステムログ情報を USB メモリーに保存します。（P. 6-21「システムログを USB メモリーに保存する」）

ご注意　イベントログは保存できません。

④ 再読込　：画面表示の更新を行います。

⑤ 閉じる　：前画面に戻ります。

メ　モ

- システムログは、設定メニューの「システム」→「システムログ」からも表示できます。
- 本機前面のログキーでも同様の操作が行えます。

● システムログを USB メモリーに保存する

本機のシステムログ情報を USB メモリーに保存することができます。
保存されたファイルは USB メモリーの直下に保存されます。

ご注意

- 出力したファイルの内容は、Excel2003 以前のバージョンの Excel では表示できません。メモ帳などのアプリケーションを利用して PC で見ることができます。（P. 6-25「システムログを PC で表示する」）
- 本機ではイベントログは保存できません。
- USB メモリーは FAT32 または NTFS でフォーマットされたものを使用してください。
- USB メモリーは 2 GB 以上を使用してください。
- データを保存する場合は、USB メモリーをマウス／バックアップ端子に 1 つだけ接続してください。
- データの保存中は USB メモリーを取り外さないでください。システムに異常が発生するおそれがあります。

1 USB メモリーをマウス／バックアップ端子に挿入する。

2 ライブ操作メニューまたは再生操作メニューの「ログ」→「システム」タブを選択する。

3 「出力」を選択し、⏎ キーを押す。

メ　モ

USB メモリーが認識できないときは「USB メモリーエラー。[No such device.]」と表示されます。

4 ファイル名確認画面の「ファイル名」を選択し、⏎ キーを押す。

文字入力画面が表示され、ファイル名の入力ができます。最大 16 文字まで入力できます。（P. 3-16「文字を入力する」）

メ　モ

ファイル名の初期値は untitled.csv です。

ご注意

- 「｜」「＼」「／」「,」「？」「＊」「＜」「＞」「：」はファイル名に使用できません。
- USB メモリーに同名のファイルが存在すると、自動的に上書きされます。

5 「OK」を選択し、⏎ キーを押す。

「ログメッセージ出力中...」とメッセージが表示され、完了するとメッセージは消えます。

メ　モ

USB メモリーが認識できなくなったときや、USB メモリーの容量がいっぱいで出力できないときは「ログメッセージ出力失敗」と表示されます。

6 USB メモリーを取り外す。

● システムログ一覧

システムログは、本機の電源起動・終了や設定変更などのログを表示します。

ご注意

ログ表示画面上では一部の文字が表示されないことがあります。ログ出力するとすべて表示されます。
（P. 6-21「システムログを USB メモリーに保存する」）

ログ表示	保存条件
録画関連	
緊急録画開始	緊急録画を開始すると保存します。
緊急録画終了	緊急録画を停止すると保存します。
起動・終了関連	
システム起動	本機の起動時に保存します。
シャットダウン	設定メニューのシャットダウン時に保存します。
UPS シャットダウン	無停電電源装置（UPS）からの信号によるシャットダウン時に保存します。
設定関連	
ログイン：Administrator	ログインすると保存します。 下線部はログインしたユーザー名を表示します。
ログアウト	ログアウトすると保存します。
設定：情報	メニュー設定を変更したときに保存します。 下線部は変更した項目を表示します。
日時変更	現在時刻設定を変更すると保存します。 ログで表示する日時は変更後の日時です。
接点調時：成功	調時入力端子からの入力で、時刻を正時に調時すると保存します。
接点調時：失敗	調時が可能な時刻に、調時入力端子からの入力で、時刻の設定に失敗すると保存します。
時刻同期成功	NTP サーバーに接続して、時刻の同期に成功すると保存します。
時刻同期失敗	NTP サーバーに接続を試みて、時刻の同期に失敗すると保存します。
ネットワークポート変更：10101	ネットワークポートを変更すると保存します。 下線部は変更後のポート番号を表示します。
HDD フォーマット	ハードディスク をフォーマットすると保存します。
初期設定値に変更	設定を初期値に戻すと保存します。
設定値出力	設定データを USB メモリーに出力すると保存します。
設定値入力	設定データを USB メモリーから入力すると保存します。
アップグレード	ファームウェアを更新したときに保存されます。

ログ表示	保存条件
異常関連	
ビデオロス：1. CAM 1	ビデオロスが発生すると保存します。下線部はビデオロスが発生したカメラチャンネル番号とカメラ名を表示します。
ビデオ入力（映像信号方式）：1. CAM 1	ビデオロスから映像が復旧すると保存します。下線部は入力されたカメラの映像信号方式を表示します。 ［映像方式］HD：AHD 信号方式、 SD：NTSC 信号方式 二重下線部はビデオロスから復旧したカメラチャンネル番号とカメラ名を表示します。
HDD エラー：1	ハードディスクに異常が発生すると保存します。
録画異常	ハードディスクが認識できず、録画ができなくなると保存します。
残容量警告	録画設定で上書きを無効にしている場合、ハードディスクの使用容量が残容量警告しきい値に達したときに表示します。
S.M.A.R.T.：ID	ハードディスクの S.M.A.R.T. 情報からエラー情報を検出したときに保存します。 下線部は S.M.A.R.T. 情報の ID 番号と名称を表示します。
S.M.A.R.T. 温度 （1：65℃/149゜F）	ハードディスクの温度が S.M.A.R.T. 限界温度に達したときに保存します。 下線部は、S.M.A.R.T. 温度を表示します。
ファン異常検出	ファンに異常が発生すると保存します。
再生関連	
再生スタート	再生モードに入ると保存します。
再生終了	再生モードで再生終了すると保存します。
バックアップ関連	
バックアップ開始	バックアップを開始すると保存します。
バックアップ終了 *	バックアップで、以下の状態になるとバックアップ終了と判断し保存します。 ● バックアップが正常に完了したとき ● バックアップ中に USB メモリーの容量がいっぱいになり、バックアップできなくなったとき
バックアップ中止	バックアップ中にバックアップ中止の操作を行ったとき保存します。
バックアップ失敗	バックアップで以下の状態になるとバックアップ失敗と判断し保存します。 ● バックアップ中に USB メモリーを認識できなくなったとき ● 録画データのない時間を指定し、バックアップを行ったとき
クリップ作成	
クリップ作成開始	クリップ作成開始すると保存します。
クリップ作成終了 *	クリップ作成で、以下の状態になるとクリップ作成終了と判断し保存します。 ● クリップ作成が正常に完了したとき ● クリップ作成中に USB メモリーの容量がいっぱいになり、クリップ作成できなくなったとき
クリップ作成中止	クリップ作成中にクリップ作成中止の操作を行ったとき保存します。
クリップ作成失敗	クリップ作成で、以下の状態になるとクリップ作成失敗と判断し保存します。 ● クリップ作成中に USB メモリーを認識できなくなったとき ● 録画データのない時間を指定し、クリップ作成を行ったとき

ログ表示	保存条件
簡易バックアップ	
簡易バックアップ開始	簡易バックアップ開始すると保存します。
簡易バックアップ終了 *	簡易バックアップで、以下の状態になると簡易バックアップ終了と判断し保存します。 ● 再生が最新録画に追いついたとき ● 簡易バックアップ中止の操作を行ったとき ● 簡易バックアップ中に USB メモリーの容量がいっぱいになり、バックアップできなくなったとき
簡易バックアップ失敗	簡易バックアップで、以下の状態になると簡易バックアップ失敗と判断し保存します。 ● 簡易バックアップ中に USB メモリーを認識できなくなったとき
ネットワーク	
ネットワークログイン（ライブ）：192.168.1.1, Administrator	DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザー により、本機にネットワーク接続すると保存します。 下線部は、接続の種類を表示します。二重下線部は、接続先の IP アドレスを表示します。波形下線部は、接続ユーザーを表示します。
ネットワークログアウト（ライブ）：192.168.1.1	ネットワークの切断や、アプリケーションを終了すると保存します。また、接続中のネットワークとの接続が確認できなくなると保存します。下線部は、接続の種類を表示します。二重下線部は、切断先の IP アドレスを表示します。

* バックアップ、クリップ作成、および、簡易バックアップの終了ログを保存するときに、以下のログも保存します。

Administrator　：保存を行ったユーザー名（下線部）を表示します。

USB　：保存先デバイス（USB Storage）を表示します。

EXE（untitled）　：保存形式（下線部）とファイル名（二重下線部）を表示します。

［保存形式］
EXE　···· DVR Media Player 形式（実行ファイル形式）
STRG　···· 独自形式
AVI　···· AVI 形式

カメラ 1 ～ 4　：保存したカメラチャンネル番号（下線部）を表示します。

開始日時 ～ 終了日時　：保存した録画データの開始日時（下線部）と終了日時（二重下線部）を表示します。

● システムログを PC で表示する

USB メモリーに出力したシステムログを PC で表示することができます。

1 システムログを保存した USB メモリーを PC に接続する。

2 スタートメニューの「すべてのプログラム」→「アクセサリー」から「メモ帳」を起動する。

3 メモ帳の「ファイル」→「開く」を選択する。

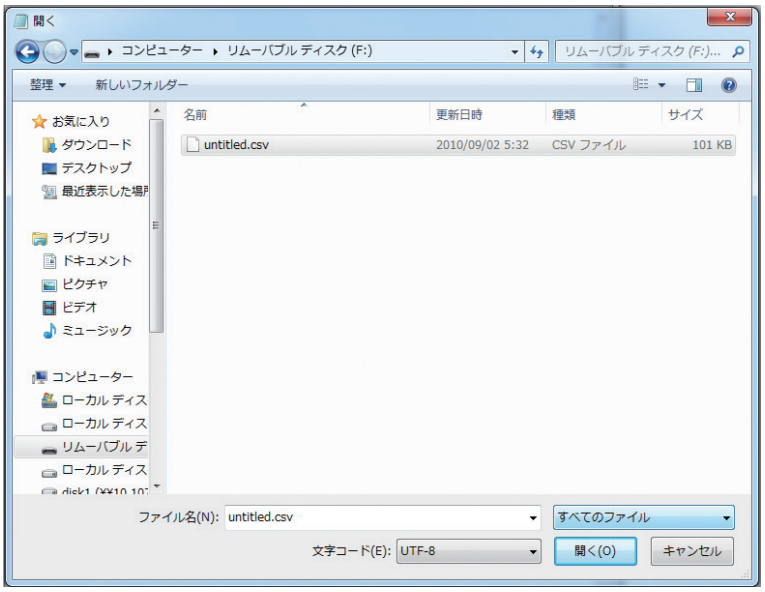
4 ファイルの種類から「すべてのファイル(＊．＊)」を選択する。

5 ファイルの場所から「リムーバブルディスク」を選択する。

6 保存したシステムログのファイル名を選択し、「開く」をクリックする。

メ　モ

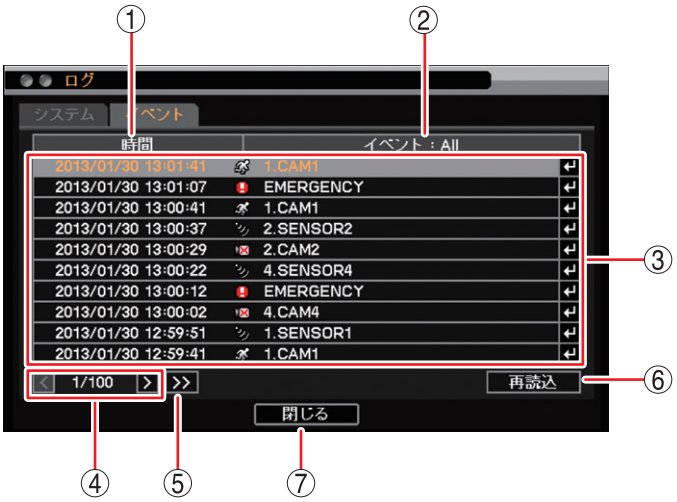
システムログファイルは、文字符号化方式が UTF-8 に対応した Excel で開くこともできます。



■ イベントログ

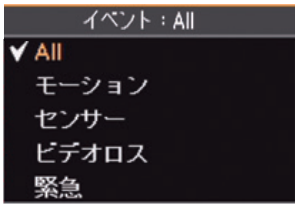
● イベントログを表示する

ライブ操作メニュー
または
再生操作メニュー
↓
「ログ」
↓
「イベント」タブ



① 時間　：「時間」を選択して ⏎ キーを押すとイベント発生日の選択肢が表示され、選択した日付のイベント情報がリストに表示されます。

② イベント　：「イベント」を選択して ⏎ キーを押すと選択肢が表示され、選択したイベントがリストに表示されます。
［選択］
All、モーション、センサー、ビデオロス、緊急



③ イベントリスト　：イベント検索結果をリスト表示します。リスト内のイベントを選択して ⏎ キーを押すとイベントの発生日時で再生映像を一時停止して表示します。

④ ページ切り換え　：＜ ＞ でページを切り換えてイベントリストを表示します。

⑤ ≫　：100 ページずつスキップして表示します。

⑥ 再読込　：画面表示の更新を行います。

⑦ 閉じる　：前画面に戻ります。

メ　モ
- イベントログは USB メモリーに保存できません。
- 本機前面のログキーでも同様の操作が行えます。

● イベントログ一覧

イベントログは、各種イベント録画の録画開始のログを表示します。

	ログ表示	内容	保存条件
	1. SENSOR 1	センサー録画開始	センサー録画を開始すると保存します。 下線部は、入力のあったセンサー端子番号とセンサー名を表示します。
	1. CAM 1	モーション録画開始	モーション録画を開始すると保存します。 下線部は、モーションを検知したカメラ番号とカメラ名を表示します。
	1. CAM 1	ビデオロス録画開始	ビデオロス録画を開始すると保存します。 下線部は、ビデオロスを検知したカメラ番号とカメラ名を表示します。
	EMERGENCY	緊急録画開始	緊急録画を開始すると保存します。 下線部は、緊急録画入力名を表示します。 メ　モ　緊急録画はすべてのカメラチャンネルを録画します。

ご注意

- 録画停止のログは保存しません。
- 連続録画およびプリ録画のログは保存しません。
- 緊急録画時間、ポスト録画時間の設定が短い場合、何度もイベントログが残ることがあります。（P. 4-32「緊急録画を行う」、P. 4-33「ポスト録画時間について」）

異常動作

■ 機器異常

本機は、ファンに異常が発生したときやハードディスクに異常が発生した場合、機器異常と判断します。
機器異常の場合、機器異常 LED を点灯します。機器異常 LED は異常が復旧するまで消灯させることはできません。
機器異常時は LED の点灯以外に、コントロール出力、ブザー鳴動、警告メッセージ表示、遠隔通知、E メール送信できます。（P. 6-36「システムイベントに関する設定を行う」）

■ ファン異常

本機の動作中にファンの回転が停止すると、ファン異常となります。

ご注意

ファンは消耗品です。約 3 年を目安に交換してください。ただし、この年数は目安であり部品寿命を保証するものではありません。

ファン異常が発生すると、以下の動作を行います。

① 機器異常 LED が点灯する。

② 警告メッセージを画面に表示する。
メニュー設定により非表示にできます。（P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）

［警告メッセージ］

ファン異常検出
［年 / 月 / 日　時 : 分 : 秒］
ファンを確認してください

③ 断続音のブザーが鳴動する（ピーピーピーピーピー）。
メニュー設定によりブザーを鳴らさないようにできます。（P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）

④ イベント設定したコントロール出力番号の端子から信号を出力する。
工場出荷状態では出力しません。メニュー設定を行ってください。（P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）

⑤ メッセージ、ブザーまたはコントロール出力を設定しているときは、アラーム LED が点灯する。
アラーム解除権限を持つユーザーが緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスの左右どちらかをクリックすると、アラーム LED の消灯、メッセージの消去、ブザー音の停止、およびコントロール出力の停止ができます。

⑥ イベント設定で設定したアドレスにコールバック情報または E メールを送信する。
工場出荷状態では送信しません。メニュー設定を行ってください。（P. 7-9「イベント発生時に遠隔通知を行う」）

■ ハードディスクエラー

ハードディスクが正常に動作せず、録画できなくなるとハードディスクエラーになります。
ハードディスクが認識できず、録画ができなくなると録画異常になります。
ハードディスクエラーと録画異常を検出した場合は、以下の動作を行います。

① 機器異常 LED が点灯する。
機器異常 LED は異常が復旧するまで消灯させることはできません。

② 警告メッセージを画面に表示する。
メニュー設定により非表示にできます。（P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）

③ 断続音のブザーが鳴動する（ピーピーピーピーピー）。
メニュー設定により鳴動しないように設定できます。
（P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）

［HDD エラーを検出したとき］

HDD エラー
［年 / 月 / 日　時 : 分 : 秒］
HDD を確認してください。

［録画異常を検出したとき］

録画異常が発生しました。
［年 / 月 / 日　時 : 分 : 秒］
HDD を確認してください。

④ イベント設定したコントロール出力番号の端子から信号を出力する。
工場出荷時の設定では出力しません。メニュー設定を行ってください。（P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）

⑤ メッセージ、ブザーまたはコントロール出力を設定しているときは、アラーム LED が点灯する。

メ　モ

アラーム解除権限を持つユーザーは、緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスの左右どちらかをクリックすると、アラーム LED の消灯、メッセージの消去、ブザー音の停止、およびコントロール出力の停止ができます。

⑥ イベント設定で設定したアドレスにコールバック情報または E メールを送信する。
工場出荷時の設定では送信しません。メニュー設定を行ってください。（P. 7-9「イベント発生時に遠隔通知を行う」）

⑦ 録画を停止する。
録画を停止してステータスバーに「NOT FORMATTED」と表示します。また、この状態で本機を起動すると録画異常としてステータスバーに「NO STORAGE」と表示します。

⑧ ログを保存する。（P. 6-22「システムログ一覧」）

ご注意

- 認識できないハードディスクに保存された録画データは再生できません。認識できるハードディスクに保存された録画データのみ再生できます。
- 認識できないハードディスクに保存されたイベントログは表示できません。ただし、システムログはハードディスクに保存していないためハードディスクエラーが発生しても表示できます。
- ハードディスクが故障した場合は、記録したデータは復旧できません。大切な記録データは、あらかじめ USB メモリーにバックアップして保存してください。（P. 5-15「バックアップのしかた」）
- ハードディスクは消耗品です。約 3 年を目安に交換してください。ただし、この年数は目安であり部品寿命を保証するものではありません。

［ハードディスクエラーが発生したら...］

ハードディスクが認識できない場合、録画・再生・バックアップなどを行うことができません。
ハードディスクを交換する必要があります。販売店へお問い合わせください。

■ S.M.A.R.T.

ハードディスクは、ハードディスクの温度や故障の要因となる動作を S.M.A.R.T. 情報（Self-Monitoring, Analysis and Reporting Technology）として保持しています。本機はハードディスクから S.M.A.R.T. 情報を取得することで、ハードディスクが故障する可能性を検知し、アラームや遠隔通知を行うことができます。

本機は、S.M.A.R.T. 情報からエラーとハードディスクの温度を検出します。
S.M.A.R.T. 情報によるエラーの検出はハードディスクの異常ではありませんが、異常につながる可能性がありますので、ハードディスクを交換することをお勧めします。
S.M.A.R.T. 情報から得られるハードディスクの温度が設定した S.M.A.R.T. 限界温度（P. 6-31「ハードディスクの異常温度を設定する（S.M.A.R.T. 限界温度）」）を超えたとき、本機はハードディスクの温度異常と判断します。温度異常を検知した場合は、ハードディスクの温度を調べる（P. 6-31「ハードディスクの現在温度を確認する」）とともに、本機の使用環境が使用温度上限（40℃）を超えていないか、ファンの排気口がふさがれていないかを確認してください。本機の使用温度が適切でファンも正常動作している場合は、ハードディスクの異常の可能性がありますのでハードディスクを交換することをお勧めします。

S.M.A.R.T. 情報からのエラーを検出したとき、もしくはハードディスクの温度が設定した S.M.A.R.T. 限界温度を超えたときは、以下の動作を行います。

① 以下の警告メッセージを画面に表示する。
メニュー設定により非表示にできます。（P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）

［S.M.A.R.T. 情報からのエラーを検出したとき］

S.M.A.R.T. エラー
［年 / 月 / 日　時 : 分 : 秒］
HDD を確認してください。

［ハードディスクの温度が S.M.A.R.T. 限界温度を超えたとき］

S.M.A.R.T. 温度
［年 / 月 / 日　時 : 分 : 秒］
HDD の温度を確認してください。

② 断続音のブザーが鳴動する（ピーピーピーピーピー）。
メニュー設定により鳴動しないように設定できます。（P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）

③ イベント設定で設定したコントロール出力番号の端子から信号を出力する。
工場出荷時の設定では出力しません。メニュー設定を行ってください。（P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）

④ メッセージ、ブザーまたはコントロール出力を設定しているときは、アラーム LED が点灯する。

メ　モ

アラーム解除権限を持つユーザーは、緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスの左右どちらかをクリックすると、アラーム LED の消灯、メッセージの消去、ブザー音の停止、およびコントロール出力の停止ができます。

⑤ イベント設定で設定したアドレスにコールバック情報または E メールを送信する。
工場出荷時の設定では出力しません。メニュー設定を行ってください。（P. 7-9「イベント発生時に遠隔通知を行う」）

⑥ ログを保存する。（P. 6-22「システムログ一覧」）

⑦ 録画を継続する。
S.M.A.R.T. 情報からのエラー検出や温度異常の検知はハードディスクの異常ではありません。録画を停止することはありません。

ご注意

ハードディスクは消耗品です。約 3 年を目安に交換してください。ただし、この年数は目安であり部品寿命を保証するものではありません。

● ハードディスクの異常温度を設定する（S.M.A.R.T. 限界温度）

ハードディスクは温度が上昇すると故障しやすくなります。本機の使用温度範囲内でご使用の場合でもハードディスクの異常などにより、ハードディスクの温度が上昇することがあります。S.M.A.R.T. 情報によってハードディスクの温度を検知し、一定温度に達するとシステムイベントを発生させることができます。

「イベント」
↓
「システム」
↓
「システム」タブ

① S.M.A.R.T. 限界温度：本機で使用しているハードディスクに合わせて 65℃に設定しています。この設定で使用してください。

② OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

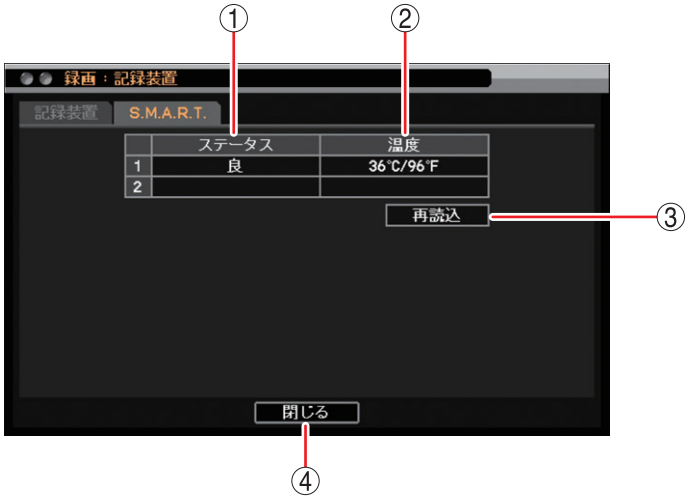
③ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● ハードディスクの現在温度を確認する

ハードディスクの温度を S.M.A.R.T. 情報から取得して表示します。

メ　モ　一般的にハードディスクの温度は本機の使用温度より高くなります。本機の使用温度が高くなるとハードディスクの温度も上昇します。

「録画」
↓
「記録装置」
↓
「S.M.A.R.T.」タブ



① ステータス　：ハードディスクの S.M.A.R.T. 情報にエラーがない場合は「良」、エラーを検知した場合は「不良」と表示します。

② 温度　：ハードディスクの現在温度を表示します。

③ 再読込　：画面表示の更新を行います。

④ 閉じる　：前画面に戻ります。

■ ハードディスクフル（残量警告）

録画設定で上書き禁止に設定している場合、ハードディスクの使用容量が残容量警告しきい値に達したときは、以下の動作を行います。ハードディスクが容量いっぱいに達したときにハードディスクフルとなり、録画を停止します。

［警告メッセージ］

残容量警告。 ［年 / 月 / 日　時 : 分 : 秒］ HDD を確認してください

① 警告メッセージを画面に表示する。
メニュー設定により非表示にできます。（P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）

② 断続音のブザーが鳴動する（ピーピーピーピーピー）。
メニュー設定により鳴動しないように設定できます。（P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）

③ イベント設定したコントロール出力番号の端子から信号を出力する。
工場出荷時の設定では出力しません。メニュー設定を行ってください。（P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」）

④ メッセージ、ブザーまたはコントロール出力を設定しているときは、アラーム LED が点灯する。

メ　モ

アラーム解除権限を持つユーザーは、緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスの左右どちらかをクリックすると、アラーム LED の消灯、メッセージの消去、ブザー音の停止、およびコントロール出力の停止ができます。

⑤ イベント設定で設定したアドレスにコールバック情報または E メールを送信する。
工場出荷時の設定では送信しません。メニュー設定を行ってください。（P. 7-9「イベント発生時に遠隔通知を行う」）

⑥ ログを保存する。（P. 6-22「システムログ一覧」）

［ハードディスクフルが発生したら...］

録画は自動的に停止します。
録画を再開するには、上書き録画を許可するかハードディスクをフォーマットする必要があります。ハードディスクに必要なデータがある場合は、フォーマットする前に USB メモリーにバックアップしてください。

● ハードディスクの残容量警告を設定する

録画設定で上書き禁止に設定している場合、ハードディスクフルになる前にシステムイベントを発生させることができます。

「イベント」
↓
「システム」
↓
「システム」タブ

① 残容量警告しきい値(%)　：残容量警告を開始するハードディスクの使用容量を設定します。
［選択］50 ～ 100%

② OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

③ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

■ ビデオロス

「デバイス設定」で使用するカメラとして設定しているカメラチャンネルで映像信号が入力されないと、そのカメラチャンネルはビデオロスになります。ビデオロス中は録画を停止します。（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）

ビデオロスが発生すると、以下の動作を行います。

［ビデオロスアイコン］

① ビデオロスが発生したカメラチャンネルにビデオロスアイコンを表示する。
（P. 4-4「ライブ画面の OSD 表示」）

② 断続音のブザーが鳴動する（ピーピーピーピーピー）。
工場出荷時の設定ではブザーは鳴動しません。メニュー設定を行ってください。（（P. 6-35「ビデオロスが発生したときに出力するアラームを設定する」）

③ イベント設定したコントロール出力番号の端子から信号を出力する。
工場出荷時の設定では出力しません。メニュー設定を行ってください。（P. 6-35「ビデオロスが発生したときに出力するアラームを設定する」）

④ ブザーまたはコントロール出力を設定しているときは、アラーム LED が点灯する。

メ　モ

アラーム解除権限を持つユーザーは、緊急録画キー以外のいずれかのキーを押すか、マウスの左右どちらかをクリックすると、アラーム LED の消灯、ブザー音の停止、およびコントロール出力の停止ができます。

⑤ イベント設定をしていた場合、設定したカメラチャンネルを録画する。
工場出荷時の設定では録画しません。メニュー設定を行ってください。（P. 4-46「ビデオロス録画を行う」）

⑥ イベント設定で設定したアドレスにコールバック情報または E メールを送信する。
工場出荷時の設定では送信しません。メニュー設定を行ってください。（P. 7-9「イベント発生時に遠隔通知を行う」）

⑦ イベント設定で設定したカメラチャンネルのコンビネーションカメラをあらかじめ登録したプリセットに移動する。
工場出荷時の設定では移動しません。メニュー設定を行ってください。（P. 5-43「イベントによるプリセット移動」）

⑧ ログを保存する。（P. 6-22「システムログ一覧」）

ご注意

AHD カメラのメニュー設定を終了したときや、AHD カメラの調整モードの表示・終了をしたときにビデオロスが発生することがあります。

［ビデオロスが発生したら...］

- カメラの映像を復旧させる
  映像が復旧するとビデオロスは解消します。
- 「デバイス設定」で使用するカメラを無効にする
  使用するカメラのチェックを外すと、ビデオロスは解消します。（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）

● ビデオロスが発生したときに出力するアラームを設定する

「イベント」
↓
「ビデオロス」
↓
「アラーム」タブ

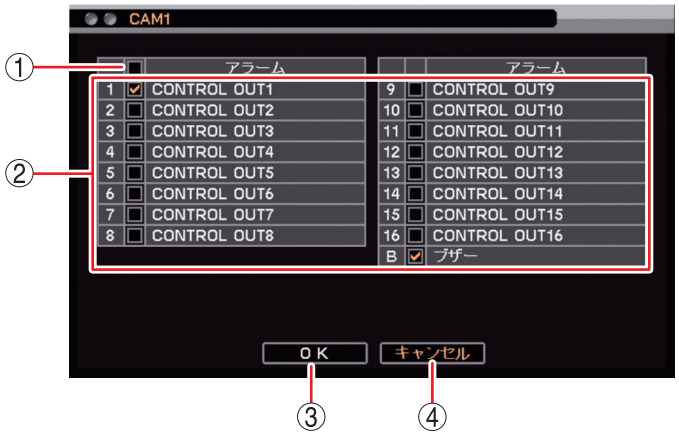
① アラーム　：ビデオロスを検知したときに動作するアラームを表示します。 ⏎ キーを押すと「ビデオロスアラーム設定画面」が表示され、動作させるアラームを設定できます。

② ページ切り換え　：〈 〉でページを切り換えます。（16 局用のみ）

③ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

④ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

［ビデオロスアラーム設定画面］



① 一斉チェックボックス　：すべてのコントロール出力端子番号とブザー鳴動（ブザー）を選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのコントロール出力とブザー鳴動は無効になります。

② チェックボックス　：コントロール出力端子番号とブザー鳴動（ブザー）を選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、コントロール出力とブザー鳴動は無効になります。

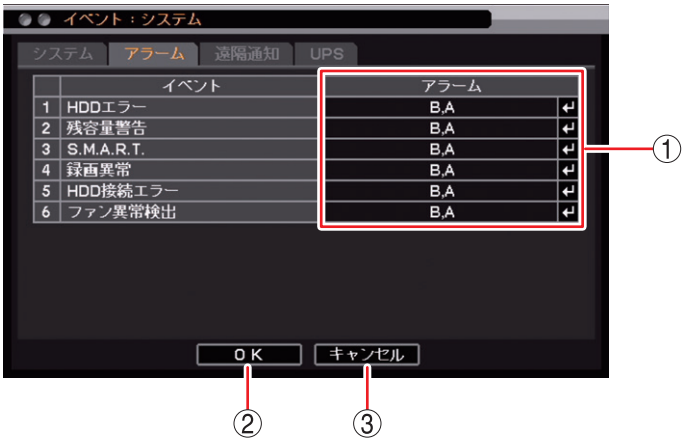
③ OK　：設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには、前画面で「OK」を押してください。

④ キャンセル　：設定を保持せずに前画面に戻ります。

■ システムイベントに関する設定を行う

● システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する

「イベント」
↓
「システム」
↓
「アラーム」タブ



① アラーム　：以下のシステムイベントを検知したときに動作するアラームを表示します。 ↵ キーを押すと「システムイベントアラーム選択画面(P. 6-37)」が表示され、動作させるアラームを設定できます。

- HDD エラー　：ハードディスクが正常に動作せず、ハードディスクが認識できなくなったとき(P. 6-29「ハードディスクエラー」)
- 残容量警告　：録画設定で上書き禁止に設定している場合、ハードディスクの使用容量が残容量警告しきい値に達したとき(P. 6-32「ハードディスクフル（残量警告）」)
- S.M.A.R.T.　：ハードディスクの S.M.A.R.T. 情報からエラーを検出したときやハードディスクの温度が S.M.A.R.T. 限界温度を超えたとき(P. 6-30「S.M.A.R.T.」)
- 録画異常　：ハードディスクが認識できず、録画ができない状態になったとき(P. 6-29「ハードディスクエラー」)
- HDD 接続エラー　：発生しません。
- ファン異常検出　：ファンに異常が発生したとき(P. 6-28「ファン異常」)

② OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

③ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

［システムイベントアラーム選択画面］

① 一斉チェックボックス　：すべてのコントロール出力端子番号とブザーの鳴動（ブザー）、メッセージ（アラート）を出力するときに選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのコントロール出力、ブザー鳴動、メッセージの出力は無効になります。

② チェックボックス　：コントロール出力端子番号、ブザー鳴動（ブザー）、メッセージ（アラート）を選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、コントロール出力、ブザー鳴動、メッセージの出力は無効になります。

③ OK　：設定した内容を保持して前画面に戻ります。保存するには、前画面で「OK」を押してください。

④ キャンセル　：設定を保持せずに前画面に戻ります。

■ 自動復旧動作について

● 自動で再起動を行う場合

本機が安定した動作を継続するために必要と判断した場合、自動で再起動を行うことがあります。
再起動後はライブ画面を表示します。連続録画が設定されている場合は、連続録画を再開します。

● 自動で工場出荷時の設定に戻る場合

設定メニューのデータに異常が発生し修復できない場合、電源起動時に自動で工場出荷時の設定に戻すことがあります。
このとき「設定情報に異常が発生したため、設定値を初期値に戻しました。」とメッセージが表示されます。
使用する前に、再度必要な設定を行ってください。

■ 停電復旧後の動作について

● モニター表示

停電復旧後、本機に電源が供給されると自動的にシステムが起動し、システムチェック後にライブ画面を表示します。
電源起動後の画面は、停電前の状態（1 画面、分割画面）で表示されます。

● 録　画

連続録画に設定されている場合、システム起動後に連続録画を再開します。

ご注意 停電時、直前の録画データが破損するおそれがあります。

■ 無停電電源装置（UPS）

● UPS の設定を行う

無停電電源装置（UPS）と接続し、停電前後の録画データの消失を防止できます。
無停電電源装置（UPS）からの信号により、設定した時間が経過したあとにシャットダウンを行います。

ご注意
電源異常（停電）が発生し、UPS のバッテリー電源で本機が動作しているときに電源異常待機時間を変更しないでください。正しくシャットダウンしないことがあります。

メ　モ
UPS 接続中で電源異常待機時間が経過する前に、電源の復旧などにより UPS からの信号が無効になったときは、シャットダウン状態には移行しません。

「イベント」
↓
「システム」
↓
「UPS」タブ

① 電源異常待機時間（秒）：1 秒～ 36,000 秒（10 時間）から時間を設定できます。UPS から信号を受けてシャットダウンするまでの時間を設定します。

② OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

③ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

第７章

ネットワークについて

ネットワーク

■ ネットワーク設定

本機をネットワークを経由して遠隔地で監視するための設定を行います。また、遠隔地へのイベント通知や E メールの設定、ライブ映像の配信設定を行います。
本機では、デジタルレコーダー用ネットワークソフトウェアを「DRNET」、遠隔地にイベント内容を通知したときに PC で受信するためのソフトウェアを「DRNET Callback」、スマートフォンアプリケーションを「DRNET Mobile」、Web ブラウザーでデジタルレコーダーに接続したときに起動するアプリケーションを「Remote Monitoring System」と呼びます。

ご注意

- ネットワーク接続を行っている場合や画面全体に激しいノイズのある映像を録画している場合など、本機の負荷が高くなると、設定通りに録画や録音ができないことがあります。その場合は、録画条件を変更する必要があります。
- DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーのログインは、ネットワークライブもしくはネットワーク再生の権限を持つユーザーのみ可能です。（P. 6-18「ユーザー設定を登録・変更する」）

● IP アドレスを設定する

「ネットワーク」
↓
「アドレス」
↓
「アドレス」タブ

① 形式　：ネットワークへの接続方法を選択します。
［選択］
固定 IP　：固定 IP アドレスを設定して接続します。IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイを入力してください。
DHCP　：DHCP サーバーから自動で割り振られる IP アドレスを使用して接続します。このとき、IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS サーバーには、DHCP サーバーで割り振られた値を表示します。

② IP アドレス　：固定 IP を選択した場合に設定します。
左右キーで移動し、上下キーで 0 ～ 255 から数値を選択します。

③ サブネットマスク　：固定 IP を選択した場合に設定します。
左右キーで移動し、上下キーで 0 ～ 255 から数値を選択します。

④ ゲートウェイ　：固定 IP を選択した場合に設定します。
左右キーで移動し、上下キーで 0 ～ 255 から数値を選択します。

⑤ DNS サーバーアドレス（自動）：DHCP サーバーから自動で割り振られる DNS サーバーアドレスを使用して接続する場合にチェックを入れます。

⑥ DNS サーバー：「DNS サーバーアドレス（自動）」が選択されていない場合に DNS サーバーの IP アドレスを設定します。
左右キーで移動し、上下キーで 0 ～ 255 から数値を選択します。

⑦ OK：設定を保存して前画面に戻ります。

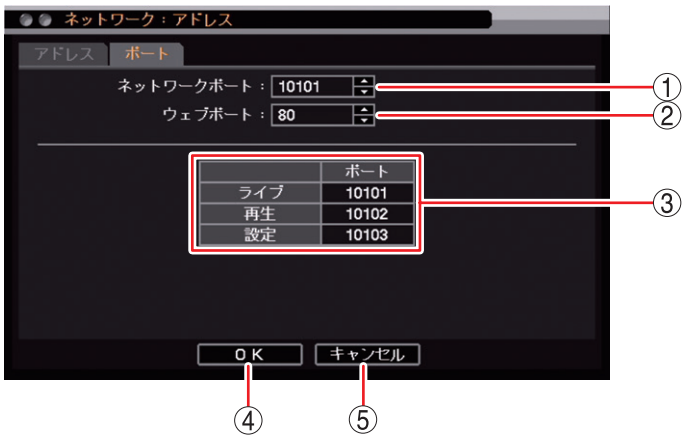
⑧ キャンセル：設定を保存せずに前画面に戻ります。

メ　モ

DNS サーバーは、ドメイン名で指定された NTP サーバーやメールサーバーの IP アドレスを取得するために使用します。

● ポートを設定する

「ネットワーク」
↓
「アドレス」
↓
「ポート」タブ



① ネットワークポート：DRNET、DRNET Mobile、または Web ブラウザーに映像配信するときに使用する本機のポート番号を設定します。
上下キーで 1500 ～ 32000 から数値を選択します。

② ウェブポート：Web ブラウザーと接続するための本機のポート番号を設定します。
上下キーで 80 ～ 32000 から数値を選択します。

③ ポート番号：本機で使用するポート番号が表示されます。

ライブ：遠隔監視に使用するポート番号です。
① で設定した「ネットワークポート」の番号が割り振られます。

再生：遠隔再生に使用するポート番号です。
① で設定した「ネットワークポート」に 1 を加えた番号が割り振られます。

設定：遠隔設定に使用するポート番号です。
① で設定した「ネットワークポート」に 2 を加えた番号が割り振られます。

④ OK：設定を保存して前画面に戻ります。

⑤ キャンセル：設定を保存せずに前画面に戻ります。

メ　モ

ネットワークポート（ライブ、再生、設定）とウェブポートに同じ番号は使用できません。同じ番号にすると警告メッセージが表示されますので、異なる番号を設定してください。

■ 映像配信

本機にネットワークを接続し、ライブ映像を配信するための設定を行います。
Remote Monitoring System の「Live」、DRNET の「DRNET ライブ」、DRNET Mobile の「遠隔ライブ」機能に適用されます。

メ　モ

DRNET Mobile のライブ配信モードの選択方法は、DRNET Mobile の取扱説明書をご覧ください。

ご注意

ネットワーク接続を行っている場合や画面全体に激しいノイズのある映像を録画している場合など、本機の負荷が高くなると、設定通りに録画や録音ができないことがあります。その場合は、録画条件を変更する必要があります。

「ネットワーク」
↓
「映像配信」

① 帯域制限　：ネットワークに送り出すライブ配信のデータサイズに制限をかけることができます。

［選択］
無制限　：送信するデータに制限をかけません。
制限　　：1 ～ 1000 Mbps までの設定した範囲内でデータ送信を行います。

ご注意

遠隔監視で表示しているカメラチャンネルに対して、少なくとも 1 ～ 5 秒間に 1 フレーム送信します。このため、帯域制限内に収まらないことがあります。

② ips　：本機からライブ配信するレートを設定します。上下キーで数値を変更します。配信可能なカメラチャンネルへ均等に割り振られるように、配信レートの自動調整を行います。また、配信レートを低く設定した場合も、配信可能なカメラチャンネルには少なくとも 1 秒間に 1 フレームを送信します。

［選択］
設定できるライブ配信レートは解像度によって異なります。

解像度	8 局用	16 局用
Full HD（1920 × 1080）	1 ～ 120 ips	1 ～ 120 ips
HD（1280 × 720）	1 ～ 240 ips	1 ～ 240 ips
WD1（944 × 480）		1 ～ 480 ips
D1（704 × 480）		
CIF（352 × 240）		

③ 画質　：本機からライブ配信するデータの画質を設定します。
［選択］最高／高／標準／中／低

④ 解像度　：本機からライブ配信するデータの解像度を設定します。
［選択］
Full HD：1920 × 1080
HD　：1280 × 720
WD1　：944 × 480
D1　：704 × 480
CIF　：352 × 240

ご注意

NTSC カメラを接続しているチャンネルは、Full HD または HD を選択した場合、WD1 の解像度で配信されます。

⑤ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑥ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

■ 遠隔通知設定

イベントが発生したときに、DRNET Callback へイベント内容を通知する、または、指定したアドレスへ E メールを送信することができます。

［DRNET Callback へイベント内容を通知する場合］

- DRNET のインストールを行う
- DRNET Callback を起動する
- 本機のネットワーク設定を行う（P. 7-2「ネットワーク設定」）
- コールバックの設定を行う（P. 7-6「コールバック設定を行う」）
- イベントの設定を行う（P. 7-9「イベント発生時に遠隔通知を行う」）

メ　モ

DRNET のインストールと DRNET Callback の起動については、DRNET の取扱説明書をご覧ください。

［E メールを送信する場合］

- 本機のネットワーク設定を行う（P. 7-2「ネットワーク設定」）
- E メールの設定を行う（P. 7-7「E メール設定を行う」）
- イベントの設定を行う（P. 7-9「イベント発生時に遠隔通知を行う」）

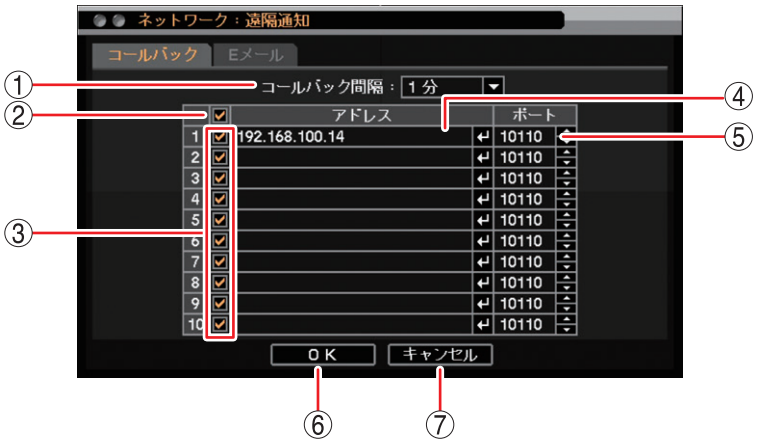
● コールバック設定を行う

DRNET Callback にイベント内容を通知するための設定を行います。最大 10 台の PC に対して送信することができます。

ご注意

ネットワークを経由して PC にイベント内容を通知する場合は、あらかじめ受信する PC で DRNET Callback を起動してください。

「ネットワーク」
↓
「遠隔通知」
↓
「コールバック」タブ



① コールバック間隔　：設定時間が経過するまで、同一イベントを送信しません。
［選択］
5 秒／ 10 秒／ 15 秒／ 20 秒／ 25 秒／ 30 秒／ 40 秒／ 50 秒／ 1 分／ 2 分／ 3 分／ 4 分／ 5 分／ 10 分

② 一斉チェックボックス　：イベント内容を通知する IP アドレスを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべての IP アドレスへのイベント内容の通知は無効になります。

③ チェックボックス　：イベント内容を通知する IP アドレスを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、IP アドレスへのイベント内容の通知は無効になります。

④ アドレス　：DRNET Callback がインストールされている PC の IP アドレスを入力します。
［↵］キーを押すと「文字入力画面」が表示され、IP アドレスの入力ができます。
（P. 3-16「文字を入力する」）

ご注意

ドメイン名の入力はできません。数字とドット（.）で入力してください。

⑤ ポート　：DRNET Callback に遠隔通知するときに使用する送信先（PC 側）のポート番号を設定します。上下キーで 1500 ～ 32000 から数値を選択します。

ご注意

通常は DRNET Callback の「コールバックポート」の番号と同じにしてください。

⑥ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑦ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● E メール設定を行う

指定したメールアドレスへ E メールを送信するための設定を行います。最大 5 件のメールアドレスへ同時に送信することができます。

ご注意

- E メール送信内容は文章のみです。画像の添付はできません。
- メール送信を使用する場合は、必ず SMTP サーバーを設定してください。

「ネットワーク」
↓
「遠隔通知」
↓
「E メール」タブ

① E メール間隔　：設定時間が経過するまで、同一イベントの E メールを送信しません。
［選択］
5 秒／ 10 秒／ 15 秒／ 20 秒／ 25 秒／ 30 秒／ 40 秒／ 50 秒／ 1 分／ 2 分／ 3 分／ 4 分／ 5 分／ 10 分

メ　モ

- センサー入力 1 とセンサー入力 2 など異なるイベントの場合、E メール間隔に関係なく E メールを送信します。
- 短い間隔で連続して E メールを送信したとき、ご契約のプロバイダーの E メールサーバーによっては設定した送信先へ E メールが送信されないことがあります。

② 一斉チェックボックス　：E メールを通知するメールアドレスを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、すべてのメールアドレスへの E メール通知は無効になります。

③ チェックボックス　：E メールを通知するメールアドレスを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、メールアドレスへの E メール通知は無効になります。

④ 受信アドレス　：E メールを受信するメールアドレスを入力します。 ↵ キーを押すと「文字入力画面」が表示され、メールアドレスの入力ができます。最大 32 文字まで入力できます。（P. 3-16「文字を入力する」）

⑤ SMTP　：SMTP サーバーの設定を行う「SMTP サーバー設定画面（P. 7-8）」を表示します。

⑥ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑦ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

［SMTP サーバー設定画面］

本機は、E メールプロトコルとして SMTP、SMTP-AUTH に対応した E メールサーバーと接続して E メールを送信することができます。
本機の E メール送信機能を使用する場合、ご契約のプロバイダーに合わせた設定を行ってください。

「ネットワーク」
↓
「遠隔通知」
↓
「E メール」タブ
↓
「SMTP」を選択

① SMTP サーバー　：SMTP サーバーのサーバー名または IP アドレスを入力します。最大 32 文字まで入力できます。

② ポート　：SMTP サーバーのポート番号を入力します。上下キーで 0 ～ 65535 から数値を選択します。

③ 送信アドレス　：送信元のメールアドレスを登録します。最大 32 文字まで入力できます。

④ ID　：SMTP 認証で使用するユーザー ID を入力します。最大 32 文字まで入力できます。

⑤ パスワード　：SMTP 認証で使用するパスワードを入力します。最大 16 文字まで入力できます。

⑥ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑦ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

メ　モ

- SMTP サーバー、送信アドレス、ID、パスワードの入力方法は、P. 3-16「文字を入力する」を参照してください。
- E メールサーバーの通信プロトコルによって、一般的に以下の項目が必要になります。
  SMTP　：SMTP サーバーポート（25 番）
  SMTP-AUTH　：SMTP サーバーポート（587 番）、ID、パスワード

● イベント発生時に遠隔通知を行う

緊急録画やセンサーイベント、モーションイベント、ビデオロスイベント、システムイベントが発生したときに遠隔通知を行うための設定をします。
遠隔通知には DRNET Callback へのイベント通知（コールバック機能）と E メール送信があります。
以下はセンサーの遠隔通知設定で説明します。モーションイベント、ビデオロスイベント、システムイベントの遠隔通知設定も同様に設定します。

メ　モ

イベントが発生したときに遠隔通知を行う場合は、あらかじめ DRNET Callback へのイベント通知の設定（P. 7-6「コールバック設定を行う」）と E メール送信の設定（P. 7-7「E メール設定を行う」）が必要です。

［緊急録画、センサーイベントの場合］

イベントが発生したときに遠隔通知を行う場合は、あらかじめセンサーの設定を有効にしておいてください。（P. 4-39「センサー入力の設定」）

「イベント」
↓
「センサー」
↓
「遠隔通知」タブ

① 遠隔通知　：該当チャンネルのセンサー入力が入ったとき、または、緊急録画を開始したときに通知するコールバックまたはメールアドレスを選択します。 ⏎ キーを押すと「通知先アドレス選択画面（P. 7-10）」が表示されます。

② ページ切り換え　：< > でページを切り換えます。

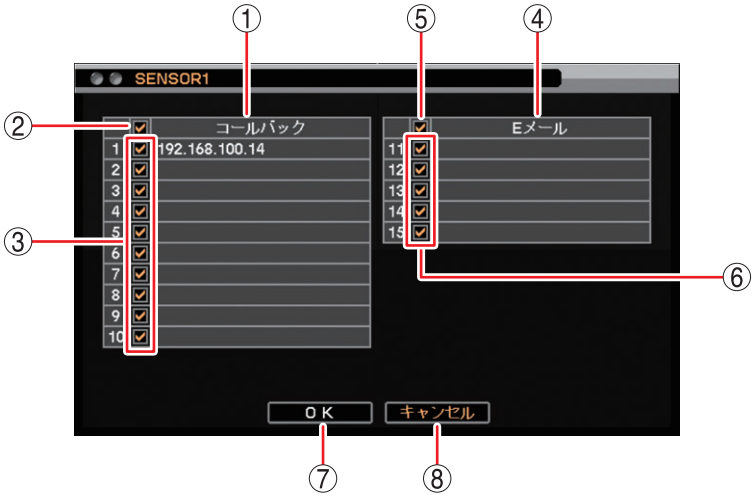
③ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

④ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

［通知先アドレス選択画面］

緊急録画やセンサーイベント、モーションイベント、ビデオロスイベント、システムイベントの各イベント発生時に遠隔通知を送信するアドレスを設定します。
設定するアドレスはあらかじめコールバック設定（P. 7-6「コールバック設定を行う」）、E メール設定（P. 7-7「E メール設定を行う」）をしてください。

「イベント」
↓
「センサー／モーション／ビデオロス／システム」
↓
「遠隔通知」タブ
↓
「遠隔通知」選択



① コールバック　：チェックが入っている IP アドレスにコールバック通知します。

② 一斉チェックボックス（コールバック）：コールバックする IP アドレスを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、コールバックする IP アドレスはすべて無効になります。

③ チェックボックス（コールバック）：コールバックする IP アドレスを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、コールバックする IP アドレスは無効になります。

④ E メール　：チェックの入っているメールアドレスに E メール送信します。

⑤ 一斉チェックボックス（E メール）：E メール送信するメールアドレスを一斉選択します。チェックを入れるとすべて選択し、外すとすべての選択を解除します。選択を解除すると、E メール送信するメールアドレスはすべて無効になります。

⑥ チェックボックス（E メール）：E メール送信するメールアドレスを選択します。チェックを入れると選択し、外すと選択を解除します。選択を解除すると、E メール送信するメールアドレスは無効になります。

⑦ OK　：設定を保存して前画面に戻ります。

⑧ キャンセル　：設定を保存せずに前画面に戻ります。

● E メールの送信内容

遠隔通知で E メールを送信する場合、以下の内容の E メールが送信されます。

[E メールの件名]
「DVR E メール通知」と表示されます。

[E メールの本文]

```
イベント通知を受信しました。
メッセージを確認してください。

=====================================================
① DVR 名          :
② S/W バージョン : 1.0.0
-----------------------------------------------------
③ メッセージ  : センサーイベント発生
④ 日付        : 2013-01-22
⑤ 時間        : 06:44:21
⑥ タイトル    : SENSOR1
⑦ URL         : http://10.107.56.8:80
=====================================================
```

① DVR 名　：本体の DVR 名を表示します。（P. 3-14「システム設定を行う（簡易設定）」）

② S/W バージョン　：デジタルレコーダーのバージョンを表示します。

③ メッセージ　：発生したイベントを表示します。
センサーイベント発生
緊急イベント発生
モーションイベント発生
ビデオロスイベント発生
ビデオ入力イベント発生
HDD エラーイベント発生
ファン異常検出イベント発生
録画異常イベント発生
残容量警告イベント発生
S.M.A.R.T. エラーイベント発生
S.M.A.R.T. 温度イベント発生

④ 日付　：イベントが発生した日付を表示します。

⑤ 時間　：イベントが発生した時刻を表示します。

⑥ タイトル　：イベントのタイトルを表示します。

⑦ URL　：ネットワーク設定（P. 7-2「IP アドレスを設定する」）で設定した本機の IP アドレスとポート番号を使用して URL を表示します。クリックすると表示された IP アドレスの Web ブラウザーを起動します。接続すると Remote Monitoring System のログイン画面が起動します。（P. 7-12「Web ブラウザーを使って監視する」）

メ　モ

- 複数のイベントが同時に発生したときにも E メールはイベントごとに 1 通ずつ送信します。
- 短い間隔で連続して E メールを送信したとき、ご契約のプロバイダーの E メールサーバーによっては設定した送信先へ E メールが送信されないことがあります。

Web ブラウザーを使って監視する

PC の Web ブラウザーから本機の IP アドレスを指定し、ログインすることで Remote Monitoring System を起動することができます。ネットワーク経由でライブ映像を見ることや本機の設定ができます（Live）。また、本機に録画した画像の再生もできます（Playback）。

2022 年 6 月 15 日に Windows 10 の Internet Explorer のサポートが終了し、後継の Microsoft Edge（以下、Edge）を使用することが推奨されています。本機はサポート終了後も Edge の Internet Explorer モード（以下、IE モード）で使用が可能です（P. 7-15「Edge の IE モードを使用する」）。

対応 Web ブラウザー：Internet Explorer（32 bit）、Edge の IE モード

メ　モ

- 1 台の PC で起動できる Remote Monitoring System は 1 つです。
- 本機は同時に最大 6 台の PC から Remote Monitoring System を使用してネットワーク接続できます。（DRNET および DRNET Mobile の接続も 6 台の同時接続に含まれます。）また、Live と Playback が同時に接続できる PC の台数は以下のとおりです。
  Remote Monitoring System Live　　：4 台
  Remote Monitoring System Playback：2 台

ご注意

- Web ブラウザーの画面表示の拡大率を 100% 以外に設定しているときは、正しく画面を表示できないことがあります。
- Remote Monitoring System 動作中には他のアプリケーションを起動しないでください。
- PC のスクリーンセーバーや電源プランの省電力を利用すると、映像を正しく表示できないことがあります。

■ Remote Monitoring System に接続する

Web ブラウザーを使用するためには、本機から Remote Monitoring System のインストールを行う必要があります。PC にログインするときは、管理者（Administrator）権限を持つユーザーアカウントを使用してください。また、インストールする前に「ソフトウェア使用許諾契約書」を必ずお読みください。

メ　モ

Remote Monitoring System をインストールしたあとに PC にログインするときは、標準ユーザー権限を持つユーザーアカウントも使用できます。

● Internet Explorer を使用する

1 **Internet Explorer を起動し、接続するデジタルレコーダーの IP アドレスをアドレスバーに入力し、PC の「Enter」キーを押す。**

ログイン画面を表示します。

2 「ID」を入力する。

本機のユーザー設定で設定した「使用者名」が ID になります。（P. 6-18「ユーザー設定を登録・変更する」）

メ　モ

ID はアルファベットの大文字、小文字を区別します。
「Administrator」を使用する場合に「administrator」と入力するとエラーになります。

3 「Password」を入力する。

本機のユーザー設定で登録されている使用者のパスワードが Password になります。（P. 6-18「ユーザー設定を登録・変更する」）

4 「Port Number」を入力する。

本機のネットワーク設定で設定した「ネットワークポート」が Port Number になります。（P. 7-3「ポートを設定する」）

メ　モ　工場出荷時は「10101」です。Playback を使用するときも Live と同じ番号になります。

5 「Live」または「Playback」をクリックする。

遠隔監視もしくは本機の設定を行う場合は「Live」をクリックします。
本機の録画データを再生する場合は「Playback」をクリックします。

6 Remote Monitoring System を起動する。

Remote Monitoring System の ActiveX コントロールをインストールする情報バーが表示されます。

メ　モ

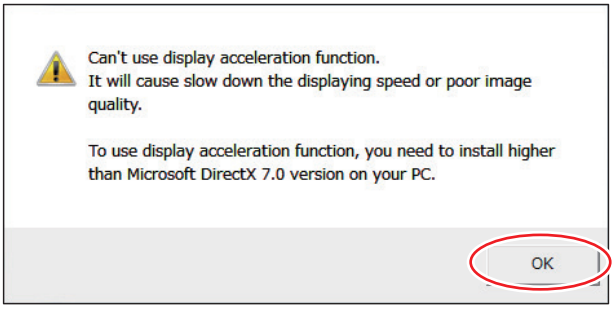
Internet Explorer の設定によってはアドオンを実行する情報バーが表示されます。メッセージに従い実行してください。

7 「インストール」をクリックし、メッセージに従い実行する。

手順 5 で選択した遠隔監視画面（Live）または遠隔再生画面（Playback）が表示されます。

［Internet Explorer を使用する際のご注意 ①］

Remote Monitoring System に接続する際、ログイン時に以下の警告メッセージが表示される場合があります。「OK」をクリックしてください。



Remote Monitoring System の画面が正しく表示されない、または、警告メッセージを表示しないようにする場合は、以下の手順で設定を変更してください。

1 Internet Explorer の「ツール」→「インターネットオプション」をクリックする。

2 詳細設定タブを開く。

3「GPU レンダリングでなく、ソフトウェアレンダリングを使用する」にチェックを入れる。

4「OK」をクリックする。

5 Internet Explorer を再起動し、Remote Monitoring System に接続する。

［Internet Explorer を使用する際のご注意 ②］

Windows 7（64 bit 版）または Windows 8.1（64 bit 版）を使用して Remote Monitoring System を接続する場合、Internet Explorer の拡張保護モードが有効になっていると動作しません。
以下の手順で設定を確認し、変更してください。

1 Internet Explorer の「ツール」→「インターネットオプション」をクリックする。

2 詳細設定タブを開く。

3「拡張保護モードを有効にする」にチェックが入っている場合は、チェックを外す。（初期設定では、チェックは入っていません。）

4「OK」をクリックする。

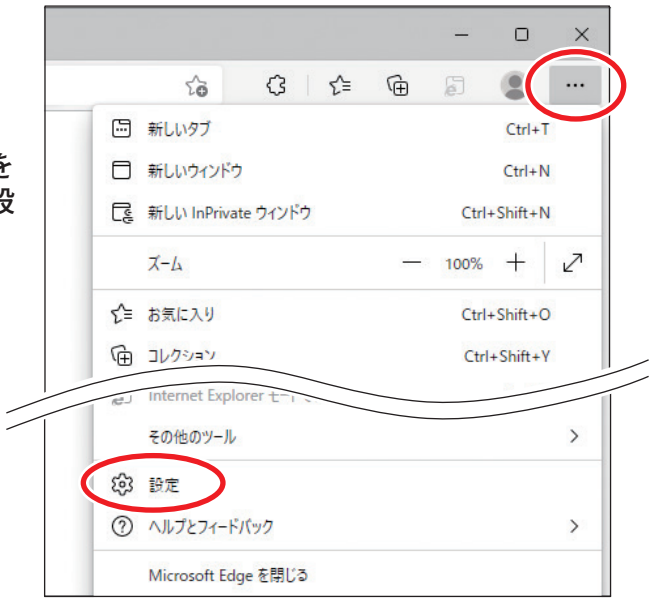
5 Internet Explorer を再起動し、Remote Monitoring System に接続する。

● Edge の IE モードを使用する

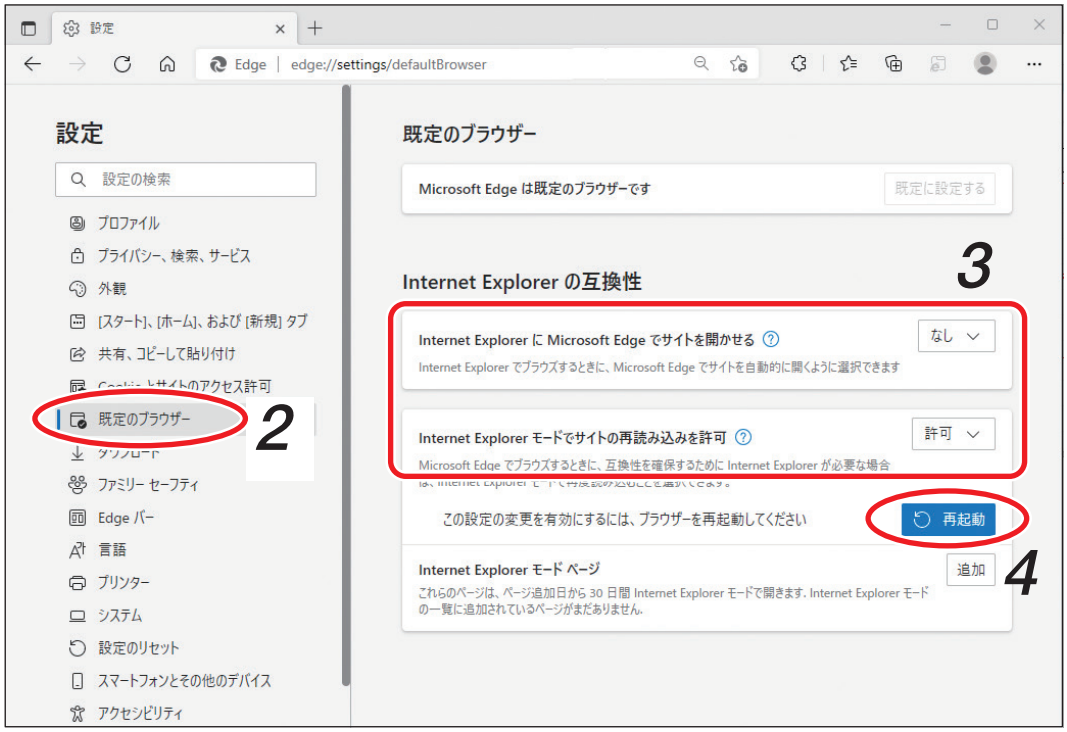
［Edge の IE モードを使用する前に］

この手順は初回のみ必要です。

1 Edge を起動し、右上のメニューアイコンをクリックしてメニューを開き、メニューの「設定」をクリックする。



設定画面が表示されます。



2 設定メニューの「既定のブラウザー」をクリックする。

3 「Internet Explorer の互換性」を設定する。

次のとおりに設定します。

Internet Explorer に Microsoft Edge でサイトを開かせる　：なし
Internet Explorer モードでサイトの再読み込みを許可　：許可

4 再起動ボタンをクリックする。

Edge が再起動します。

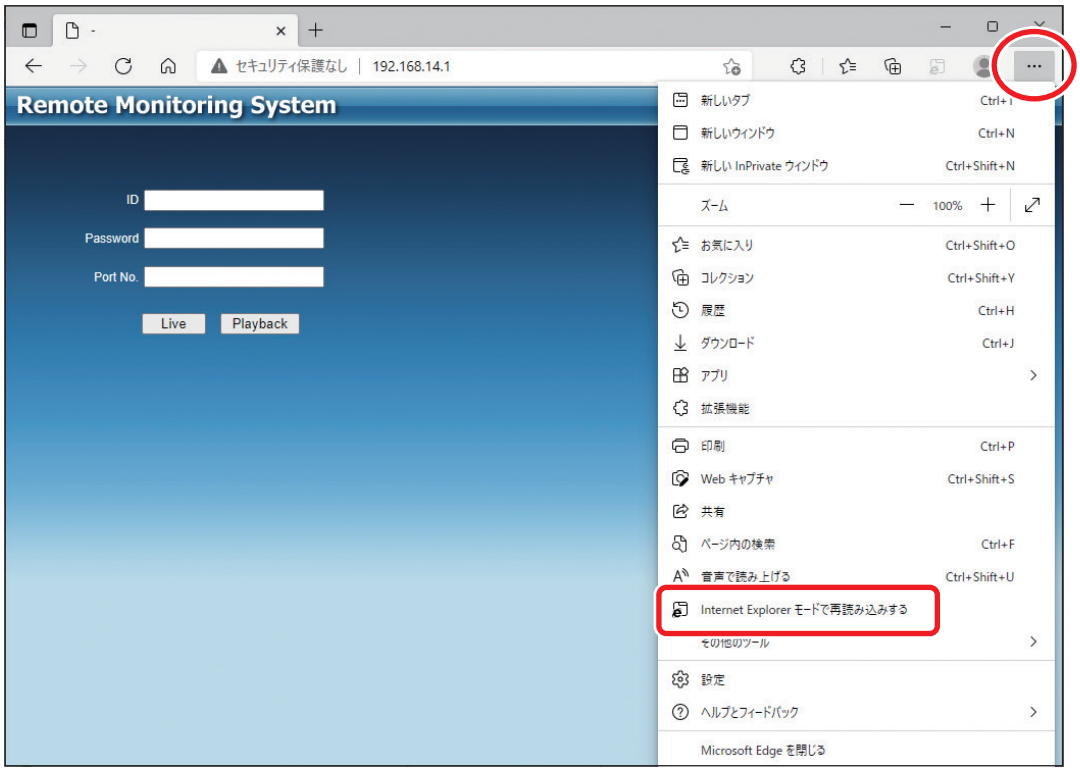
［Edge の IE モードを使用する］

1 Edge を起動し、アドレスバーに接続するデジタルレコーダーの IP アドレスを入力し PC の「Enter」キーを押す。

ログイン画面が表示されます。

メ　モ

ログイン画面が表示されないときは、IP アドレスの前に「http://」を入力し再度実行してください。
（例）IP アドレスが 192.168.14.1 の場合
http://192.168.14.1

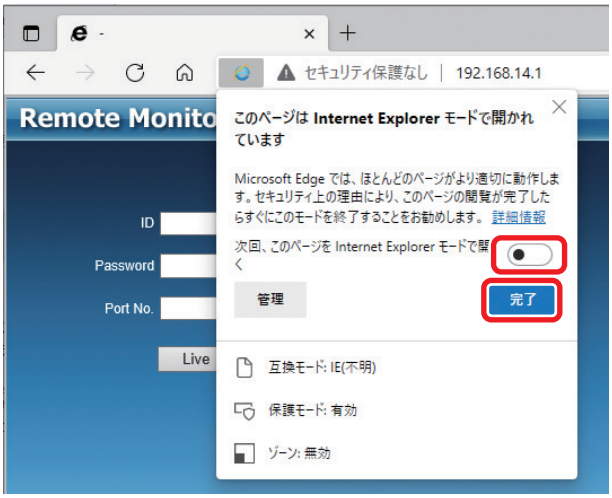


2 Edge の右上のメニューアイコンをクリックしてメニューを開き、メニューの「Internet Explorer モードで再読み込みする」をクリックする。

Edge の IE モードに切り換わります。

メ　モ

右の画面が表示された場合は、「次回、このページを Internet Explorer モードで開く」を有効にして「完了」をクリックします。
Internet Explorer モードページに IP アドレスが追加され、次回接続時は手順 2 を省略することができます。（P. 7-17「Internet Explorer モードページへの追加」）

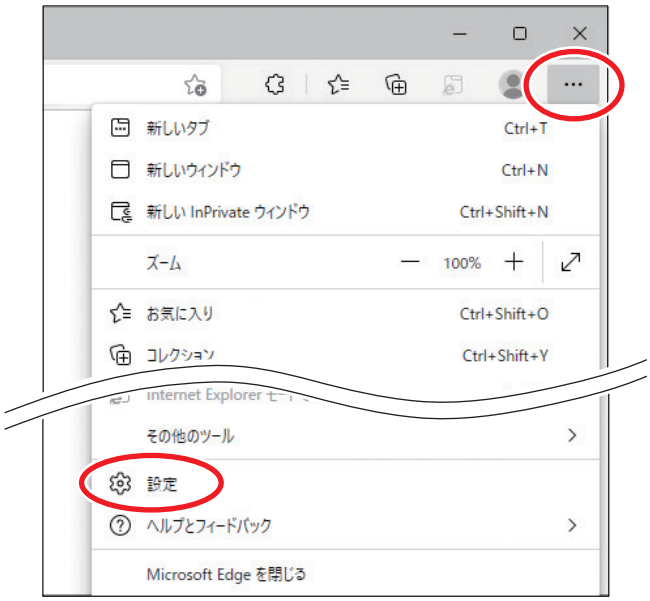


3 「Internet Explorer を使用する（P. 7-12）」の手順 2 以降を行い、Remote Monitoring System を起動する。

［Internet Explorer モードページへの追加］

接続するデジタルレコーダーの IP アドレスを「Internet Explorer モードページ」に設定すると「Edge の IE モードを使用する」の手順 2 を省略することができます。
ただし、「Internet Explorer モードページ」の登録有効期間は 30 日間で、30 日経過後は再度設定する必要があります。

1 Edge の右上のメニューアイコンをクリックしてメニューを開き、メニューの「設定」をクリックする。



設定画面が表示されます。

2 設定メニューの「既定のブラウザー」をクリックする。

3 「Internet Explorer モードページ」の「追加」をクリックする。
「ページの追加」画面が表示されます。

4 接続するデジタルレコーダーの IP アドレス（URL）を入力し、「追加」をクリックする。

（例）
IP アドレスが、192.168.14.1 の場合
http://192.168.14.1

メ　モ
機器が複数台ある場合は、この手順を繰り返してすべての IP アドレスを追加します。

5 Edge のアドレスバーに登録した IP アドレスを入力して PC の「Enter」キーを押す。

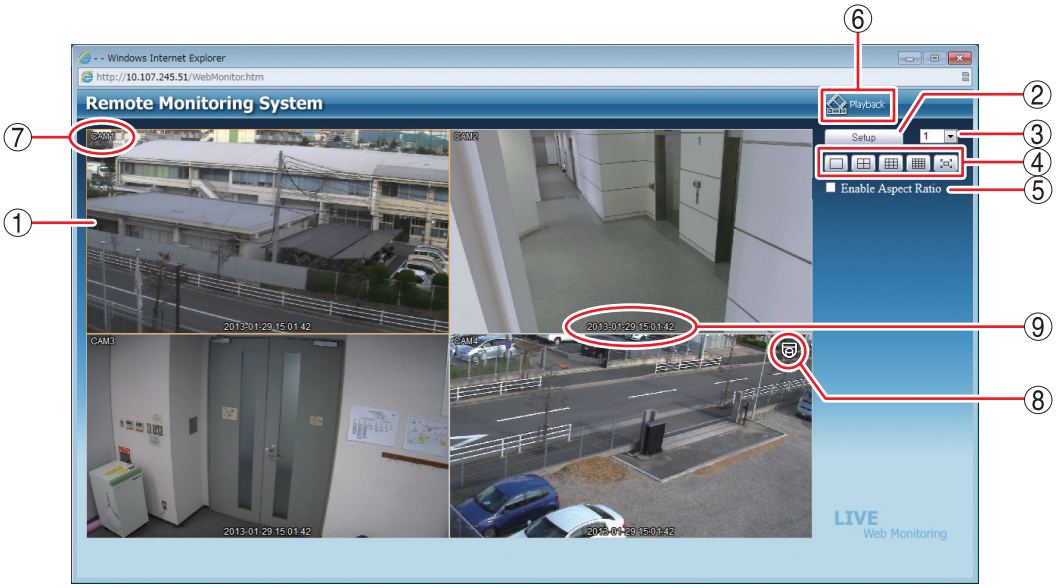
Edge の IE モードで表示されます。

■ 遠隔監視する（Live）

遠隔監視による本機の映像監視、本機の設定、コンビネーションカメラの制御を行うことができます。

ご注意

- 遠隔監視はネットワークライブ権限を持つユーザーだけが操作できます。
- Remote Monitoring System の Live、DRNET の DRNET ライブ、および、DRNET Mobile の遠隔ライブからデジタルレコーダーに同時に接続できるのは 4 台までです。
- 本機再生中のネットワークライブ配信レートは、カメラチャンネルごとに 1 秒あたり 1 枚程度になります。



① 映像表示画面　：ライブ映像を表示します。ビデオロスの場合は青い画面を表示します。
ただし、以下の場合は黒い画面を表示します。

・「デバイス設定」で使用するカメラとして選択していない（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）

・「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしている（P. 4-8「モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク機能）」）

メ　モ

- 画面をダブルクリックすると 1 画面表示と分割画面表示を切り換えます。次に起動するときに画面分割状態を保持することはできません。
- 選択中のカメラはオレンジ色の枠で表示されます。

② Setup ボタン　：デジタルレコーダーの遠隔設定メニューを表示します。（P. 7-21「遠隔設定する」）

③ カメラ選択　：1 画面表示中は、選択したカメラ番号の映像を表示します。
分割画面表示中は、選択したカメラ番号を含む分割画面を表示します。

④ 画面分割表示アイコン部

：1 画面表示します。

：4 分割画面表示します。

：9 分割画面表示します。

：16 分割画面表示します。（16 局用のみ）

：全画面表示します。画面をクリックすると、全画面表示を解除します。

⑤ アスペクト比を維持する（Enable Aspect Ratio）　：NTSC カメラ映像のアスペクト比を維持して表示します。

チェック有：画面の左右に黒い帯を表示し、映像のアスペクト比 4：3 を維持して表示します。

チェック無：アスペクト比 16：9 の映像に変換して、画面全体に表示します。

メ　モ

AHD カメラの映像は、チェック有／無に関係なく画面全体に表示します。

⑥ アプリケーションの切換　：Live から Playback へ切り換えます。

⑦ カメラ名　：本機で設定したカメラ名を表示します。（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）

⑧ コンビネーションカメラマーク　：本機のコンビネーションカメラ設定が有効になっている場合に表示されます。（P. 5-36「コンビネーションカメラ設定（PTZ）」）

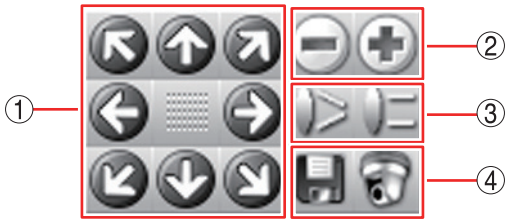
⑨ 日時　：本機の日時を表示します。

メ　モ　時刻の表示方法は 24 時間形式になります。

● コンビネーションカメラを操作する

コンビネーションカメラマークがある画面を 1 画面表示すると、画面に以下のようなコンビネーションカメラ操作パネルが表示されます。コンビネーションカメラを操作できるように接続している必要があります。（P. 5-39「コンビネーションカメラの接続」）

ご注意　ネットワーク PTZ 権限を持つユーザーだけが操作できます。



① パン・チルト　：パン操作（左右）、チルト操作（上下）を行います。斜め方向の移動もできます。
パン／チルトの旋回速度は、PTZ 設定で変更できます。（P. 5-36「コンビネーションカメラ設定（PTZ）」）

② ズーム　：ズーム操作（ ：広角、 ：望遠）を行います。

③ フォーカス　：フォーカス調整（ ：近、 ：遠）を行います。

④ プリセット　：プリセットの登録と移動を行います。

登録（ ）：登録可能なプリセット番号 1 ～ 16 が表示されます。登録する番号を選択し、プリセット名称を入力して「OK」をクリックすると、現在表示中の画面をプリセットとして記憶します。最大 16 文字まで入力できます。

ご注意

プリセットの名称にアルファベット、数字、以下の記号以外は使用しないでください。
使用可能な記号：「_」「|」「＼」「/」「,」「?」「!」「@」「#」「$」「%」「^」「&」「*」「(」「)」「-」「+」「=」「<」「>」「.」「:」「;」

移動（ ）：移動可能なプリセット番号 1 ～ 16 が表示されます。1 ～ 16 を選択すると、あらかじめ登録されているプリセットに移動します。

● ライブ音声を出力する

遠隔監視では、選択したカメラチャンネルのライブ音声が出力されます。
分割画面では、ライブ音声を聞きたいカメラチャンネルにマウスポインターを合わせ、映像表示画面をクリックすると、選択したカメラチャンネルのライブ音声が出力されます。
音声の出力を停止するには、PC の音量を 0（消音）にしてください。

ご注意

- ライブ音声の設定で選択されている音声チャンネルのライブ音声を聞くことができます。音声チャンネルが選択されていないと、ライブ音声を聞くことはできません。（P. 4-24「ライブ音声」）
- 分割画面でライブ音声を聞くと音が途切れることがあります。

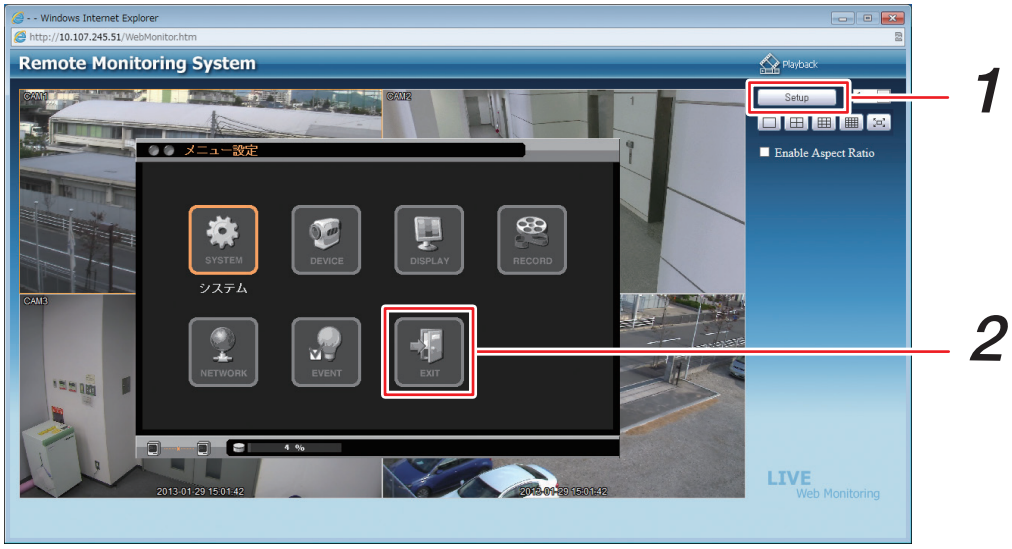
■ 遠隔設定する

遠隔地から本機の設定を変更できます。

ご注意

- 各設定メニューの変更は、ネットワーク設定権限を持つユーザーだけが操作できます。
- Remote Monitoring System、DRNET、および DRNET Mobile からデジタルレコーダーに同時に遠隔設定できるのは 1 台です。
- 以下の機能は Remote Monitoring System からは設定できません。本機で設定を行ってください。
  - ・ログアウト、シャットダウン（P. 3-5「本機を終了する」、P. 6-12「ログアウトする」）
  - ・設定出力、設定入力（P. 6-2「システム設定」）
  - ・ハードディスクの初期化（P. 3-21「ハードディスクをフォーマットする（簡易設定）」）
  - ・システムログの出力（P. 6-21「システムログを USB メモリーに保存する」）
  - ・デバイス設定のカメラ画質設定（P. 4-7「カメラ映像の明るさを調整する（入力画質設定）」）
  - ・ディスプレー設定の解像度設定（P. 4-11「モニター出力の解像度を決める」）
  - ・イベント設定のモーション範囲設定（P. 4-43「モーション範囲を設定する」）

● 遠隔設定メニューの起動と終了



1 「Setup」をクリックする。

遠隔設定メニューが表示されます。遠隔設定メニューは、本機の設定メニューと同じように使用できます。詳しくは、本機の設定メニューを参照してください。（P. 3-11「設定メニュー項目について」）

2 遠隔設定メニューの一番上の階層にある「EXIT」をクリックする。

遠隔設定メニューを終了し、Remote Monitoring System の Live に戻ります。

● 遠隔設定でカメラ名を設定する

遠隔設定を使用してカメラ名に日本語（漢字、ひらがな、カタカナ）を入力できます。英数、記号は、本機でも入力できます。（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）

ご注意

カメラ名に日本語（漢字、ひらがな、カタカナ）を入力した場合は、AVI 形式のバックアップデータを Windows Media Player で再生するとカメラ名が正しく表示されません。

［使用可能な文字種］

カメラ名に使用可能な文字種は以下のとおりです。

文字種	半角	全角
漢字	ー	○
ひらがな	ー	○
カタカナ	×	○
英数	○	○
記号*	○	○

○：使用可能です。
×：使用できません。
ー：対象外

*「＼」「,」「%」はカメラ名には使用しないでください。

ご注意

表示できない文字は「＃」で表示されたり、入力した文字と違う場合があります。この場合は、入力する文字を変更してください。

［表示可能な文字数］

半角の英数、記号を使用した場合は、最大 16 文字まで入力できます。すべて日本語（漢字、ひらがな、カタカナ）を使用した場合、最大 10 文字まで入力できます。

メ　モ

文字入力後に最後の文字が「＃」や「、」などで表示される場合は、最大文字数を超えています。

ご注意

分割画面によってはすべての文字を表示できないことがあります。

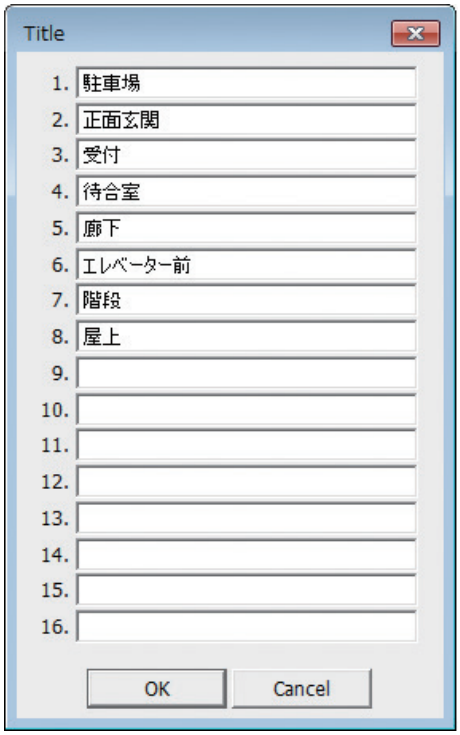
［カメラ名を設定する］

1 「デバイス」→「カメラ」→「カメラ」タブを選択する。

カメラ設定画面が表示されます。

2 「タイトル」をクリックする。

タイトル入力画面が表示されます。



3 カメラ名を入力し、「OK」をクリックする。

タイトル入力画面が閉じ、カメラ設定画面に戻ります。

4 「OK」をクリックする。

設定を保存します。

メ　モ

設定を保存しないで終了する場合は「キャンセル」をクリックしてください。

■ 遠隔再生する（Playback）

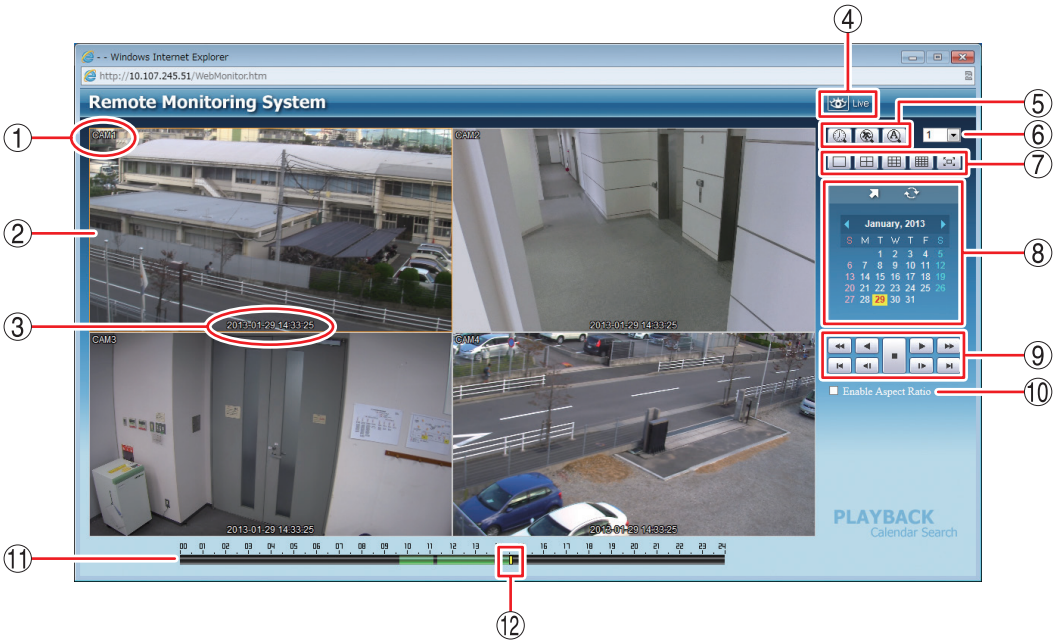
遠隔再生で本機の録画データを再生することができます。

ご注意

- 本機の再生中や、録画データの録画レート、表示するカメラチャンネル数によっては、再生速度が遅くなることがあります。
- 録画データに音声が含まれていても Remote Monitoring System の Playback で音声を出力することはできません。
- 遠隔再生は、ネットワーク再生権限を持つユーザーだけが操作できます。
- Remote Monitoring System の Playback、DRNET の DRNET 再生、および DRNET Mobile の遠隔再生からデジタルレコーダーに同時に接続できるのは 2 台までです。

メ　モ

Remote Monitoring System から本機に接続して録画した映像を再生する場合は、録画したときの解像度・画質・レートが適用されます。



① カメラ名　：再生中のカメラ名を表示します。（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）

② 映像表示画面　：再生映像を表示します。
以下のカメラチャンネルは黒画面を表示します。
・録画データがないチャンネル
・「マスク設定」のモードを「中」または「高」にしているチャンネル（P. 4-8「モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク機能）」）

メ　モ

画面をダブルクリックすると 1 画面表示と分割画面表示を切り換えます。

③ 日時　：録画データの日時を表示します。

メ　モ

時刻の表示方法は 24 時間形式になります。

④ アプリケーションの切換　：Playback から Live へ切り換えます。

⑤ 検索アイコン部

カレンダー検索ボタン　：カレンダー検索モードに切り換わります。（P. 7-27「カレンダー検索から再生を行う」）

イベント検索ボタン　：イベント検索モードに切り換わります。（P. 7-28「イベント検索から再生を行う」）

：使用できません。

⑥ カメラ選択　：1 画面表示中は、選択したカメラ番号の映像を表示します。
分割画面表示中は、選択したカメラ番号を含む分割画面を表示します。

⑦ 画面分割表示アイコン部

：1 画面表示します。
：4 分割画面表示します。
：9 分割画面表示します。
：16 分割画面表示します。（16 局用のみ）
：全画面表示します。画面をクリックすると、全画面表示を解除します。

⑧ 検索表示部　：カレンダー検索画面やイベント検索画面を表示します。

⑨ 再生操作部　：再生操作を行います。（P. 7-26「再生する」）

⑩ アスペクト比を維持する（Enable Aspect Ratio）　：NTSC カメラ映像のアスペクト比を維持して表示します。
チェック有：画面の左右に黒い帯を表示し、映像のアスペクト比 4：3 を維持して表示します。
チェック無：アスペクト比 16:9 の映像に変換して、画面全体に表示します。

メ　モ
AHD カメラの映像は、チェック有／無に関係なく画面全体に表示します。

⑪ タイムテーブル　：録画データは 10 分ごとのカラーバーで表示します。再生画面に表示しているカメラチャンネルの録画データがある時間は、緑色またはオレンジ色で表示されます。
緑色　：録画データがある
オレンジ色：同一時刻に重複した録画データがある
薄い緑色　：再生画面に表示されていないカメラのみに録画データがある

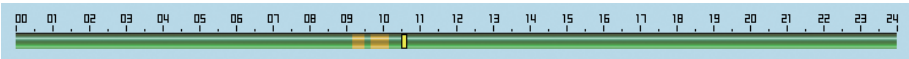
メ　モ
時刻調整や NTP 調時によって本機の時刻が変更されたときに同一時刻に録画データが重複することがあります。

⑫ 時刻カーソル　：再生を開始する位置を指定するためのカーソルです。タイムテーブルをクリックすると録画データの時間範囲内でカーソルが移動します。

メ　モ
時刻カーソルの移動は 10 分単位になります。

［同一時刻に録画データが重なっている場合の再生］

時刻調整や NTP 調時によって本機の時刻が変更されたときに同一時刻に録画データが重複することがあります。重複した時刻の録画データは録画した順に再生されます。
この時刻でカレンダー検索を行うと、重複した時刻はカラーバーの色がオレンジ色になります。

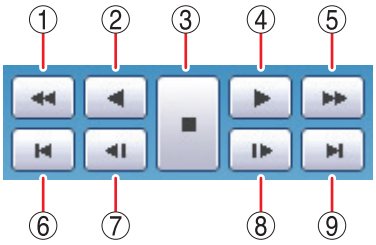


重複した時刻を選択すると、再生選択画面が表示されます。

「1」を選択 ：先に録画したデータの時刻から再生を行います。あとに録画したデータも再生します。
「2」を選択 ：あとに録画したデータの時刻から再生を行います。先に録画したデータは再生しません。

● 再生する

カレンダー検索またはイベント検索で再生する日を選んだあとに再生します。



① 早戻し再生　：早戻し再生を行います。
クリックごとに逆再生速度が 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍と変化します。

② 逆再生　：逆再生します。

③ 停止　：再生を停止します。

④ 再生　：再生します。

⑤ 早送り再生　：早送り再生を行います。
クリックごとに再生速度が 2 倍、4 倍、8 倍、16 倍、32 倍と変化します。

⑥ 最古　：選択した日の中で録画データの最古の映像を頭出しします。

⑦ コマ戻し　：コマ戻し再生を行います。

⑧ コマ送り　：コマ送り再生を行います。

⑨ 最新　：選択した日の中で最新の録画データの映像に移動します。

メ　モ

再生から逆再生を行うときやコマ送りを行う場合は、一度停止ボタンで再生動作を停止してください。

● カレンダー検索から再生を行う

1 カレンダー検索ボタン をクリックする。

カレンダー検索画面が表示されます。

2 前月ボタン ③、翌月ボタン ④ をクリックし、再生する月を選択する。

3 再生する日を選択する。

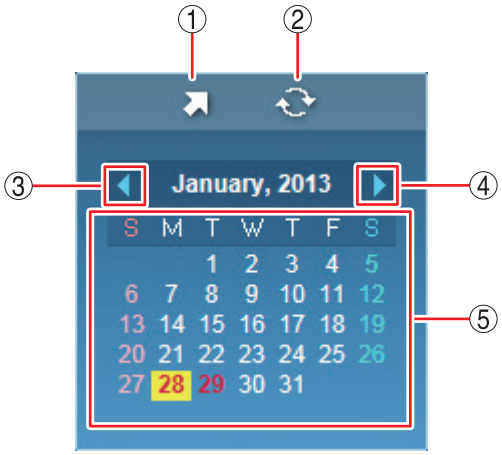
タイムテーブルに録画データがある時間がカラーバーとして表示されます。

4 時刻カーソルを再生する時刻に合わせてクリックする。

時刻カーソルは 10 分単位で選択します。

5 再生操作を行う。（P. 7-26「再生する」）

［カレンダー検索画面］



① 時刻指定ボタン　：再生する時刻を入力します。

② 更新ボタン　：カレンダー表示を最新の状態に更新します。

③ 前月ボタン　：カレンダーを 1 月分戻します。

④ 翌月ボタン　：カレンダーを 1 月分送ります。

⑤ カレンダー表示部　：再生する日をクリックすると、その日の録画データをカラーバーとしてタイムテーブルに表示します。

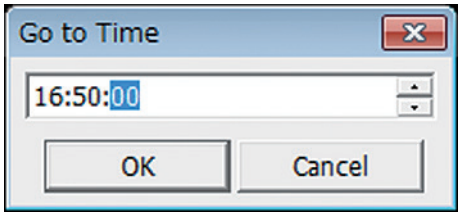
文字が赤色　：録画データのある日

背景が黄色　：現在選択している日

● 直接時刻を指定して再生する

あらかじめ再生する時刻が決まっている場合は、時刻指定ボタンをクリックして時刻指定ウィンドウを表示します。

［時刻指定ウィンドウ］



時刻を入力し、「OK」をクリックします。
再生したい時刻に時刻カーソルが移動するので、再生操作を行ってください。（P. 7-26「再生する」）

メ　モ　指定した時刻に録画データが存在しない場合は、「Not found」と表示されます。

● イベント検索から再生を行う

1 イベント検索ボタン をクリックする。
検索表示部がイベント検索画面に変わり、イベント検索ウィンドウ（次ページ）が表示されます。

2 「Date」から検索する年月日を選択する。

3 「Camera」から検索するカメラ番号を選択する。

4 「Event」から検索するイベントを選択する。

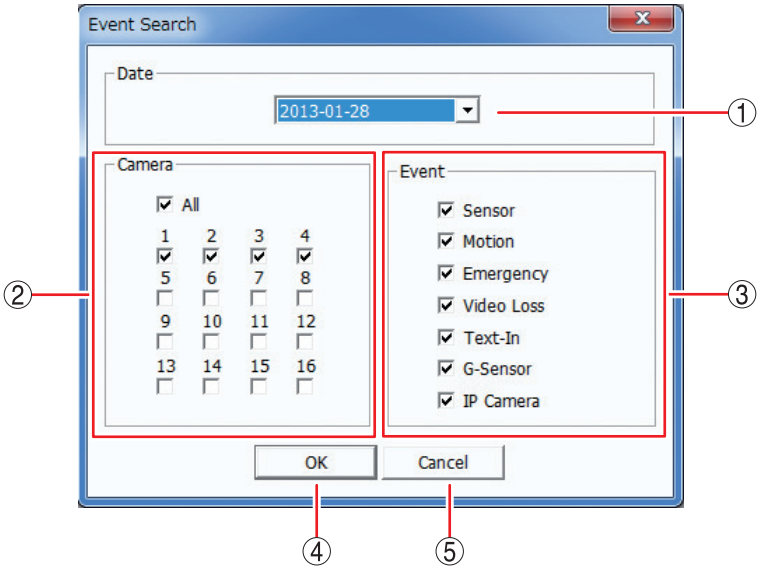
5 「OK」をクリックする。
イベント検索画面にイベント結果が表示されます。

6 再生したいイベントを選択し、クリックする。
イベント時刻の映像が表示されます。

7 再生操作を行う。（P. 7-26「再生する」）

メ　モ
再度条件を変えて検索したいときは、イベント検索ウィンドウボタン をクリックしてイベント検索を行ってください。検索結果にイベントがなかったときは、「No event」と表示されます。

［イベント検索ウィンドウ］



① Date　：イベント検索する日付です。録画データが存在する日から選択できます。

② Camera　：検索対象とするカメラを選択します。

［選択］　All　：すべてのカメラを選択、解除します。
1 ～ 16　：カメラチャンネル 1 ～ 16 を選択、解除します。

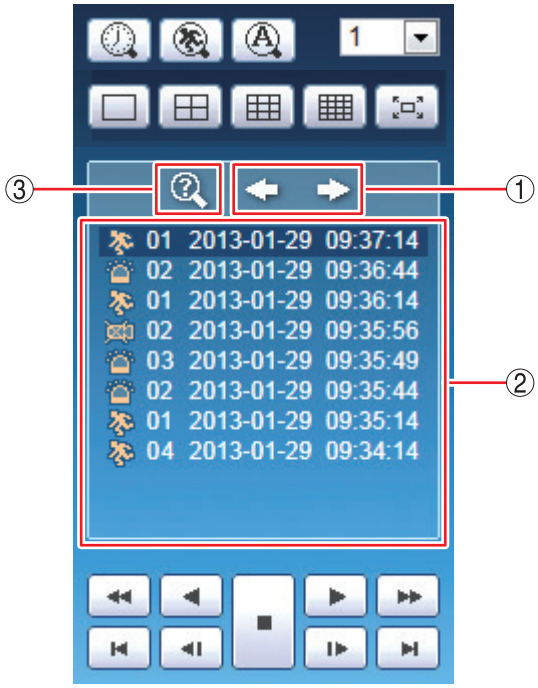
③ Event　：検索対象とするイベントを選択します。

［選択］　Sensor　：センサー録画
Motion　：モーション録画
Emergency　：緊急録画
Video Loss　：ビデオロス録画
Text-In　：使用できません。
G-Sensor　：使用できません。
IP Camera　：使用できません。

④ OK　：① ～ ③ の条件でイベント検索を行い、結果をイベント検索画面に表示します。

⑤ Cancel　：イベント検索を行わずに前画面に戻ります。

［イベント検索画面］



① ページ送りボタン　：次のイベント結果を表示します。

② イベント結果　：イベント検索結果を新しい順に表示します。イベントマーク、チャンネル番号、日付、時刻を表示します。

：センサー録画

：モーション録画

：ビデオロス録画

：緊急録画

メ　モ

チャンネル番号には、センサー録画の場合はセンサー番号、モーション録画とビデオロス録画はカメラ番号、緊急録画は常に「01」が入ります。

③ イベント検索ウィンドウボタン：イベント検索ウィンドウを表示します。

ご注意

緊急録画時間、ポスト録画時間の設定が短い場合、何度もイベントログが残ることがあります。（P. 4-32「緊急録画を行う」、P. 4-33「ポスト録画時間について」、P. 6-26「イベントログ」）

第 8 章

補足・仕様

ファイルサイズ一覧表

録画設定の解像度・画質・録画レート・音声の有無の設定条件でファイルサイズが異なります。以下の表は各設定条件での 1 フレーム当りのファイルサイズを表します。

※ 録画レートは、1 秒間あたりの録画する画像枚数を表します。単位は ips（image per second）を使用しています。

※ カメラ 1 台あたりの録画レートは、解像度の設定にかかわらず最大 30 ips です。

※ ファイルサイズは、録画する画像により変動することがあります。

※ ファイルサイズは参考値です。保証するものではありません。

※ 音声記録を行う場合は、音声チャンネルごとに 13 KB/sec が必要になります。1 フレーム当たりのファイルサイズを計算する場合は、13 KB/sec を録画レートで除算したものを下記の表に加えてください。

［音声記録：なし］　　単位：KB

解像度	画質	録画レート						
		1 ips	5 ips	10 ips	15 ips	20 ips	25 ips	30 ips
Full HD（1920×1080）	最高	444	104	62	49	42	38	35
	高	331	78	46	36	31	28	26
	標準	224	52	31	24	21	19	18
	中	168	39	23	20	18	17	16
	低	44	15	10	8	7	6	6
HD（1280 × 720）	最高	217	55	34	27	24	22	21
	高	169	41	26	21	18	17	16
	標準	114	28	17	14	12	11	10
	中	86	21	13	11	10	9	9
	低	33	9	6	5	5	4	4
WD1（944 × 480）	最高	127	34	20	16	13	12	11
	高	108	26	15	12	10	9	9
	標準	77	17	10	8	8	8	7
	中	59	13	8	7	7	7	7
	低	23	5	4	3	2	2	2
D1（704 × 480）	最高	100	26	16	12	10	9	9
	高	84	20	12	9	8	7	7
	標準	60	13	8	6	6	6	5
	中	48	10	6	6	5	5	5
	低	19	4	3	2	2	2	2
CIF（352 × 240）	最高	35	9	6	4	4	4	3
	高	29	7	4	3	3	3	2
	標準	22	5	3	2	2	2	2
	中	18	4	2	2	2	1	1
	低	9	2	1	1	1	1	1

記録時間表

ファイルサイズ一覧表を元に、デジタルレコーダーで録画できる記録時間を算出しています。

※ 録画レートは、1 秒間あたりの録画する画像枚数を表します。単位は ips（image per second）を使用しています。

※ カメラ 1 台あたりの録画レートは、解像度の設定にかかわらず最大 30 ips です。

※ 記録時間表は参考値です。記録時間を保証するものではありません。

※ すべてのカメラ（8 局用：8 台、16 局用：16 台）の録画設定（解像度、画質、録画レート、音声の有無）を、すべて同一に設定した場合に記録できる時間を表します。

※ 記録時間は録画する画像により変動することがあります。ここで示す値は、固定カメラの映像や動きの多い映像を元に算出された平均の値です。

※ 以下の表の「ー」欄は、カメラの録画レートの合計が、設定できる総録画レートを超えるものです。

● AH-R108-4

［音声記録：なし］　　単位：時間

解像度	画質	録画レート						
		1 ips	5 ips	10 ips	15 ips	20 ips	25 ips	30 ips
Full HD（1920 × 1080）	最高	312	266	220	188	164	144	130
	高	418	353	296	252	218	192	174
	標準	618	528	440	374	326	288	250
	中	823	700	582	454	372	320	282
	低	3120	1757	1267	1066	910	801	724
HD（1280 × 720）	最高	638	500	398	330	280	244	216
	高	818	662	528	436	372	324	286
	標準	1213	982	782	648	552	482	424
	中	1594	1291	1031	787	658	580	488
	低	4196	2942	2062	1635	1382	1189	1031
WD1（944 × 480）	最高	1090	796	664	567	496	440	392
	高	1279	1050	878	750	658	580	500
	標準	1795	1542	1295	1040	818	688	592
	中	2333	2016	1585	1166	908	774	652
	低	5825	4629	3342	2707	2333	2046	1775
D1（704 × 480）	最高	1380	1034	861	738	642	567	506
	高	1638	1358	1135	969	846	748	650
	標準	2289	1983	1660	1368	1110	920	794
	中	2864	2577	1990	1535	1230	1020	893
	低	7177	5644	4135	3361	2910	2548	2196
CIF（352 × 240）	最高	3896	2887	2284	1876	1592	1382	1203
	高	4629	3708	2942	2433	2066	1798	1557
	標準	6264	5155	4148	3437	2942	2512	2119
	中	7688	6405	5155	4010	3353	2820	2358
	低	14100	11401	8600	7037	6083	5334	4650

［音声記録：あり（8 系統）］　単位：時間

解像度	画質	録画レート						
		1 ips	5 ips	10 ips	15 ips	20 ips	25 ips	30 ips
Full HD（1920 × 1080）	最高	303	259	215	185	161	142	128
	高	401	341	288	246	213	188	171
	標準	582	502	422	361	316	280	244
	中	761	654	550	434	359	310	274
	低	2382	1496	1125	964	834	742	675
HD（1280 × 720）	最高	600	476	383	320	272	238	211
	高	756	621	502	418	359	314	278
	標準	1082	895	726	609	523	460	407
	中	1376	1144	935	730	618	548	465
	低	2961	2276	1711	1406	1215	1063	935
WD1（944 × 480）	最高	983	738	623	537	473	422	377
	高	1135	951	808	698	618	548	476
	標準	1523	1337	1147	943	756	644	559
	中	1894	1679	1369	1045	833	719	612
	低	3689	3170	2509	2133	1894	1700	1509
D1（704 × 480）	最高	1213	938	793	688	603	537	482
	高	1409	1196	1020	884	780	696	611
	標準	1865	1656	1425	1204	1000	843	736
	中	2229	2051	1661	1332	1096	926	820
	低	4188	3616	2931	2519	2257	2033	1803
CIF（352 × 240）	最高	2808	2243	1861	1581	1374	1215	1075
	高	3170	2709	2276	1959	1714	1525	1348
	標準	3861	3409	2937	2562	2276	2010	1750
	中	4358	3913	3409	2867	2515	2203	1910
	低	5870	5345	4637	4141	3791	3486	3180

● AH-R116-4

［音声記録：なし］　単位：時間

解像度	画質	録画レート						
		1 ips	5 ips	10 ips	15 ips	20 ips	25 ips	30 ips
Full HD（1920 × 1080）	最高	156	133	110	94	—	—	—
	高	209	176	148	126	—	—	—
	標準	309	264	220	187	—	—	—
	中	411	350	291	227	—	—	—
	低	1560	878	633	533	—	—	—
HD（1280 × 720）	最高	319	250	199	165	140	122	108
	高	409	331	264	218	186	162	143
	標準	606	491	391	324	276	240	212
	中	797	645	515	393	329	290	244
	低	2098	1470	1031	817	691	594	515
WD1（944 × 480）	最高	545	397	332	283	248	220	196
	高	639	524	439	375	329	290	250
	標準	897	771	647	519	409	344	296
	中	1166	1007	792	583	454	387	326
	低	2910	2313	1671	1353	1166	1023	887
D1（704 × 480）	最高	690	516	430	368	321	283	253
	高	818	679	567	484	423	374	325
	標準	1144	991	830	684	555	460	397
	中	1432	1288	995	767	615	510	446
	低	3585	2820	2066	1680	1455	1273	1098
CIF（352 × 240）	最高	1947	1443	1142	938	796	691	601
	高	2313	1854	1470	1216	1033	899	778
	標準	3129	2577	2074	1718	1470	1256	1059
	中	3840	3202	2577	2005	1675	1409	1179
	低	7037	5700	4300	3515	3041	2667	2324

［音声記録：あり（16 系統）］　　単位：時間

解像度	画質	録画レート						
		1 ips	5 ips	10 ips	15 ips	20 ips	25 ips	30 ips
Full HD（1920 × 1080）	最高	151	130	108	92	―	―	―
	高	201	170	144	123	―	―	―
	標準	291	251	211	180	―	―	―
	中	380	327	275	217	―	―	―
	低	1191	747	562	482	―	―	―
HD（1280 × 720）	最高	300	238	191	160	136	119	106
	高	378	311	251	209	179	157	139
	標準	541	447	363	304	262	229	203
	中	688	572	467	364	309	274	233
	低	1481	1137	856	703	608	531	467
WD1（944 × 480）	最高	492	368	311	268	236	211	189
	高	567	474	404	349	309	274	238
	標準	761	669	573	470	378	322	280
	中	946	839	684	522	416	359	306
	低	1843	1584	1254	1066	946	850	754
D1（704 × 480）	最高	607	468	396	343	302	268	241
	高	703	598	509	441	390	348	305
	標準	932	828	712	602	500	421	368
	中	1115	1025	831	665	548	463	410
	低	2093	1807	1464	1259	1129	1016	901
CIF（352 × 240）	最高	1404	1121	931	791	687	608	537
	高	1584	1355	1137	979	857	763	674
	標準	1929	1704	1469	1281	1137	1005	875
	中	2178	1956	1704	1434	1256	1101	955
	低	2934	2672	2318	2069	1895	1743	1590

故障かな？と思ったら

症　状	調べるところ	対　処
電源が入らない。	付属の電源コードが本機のインレットおよび電源コンセントに接続されていますか？	電源コードを正しく接続してください。
	後面の主電源スイッチが「切」になっていませんか？	後面の主電源スイッチを「入」にしてください。
シャットダウンができない。	シャットダウン権限を持つユーザーでログインしていますか？	シャットダウン権限を持つユーザーでログインしてから操作してください。（P. 6-11「ログイン・ログアウト」）
映像が表示できない。	モニターと正しく接続できていますか？	ケーブルを正しく接続してください。
	モニターの電源が「切」になっていませんか？	モニターの電源スイッチを「入」にしてください。
	画面に ☒ と表示されていませんか？	カメラ映像がビデオロス中です。ケーブルを正しく接続し、ビデオロスを復旧してください。
	使用するカメラとして選択されていますか？	映像を表示するカメラを選択してください。（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）
	カメラ映像のマスク設定のモードを「中」や「高」に設定していませんか？	マスク設定のモードを「Off」にしてください。（P. 4-8「モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク機能）」）
ライブ音声が出ない。	音声入力端子にケーブルが正しく接続されていますか？	ケーブルを正しく接続してください。
	音声出力端子とスピーカーは正しく接続されていますか？	ケーブルを正しく接続してください。
	音声を出力しない設定になっていませんか？	音声消去に設定していると、音声は出ません。音声消去の設定を解除してください。（P. 4-25「音声の切り換えを行う」）
	音声チャンネルは選択されていますか？	使用する音声チャンネルを選択してください。（P. 4-24「使用する音声チャンネルを決める」）
前面のキー操作ができない。	他のキーが押されていませんか？	他のキーが押されている間はキー操作ができません。
マウスの操作ができない。	マウスはマウス／バックアップ端子に接続されていますか？	マウスを正しく接続してください。
	（無線方式のマウスの場合） マウスの設定は正しくできていますか？	マウスの取扱説明書を確認し、通信できるように設定してください。
マウスポインターが動かない。	（無線方式のマウスの場合） 電波の届く範囲で操作していますか？	マウスと受信機の距離を短くして、確実に電波の届く範囲で操作してください。

症　状	調べるところ	対　処
マウスポインターが動かない。	（光学式マウスの場合） ボタン操作はできますか？	ボタン操作ができる場合、操作する場所によってはマウスの動きを認識できない場合があります。マウスを操作する場所を変更し、再度操作してください。
設定メニュー画面の操作ができない。	メニュー画面を操作する権限を持たないユーザーでログインしていませんか？	メニュー画面を操作する権限を持つユーザーでログインしてから、操作してください。（P. 6-11「ログイン・ログアウト」）
録画できない。	録画スケジュールの時間内ですか？	録画スケジュールの時間外の場合は、録画スケジュールを正しく設定してください。（P. 4-34「録画スケジュールを設定する」）
	使用するカメラとして選択されていますか？	録画するカメラを選択してください。（P. 4-6「使用するカメラとカメラ名称を決める」）
	イベントの設定を行いましたか？	イベントの設定を行ってください。（P. 4-38「イベント機能について」）
	緊急録画を使用しない設定になっていませんか？	緊急録画を使用する設定にしてください。（P. 4-29「録画共通設定をする」）
	上書き禁止の設定になっていませんか？	上書きを許可する設定にしてください。（P. 4-30「ハードディスクに上書き録画する」）
録画できない。（画面に録画マークが表示されていない）	カメラ映像のマスク設定のモードを「高」に設定していませんか？	マスク設定のモードを「Off」か「中」にして、録画マークが表示されることを確認してください。（P. 4-8「モニター画面で表示しないカメラを決める（マスク機能）」）
再生できない。	再生権限を持つユーザーでログインしていますか？	再生権限を持つユーザーでログインしてから、操作してください。（P. 6-11「ログイン・ログアウト」）
音声再生ができない。	分割画面表示中または再生（速度 1）以外で再生していませんか？	1 画面表示の再生（速度 1）で再生してください。
バックアップキーを押してもバックアップを開始できない。	USB メモリーはマウス／バックアップ端子に接続されていますか？	USB メモリーを正しく接続してください。
	FAT32 または NTFS でフォーマットした USB メモリーを接続していますか？	FAT32 または NTFS でフォーマットした USB メモリーを接続し、操作してください。
	バックアップ権限を持つユーザーでログインしていますか？	バックアップ権限を持つユーザーでログインしてください。（P. 6-11「ログイン・ログアウト」）
バックアップに時間がかかる。 バックアップが終了しない。	USB メモリーのフォーマットにクイックフォーマットを使用していませんか？	クイックフォーマットを使わずに USB メモリーをフォーマットするか、メーカー推奨のフォーマッターを使用してください。

症　状	調べるところ	対　処
ブザーが鳴動しない。	アラームのスケジュール設定でブザーが無効になっていませんか？	アラームのスケジュール設定でブザーを有効にしてください。 （P. 5-53「アラームを有効にする条件を決める（スケジュール設定）」）
	イベントのアラーム設定で出力するブザーは選択されていますか？	出力するブザーを選択してください。 センサー　：P. 5-55「イベントが発生したときに出力するアラームを設定する」 モーション：P. 5-55「イベントが発生したときに出力するアラームを設定する」 ビデオロス：P. 6-35「ビデオロスが発生したときに出力するアラームを設定する」 システム　：P. 6-36「システムイベントが発生したときに出力するアラームを設定する」
ブザーを停止できない。	アラーム解除権限を持たないユーザーを使用していませんか？	「Administrator」などアラーム解除権限を持つユーザーを使用してください。
コンビネーションカメラの操作ができない。	操作するカメラを 1 画面表示にしていますか？	カメラ操作は 1 画面表示中でのみ可能です。1 画面表示で操作してください。（P. 5-39「コンビネーションカメラの操作」）
	コンビネーションカメラを操作する権限を持つユーザーでログインしていますか？	コンビネーションカメラを操作する権限を持つユーザーでログインしてください。（P. 6-11「ログイン・ログアウト」）
	本機の後面の RS-485 制御端子は正しく接続されていますか？	カメラ制御端子の＋と－、COM を確認し、正しく接続してください。 （P. 5-39「コンビネーションカメラの接続」）
	RS-485 の設定で用途は「PTZ」が選択されていますか？	用途を「PTZ」に設定してください。 （P. 5-38「RS-485 設定」）
	コンビネーションカメラのアドレス設定と本機のカメラアドレス設定は一致していますか？	コンビネーションカメラのアドレス設定と本機のカメラアドレス設定を一致させて、ケーブルを接続してください。
	コンビネーションカメラの通信方式設定は本機のカメラのプロトコルの設定と一致していますか？	カメラのプロトコルを設定してください。（P. 5-36「コンビネーションカメラ設定（PTZ）」）。 カメラ側の通信方式をタイプ B に設定する方法については、カメラの取扱説明書をご覧ください。設定後は、カメラを再起動してください。
	コンビネーションカメラの通信速度設定は本機の通信速度設定と一致していますか？	本機とコンビネーションカメラの通信速度を 38400 bps に設定してください。

症　状	調べるところ	対　処
リモートコントローラー（C-RM700）からの操作ができない。	RS-485 の設定で用途は「コントローラー」が選択されていますか？	用途を「コントローラー」に設定してください。（P. 5-38「RS-485 設定」）
	本機の後面の RS-485 端子は正しく接続されていますか？	リモートコントローラーのスイッチャ制御端子の＋と－、COM を確認し、正しく接続してください。（P. 2-4「リモートコントローラーシステム」）
ネットワークに接続できない。	ネットワークアクセス LED は点滅していますか？	LAN ケーブルを正しく接続してください。
	ネットワーク設定は正しく設定されていますか？	IP アドレス、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNS、ポートを正しく設定してください。（P. 7-2「ネットワーク設定」）
	セキュリティソフトが起動していたり、ファイアウォールが設定されていませんか？	セキュリティソフトやファイアウォールを適切に設定してください。
登録したユーザーのパスワードを忘れてしまった。	—	ユーザー ID「Administrator」でメニューにログインし、ユーザー設定でパスワードを忘れたユーザーを削除し、再度ユーザー追加を行ってください。（P. 6-18「ユーザー設定を登録・変更する」）
ユーザー ID「Administrator」のパスワードを忘れてしまった。	—	販売店にご相談ください。
ユーザー ID「Guest」のパスワードを忘れてしまった。	—	販売店にご相談ください。

工場出荷時設定一覧表

設定メニュー項目の工場出荷時の設定を一覧表示しています。
○印は、設定出力可能な項目（A 欄）、設定初期化可能な項目（B 欄）を表します。
グレーアウト表示する項目は［ ］で表します。

● システム設定

メニュー		項目		A	B	工場出荷時設定	
情報		DVR 名			○	なし	
日付・時間	日付・時間	タイムゾーン				（GMT+ 09 : 00）Osaka, Sapporo, Tokyo	
		日付（表示形式）			○	年／月／日	
		時間（表示形式）			○	時 : 分 : 秒（24 時間）	
	NTP	NTP を使用する		○	○	チェックなし	
		NTP サーバー		○	○	［なし］	
		間隔		○	○	［1 日］	
		NTP サーバー機能を有効にする		○	○	チェックなし	
	休日	開始／終了		○	○	［なし］／［なし］	
	調時	調時を使用する			○	チェックなし	
		調時モード			○	［スレーブ］	
		調時時刻			○	［正時］	
ユーザー	ユーザー	オートログイン（ユーザー）				Off	［Administrator］
		自動ログアウト（時間）				Off	［1 分］
		Administrator	グループ			Administrator	
			パスワード			guest	
		Guest	グループ			Guest	
			パスワード			guest	
	グループ	Administrator				［すべてチェックあり］	
		Guest				［すべてチェックなし］	
簡易設定	システム	DVR 名			○	なし	
		言語				日本語	
		Administrator パスワード				guest	
		タイムゾーン				（GMT+ 09 : 00）Osaka, Sapporo, Tokyo	
		日付（表示形式）			○	年／月／日	
		時間（表示形式）			○	時 : 分 : 秒（24 時間）	
	ネットワーク	形式				DHCP	
		IP アドレス				［192.168.14.1］（固定 IP にしたとき）	
		サブネットマスク				［255.255.255.0］（固定 IP にしたとき）	
		ゲートウェイ				［0.0.0.0］（固定 IP にしたとき）	
		DNS サーバーアドレス（自動）				チェックなし	
		DNS サーバー				0.0.0.0	
	ポート	ネットワークポート				10101	
		ウェブポート				80	
	録画	上書き		○	○	チェックあり	
		緊急録画を使用		○	○	チェックあり	
		連続録画	ips	○	○	4	
			画質	○	○	標準	
			解像度	○	○	WD1	
		イベント録画	ips	○	○	8	
			画質	○	○	標準	
			解像度	○	○	WD1	
		緊急録画	ips	○	○	8	
			画質	○	○	標準	
			解像度	○	○	WD1	
	表示	解像度		○	○	1280 × 720	

● デバイス設定

メニュー		項目		A	B	工場出荷時設定
カメラ	カメラ	チェック		○	○	あり
		タイトル		○	○	CAM ＊（＊はチャンネル番号）
		色	明るさ	○	○	0
			コントラスト	○	○	0
			彩度	○	○	0
			色相	○	○	0
		方式		○	○	1
	PTZ	チェック		○	○	なし
		プロトコル		○	○	［TOA-B］
		アドレス		○	○	［1］
		スピード		○	○	［5］
	マスク設定	曜日		○	○	ALL
		開始～終了		○	○	00 : 00 ～ 24 : 00
		モード		○	○	Off
		カメラ		○	○	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16
音声		チェック		○	○	なし
		タイトル		○	○	［AUDIO ＊］（＊は端子番号）
		カメラ		○	○	［音声と同じ番号のカメラ］
アラーム	アラーム	アラーム継続時間		○	○	10 秒
		タイトル		○	○	CONTROL OUT ＊（＊は端子番号）
		形式		○	○	NO
	スケジュール	曜日		○	○	ALL
		開始～終了		○	○	00 : 00 ～ 24 : 00
		モード		○	○	イベント
		カメラ		○	○	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16、B
RS-485		bps		○	○	38400
		データ長		○	○	［8］
		ストップビット		○	○	［1］
		パリティ		○	○	［偶数］
		用途		○	○	PTZ

● ディスプレー設定

メニュー		項目	A	B	工場出荷時設定
表示	表示	言語			日本語
		ステータスバー消去	○	○	Off　［10 秒］
		OSD 垂直方向余白	○	○	4
		OSD 水平方向余白	○	○	4
	表示レイアウト	8 局用　：1 ～ 8 16 局用　：1 ～ 16	○	○	＊ .CAM ＊（＊はチャンネル番号）
	解像度	解像度	○	○	1280 × 720
	PIP	サイズ	○	○	小
		ポジション	○	○	右下
モニタリング	メイン	イベントポップアップ	○	○	チェックなし
		シーケンス間隔	○	○	10 秒
	スポット	イベントポップアップ	○	○	チェックなし
		シーケンス間隔	○	○	10 秒
		1	○	○	なし
		アスペクト比を維持する	○	○	チェックなし

● 録画設定

メニュー		項目			A	B	工場出荷時設定	
録画	録画	上書き			○	○	チェックあり	
		緊急録画を使用			○	○	チェックあり	
		自動消去（日）			○	○	Off	［7］
		連続録画	ips		○	○	4	
			画質		○	○	標準	
			解像度		○	○	WD1	
		イベント録画	ips		○	○	8	
			画質		○	○	標準	
			解像度		○	○	WD1	
		緊急録画	ips		○	○	8	
			画質		○	○	標準	
			解像度		○	○	WD1	
	イベント	プリ録画時間			○	○	Off	［10 秒］
		緊急録画時間			○	○	制限	1 分
		ポスト録画時間			○	○	1 分	
		センサーイベントでポスト録画を行わない			○	○	チェックなし	
	スケジュール	曜日			○	○	ALL	
		開始～終了			○	○	00 : 00 ～ 24 : 00	
		モード			○	○	T、E（連続録画、イベント録画）	
		カメラ			○	○	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16	
		設定	連続録画	ips	○	○	4	
				画質	○	○	標準	
				解像度	○	○	WD1	
			イベント録画	ips	○	○	8	
				画質	○	○	標準	
				解像度	○	○	WD1	
			初期設定値に戻す		○	○	チェックあり	

● ネットワーク設定

メニュー			項目	A	B	工場出荷時設定
アドレス	アドレス		形式			DHCP
			IP アドレス			［192.168.14.1］（固定 IP にしたとき）
			サブネットマスク			［255.255.255.0］（固定 IP にしたとき）
			ゲートウェイ			［0.0.0.0］（固定 IP にしたとき）
			DNS サーバーアドレス（自動）			チェックなし
			DNS サーバー			0.0.0.0
	ポート		ネットワークポート			10101
			ウェブポート			80
遠隔通知	コールバック		コールバック間隔	○	○	1 分
			チェック	○	○	なし
			アドレス	○	○	［なし］
			ポート	○	○	［10110］
	E メール		E メール間隔	○	○	1 分
			チェック	○	○	なし
			受信アドレス	○	○	［なし］
		SMTP	SMTP サーバー	○	○	なし
			ポート	○	○	587
			送信アドレス	○	○	なし
			ID	○	○	なし
			パスワード	○	○	なし

メニュー	項目		A	B	工場出荷時設定	
映像配信	帯域制限（Mbps）		○	○	無制限	［10］
	ネットワークライブ	ips	○	○	60	
		画質	○	○	標準	
		解像度	○	○	WD1	

● イベント設定

メニュー		項目		A	B	工場出荷時設定
センサー	センサー	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16	チェック	○	○	なし
			タイトル	○	○	［SENSOR ＊］（＊は端子番号）
			形式	○	○	［NO］
		E	チェック	○	○	［あり］
			タイトル	○	○	EMERGENCY
			形式	○	○	NO
	録画	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16		○	○	［センサーと同じ番号のカメラ］
		E		○	○	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16
	アラーム	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16		○	○	［なし］
		E		○	○	なし
	遠隔通知	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16		○	○	［なし］
		E		○	○	なし
	PTZ	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16		○	○	［なし］
		E		○	○	なし
モーション	モーション	チェック		○	○	なし
		感度		○	○	［通常］
		範囲		○	○	［全範囲設定］
	録画	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16		○	○	［モーションと同じ番号のカメラ］
	アラーム	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16		○	○	［なし］
	遠隔通知	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16		○	○	［なし］
	PTZ	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16		○	○	［なし］
ビデオロス	録画	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16		○	○	なし
	アラーム	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16		○	○	なし
	遠隔通知	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16		○	○	なし
	PTZ	8 局用：1 ～ 8、16 局用：1 ～ 16		○	○	なし
システム	システム	残容量警告しきい値（%）		○	○	100
		S.M.A.R.T. 限界温度		○	○	65℃／ 149F
	アラーム	HDD エラー		○	○	B、A
		残容量警告		○	○	B、A
		S.M.A.R.T.		○	○	B、A
		録画異常		○	○	B、A
		HDD 接続エラー		○	○	B、A
		ファン異常検出		○	○	B、A
	遠隔通知	HDD エラー		○	○	なし
		残容量警告		○	○	なし
		S.M.A.R.T.		○	○	なし
		録画異常		○	○	なし
		HDD 接続エラー		○	○	なし
		ファン異常検出		○	○	なし
	UPS	電源異常待機時間（秒）		○	○	60

仕　様

品番	AH-R108-4	AH-R116-4
電源	AC100 V　50/60 Hz	
消費電力	35 W（0.80 A）	38 W（0.86 A）
記録メディア	SATA ハードディスク　4 TB（4 TB × 1）	
音声記録方式	4 bit、ADPCM、16 kHz サンプリング	
画像圧縮方式	H.264（MPEG-4 AVC）	
映像入力	8 系統、AHD2.0 信号／ NTSC 信号、VBS1.0 V(p-p)、75 Ω、BNC 接栓 ※ AHD2.0 信号／ NTSC 信号の映像を自動判別し混在可能	16 系統、AHD2.0 信号／ NTSC 信号、VBS1.0 V(p-p)、75 Ω、BNC 接栓 ※ AHD2.0 信号／ NTSC 信号の映像を自動判別し混在可能
映像出力	8 系統、AHD2.0 信号／ NTSC 信号、VBS1.0 V(p-p)、75 Ω、BNC 接栓、ループスルー出力	16 系統、AHD2.0 信号／ NTSC 信号、VBS1.0 V(p-p)、75 Ω、BNC 接栓、ループスルー出力
スポット出力	1 系統、NTSC 信号、VBS1.0 V(p-p)、75 Ω、BNC 接栓	
HDMI 出力	1 系統、HDMI 信号、HDMI タイプ A コネクター 1920 × 1080　60p、1280 × 720　60p、1024 × 768　60p、720 × 576　50p、720 × 480　60p	
アナログ RGB 出力	1 系統、アナログ RGB 信号、D-sub コネクター（15P） 1920 × 1080　60 Hz、1280 × 1024　60 Hz *1、1280 × 720　60 Hz、1024 × 768　60 Hz、720 × 576　50 Hz、720 × 480　60 Hz ※ HDMI 出力と同時に使用した場合、HDMI 出力と同じ解像度の映像を出力	
音声入力	8 系統、0 dB *2、10 k Ω、不平衡、RCA ピンジャック（1 ～ 4 ch：RCA ピンジャック、5 ～ 8 ch：D-sub コネクター（25P）メス）	16 系統、0 dB *2、10 k Ω、不平衡、RCA ピンジャック（1 ～ 4 ch：RCA ピンジャック、5 ～ 16 ch：D-sub コネクター（25P）メス）
音声出力	1 系統、0 dB *2、600 Ω、不平衡、RCA ピンジャック	
センサー入力	8 系統（レベル）、無電圧メイク接点入力、開放電圧：DC11 V、短絡電流：5 mA、最小短絡時間：500 ms 以上、ループ抵抗：500 Ω以下、スクリューレスコネクター（メイク／ブレイク選択可）	16 系統（レベル）、無電圧メイク接点入力、開放電圧：DC11 V、短絡電流：5 mA、最小短絡時間：500 ms 以上、ループ抵抗：500 Ω以下、スクリューレスコネクター（メイク／ブレイク選択可）
コントロール出力	8 系統、オープンコレクター出力、耐電圧：DC30 V、制御電流：20 mA、スクリューレスコネクター	16 系統、オープンコレクター出力、耐電圧：DC30 V、制御電流：20 mA、スクリューレスコネクター
制御入力	3 系統（UPS 入力、調時入力、緊急録画入力） 無電圧メイク接点入力、開放電圧：DC11 V、短絡電流：5 mA、 最小短絡時間：1 s 以上（UPS 入力）／ 500 ms 以上（調時入力、緊急録画入力）、 ループ抵抗：500 Ω以下、スクリューレスコネクター	
制御出力	2 系統（UPS 出力 1、調時出力） オープンコレクター出力、耐電圧：DC30 V、制御電流：20 mA、 スクリューレスコネクター 1 系統（UPS 出力 2） オープンコレクター出力（High レベル）、開放電圧：DC12 V、 短絡電流：18 mA、スクリューレスコネクター	
RS-485 端子	1 系統、RS-485 *3、スクリューレスコネクター	
マウス／バックアップ端子	2 系統（USB マウスによる操作が可能、バックアップ、設定データ入出力、システムログ出力）	
Ethernet 端子	1 系統、10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T、RJ45	

品番	AH-R108-4	AH-R116-4
画面表示	1 画面、4 ／ 6 ／ 9 分割、PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー）、電子ズーム、フリーズ、シーケンス ※ スポット出力はライブ映像専用（1 画面、4 ／ 9 分割、シーケンス）または HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を選択可能	1 画面、4 ／ 6 ／ 8 ／ 9 ／ 13 ／ 16 分割、PIP（ピクチャー・イン・ピクチャー）、電子ズーム、フリーズ、シーケンス ※ スポット出力はライブ映像専用（1 画面、4 ／ 9 ／ 16 分割、シーケンス）または HDMI 出力やアナログ RGB 出力と同じ映像を選択可能
画像サイズ（解像度）	1920 × 1080、1280 × 720、944 × 480、704 × 480、352 × 240 *4	
画質	5 段階	
録画レート	総録画レート 240 ips カメラごとに 1 ～ 30 ips（1 ips 単位）から設定可能	総録画レート 480 ips（1280 × 720、944 × 480、704 × 480、352 × 240）、240 ips（1920 × 1080） カメラごとに 1 ～ 30 ips（1 ips 単位）から設定可能
録画モード	連続録画、イベント録画（センサー録画、モーション録画、ビデオロス録画）、プリ録画、緊急録画	
プリ録画時間	5 ～ 30 秒	
ポスト録画時間	1 秒～ 30 分　※ センサー録画はポスト録画を行わない設定が可能	
緊急録画時間	5 秒～ 30 分、無制限	
モーション検知	感度 5 段階、20 × 15 モーションブロックでエリア設定可能	
スケジュール記録	カメラごと曜日ごとに 15 分単位の録画スケジュールを設定可、休日（50 日）設定可	
検索機能	日時検索、カレンダー検索、イベント検索	
バックアップ機能	時間指定バックアップ（独自形式、実行ファイル形式、AVI 形式） USB メモリーへバックアップ可能 *5	
セキュリティ機能	ユーザー ID（最大登録数：18 名）とパスワード（英数、記号：4 ～ 16 桁）による認証、16 段階のセキュリティレベルを設定可能	
その他の機能	メール送信機能、遠隔通知機能（コールバック機能）、NTP 調時機能（サーバー、クライアント）、接点調時機能、UPS 連動機能、Web サーバー／ネットワークソフトウェア DRNET ／スマートフォンアプリケーション DRNET Mobile 機能（ライブ配信、再生配信、メニュー設定、コンビネーションカメラの操作）、システムログ外部出力機能、設定データ外部出力／入力機能、イベントポップアップ機能、コンビネーションカメラ制御（パン／チルト／ズーム／フォーカス操作、メニュー表示／設定）*6 またはリモート制御（画面切換）の選択可能、AHD カメラ制御（メニュー表示／設定）、スマートフォンアプリケーション DRNET Mobile へのプッシュ通知（Android 版のみ）	
日付・時刻	年月日時分秒、月差± 60 秒以内（25℃）*7	
許容高度	2,000 m 以下	
使用温度範囲	0 ～ 40℃	
使用湿度範囲	80%RH 以下（ただし結露のないこと）	
仕上げ	パネル：表面処理鋼板、黒（マンセル N1.0 近似色）、塗装、3 分艶 ケース：プレコート鋼板、黒（マンセル N1.0 近似色）	
寸法	420（幅）× 97.4（高さ）× 338.5（奥行）mm	
質量	6.4 kg	6.5 kg

*1 アナログ RGB 出力にモニターを接続し、HDMI 出力にモニターを接続しない場合のみ設定が可能です。
*2 0 dB = 1 V
*3 コンビネーションカメラ（カメラプロトコル：タイプ B）または、リモートコントローラー C-RM700 の接続が可能です。
*4 1920 × 1080、1280 × 720 は、AHD カメラと組み合わせた場合のみ対応が可能です。
*5 FAT32 または NTFS でフォーマットされた 2 GB 以上の USB メモリーが使用可能で、USB2.0 に対応しています。
*6 NTSC コンビネーションカメラは RS-485 制御、AHD コンビネーションカメラは同軸多重制御または RS-485 制御が可能です。
*7 使用環境により本機の内蔵時計に時刻のずれが生じる場合があります。より正確な時刻で記録するために、タイムサーバー（NTP サーバー）をご使用ください。

※ 本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。

※ 最新の仕様およびファームウェアについては、TOA 商品データダウンロードサイト（https://www.toa-products.com/download）を参照してください。
※ HDMI、HDMI ロゴ、および High-Definition Multimedia Interface は、HDMI Licensing LLC の商標もしくは米国およびその他の国における登録商標です。
※ すべての HDMI 機器への接続を保証するものではありません。
※ Android は Google LLC. の商標です。

● パーソナルコンピューター要件

（Web サーバー機能、バックアップ再生、ネットワークソフトウェア DRNET 使用時）

ハードウェア	CPU ： Intel Core i5 3.1 GHz 以上 メモリー ： 4 GB 以上 HDD 空き容量 ： 1 GB 以上 LAN ： 10BASE-T/100BASE-TX/1000BASE-T グラフィックス ： VRAM 128 MB 以上 DirectX 10 ／ 11 対応 ディスプレイ ： 解像度 1280 × 1024 以上、24 bit カラー以上
OS	Windows 7 Professional（32/64 bit）Service Pack1 Windows 8.1 Pro（32/64 bit） Windows 8.1（32/64 bit） Windows 10 Pro（32/64 bit） Windows 10 Home（32/64 bit）
必須コンポーネント	.NET Framework ： 2.0

※ 本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
※ 最新の仕様およびファームウェアについては、TOA 商品データダウンロードサイト（https://www.toa-products.com/download）を参照してください。
※ Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。
※ Intel Core は米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
※ その他の会社名および製品名も各社の商標です。

● Web サーバー仕様

対応 Web ブラウザー	Internet Explorer 11（32 bit）、Microsoft Edge（Internet Explorer モード）
同時表示カメラ台数	AH-R108-4：8 台 AH-R116-4：16 台
同時接続デジタルレコーダー台数	1 台
セキュリティ	ユーザー ID とパスワードによる認証 （本体で登録されたユーザーのみ接続可）
ライブ配信／再生配信機能	AH-R108-4：映像表示（1 画面、4 ／ 9 分割） AH-R116-4：映像表示（1 画面、4 ／ 9 ／ 16 分割） 音声配信（ライブのみ）
検索機能	カレンダー検索、日時検索、イベント検索
その他	デジタルレコーダーの設定、コンビネーションカメラの操作

※ 本機の仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。
※ 最新の仕様およびファームウェアについては、TOA 商品データダウンロードサイト（https://www.toa-products.com/download）を参照してください。
※ Microsoft Edge は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標です。

● 付属品

電源コード（2 m） 1
D-sub プラグ（25P） 1
CD（ネットワークソフトウェア DRNET、取説 PDF） 1

● 別売品

ラックマウント金具：MB-23B

アフターサービスについて

保証期間中の修理などアフターサービスについてご不明な点があれば、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

● 保証書

保証書はこの取扱説明書の裏表紙についています。必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から１年間です。

● 保証期間中に修理を依頼されるとき

取扱説明書をお読みになって、ご不明な点やご不審な点があれば、お買い上げの販売店にご連絡ください。お客様が修理することはできません。
もし、機器をあけたり、内部に手を触れた場合は、保証期間中であっても保証の対象から外れますのでご注意ください。

● 保証期間経過後に修理を依頼されるとき

お買い上げの販売店にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には、ご要望により有料で修理致します。

● 連絡していただきたいこと

住所・氏名・電話番号・製品名・品番・購入日・故障の内容や異常の状況。

● 補修用性能部品の保有期間

補修用性能部品の保有期間は、生産完了後７年間となっております。
保有期間内に補修用性能部品の入手が不可能な場合には、同等性能部品を供給させていただきます。
※ 補修用性能部品とは、その製品の性能を維持するために必要な部品です。

機器保証書

品　　番	製造（ロット）番号	この保証書は、下記記載の内容により無償修理を行うことをお約束するものです。 お買い上げの日から左記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。
保証期間	**お買い上げ日から1年間** ただし、消耗部品を除く（詳しくは下記に記載）	
お買い上げ日	年　月　日	
お客様 ご住所	TEL（　　）　－	販売店 住所・店名・TEL
お客様 お名前	様	

上記保証書は、必ず「お買い上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間は、お買い上げの日から１年間です。なお、保証期間中でも有料になることがありますので、下記をよくお読みください。

＜無償修理規定＞

1. 上記記載の保証期間内において、取扱説明書、本体注意ラベルなどに従った、正常な使用状態で万一故障した場合、お買い上げの販売店に修理をご依頼のうえ、修理に際して本書をご提示ください。
2. 修理に際して再生部品・代替部品を使用する場合があります。
3. 無償修理期間内でも、次の場合には有償修理になります。
   (1) ご使用上の誤り、および不当な修理や改造による故障または損傷。
   (2) 当社が指定する消耗品部品（各取扱説明書ご参照）の交換の場合。
   (3) お買い上げ後の輸送、移転、落下、水没などによる故障および損傷。
   (4) 火災、地震、水害、落雷、その他の天災地変、公害、塩害、ガス害（硫化ガス）や異常電圧、その他使用に伴う自然摩耗などによる故障および損傷など。
   (5) 本商品に接続している当社指定以外の機器故障に起因する故障。
   (6) 保証書のご提示がない場合。
   (7) 保証書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入がない場合、または、字句が書き換えられた場合。
4. テープデッキ、CD/DVD/BD ユニットの保証期間はお買い上げ日から６カ月といたします。
5. 記録媒体を搭載または使用する商品の場合、いかなる場合においても商品の設定情報や記録内容については保証いたしません。
6. この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
   This warranty is valid only in Japan.

修理メモ

※ 本商品の故障に起因する付随的・派生的損害についての補償はお受けできません。

※ この保証書は本書に明記した期間および条件のもとにおいて無償修理をお約束するものです。したがって、この保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理などについてご不明な場合は、お買い上げの販売店または最寄りの当社営業所にお問い合わせください。

※ 当社は、皆様から提供された個人情報について、その重要性を認識し、個人情報の保護に関する法律を遵守することにより、個人情報の適正な収集、利用、安全管理を行います。当社の個人情報の取り扱いに関する詳細は、https://www.toa.co.jp/privacy.htm をご参照ください。

※ お客様情報は商品を安全にお使いいただくための修理目的のほか、サービスのご案内や買い替えのご提案に利用させていただく場合があります。また、当利用目的の範囲内において、サービス会社および販売店などの第三者にお客様情報を提供する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

TOA 株式会社
〒 650-0046 神戸市中央区港島中町七丁目２番１号　TEL（078）303-5620（代）

TOA お客様相談センター	フリーダイヤル（固定電話専用） **0120-108-117** ナビダイヤル　0570-064-475（有料） FAX　0570-017-108（有料） ※ PHS、IP 電話からはつながりません。	商品の価格・在庫・修理などのお問い合わせ、およびカタログのご請求については、取り扱い店または最寄りの営業所へお申し付けください。最寄りの営業所については、TOA ホームページをご確認ください。
商品の内容や組み合わせ、操作方法についてのお問い合わせにお応えします。 受付時間 9：00 ～ 17：00（土日、祝日除く）		

当社は、お客様から提供された個人情報をお問い合わせ対応または修理対応の目的に利用いたします。また、修理委託目的で委託先業者へ提供することがあります。個人情報の取り扱いに関する方針については、TOA ホームページをご覧ください。

TOA ホームページ https://www.toa.co.jp/

TOA株式会社

133-02-00325-03